

鹿児島工業高専第六志学寮改修工事

表紙共 83枚

【 建築（意匠） 】			【 電気設備 】			【 機械設備 】		
図面番号	図面名称	縮尺(A1)	図面番号	図面名称	縮尺(A1)	図面番号	図面名称	縮尺(A1)
A-00	表紙・図面目録	NON	特E-01	特記仕様書（1）	NON	特M-01	特記仕様書（1）	NON
T-01	建築改修工事特記仕様書-1	NON	特E-02	特記仕様書（2）	NON	特M-02	特記仕様書（2）	NON
T-02	建築改修工事特記仕様書-2	NON	E-01	案内図・配置図	1/1000	M-01	案内図・配置図	1/1000
T-03	建築改修工事特記仕様書-3	NON	E-02	建物断面図・防火区画図	1/100,150	M-02	空調和設備 機器表(撤去・改修)	NON
T-04	建築改修工事特記仕様書-4	NON	E-03	改修前後 構内配電線路・構内通信線路図	1/300	M-03	空調和設備 1階配管平面図(撤去・改修)	1/100
T-05	建築改修工事特記仕様書-5	NON	E-04	高圧単線結線図・電気室平面図	1/50	M-04	空調和設備 2～5階配管平面図(撤去・改修)	1/100
T-06	建築改修工事特記仕様書-6	NON	E-05	改修後 分電盤結線図(1)	NON	M-05	空調和設備 換気機器表(改修)	NON
T-07	建築改修工事特記仕様書-7	NON	E-06	改修後 分電盤結線図(2)	NON	M-06	空調和設備 法定換気計算書	NON
T-08	建築改修工事特記仕様書-8	NON	E-07	改修後 分電盤結線図(3)	NON	M-07	空調和設備 1階ダクト平面図	1/100
T-09	建築改修工事特記仕様書-9	NON	E-08	改修後 幹線系統図・EPS詳細図	1/100	M-08	空調和設備 2～5階ダクト平面図(撤去・改修)	1/100
T-10	工事区分表	NON	E-09	改修後 電灯分岐設備 地下ビット平面図・照明器具姿図	1/100	M-09	暖房設備 機器表・1階配管平面図(撤去)	1/100
A-01	案内・構内配置図	1/1000	E-10	改修後 電灯分岐設備 1～5 階平面図	1/100	M-10	暖房設備 2～5階配管平面図(撤去)	1/100
A-02	仕上表-1	NON	E-11	改修後 電灯分岐（非常照明）設備 1～5 階平面図	1/100	M-11	給排水衛生設備 衛生器具表・機器表	NON
A-03	仕上表-2	NON	E-12	改修後 コンセント分岐設備 1～5 階平面図	1/100	M-12	給排水衛生設備 凡例・系統図	NON
A-04	1階平面図(既存・改修)	1/100	E-13	改修後 寮室空調電源設備 1～5 階平面図	1/100	M-13	給排水衛生設備 1階平面図(撤去・改修)	1/100
A-05	2～5階平面図(既存・改修)	1/100	E-14	改修後 弱電設備 系統図・弱電端子盤表	NON	M-14	給排水衛生設備 2～5階平面図(撤去・改修)	1/100
A-06	屋上平面図(既存・改修)	1/100	E-15	改修後 弱電設備 1～5 階平面図	1/100	M-15	給排水衛生設備 R階平面図(撤去・改修)	1/100
A-07	立面図-1(既存・改修)	1/100	E-16	改修後 火災報知設備 系統図・1～5 階平面図	1/100	M-16	給排水衛生設備 平面詳細図(撤去・改修)	1/50
A-08	立面図-2(既存・改修)	1/100	E-17	改修前 幹線系統図 電灯幹線・動力幹線EPS詳細図	1/100			
A-09	矩計図(改修)	1/50	E-18	改修前 電灯分岐設備 地下ビット平面図	1/100			
A-10	階段詳細図-1(改修)	1/50	E-19	改修前 電灯分岐設備 1～5 階平面図	1/100			
A-11	階段詳細図-2(改修)	1/50	E-20	改修前 コンセント分岐設備 1～5 階平面図	1/100			
A-12	玄関廻り詳細図(改修)-1	1/50	E-21	改修前 寮室空調電源設備 1～5 階平面図	1/100			
A-13	玄関廻り詳細図(改修)-2	1/50	E-22	改修前 弱電設備 1～5 階平面図	1/100			
A-14	シャワー室・捕食室・洗面洗濯室詳細図(改修)	1/50	E-23	改修前 火災報知設備 1～5 階平面図	1/100			
A-15	寮室・自習室詳細図(改修)	1/50						
A-16	4階寮室詳細図(改修)	1/50						
A-17	談話室・共同溝取合詳細図(改修)	1/50						
A-18	展開図	1/50						
A-19	天井伏図(改修)	1/100						
A-20	建具表(既存)	1/100						
A-21	建具表-1(改修)	NON						
A-22	建具表-2(改修)	1/100						
A-23	部分詳細図-1	図示						
A-24	部分詳細図-2	図示						
A-25	部分詳細図-3	図示						
A-26	部分詳細図-4	図示						
A-27	外構図(既存・改修)	1/100						
A-28	外構詳細図	図示						
A-29	仮設計画図(参考図)	1/100						

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	表紙・図面目録	A1 NON A2 NON	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	A-00

鹿児島工業高専第六志学寮改修工事改修工事

Ⅰ 工 事 概 要

1. 工事場所

鹿児島県霧島市隼人町真率1460-1 鹿児島工業高専構内

2. 完成期限

※※

3. 指定部分

○無 ・ 有 対象部分（指定部分工期 令和 年 月 日（曜日）

4. 概成工期

・無 ○有 令和 年 月 日（曜日）

5. 建物概要

建物名称・・・	第六志学寮		
工種・・・	模様替え		
構造・・・	RC造		
階数・・・	5階建て		
建築基準法による	建築面積 (㎡)	518㎡	
	延べ面積 (㎡)	2,563㎡	
消防法施行令別表第一の区分	学校		
改修面積 (㎡)・・・	2,563㎡		
備考・・・			

6. 工事種目

○ 印の付いたものが対象工事種目

建物別及び屋外	工 事 種 別	
工 事 種 目	屋外	屋外
○ 2 仮設工事	一式	一式
○ 3 防水改修工事	一式	
○ 4 外壁改修工事	一式	
○ 5 建具改修工事	一式	
○ 6 内装改修工事	一式	
○ 7 塗装改修工事	一式	
・ 8 耐震改修工事		
○ 9 環境配慮改修工事	一式	
・ 10 とりこわし工事		
・ プール改修工事		
○ 電気設備工事	一式	
○ 機械設備工事	一式	
・		

Ⅱ 工 事 仕 様

1. 共通仕様

（1）この工事の受注者は、独立行政法人国立高等専門学校機構が定める工事請負契約基準、現場説明書、図面 枚及び本特記仕様書 枚によるほか、下記仕様書等の中の、○印の付いたものを適用する。

○ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)(以下「標準仕様書」という。)

○ 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)(以下「改修標準仕様書」という。)

○ 文部科学省建築工事標準仕様書(特記基準)(令和4年版)(以下「文科仕様書」という。)

○ 文部科学省建築改修工事標準仕様書(特記基準)(令和4年版)(以下「文科改修仕様書」という。)

○ 工事写真撮影要領(令和5年9月)

○ 建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)

○ 建築工事標準詳細図(令和4年版)

・

（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。

なお、電気設備工事の特記仕様書は（特E-01）、機械設備工事の特記仕様書は（特M-01～02）による。

2. 特記仕様

（1）本特記仕様書の表記

1）項目は、○・印の付いたものを適用する。

2）特記事項は、○・印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。

○印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。

3）特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

特記事項に記載の [] 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

特記事項に記載の (()) 内表示番号は、文科仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

特記事項に記載の [[]] 内表示番号は、文科改修仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

4）㊦印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（平成12年法律第100号）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。

Ⅲ 名 章 共 通 事 項

○ 適用区分

○ 電気保安技術者、工事用電力設備の保安責任者

○ 施工条件

○ 発生材の処理等

○ 環境への配慮

○ 材料の品質等

○ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。

○ 風圧力
風速（Vo＝ m/s）
地表面粗度区分（Ⅰ・ⅠⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）
○ 積雪荷重
平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表（ ）

(1.3.3～4) [1.3.3～4]
この工事現場に下記いずれかの資格を有する電気保安技術者を選任する。

項 目 名	電気保安技術者
1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	○
2 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○
3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	○
4 旧電気工事技術者検定規定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	○
5 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	○
6 第1種電気工事士の資格を有する者	○
7 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○
8 第2種電気工事士以上の資格を有する者	○
9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	・

工事用電力を横外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。

(1.3.5) [1.3.5]
この工事現場では、次の施工条件による。

・ ●●部屋について、令和●年●月●日から使用する。
工事可能な日程は平日8時30分から17時までとする。
ただし、監督職員の承諾を得た場合は上記時間外の工事を可能とする。
本工事における建物に隣接した建物は、本校学生及び教職員が学業、業務を実施しているため、騒音については特に注意すること。
工事用車両の駐車場、資機材置場、仮設事務所の設置場所は現場説明書による。
工事用電力、工事用電力等は、現場説明書による。
工事支障物、排水処理等については監督職員の指示による。

(1.3.11) [1.3.12]
（1）引渡しを要するもの

1) 品名
引渡し先
集積場所

（2）特別管理産業廃棄物

1) 品名
処理方法

（3）現場において再利用を図るもの

1) 品名
使用箇所

（4）再資源化を図るもの

1) 品名
受入場所

2) 品名

（5）その他発生材については、標準仕様書に従い、適切に処理する。

（4）、（5）について、

1）搬出に先立ち搬出計画書を作成し、監督職員に提出する。

2）日々搬出量等を取りまとめた土砂等搬出調書を作成し、監督職員に提出する。

3）工事発注後に明らかになった事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督職員と協議する。

(1.4.1) [1.4.1]
建築物内部に使用する材料等とは、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。

① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建築材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ－n－ブチル及びフタル酸ジ－n－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。

④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

(1.4.2) [1.4.2]
（1）本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

（2）製品名が記載された材料は、当該製品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。

（3）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

（4）本工事に使用する材料のうち、（5）に指定する材料の製造所等は、以下に指定する事項を満たすものとし、その証明となる資料を監督職員に提出して承諾を受ける。

ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。

・ 品質及び性能に関する試験データを整備していること。

・ 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。

・ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。

・ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

・ 安定的な供給が可能であること。

・ 販売、保守等の営業体制を整えていること。

（5）製造所等に関する資料の提出を求める材料

○ 材料の検査等

・ 石綿含有建材の調査

○ 技能士

○ 施工の検査等

○ 施工の立会い

(1.4.4) [1.4.4]

材料名	備考

事前調査
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。

賃与資料（ ）

・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクテノライト、アモサイト、アンソフィライト、クソシタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法

材料名	定性分析方法	定量分析方法
	(JIS A 1481-1) または (JIS A 1481-2)	(JIS A 1481-3)、(JIS A 1481-4) または (JIS A 1481-5)
	・ (箇所)	・ (箇所)
	・ (箇所)	・ (箇所)
	・ (箇所)	・ (箇所)

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所
・ 図示による
・

(1.5.2) [1.7.2]

適用工事種別	技能検定の種別
仮設工事	○ とび（とび作業）
鉄筋工事	・ 鉄筋施工（鉄筋組立て作業）
コンクリート工事	・ コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業） ・ 左官（左官作業） ・ 型枠（型枠工事作業）
鉄骨工事	○ 鉄工（構造物鉄工作業） ○ とび（とび作業）
ブロック・ＡＬＣパネル工事	・ ブロック建築（コンクリートブロック工事作業） ○ ＡＬＣパネル施工（ＡＬＣパネル工事作業）
防水工事	・ 防水施工（アスファルト防水工事作業） ○ 防水施工（ウレタンゴム系塗膜防水工事作業） ・ 防水施工（アクリルゴム系塗膜防水工事作業） ・ 防水施工（合成ゴム系シート防水工事作業） ○ 防水施工（塩化ビニル系シート防水工事作業） ・ 防水施工（セメント系防水工事作業） ・ 防水施工（シーリング防水工事作業） ・ 防水施工（改質アスファルトシートーチ工法防水工事作業） ・ 防水施工（改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業） ・ 防水施工（ＦＲＰ防水工事作業）
石工事	・ 石材施工（石張り作業）
タイル工事	○ タイル張り（タイル張り作業）
木工工事	・ 建築大工（大工工事作業）
屋根、とい工事	・ 建築板金（内外装板金作業）
左官工事	・ 左官（左官作業）
建具工事	○ サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ○ ガラス施工（ガラス工事作業）
ＰＣカーテンウォール工事	・ カーテンウォール施工（金属製カーテンウォール工事作業）
塗装工事	○ 塗装（建築塗装作業）
内装工事	○ 内装仕上げ施工（プラスチック系床仕上げ工事作業） ・ 内装仕上げ施工（カーペット系床仕上げ工事作業） ・ 内装仕上げ施工（木質系床仕上げ工事作業） ○ 内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業） ○ 内装仕上げ施工（ボード仕上げ工事作業） ・ 表装（壁装作業）
補装工事	・ 造園（造園工事作業）

(1.5.5) [1.7.5]
標準仕様書等に定めがあるもの以外で、次に示す施工については、監督職員の検査を受ける。

検査等を行う施工	備考
軽量鉄骨天井下地及び軽量鉄骨壁下地工事	下地が完了した段階
仕上り塗材下地工事	下地調整が完了した段階
外壁仕上の施工	外部足場を取り外す前の段階

(1.5.7) [1.7.7]
標準仕様書等に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項については、監督職員の立会いを受ける。

施工の立会いを行う工程	備考
撤去工事完了後	下地が良好か確認
軽鉄下地完了後	下地が所定通りか確認

○ 化学物質の濃度測定

(1.5.9) [1.7.9]

（1）施工完了後、引渡前に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン等の濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。

測定対象化学物質 指数値（周単位の換算は、25℃の場合による。）

ホルムアルデヒド	100 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.08ppm) 以下
トルエン	260 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.07ppm) 以下
キシレン	200 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.05ppm) 以下
エチルベンゼン	3800 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.88ppm) 以下
スチレン	220 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.05ppm) 以下

（2）測定対象室及び測定箇所数は以下表による。

様名称	階	室名	採取本数
第六志学寮	5階	寮室	1検体
	4階	寮室	1検体
		寮室	1検体
	3階	寮室	1検体
	2階	補食室	1検体
	1階	補食室	1検体

（3）測定方法は、（・吸引方式（アクティブ法）・拡散方式（パッシブ法）により行う。

（4）文部科学省の「学校環境衛生基準」に基づき、採取は室内の温度が高い時期に行い、吸引方式では30分間で2回以上、拡散方式では8時間以上行う。

（5）測定結果が指数値を超えていた場合は、発生源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度測定し、基準値以下であることを確認してから引渡しを行う。

・ 技術検査

○ 完成時の提出図書

(1.7.1～3) [1.9.1～3]
次の図書を監督職員に提出する。また、それらを本工事事目的物に關し使用するための権利については、発注者に委譲する。

○完成図（施工図、施工計画書を除く。）

CADデータ（電子納品） 1 部
A3版原図 1 部
A1版原図 1 部
A3複写図（製本） 3 部
A1複写図（製本） 1 部

○施工計画書
Mファイル綴じ 1 部

○保全に関する資料
Mファイル綴じ 1 部

○施工図（次に示すものを標準とし、その他必要な図、提出部数等は監督職員と協議による。）

鉄筋配筋図（納まり図含む） 一式
コンクリート躯体図 一式
鉄骨製作図 一式
カーテンウォール製作図 一式
機器製作図 一式
制御システム図 一式
試験成績書 一式
機器・配管固定の施工図 一式

○工事写真（「工事写真撮影要領」による。）

原本（電子媒体） 1部
アルバム（紙又は電子媒体） 1部

○完成写真
工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。

撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出セット数	画素数及び画質等	撮影者		
外観正面 2箇所	カラー印刷面紙キャビネ判	1	4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの	建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影者		
	カラー印刷面紙キャビネ判					
	A4アルバム綴じ ※	1				
	電子データ（JPE6フルカラー・圧縮率1/4程度）					
	カラー木製パネル半切（324×400mm）					
上記と異なる外部：4箇所 内部：10箇所	カラー印刷面紙キャビネ判	1	1280×960ピクセル以上かつ撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質	任意		
	カラー印刷面紙キャビネ判					
	A4アルバム綴じ ※	1				
外部：箇所 内部：箇所	電子データ（JPE6フルカラー・圧縮率1/4程度）	1				
	カラー印刷面紙キャビネ判					
程度	A4アルバム綴じ 電子データ（JPE6フルカラー）					

注：※ のアルバムは併せて作成する。

年 度

令和5年

設計年月

令和6年5月

設計業務名

鹿児島工業高専第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務

工事名称

鹿児島工業高専第六志学寮改修工事

図面名称

建築改修工事特記仕様書-1

縮尺

A1 NON
A3 NON

建築士法第20条第1項に基づく表示

株 式 会 社 唯 設 計
一級建築士登録 第295054号 日野 秀明

図面番号

T-01

	<p>電子納品は次の規定に従うものとする。</p> <p>1) 貸与する設計図のC A Dデータは以下による。</p> <p>著作権者： _____</p> <p>ファイル形式： _____</p> <p>貸与条件：貸与するC A Dデータを本工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用しないこと。</p> <p>2) 完成写真の撮影に関する著作権者の権利等については次のi) 及びii) によることとし、受注者は撮影者等との契約に当たってもそれらの承諾を条件とする。</p> <p>i) 提出された写真は、独立行政法人国立高等専門学校機構が行う事務及び認めた用途に關して、無償で利用することができるものとする。この際、著作権者名を表示しないこと及びその利用に必要な範囲で改変を行うことができるものとする。</p> <p>ii) 受注者及び撮影者等は、撮影時に取得した全ての写真（提出していないものを含む。）及びその改変物、複製物を公表、閲覧、譲渡その他一切の方法により第三者に使用させてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を受けた場合は、この限りではない。</p> <p>3) 電子納品の対象は上記によるほか、監督職員と受注者で協議を行う。</p> <p>4) 電子成果品は、提出前に電子成果品作成支援・検査システムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで監督職員に提出する。</p> <p>5) 提出方法及びファイル形式は以下による。</p> <p>電子媒体：C D－R又はD V D－R</p> <p>C A Dデータ：J W W、S X F、D X F及びP D F</p> <p>上記の他、監督職員が認めた形式</p>	<p>・ 仮設間仕切り</p>	<p>仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所</p> <p>・ 図示による</p> <p>仮設間仕切りの種類と材質等</p> <table><tr><th>種別</th><th>仕上げ（厚さmm）</th><th>塗装</th><th>充填</th></tr><tr><td>・ A種</td><td>・ せっこうボード 種類（・ ） 厚さ（・ mm ※9.5mm） ・ 合板 材種（・ ） 厚さ（・ mm ※9mm）</td><td>・ 無し ・ 片面</td><td>グラスウール 厚さ mm</td></tr><tr><td>・ B種</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>※C種</td><td>防災シート</td><td></td><td></td></tr></table> <p>仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等</p> <table><tr><th>材質</th><th>仕上げ</th><th>塗装</th><th>設置箇所</th></tr><tr><td>※木製</td><td>※合板張り程度</td><td>・ 無し</td><td>・ かし</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・ 片面</td><td>・ 図示による</td></tr></table>	種別	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填	・ A種	・ せっこうボード 種類（・ ） 厚さ（・ mm ※9.5mm） ・ 合板 材種（・ ） 厚さ（・ mm ※9mm）	・ 無し ・ 片面	グラスウール 厚さ mm	・ B種				※C種	防災シート			材質	仕上げ	塗装	設置箇所	※木製	※合板張り程度	・ 無し	・ かし	・	・	・ 片面	・ 図示による	<p>[2. 3. 2] [表 2. 3. 1]</p>	<p>・ 屋根露出防水（既存）</p> <p>新設防水層の種類</p> <table><tr><th>改修 工法</th><th>新設 種別</th><th>施工 箇所</th><th>断熱材 [G]</th><th>仕上塗料 種類 使用量</th><th>高日射 反射率 防水 [G]</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ M4C</td><td>・ C-1 ・ C-2 ・ C-3 ・ C-4</td><td></td><td></td><td>・ A7A7A7A7- フィング 類の 製造所の 仕様 ・</td><td>※A7A7A7A7- フィング 類の 製造所の 仕様 ・</td><td>・ 適用 する</td></tr><tr><td>・ M3D ・ P0D</td><td>・ D-1 ・ D-2</td><td></td><td></td><td>・ A7A7A7A7- フィング 類の 製造所の 仕様 ・</td><td>※A7A7A7A7- フィング 類の 製造所の 仕様 ・</td><td>・ 適用 する</td></tr><tr><td>・ P0D1 ・ M3D1 ・ M4D1</td><td>・ D1-1 ・ D1-2</td><td>改修標準仕様書3. 3. 2 (9)</td><td>・ A7A7A7A7- フィング 類の 製造所の 仕様 ・</td><td>※A7A7A7A7- フィング 類の 製造所の 仕様 ・</td><td>・ 適用 する</td><td>・ 図示による</td></tr></table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ</p> <p>※改修標準仕様書表3. 3. 3から表3. 3. 9による</p> <p>・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>用途による区分</p> <p>材料による区分 ※R種</p> <p>厚さ（ ）mm以上</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ</p> <p>※改修標準仕様書表3. 3. 3から表3. 3. 9による</p> <p>・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>用途による区分</p> <p>材料による区分 ※R種</p> <p>厚さ（ ）mm以上</p> <p>絶縁断熱工法のルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置</p> <p>※図示による</p> <p>絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定</p> <p>・</p> <p>設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定（個）</p> <p>立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法</p> <p>※アルミニウム製 L-30×15×2. 0mm程度</p> <p>・</p> <p>屋上排水溝</p> <p>※図示による</p> <p>・</p>	改修 工法	新設 種別	施工 箇所	断熱材 [G]	仕上塗料 種類 使用量	高日射 反射率 防水 [G]	備考	・ M4C	・ C-1 ・ C-2 ・ C-3 ・ C-4			・ A7A7A7A7- フィング 類の 製造所の 仕様 ・	※A7A7A7A7- フィング 類の 製造所の 仕様 ・	・ 適用 する	・ M3D ・ P0D	・ D-1 ・ D-2			・ A7A7A7A7- フィング 類の 製造所の 仕様 ・	※A7A7A7A7- フィング 類の 製造所の 仕様 ・	・ 適用 する	・ P0D1 ・ M3D1 ・ M4D1	・ D1-1 ・ D1-2	改修標準仕様書3. 3. 2 (9)	・ A7A7A7A7- フィング 類の 製造所の 仕様 ・	※A7A7A7A7- フィング 類の 製造所の 仕様 ・	・ 適用 する	・ 図示による	<p>○ 合成高分子系 ルーフィングシート 防水</p>	<p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※改修標準仕様書表3. 4. 1から表3. 4. 3Iによる</p> <p>・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>用途による区分</p> <p>材料による区分 ※R種</p> <p>厚さ（ ）mm以上</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※改修標準仕様書表3. 4. 1から表3. 4. 3Iによる</p> <p>・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>用途による区分</p> <p>材料による区分 ※R種</p> <p>厚さ（ ）mm以上</p> <p>立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法</p> <p>※アルミニウム製 L-30×15×2. 0mm程度</p> <p>・</p> <p>屋上排水溝</p> <p>※図示による</p> <p>・</p>	<p>・ 屋根保護防水</p> <p>新設防水層の種類</p> <table><tr><th>改修 工法</th><th>新設 種別</th><th>施工 箇所</th><th>断熱材 [G]</th><th>仕上塗料 種類 使用量</th><th>高日射 反射率 防水 [G]</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ S-F1</td><td></td><td></td><td></td><td>・ ルーフィング 類の製造所の仕様 ・</td><td>※ルーフィング 類の製造所の仕様 ・</td><td>・ 適用 する</td></tr><tr><td>・ S-F2</td><td></td><td></td><td></td><td>—</td><td>—</td><td>・ 適用 する</td></tr><tr><td>・ S-M1</td><td></td><td></td><td></td><td>・ ルーフィング 類の製造所の仕様 ・</td><td>※ルーフィング 類の製造所の仕様 ・</td><td>・ 適用 する</td></tr><tr><td>○ S-M2</td><td></td><td></td><td></td><td>—</td><td>—</td><td>・ 適用 する</td></tr><tr><td>・ S-F1</td><td>・ プレキャスト コンクリート 下地</td><td></td><td></td><td>・ ルーフィング 類の製造所の仕様 ・</td><td>※ルーフィング 類の製造所の仕様 ・</td><td>・ 適用 する</td></tr><tr><td>・ S-F2</td><td>・ プレキャスト コンクリート 下地</td><td></td><td></td><td>—</td><td>—</td><td>・ 適用 する</td></tr><tr><td>・ S-M1</td><td></td><td></td><td></td><td>・ ルーフィング 類の製造所の仕様 ・</td><td>※ルーフィング 類の製造所の仕様 ・</td><td>・ 適用 する</td></tr><tr><td>・ S-M2</td><td></td><td></td><td></td><td>—</td><td>—</td><td>・ 適用 する</td></tr><tr><td>・ SI-F1</td><td>・ プレキャスト コンクリート 下地</td><td>改修標準仕様書3. 5. 2 (3) (a) (b) (種類)</td><td></td><td>・ ルーフィング 類の製造所の仕様 ・</td><td>※ルーフィング 類の製造所の仕様 ・</td><td>・ 適用 する</td></tr><tr><td>・ SI-F2</td><td>・ プレキャスト コンクリート 下地</td><td>（厚さ）(mm) ・ 25 ・ 50</td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・ 適用 する</td></tr><tr><td>・ SI-M1</td><td></td><td>改修標準仕様書3. 5. 2 (3) (a) (a) (種類)</td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・ 適用 する</td></tr><tr><td>・ SI-M2</td><td></td><td>（厚さ）(mm) ・ 25 ・ 50</td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・ 適用 する</td></tr></table> <p>S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様</p> <p>※非歩行仕様</p> <p>・ 軽歩行仕様</p> <p>SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム</p> <p>・ 設置する</p> <p>・ 設置しない</p> <p>合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ</p> <p>※改修標準仕様書表3. 5. 1から表3. 5. 3Iによる</p> <p>・ JIS A 6008に基づく種類及び厚さ</p> <p>種類</p> <p>・</p> <p>厚さ</p> <p>mm以上</p> <p>絶縁用シート及び可変剥移行防止用シートの材質</p> <p>※発泡ポリエチレンシート</p> <p>固定金具の材質、形状及び寸法</p> <p>※厚さ0. 4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの</p> <p>・</p> <p>接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様</p> <p>・</p> <p>設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様（個）</p> <p>接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理</p> <p>・ 行う（・ 図示による）</p> <p>・</p> <p>プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合）</p> <p>・ 行う（・ 図示による）</p> <p>・</p> <p>・ 行わない</p> <p>機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け</p> <p>1章 適用区分による風圧力の（・ 1 ・ 1. 15 ・ 1. 3）倍の風圧力に対応した工法</p> <p>立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法</p> <p>※アルミニウム製 L-30×15×2. 0mm程度</p> <p>・</p> <p>屋上排水溝</p> <p>※図示による</p> <p>・</p>	改修 工法	新設 種別	施工 箇所	断熱材 [G]	仕上塗料 種類 使用量	高日射 反射率 防水 [G]	備考	・ S-F1				・ ルーフィング 類の製造所の仕様 ・	※ルーフィング 類の製造所の仕様 ・	・ 適用 する	・ S-F2				—	—	・ 適用 する	・ S-M1				・ ルーフィング 類の製造所の仕様 ・	※ルーフィング 類の製造所の仕様 ・	・ 適用 する	○ S-M2				—	—	・ 適用 する	・ S-F1	・ プレキャスト コンクリート 下地			・ ルーフィング 類の製造所の仕様 ・	※ルーフィング 類の製造所の仕様 ・	・ 適用 する	・ S-F2	・ プレキャスト コンクリート 下地			—	—	・ 適用 する	・ S-M1				・ ルーフィング 類の製造所の仕様 ・	※ルーフィング 類の製造所の仕様 ・	・ 適用 する	・ S-M2				—	—	・ 適用 する	・ SI-F1	・ プレキャスト コンクリート 下地	改修標準仕様書3. 5. 2 (3) (a) (b) (種類)		・ ルーフィング 類の製造所の仕様 ・	※ルーフィング 類の製造所の仕様 ・	・ 適用 する	・ SI-F2	・ プレキャスト コンクリート 下地	（厚さ）(mm) ・ 25 ・ 50		・	・	・ 適用 する	・ SI-M1		改修標準仕様書3. 5. 2 (3) (a) (a) (種類)		・	・	・ 適用 する	・ SI-M2		（厚さ）(mm) ・ 25 ・ 50		・	・	・ 適用 する																												
種別	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填																																																																																																																																																																																				
・ A種	・ せっこうボード 種類（・ ） 厚さ（・ mm ※9.5mm） ・ 合板 材種（・ ） 厚さ（・ mm ※9mm）	・ 無し ・ 片面	グラスウール 厚さ mm																																																																																																																																																																																				
・ B種																																																																																																																																																																																							
※C種	防災シート																																																																																																																																																																																						
材質	仕上げ	塗装	設置箇所																																																																																																																																																																																				
※木製	※合板張り程度	・ 無し	・ かし																																																																																																																																																																																				
・	・	・ 片面	・ 図示による																																																																																																																																																																																				
改修 工法	新設 種別	施工 箇所	断熱材 [G]	仕上塗料 種類 使用量	高日射 反射率 防水 [G]	備考																																																																																																																																																																																	
・ M4C	・ C-1 ・ C-2 ・ C-3 ・ C-4			・ A7A7A7A7- フィング 類の 製造所の 仕様 ・	※A7A7A7A7- フィング 類の 製造所の 仕様 ・	・ 適用 する																																																																																																																																																																																	
・ M3D ・ P0D	・ D-1 ・ D-2			・ A7A7A7A7- フィング 類の 製造所の 仕様 ・	※A7A7A7A7- フィング 類の 製造所の 仕様 ・	・ 適用 する																																																																																																																																																																																	
・ P0D1 ・ M3D1 ・ M4D1	・ D1-1 ・ D1-2	改修標準仕様書3. 3. 2 (9)	・ A7A7A7A7- フィング 類の 製造所の 仕様 ・	※A7A7A7A7- フィング 類の 製造所の 仕様 ・	・ 適用 する	・ 図示による																																																																																																																																																																																	
改修 工法	新設 種別	施工 箇所	断熱材 [G]	仕上塗料 種類 使用量	高日射 反射率 防水 [G]	備考																																																																																																																																																																																	
・ S-F1				・ ルーフィング 類の製造所の仕様 ・	※ルーフィング 類の製造所の仕様 ・	・ 適用 する																																																																																																																																																																																	
・ S-F2				—	—	・ 適用 する																																																																																																																																																																																	
・ S-M1				・ ルーフィング 類の製造所の仕様 ・	※ルーフィング 類の製造所の仕様 ・	・ 適用 する																																																																																																																																																																																	
○ S-M2				—	—	・ 適用 する																																																																																																																																																																																	
・ S-F1	・ プレキャスト コンクリート 下地			・ ルーフィング 類の製造所の仕様 ・	※ルーフィング 類の製造所の仕様 ・	・ 適用 する																																																																																																																																																																																	
・ S-F2	・ プレキャスト コンクリート 下地			—	—	・ 適用 する																																																																																																																																																																																	
・ S-M1				・ ルーフィング 類の製造所の仕様 ・	※ルーフィング 類の製造所の仕様 ・	・ 適用 する																																																																																																																																																																																	
・ S-M2				—	—	・ 適用 する																																																																																																																																																																																	
・ SI-F1	・ プレキャスト コンクリート 下地	改修標準仕様書3. 5. 2 (3) (a) (b) (種類)		・ ルーフィング 類の製造所の仕様 ・	※ルーフィング 類の製造所の仕様 ・	・ 適用 する																																																																																																																																																																																	
・ SI-F2	・ プレキャスト コンクリート 下地	（厚さ）(mm) ・ 25 ・ 50		・	・	・ 適用 する																																																																																																																																																																																	
・ SI-M1		改修標準仕様書3. 5. 2 (3) (a) (a) (種類)		・	・	・ 適用 する																																																																																																																																																																																	
・ SI-M2		（厚さ）(mm) ・ 25 ・ 50		・	・	・ 適用 する																																																																																																																																																																																	
○ 他工事又は他工種との取合い	○ 埋設配管・配線および鉄筋調査	工事区分表による。これにより難い場合は監督職員と協議する。	あと施工アンカー工事 6章および8章による	コア抜き、はつり工事等	○ 既存資料調査	○ 探査機（電磁波レーダー法又は電磁誘導法）による探査	配管・配線等の位置の墨出しを行う範囲 ※図示による	・ 放射線透過試験	労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規則」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、次による。	(1) 作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。	(2) 放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。	(3) 露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。	(4) 付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。	(5) 躯体の墨出しは、表裏でズレがないように措置を講ずる。	撮影枚数 枚	フィルムサイズ _____	コンクリート厚さ _____ cm	・ 既存躯体に穿孔する場合に、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いる。	○ 降雨等に対する養生方法（とい共）	○ 改修工法の種類及び工程	○ 既存防水の処理	○ 既存下地の処理	・ アスファルト防水	養生方法等	・ 既存部分の養生																																																																																																																																																														
2 仮設工事	○ 騒音・粉じん等の対策	○ 足場等	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○ 設置する（設置範囲） ○ 設置しない	○

[illegible]

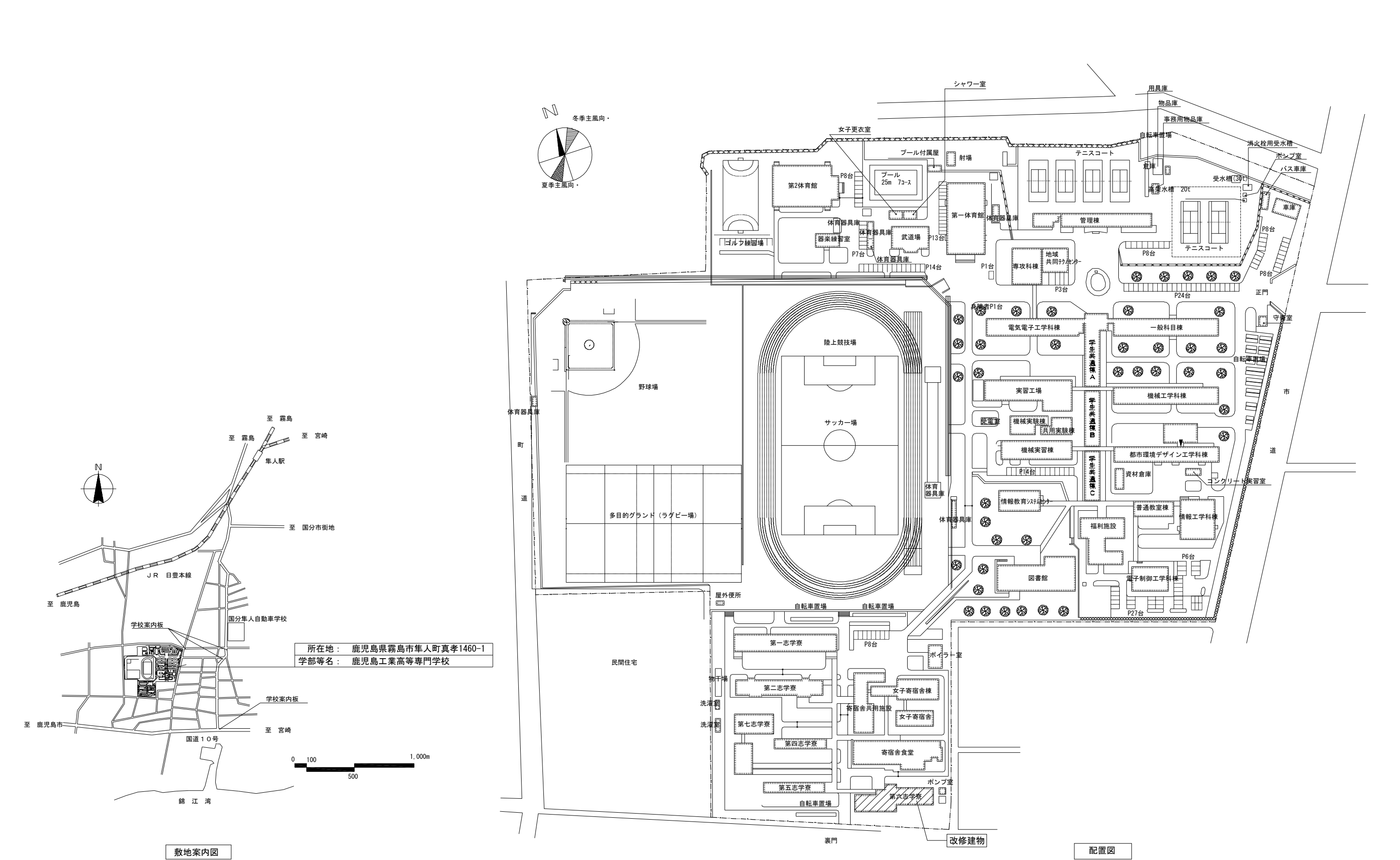
[illegible]

	<div><div>・ 木製建具</div><div>建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※改修標準仕様書5.7.2(2)(i)(a)による ・ 表面材の合板の種類 <table><thead><tr><th>合板の種類</th><th>規格等</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・普通合板 G</td><td>表面の樹種 ・ 板面の品質（※広葉樹1等 ・ ） 接着の程度（・1類 ・2類）</td><td></td></tr><tr><td>・天然木化粧合板 G</td><td>樹種名（ ） 接着の程度（・1類 ・2類）</td><td></td></tr><tr><td>・特殊加工化粧合板 G</td><td>化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・ 接着の程度（・1類 ・2類）</td><td></td></tr><tr><td>・MDF G</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> 表面板の厚さ ※改修標準仕様書表5.7.6による ・ 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・適用しない ・適用する ・かまち戸 かまち樹種（ ） 樹板樹種（ ） 見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・ ・ふすま 張りの種別（・Ⅰ型 ・Ⅱ型） 上張り（押入等の裏側以外） ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリヤー塗装） 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・ ・戸ぶすま 表面板の仕上 ・建具表による 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・ ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・ 枠、くつずりの材料 ・建具表による ・</div></div>	合板の種類	規格等	備考	・普通合板 G	表面の樹種 ・ 板面の品質（※広葉樹1等 ・ ） 接着の程度（・1類 ・2類）		・天然木化粧合板 G	樹種名（ ） 接着の程度（・1類 ・2類）		・特殊加工化粧合板 G	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・ 接着の程度（・1類 ・2類）		・MDF G		
合板の種類	規格等	備考														
・普通合板 G	表面の樹種 ・ 板面の品質（※広葉樹1等 ・ ） 接着の程度（・1類 ・2類）															
・天然木化粧合板 G	樹種名（ ） 接着の程度（・1類 ・2類）															
・特殊加工化粧合板 G	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・ 接着の程度（・1類 ・2類）															
・MDF G																

	・ 造作用集成材 G	<div>・ JAS 1083（製材）以外の製材</div> <table><tr><th>施工箇所</th><th>寸法（mm）</th><th>材面の品質</th><th>防虫処理</th><th>含水率</th><th>間伐材等の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td>（ ） 造作材の場合（※A種・B種）</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>※A種・B種 ・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>（ ） 造作材の場合（※A種・B種）</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>※A種・B種 ・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>（ ） 造作材の場合（※A種・B種）</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>※A種・B種 ・</td><td>・</td></tr></table> <div>・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 [6.5.2]</div> <table><tr><th>施工箇所</th><th>品名</th><th>樹種名</th><th>寸法（mm）</th><th>見付け材面</th><th>見付け材面の品質</th><th>間伐材等の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※1等・2等 ※1等・2等 ※1等・2等</td><td>・ ・ ・</td></tr></table> <div>・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材</div> <table><tr><th>施工箇所</th><th>品名</th><th>樹種名</th><th>寸法（mm）</th><th>化粧薄板の厚さ（mm）</th><th>見付け材面</th><th>見付け材面の品質</th><th>間伐材等の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td>化粧薄板：芯材：化粧薄板：芯材：化粧薄板：芯材：</td><td></td><td></td><td></td><td>※1等・2等 ※1等・2等 ※1等・2等</td><td>・ ・ ・</td></tr></table> <div>・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材</div> <table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法（mm）</th><th>見付け材面の品質</th><th>含水率</th><th>間伐材等の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※15%以下 ・ ※15%以下 ・ ※15%以下 ・</td><td>・ ・ ・</td></tr></table> <div>・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材</div> <table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法（mm）</th><th>化粧薄板の厚さ（mm）</th><th>見付け材面の品質</th><th>含水率</th><th>間伐材等の適用</th></tr><tr><td></td><td>化粧薄板：芯材：化粧薄板：芯材：化粧薄板：芯材：</td><td></td><td></td><td></td><td>※15%以下 ・ ※15%以下 ・ ※15%以下 ・</td><td>・ ・ ・ ・</td></tr></table>	施工箇所	寸法（mm）	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用			（ ） 造作材の場合（※A種・B種）	・適用する ・適用しない	※A種・B種 ・	・			（ ） 造作材の場合（※A種・B種）	・適用する ・適用しない	※A種・B種 ・	・			（ ） 造作材の場合（※A種・B種）	・適用する ・適用しない	※A種・B種 ・	・	施工箇所	品名	樹種名	寸法（mm）	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用						※1等・2等 ※1等・2等 ※1等・2等	・ ・ ・	施工箇所	品名	樹種名	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用			化粧薄板：芯材：化粧薄板：芯材：化粧薄板：芯材：				※1等・2等 ※1等・2等 ※1等・2等	・ ・ ・	施工箇所	樹種	寸法（mm）	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用					※15%以下 ・ ※15%以下 ・ ※15%以下 ・	・ ・ ・	施工箇所	樹種	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用		化粧薄板：芯材：化粧薄板：芯材：化粧薄板：芯材：				※15%以下 ・ ※15%以下 ・ ※15%以下 ・	・ ・ ・ ・	・ 造作用単板積層材 G	<div>・ JAS 0701に基づく造作用単板積層材 [6.5.2]</div> <table><tr><th>施工箇所</th><th>品名</th><th>寸法（mm）</th><th>表面の品質</th><th>防虫処理</th><th>間伐材等の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・適用する ・適用しない</td><td>・</td></tr></table> <div>・JAS 0701以外の造作用単板積層材</div> <table><tr><th>施工箇所</th><th>寸法（mm）</th><th>表面の品質</th><th>含水率</th><th>防虫処理</th><th>間伐材等の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>※14%以下 ・</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>・</td></tr></table> <div>・JAS 3079に基づく直交集成材</div> <table><tr><th>施工箇所</th><th>品名</th><th>強度等級</th><th>種別</th><th>接着性能（使用環境）</th><th>樹種名</th><th>寸法（mm）</th><th>間伐材等の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・</td></tr></table> <div>・「合板の日本農林規格」による普通合板 G [6.5.2]</div> <table><tr><th>施工箇所</th><th>厚さ（mm）</th><th>単板の樹種名</th><th>接着の程度</th><th>板面の品質</th><th>防虫処理</th><th>間伐材等の適用</th></tr><tr><td></td><td>※5.5 ・</td><td></td><td>※1類・2類</td><td>広葉樹 ※2等以上 ・1等針葉樹 ※C-D以上 ・</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>・</td></tr></table> <div>・「合板の日本農林規格」による構造用合板 G</div> <table><tr><th>施工箇所</th><th>品名</th><th>等級</th><th>単板の樹種名</th><th>接着の程度</th><th>板面の品質</th><th>厚さ（mm）</th><th>防虫処理</th><th>保存等級</th><th>強度等級</th><th>間伐材等の適用</th></tr><tr><td></td><td>・</td><td>※2級以上 ・1級</td><td></td><td>※1類・特類</td><td>※C-D以上 ・</td><td>※12以上 ・</td><td>・適用する ・適用しない</td><td></td><td>・適用する（ ） ・適用しない</td><td>・ ・ ・</td></tr></table>	施工箇所	品名	寸法（mm）	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用					・適用する ・適用しない	・	施工箇所	寸法（mm）	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用				※14%以下 ・	・適用する ・適用しない	・	施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能（使用環境）	樹種名	寸法（mm）	間伐材等の適用								・	施工箇所	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用		※5.5 ・		※1類・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用する ・適用しない	・	施工箇所	品名	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ（mm）	防虫処理	保存等級	強度等級	間伐材等の適用		・	※2級以上 ・1級		※1類・特類	※C-D以上 ・	※12以上 ・	・適用する ・適用しない		・適用する（ ） ・適用しない	・ ・ ・	・ 接合具等	<div>・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 G</div> <table><tr><th>施工箇所</th><th>品名</th><th>厚さ（mm）</th><th>単板の樹種名</th><th>接着の程度</th><th>防虫処理</th><th>間伐材等の適用</th></tr><tr><td></td><td>・</td><td></td><td></td><td>・1類・特類 ・適用する ・適用しない</td><td></td><td></td></tr></table> <div>・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 G</div> <table><tr><th>施工箇所</th><th>化粧板に使用する単板の樹種名</th><th>厚さ（mm）</th><th>接着の程度</th><th>防虫処理</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・1類・2類</td><td>・適用する ・適用しない</td></tr></table> <div>・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 G</div> <table><tr><th>施工箇所</th><th>厚さ（mm）</th><th>接着の程度</th><th>単板の樹種名</th><th>化粧加工の方法</th><th>防虫処理</th></tr><tr><td></td><td>・1類・2類</td><td></td><td></td><td></td><td>・適用する ・適用しない</td></tr></table> <div>・パーティクルボード G</div> <table><tr><th>施工箇所</th><th>表裏面の状態による区分</th><th>曲げ強さによる区分</th><th>耐水性による区分</th><th>難燃性による区分</th><th>厚さ（mm）</th></tr><tr><td></td><td></td><td>※I3タイプ ・</td><td>※P又はM ・</td><td></td><td>※15 ・</td></tr></table> <div>・JAS 0360に基づく構造用パネル</div> <table><tr><th>施工箇所</th><th>寸法（mm）</th></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table> <div>・MDF G</div> <table><tr><th>施工箇所</th><th>厚さ（mm）</th><th>表裏面の状態による区分</th><th>曲げ強さによる区分</th><th>接着剤による区分</th><th>難燃性による区分</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	施工箇所	品名	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用		・			・1類・特類 ・適用する ・適用しない			施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ（mm）	接着の程度	防虫処理				・1類・2類	・適用する ・適用しない	施工箇所	厚さ（mm）	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理		・1類・2類				・適用する ・適用しない	施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ（mm）			※I3タイプ ・	※P又はM ・		※15 ・	施工箇所	寸法（mm）							施工箇所	厚さ（mm）	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																			・ 接合具等	<div>造作材の化粧面の釘打ち</div> <div>※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し</div> <div>諸金物</div> <div>※かすがい、座金、箱金物、短冊金物（改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度） ・（形状： 寸法： 材質： ）</div> <div>接着剤のホルムアルデヒド放散量</div> <div>※F☆☆☆☆ ・</div> <div>・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 [6.5.5]</div> <table><tr><th>適用部材</th><th>保存処理性能区分</th></tr><tr><td>・K2 ・K3 ・K4</td><td></td></tr></table> <div>・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理</div> <table><tr><th>適用部材</th><th>処理の方法</th><th>薬剤の種類</th></tr><tr><td>※薬剤の製造所の仕様による ・ ・ ・</td><td></td><td>※JIS K 1571に適合又は同等品</td></tr></table> <div>・薬剤の接着材への混入による防腐・防蟻処理</div> <div>適用部位（ ）</div> <div>・合板等の加圧注入処理等の適用</div> <div>適用部位（ ）</div> <div>・間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）</div> <div>※杉又は松 ・</div> <div>・床組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）</div> <div>※杉又は松 ・</div> <div>・窓、出入口その他 [6.5.7]</div> <div>・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）</div> <div>※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉 ・</div>	適用部材	保存処理性能区分	・K2 ・K3 ・K4		適用部材	処理の方法	薬剤の種類	※薬剤の製造所の仕様による ・ ・ ・		※JIS K 1571に適合又は同等品	○ 軽量鉄骨天井下地	<div>野縁等の種類 [6.6.2～4]</div> <div>屋外 ※25形 ・19形 屋内 ※19形 ・25形</div> <div>屋外の形式及び寸法</div> <div>野縁受、つりボルト及びビーンサートの間隔</div> <div>・図示による ・</div> <div>周辺部の端からの間隔</div> <div>・図示による ・</div> <div>野縁の間隔</div> <div>・図示による ・</div> <div>既存の埋込みインサート</div> <div>○使用する ・使用しない</div> <div>あと施工アンカーの施工後の確認試験</div> <div>○行う</div> <div>試験箇所数</div> <div>※屋内の場合、当該階において3箇所 ・（ ）箇所</div> <div>引張試験にて確認する強度</div> <div>※つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m²以内の天井の場合は400N程度 ・（ ）N</div> <div>・行わない</div> <div>補強方法等</div> <div>・つりボルトの間隔が900mmを超える場合 （補強方法 ※図示による ・ ）</div> <div>・天井のふところ高が3.0mを超える場合 （補強方法 ※図示による ・ ）</div> <div>・天井下地材における耐震性を考慮した補強 （補強箇所 ※図示による ・ ） （補強方法 ※図示による ・ ）</div> <div>耐震性能</div> <div>・軽量鉄骨天井下地（特定天井）</div> <div>範囲</div> <div>・図示による ・</div> <div>特定天井の設計用震度及びクリアランスは以下による。 特定天井告示（平成25年国土交通省告示771号）による 特定天井の設計用震度 検証ルート（ ）</div> <table><tr><th>室名</th><th>階</th><th>設計用水平震度（K）</th><th>設計用鉛直震度（K）</th><th>クリアランス（mm）</th></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table>	室名	階	設計用水平震度（K）	設計用鉛直震度（K）	クリアランス（mm）		・	・	・	・		・	・	・	・		・	・	・	・	○ 軽量鉄骨壁下地	<div>スタッド、ランナの種類 [6.7.3.4] [表6.7.1]</div> <div>※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類</div> <div>・図示による ・</div> <div>スタッドの高さが5.0mを超える場合</div> <div>※図示による ・</div> <div>出入口及びこれに準ずる開口部の補強</div> <div>※改修標準仕様書6.7.4(5)による ・</div>	○ ビニル床シート G	<div>種類（ ） 性能（ ） 厚さ（mm）（ ）</div> <div>・帯電防止床シート 種類（ ） 性能（ ） 厚さ（mm）（ ）</div> <div>・帯電防止床タイル 種類（ ） 性能（ ） 寸法（mm）（ ）×（ ） 厚さ（mm）（ ）</div> <div>・視覚障害者用床タイル 視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。 種類（ ） 形状（ ）</div> <div>・耐動荷重性床シート 種類（ ） 厚さ（mm）（ ）</div> <div>・防滑性床シート 種類（ ） 厚さ（mm）（ ）</div> <div>・防滑性床タイル 種類（ ） 寸法（mm）（ ）×（ ） 厚さ（mm）（ ）</div>	○ ビニル床タイル G	<div>野縁等の種類 [6.8.2]</div> <div>屋外 ※25形 ・19形 屋内 ※19形 ・25形</div> <div>屋外の形式及び寸法</div> <div>野縁受、つりボルト及びビーンサートの間隔</div> <div>・図示による ・</div> <div>周辺部の端からの間隔</div> <div>・図示による ・</div> <div>野縁の間隔</div> <div>・図示による ・</div> <div>既存の埋込みインサート</div> <div>○使用する ・使用しない</div> <div>あと施工アンカーの施工後の確認試験</div> <div>○行う</div> <div>試験箇所数</div> <div>※屋内の場合、当該階において3箇所 ・（ ）箇所</div> <div>引張試験にて確認する強度</div> <div>※つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m²以内の天井の場合は400N程度 ・（ ）N</div> <div>・行わない</div> <div>補強方法等</div> <div>・つりボルトの間隔が900mmを超える場合 （補強方法 ※図示による ・ ）</div> <div>・天井のふところ高が3.0mを超える場合 （補強方法 ※図示による ・ ）</div> <div>・天井下地材における耐震性を考慮した補強 （補強箇所 ※図示による ・ ） （補強方法 ※図示による ・ ）</div> <div>耐震性能</div> <div>・軽量鉄骨天井下地（特定天井）</div> <div>範囲</div> <div>・図示による ・</div> <div>特定天井の設計用震度及びクリアランスは以下による。 特定天井告示（平成25年国土交通省告示771号）による 特定天井の設計用震度 検証ルート（ ）</div> <table><tr><th>室名</th><th>階</th><th>設計用水平震度（K）</th><th>設計用鉛直震度（K）</th><th>クリアランス（mm）</th></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table>	室名	階	設計用水平震度（K）	設計用鉛直震度（K）	クリアランス（mm）		・	・	・	・		・	・	・	・		・	・	・	・	○ ビニル幅木	<div>材質の種類 [6.8.2]</div> <div>○軟質 ・硬質 高さ（mm） ※60 ・75 ・100 厚さ（mm） ※1.5以上 ・</div> <div>種類 [6.8.2]</div> <div>・単層品 ・積層品 色柄（ ） 厚さ（mm） ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0 寸法（mm）（ ）×（ ）</div> <div>・縦じゅうたん [6.9.2.3] [表6.9.1]</div> <table><tr><th>縦り方</th><th>バイル形状</th></tr><tr><td>・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット</td><td>・カットバイル ・ループバイル ・カット/ループバイル</td></tr></table> <div>色柄</div> <div>※模様のない無地 ・</div> <div>バイル系の縦絨種等</div> <div>※無地の縦りじゅうたんの種別（・A種 ・B種 ・C種） ・</div> <div>帯電性</div> <div>・適用する ・適用しない</div> <div>縦じゅうたんの接合方法</div> <div>※ヒートボンド工法 ・つづり縫い</div> <div>下敷き材</div> <div>※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種1号 呼び厚さ 8mm ・</div> <div>・タフテッドカーペット</div> <table><tr><th>バイル形状</th><th>h[*] 巾長さ（mm）</th><th>工法</th><th>帯電性</th><th>備考</th></tr><tr><td>・カットバイル ・ループバイル ・カット、ループ併用</td><td>・5～7 ・ ・4～6 ・</td><td>・全面接着工法 ・グリッド工法</td><td>・適用する ・適用しない</td><td></td></tr></table> <div>下敷き材（グリッパー工法の場合）</div> <div>※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm</div> <div>タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量</div> <div>※F☆☆☆☆ ・</div> <div>・タイルカーペット</div> <table><tr><th>バイルの形状</th><th>種類</th><th>施工箇所</th><th>寸法（mm）</th><th>総厚さ（mm）</th><th>備考</th></tr><tr><td>※ループバイル</td><td>※第一種 ・第二種</td><td></td><td>※500×500 ・</td><td>※6.5 ・</td><td></td></tr><tr><td>・カットバイル</td><td>・第一種 ・第二種</td><td></td><td>※500×500 ・</td><td>※6.5 ・</td><td></td></tr><tr><td>・カット・ループ併用</td><td>・第一種 ・第二種</td><td></td><td>※500×500 ・</td><td>※6.5 ・</td><td></td></tr></table> <div>タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量</div> <div>※F☆☆☆☆ ・</div> <div>タイルカーペットの敷き方</div> <div>平場</div> <div>※市松敷き ・模様流し ・</div> <div>階段部分</div> <div>※模様流し ・市松敷き ・</div> <div>見切り、押え金物</div> <div>材質（ ） 種類（ ） 形状等 ※図示による ・</div> <div>・合成樹脂塗床 [6.10.2.3]</div> <table><tr><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>工法</th><th>仕上りの種類</th></tr><tr><td>・厚膜型塗床材 弾性かつ樹脂系塗床</td><td></td><td></td><td>※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ</td></tr><tr><td>・厚膜型塗床材 1[※] 樹脂系塗床</td><td></td><td>・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂砂外工法</td><td>・平滑仕上げ ・防滑仕上げ</td></tr><tr><td>・薄膜型塗床材</td><td></td><td></td><td>※平滑仕上げ</td></tr></table> <div>塗床材のホルムアルデヒド放散量</div> <div>※F☆☆☆☆ ・</div> <div>・フローリング張り G [6.11.2～6]</div> <div>フローリングのホルムアルデヒドの放散量等</div> <div>※改修標準仕様書6.11.2(2)による</div> <div>各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量</div> <div>※F☆☆☆☆ ・</div> <div>・単層フローリング（フローリングボード1等）</div> <div>工法</div> <div>・釘留め工法（・根太張り ・直張り） ・接着工法</div> <div>樹種</div> <div>※なら ・</div> <div>間伐材等の適用</div> <div>・適用する ・適用しない</div>	縦り方	バイル形状	・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットバイル ・ループバイル ・カット/ループバイル	バイル形状	h [*] 巾長さ（mm）	工法	帯電性	備考	・カットバイル ・ループバイル ・カット、ループ併用	・5～7 ・ ・4～6 ・	・全面接着工法 ・グリッド工法	・適用する ・適用しない		バイルの形状	種類	施工箇所	寸法（mm）	総厚さ（mm）	備考	※ループバイル	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・		・カットバイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・		・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・		種別	施工箇所	工法	仕上りの種類	・厚膜型塗床材 弾性かつ樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ	・厚膜型塗床材 1 [※] 樹脂系塗床		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂砂外工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ	・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ
	施工箇所	寸法（mm）	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			（ ） 造作材の場合（※A種・B種）	・適用する ・適用しない	※A種・B種 ・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			（ ） 造作材の場合（※A種・B種）	・適用する ・適用しない	※A種・B種 ・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			（ ） 造作材の場合（※A種・B種）	・適用する ・適用しない	※A種・B種 ・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	施工箇所	品名	樹種名	寸法（mm）	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
						※1等・2等 ※1等・2等 ※1等・2等	・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	施工箇所	品名	樹種名	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			化粧薄板：芯材：化粧薄板：芯材：化粧薄板：芯材：				※1等・2等 ※1等・2等 ※1等・2等	・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	施工箇所	樹種	寸法（mm）	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
				※15%以下 ・ ※15%以下 ・ ※15%以下 ・	・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	樹種	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	化粧薄板：芯材：化粧薄板：芯材：化粧薄板：芯材：				※15%以下 ・ ※15%以下 ・ ※15%以下 ・	・ ・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	品名	寸法（mm）	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				・適用する ・適用しない	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	寸法（mm）	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			※14%以下 ・	・適用する ・適用しない	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能（使用環境）	樹種名	寸法（mm）	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
							・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	※5.5 ・		※1類・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用する ・適用しない	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	品名	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ（mm）	防虫処理	保存等級	強度等級	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	・	※2級以上 ・1級		※1類・特類	※C-D以上 ・	※12以上 ・	・適用する ・適用しない		・適用する（ ） ・適用しない	・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	品名	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	・			・1類・特類 ・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ（mm）	接着の程度	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			・1類・2類	・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	厚さ（mm）	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・1類・2類				・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ（mm）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		※I3タイプ ・	※P又はM ・		※15 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	寸法（mm）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
施工箇所	厚さ（mm）	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
適用部材	保存処理性能区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
※薬剤の製造所の仕様による ・ ・ ・		※JIS K 1571に適合又は同等品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
室名	階	設計用水平震度（K）	設計用鉛直震度（K）	クリアランス（mm）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
室名	階	設計用水平震度（K）	設計用鉛直震度（K）	クリアランス（mm）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
縦り方	バイル形状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットバイル ・ループバイル ・カット/ループバイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
バイル形状	h [*] 巾長さ（mm）	工法	帯電性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・カットバイル ・ループバイル ・カット、ループ併用	・5～7 ・ ・4～6 ・	・全面接着工法 ・グリッド工法	・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
バイルの形状	種類	施工箇所	寸法（mm）	総厚さ（mm）	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
※ループバイル	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・カットバイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
種別	施工箇所	工法	仕上りの種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・厚膜型塗床材 弾性かつ樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・厚膜型塗床材 1 [※] 樹脂系塗床		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂砂外工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	図面番号																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	建築改修工事特記仕様書-6	A1 NON A3 NON	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	T-06																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

[illegible]

8-1 鉄筋工事	・ 既存部分の処理等	既存構造体の撤去 撤去範囲 ・ 図示による () ・ はつり出した鉄筋及び鉄骨の処理 ・ 図示による () ・ 既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度 ・ 既存柱、梁面 ・ 打継ぎ面の15～30%程度に、平均深さ 2～8mm (最大7mm) 程度の凹凸を、全体にわたってつける。 ・ ・ 既存壁 ・ 打継ぎ面の10～15%程度に、平均深さ 2～5mm (最大7mm) 程度の凹凸を、全体にわたってつける。 ・ 既存枠の撤去等 ・ 撤去範囲及び撤去方法 ・ 図示による () ・ ・ 枕頭部の処理 ・ 図示による () ・ ・ 既存杭の補強 ・ 図示による () ・ ・ 既存杭の健全性を確認する試験 ・ 図示による () ・	・ 圧接完了後の試験	超音波探傷試験 ※行う (全圧接部)	[8. 3. 8]	8-2 コンクリート工事	・ コンクリートの種類	コンクリートの類別 ※Ⅰ類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・Ⅱ類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)	[8. 1. 3]	8-3 鉄骨工事	・ 構造体コンクリートの仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ	[8. 1. 4]	
	・ 鉄筋	鉄筋の種類等	[8. 2. 1]	・ 機械式継手	適用箇所 ・ 図示による () ・ H12建告第1463号に適合する性能 ・ A級 ・ 種類 ・ ねじ式鉄筋継手 充填方式 ・ 無機グラウト方式 ・有機グラウト方式 ・ ・ 端部ねじ加工継手 ・ モルタル充填式継手 ・ 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・ 外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・ 評定等の評価内容による ・ 試験方法 ・ 評定等の評価内容による ・ ・ 超音波測定試験 試験対象 ・ 抜取り ロット ・ 1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする。 ・ 試験の箇所数 1ロットに対して () 箇所 ・ 全数 試験項目 ※挿入長さ 試験方法 ※JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準) による 不合格となった場合の措置 ・		[8. 4. 2]	・ セメント	種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 (普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352 J/g 以下、かつ28日目で 402 J/g 以下のものとする) 適用箇所 () ・ 高炉セメントB種 [G] 適用箇所 () ・ フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所 () ・		[8. 2. 5]	・ 型枠	せき板の材料及び厚さ ・ 合板 (※12mm) [G] ・ ・ 断熱材を兼用した型枠材 使用箇所 ・ 図示による () ・ ・ MCR工法用シート 適用箇所 ・ 図示による () ・ 打増し厚さ ・ 20mm ・ 打増し範囲 ・ 図示による () ・ スリーブの材種・規格等 ・ 図示による () ・	[8. 7. 8]
	・ 溶接金網	鉄線の形状等	[8. 2. 2]	・ 鉄筋の継手	鉄筋の継手の方法等		[8. 3. 4][8. 4. 2. 3]	・ 骨 材	アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B		[8. 2. 5]	・ 型枠の加工及び組立	シアコネクタをセパレーターとして使用 使用箇所 ・ 図示による () ・	[8. 7. 8]
	・ 鉄筋の定着	鉄筋の定着長さ ※改修標準仕様書表8. 3. 4による ・ 図示による () ・ 機械式定着工法 ・ 適用する 適用箇所 ・ 図示による () ・ 種類 ・ 摩擦圧接接合 ・ 蝶合グラウト固定 ・ 嵌合グラウト固定 ・ 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による	[8. 3. 4]	・ 溶接継手	適用箇所 ・ 図示による () ・ H12建告第1463号に適合する性能 ・ A級 ・ 溶接継手の工法 ・ 図示による () ・ 施工完了後の継手部の試験 ・ 外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・ 評定等の評価内容による ・ 試験方法 ・ 評定等の評価内容による ・ ・ 超音波測定試験 試験対象 ・ 抜取り ロット ・ 1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする。 ・ 試験の箇所数 1ロットに対して () 箇所 ・ 全数 試験項目 ※内部欠陥の検出 試験方法 ※JIS Z 3063 (鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準) による 不合格となった場合の措置 ・		[8. 4. 3]	・ マスコンクリート	適用箇所 ・ 図示による () ・ セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 中床熱ポルトランドセメント ・ 低熱ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 [G] ・ フライアッシュセメントB種 [G] ・ シリカセメント ・ 混和材料 ・ 混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6. 13. 2(2) (7)による ・ ・ 混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6. 13. 2(2) (7)による ・ スランブ ※15cm ・ 構造体強度補正值 ※標準仕様書表6. 13. 1による ・		[8. 2. 5]	・ コンクリートの打込み工法等	コンクリートの打設工法の種類	[8. 21. 8][8. 23. 5～7]
8-1 鉄筋工事	・ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網を含む)	最小かぶり厚さ ※改修標準仕様書表8. 3. 6による ・ 図示による () ・ ・ 軽量コンクリートを適用する場合 ・ あり 適用箇所 () ・ 最小かぶり厚さに加える厚さ () mm ・ 耐久性上不利な箇所がある場合 (塩害等を受けるおそれのある部分等) ・ あり 適用箇所 () ・ 最小かぶり厚さに加える厚さ () mm ・	[8. 3. 5]	・ 割製補強筋	形状 ・ スパイラル筋 ・ 種類の記号 ・ SR235またはSWM-P ・ 呼び径、曲げ直径、ピッチ ・ 図示による	[8. 21. 6][8. 22. 7]	・ 無筋コンクリート	コンクリートの種類 ※普通コンクリート ・ 設計基準強度 ※18N/mm ² ・ スランブ ※15cm又は18cm ・ セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 [G] ・ フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所 ・ 図示による () ・	[8. 11. 1]	8-3 鉄骨工事	・ 鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 () グレード以上 ・ 監督職員の承諾する工場	[8. 1. 5]	
							・ 鉄骨製作工場における施工管理技術者	※配置する ・ 配置しない	[8. 1. 6]		・ 鋼材	種類等	[8. 2. 8]	
								・ 流動化コンクリート	適用箇所 ・ 図示による () ・		(6. 15. 1)	・ 高力ボルト	高力ボルトの種類 ・ トルシア形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ・ ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による () ・ 摩擦面の処理方法 ※改修標準仕様書8. 14. 2(1)による ・ すべり試験の種類 ・ すべり係数試験 ・ すべり耐力試験 すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8. 14. 2(1) (4)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。	[8. 2. 9][8. 13. 2][8. 14. 2]
								・ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地	打継ぎの位置 ・ 図示による () ・ 目地寸法 ・ 標準仕様書 9. 7. 3(1) (7)による ・ 図示による () ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法 ・ 図示による () ・		(6. 6. 4) (6. 8. 1) (9. 7. 3) [3. 7. 3]			
年 度	設計年月	設計業務名		工事名称		図面名称		縮尺		建築士法第20条第 1 項に基づく表示		図面番号		
令和 5 年	令和 6 年 5 月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修 (建築) (設備) 設計業務		鹿児島工業高専第六志学寮改修工事		建築改修工事特記仕様書-8		A1 NON A3 NON		株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明		T-08		



年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	案内・構内配置図	A1 1/1000 A3 1/2000	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	A-01

共通事項																																						
施号凡例															撤去、残置、既存利用凡例										防耐火仕様													
GB-R9.5	普通石膏ボード9.5mm (QM-9828)	RC(D)	コンクリート直貼り												～(残)	既存のまま残置を示す					面積区画、穿穴区画																	
GR-R12.5	普通石膏ボード12.5mm (NM-8619)	RC(※)	新設コンクリート打放し面 ※()内表記は打放し種別を示す												～(撤)	撤去を示す					鉄筋コンクリート造(平成12建設省告示第1399号)																	
GB-S9.5	シーリング石膏ボード9.5mm (QM-0898)	RC(XP)	既存ポリスチレンフォーム板打込み												～(取)	既存残置物利用を示す					防火上必要な間仕切り壁																	
GB-NC9.5	不燃積層石膏ボード(トラバーチン)9.5mm (NM-1864)	RC(FG)	新設吹き付け硬質ウレタンフォーム造												～(新)	新設を示す					鉄筋コンクリート造(平成12建設省告示第1399号)																	
GR-D9.5	化粧石膏ボード(トラバーチン)9.5 (OM-0524)	G-1	セメント系下地調整塗材(G-1)												撤去凡例										(GS)GR-F12.5x2 両面 (FP060NP-0174)													
GB-F12.5	強化石膏ボード 12.5mm (NM-8615)	D-2	セメント系下地調整塗材(D-2)																					LGS(千鳥配置)+GB-F12.5x2 両面 (FP060NP-0175)														
GB-F15	強化石膏ボード 15mm	CM-1	セメント系下地調整塗材(CM-1)												A: 仕上撤去 A(図示): 図示部分の仕上撤去	特記事項																						
化粧カルシウム板6mm (NM-0458)※目隠し貼り+目地底テープ			CM-2	セメント系下地調整塗材(CM-2)																																		
DK9	ロックウール吸音板(300x600フラットタイプ)9mm (NM-8599)	M	モルタル塗(硬質骨材入)												B: 基材、仕上撤去 R(図示): 図示部分の基材、仕上撤去	・防火上必要な間仕切り壁はスラブ又は梁形まで建てる																						
DR12	ロックウール化粧吸音板12mm	タイル(消)	消臭調湿タイル												D: 仕上取外し(移設又は改修後に再設置等)	・内装仕上下地、造作家具等の材料は全てF☆☆☆☆または告示対象外のものとする																						
DR15	ロックウール化粧吸音板15mm	VB	ビニル巾木												E(※): 下地調整 ※RA、RB、RC種別を示す E(※)(図示): 図示部分の下地調整	・建築材料中にクロロピリホスの使用は無いものとする																						
MD93	メラミン化粧板3mm	VB(S)	ビニルサワリ巾木												F: 既存補修、補修内容は図示による	・ステンレスの材質は 特記なき限りSUS304ヘアライン仕上とする																						
EP	合成樹脂エマルションペイント塗り	FS	ビニル床シート												G: 既存のまま	・コンクリート型を撤去する際、両面カッター入れを行う																						
EP-G	つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り	FS(WC)	ビニル床シート(抗菌、消臭性)												ト地調整種別は特記無き限りトとする										・タイル貼仕上撤去の場合基材の貼り付けモルタル共撤去とする													
SOP	合成樹脂鋼合ペイント塗り	FOA	OAフロア用ルースレイタイルt=5.0																						・モルタル、タイル等を撤去する場合は、既設部との取合部はカッター等により切断し、既設部に損傷を与えないようにする													
GW	グラスウール 24kg/m3 t50	FT	ビニル床タイル張り												・●後掲塗材(下地調整剤AS)の撤去は下地調整剤まで行うものとし工法は温式集塵装置付きグラインダー工法とする										・●後掲塗材(下地調整剤AS)の撤去箇所について施工観察を行い、施工計画書を作成し監督職員に提出すること。													
GW-R50	グラスウール化粧音ボード(厚手ガラスクロス)t=50 (NM-8610)	TC	タイルカーペット												・鉄鋼面の下地調整はRB種とする										(鋼メタルウ・ウオータークリーニング工法同等)													
XPS	押出法ポリスチレンフォーム	置床	断熱置き床												・金網めっき鋼面の下地調整はRB種とする										・複層塗材(下地調整剤AS)の撤去箇所について施工観察を行い、施工計画書を作成し監督職員に提出すること。													
RA種	下地調整RA種	OA	調整OAフロア モルタル充填型												・モルタル面の下地調整はRB種とする										・既存建物撤去材にアスベスト含有が確認できた場合は監督職員と協議し、適切に撤去、処分を行うこと													
RB種	下地調整RB種	防塵塗料塗	薄膜型水性アクリル樹脂系塗床0.4mm												・コンクリート面及びALCパネル面の下地調整はRB種とする										・内部躯体補修に関しては平面図、外部躯体補修に関しては立面図に記載する													
RC種	ト地調整RC種	GL工法	GL工法壁												・せつこうボード面及びその他ボード面のト地調整はRB種とする										・既存外壁劣化部塗装の除去はサンダー工法とする													
外部仕上表																																						
部位		仕上(既存)		措置	仕上(改修)		部位		仕上(既存)		措置	仕上(改修)		部位		仕上(既存)		措置	仕上(改修)		部位		仕上(既存)		措置	仕上(改修)												
屋根	平場	断熱保護AS防水	POS工法	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-M2)		ポーチ屋根	平場	シート防水	S4S工法	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-M2)		外壁	一般部、柱型	RC(A)+複層仕上塗材RE	E	劣化部補修+可とう形改修塗材E(新)		バルコニー	床	防水M金こて	F	劣化部補修+ウレタン塗膜防水(X-2)(新)																
	立上り	保護AS防水	G	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-M2)			立上り	シート防水		合成高分子系ルーフィングシート防水(S-M2)			床下換気孔	塩ビパイプ150φ(ステンレス製防虫網付)	G	高圧水洗浄			RC手摺壁	RC(A)+複層仕上塗材E	E	可とう形改修塗材E(新)																
	排水溝	PC既製品	C	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-M2)			立木	アルミ製 W65x70	D	アルミ製 W65x70(床)			床	100角タイル	G	高圧水洗浄			RC手摺立木	アルミ製 H=200	G	高圧水洗浄																
	物干場基礎	防水M素地	G	防水M(既)+ウレタン塗膜防水(X-2)(新)		配管立上	屋根	RC(A)+ウレタン塗膜防水(X-2)	E	ウレタン塗膜防水(X-2)(新)			階段	100角タイル、段鼻タイル	G	高圧水洗浄			手摺	アルミ製 H=1100	G	高圧水洗浄																
	機械基礎	防水M素地	G	防水M(既)+ウレタン塗膜防水(X-2)(新)			外壁	RC(A)+複層仕上塗材RE	E	劣化部補修+可とう形改修塗材E(新)			観ふき	SUS製マット枠1800x800 深溝側、排水管φ50	G	排水管共高圧水洗浄			軒裏	RC(A)+外装薄塗材E	E	外装薄塗材E(新)																
	立木	複層塗材RE	G	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-M2)(端部水切り)			ルーフドレン	屋根	鋼鉄製 笠型φ125	A	改修用ドレンφ125 SUS製ストレーナー付(新)			壁、柱	RC(A)+複層仕上塗材RE	E	劣化部補修+可とう形改修塗材E(新)		遊歩バルコニー	床	防水M金こて	F	劣化部補修+ウレタン塗膜防水(X-2)(新)															
PH屋根	物干場上屋	スチール製	C	ー		PH屋根	PH屋根	鋼鉄製 横型φ100	A	改修用ドレンφ100 SUS製ストレーナー付(新)			天井	LGSト地+●FKG+外装薄塗材E	B	LGSト地(既)+FKG(新)+外装薄塗材E(新)			RC手摺壁	RC(A)+複層仕上塗材E	E	可とう形改修塗材E(新)																
	平場	断熱保護AS防水	POS工法	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-M2)			バルコニー庇	鋼鉄製 笠型φ100、中継用φ100	A	改修用ドレンφ100 SUS製ストレーナー付(新)			床 路面、蹴上げ	防水M金こて 段鼻タイル	F	劣化部補修+高圧水洗浄			RC手摺立木	アルミ製 H=200	G	高圧水洗浄																
	立上り	保護AS防水	G	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-M2)			屋根	塩ビ製φ125	A	カラーVP管 φ100(新)			巾木	防水M金こて H=100	F	劣化部補修+高圧水洗浄			軒裏	RC(A)+外装薄塗材E	C	外装薄塗材E(新)																
PH屋根	高置水増基礎	防水M素地	G	防水M(既)+ウレタン塗膜防水(X-2)(新)		PH屋根 バルコニー庇	PH屋根 バルコニー庇	塩ビ製φ100	A	カラーVP管 φ100(新)			RC手摺壁	RC(A)+複層仕上塗材F	F	可とう形改修塗材F(新)			遊離ハッチ	既製遊離ハッチ	A	既存枠利用の上新設																
													段差	RC(A)+外装薄塗材F	F	外装薄塗材F(新)			タラップ	SUS製タラップ	B	高圧水洗浄																
内部仕上表																																						
内部仕上表(既存)															内部仕上表(改修)																							
階数	室番	室名	床レベル		床			巾木			壁			天井					備考 ※特記無き限り全て撤去	室番	室名	内装制限	床レベル		※特記無き限り下地は既存利用			巾木			※特記無き限り下地は既存利用					備考 ※特記無き限り新設		
			躯体	仕上	下地	仕上	措置	材質	高さ	措置	下地	基材	仕上	措置	下地	基材	仕上	天井高	措置				仕上	下地	仕上	材質	高さ	下地	基材	仕上	下地	基材	仕上	下地	基材	仕上	天井高	
1階	玄関	玄関	FL-250	FL-200	M	100角タイル	G	ー	ー	G	RC(A種)	ー	複層塗材E	E(RC)	LGS	GB-R9	DR12	2300	B	・SUS上り框(鉄) ・SUS三方枠(鉄)	玄関			FL-200	M	100角タイル	ー	ー	RC(A種)									

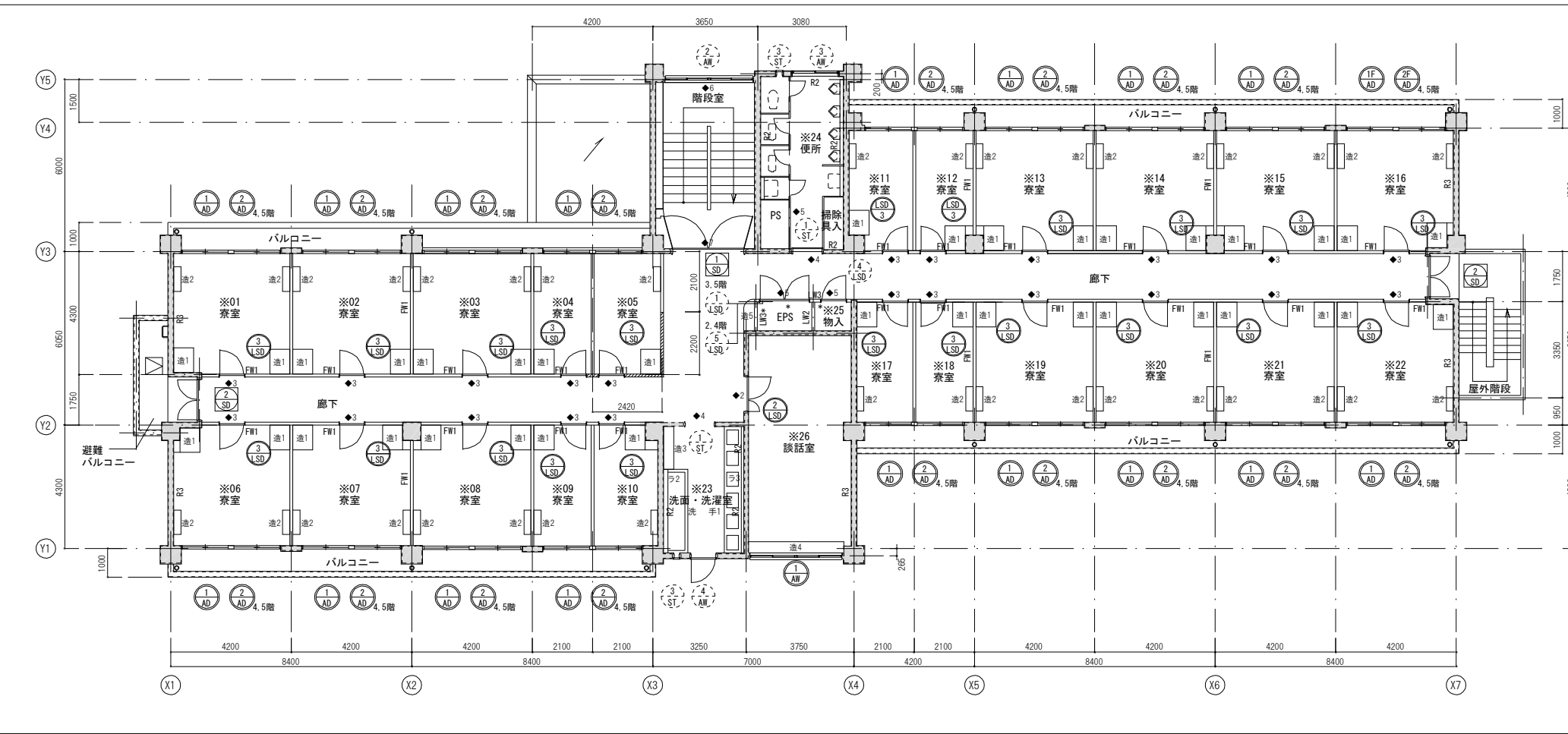
内部仕上表																																							
内部仕上表(既存)																		内部仕上表(改修)																					
階数	室番	室名	床レベル		床		巾木			壁			天井					備考 ※特記無き限り全て撤去	室番	室名	内装 制限	床レベル	床			巾木			壁			天井		備考 ※特記無き限り新設					
			躯体	仕上	下地	仕上	措置	材質	高さ	措置	下地	基材	仕上	措置	下地	基材	仕上	天井高				仕上	下地	仕上	材質	高さ	下地	基材	仕上	廻縁	天井高								
1階	116 117	US1・2	FL-15	製品仕様	RC	—	G	—	—	G	RC(A種) LGS	—	—	G C	RC(A種)	—	—	直天	G	・ユニットシャワー0912x2	124 125	US1・2		製品仕様	RC	—	—	—	—	RC(A種)	—	—	RC(A種)	—	—	—	直天		
	118	補食室	FL-15	FL±0	RC	FS		A	VB	60	A	RC(A種)	— M	VC 一部100角タイル	A B	LGS	—	●FK-D5	2300	A	・流し ・フード ・コンロ台 ・吊戸棚 ・水切	126	補食室		FL±0	RC	FS		VB	60	RC(A種)	— —	VC MDB3	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2300	
	121	物置	FL-15	FL±0	RC	塗床		G	VB	60	A	RC(A種)	—	—	G	RC(A種)	—	—	直天	G		128	物置		FL±0	RC	塗床(既)		VB	60	RC(A種)	—	—	RC(A種)	—	—	—	直天	
	122	自習室	FL-15	FL±0	RC	FS		A	VB	60	A	RC(A種) LGS	— ●FK12x2 GB-R9.5+12.5	VC VC VC	A	LGS	—	GB-D9	2300	A		130	補食室		FL±0	RC	FS		VB	60	RC(A種) LGS	— GB-F12.5x2 GB-R9.5+12.5	VC VC VC	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2300	
2～5 階		廊下	FL-15	FL±0	RC	FS		A	VB	60	A	RC(A種) LGS	— ●FK12x2 GB-R9.5+12.5	VC VC VC	A	LGS	—	GB-D9	2250	A			廊下		FL±0	RC	FS		VB	60	RC(A種) LGS	— GB-F12.5x2 GB-R9.5+12.5	VC VC VC	LGS	—	GB-D9.5	塩ビ	2250	
	※01 ～ ※22	寮室	FL-15	FL±0	RC	FS		A	VB	60	A	RC(A種) RC(A種) LGS	— ●PF-B ●FK12x2 GB-R9.5+12.5	VC VC VC VC	A	LGS	—	GB-D9	2300	A	・本欄(1名室1か所2名室2か所) ・ロッカー(1名室1か所2名室2か所)	※01 ～ ※31	寮室		FL±0	RC	FS		VB	60	RC(A種) RC(PU) LGS	— GB-R12.5(GL工法) GB-F12.5x2 GB-R9.5+12.5	VC VC VC VC	LGS	—	GB-D9.5	塩ビ	2300	
																					※32	食堂		FL±0	RC	FS		VB	60	RC(A種) RC(PU) LGS	— GB-R12.5(GL工法) GB-F12.5x2 GB-R9.5+12.5	VC VC VC VC	LGS	—	GB-D9.5	塩ビ	2300		
																					435	補食室		FL±0	RC	FS		VB	60	RC(A種) RC(PU) LGS	— GB-R12.5(GL工法) GB-F12.5x2 GB-S9.5	VC VC VC MDB3	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2300		
共通	119 ※23	洗面洗濯室	FL-15	FL±0	RC	●FS		A	—	—	G	RC(A種)	M —	(壁)100角タイル (壁)VE	B E(RC)	LGS	—	●FK-D5	2300	A	・洗面カウンター ・ライニング	127 ※33	洗面洗濯室		FL±0	RC	FS		VB	60	RC(A種)	—	EP-G	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2300	
	121 ※24	便所	FL-15	FL±0	RC	●FS		A	VB	60	A	RC(A種)	M —	(壁)100角タイル (壁)VE	B E(RC)	LGS	—	●FK-D5	2300	A	・床下点検口600x600(1階のみ) ・TB ・天井点検口(1～4階のみ) ・ライニング	129 ※34	便所		FL±0	RC	FS		VB	60	RC(A種) LGS	— GB-S9.5	VC MDB3	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2300	
	123 ※25	物入	FL-15	FL±0	RC	塗床		G	VB	60	A	RC(A種) LGS	— GB-R12.5	素地のまま	G	RC(A種)	—	—	直天	G		131 ※36	物入		FL±0	RC	塗床(既)		VB VB(S)	60	RC(A種) LGS	— GB-R12.5	素地のまま	RC(A種)	—	—	—	直天	
	124 ※26	談話室	FL-15	FL±0	RC	FS		A	VB	60	A	RC(A種)	— ●PF-B	VC VC	A	LGS	GB-R9	DR12	2300	B	・コンベクターカバー	132 ※37	談話室		FL±0	RC	FS		VB	60	RC(A種) RC(PU)	— GB-R12.5(GL工法)	VC VC	LGS	GB-R9.5	DR9	塩ビ	2300	
		脂改室	FL-15	FL±0	RC M	FS FS		A A	VB	60	A	RC(A種) LGS	— ●FK8	板層塗材E 板層塗材E	E(RC) B	RC(A種)	—	●内装薄塗材E	直天	E(RA)			脂改室		FL±0	RCM FS FS		VB VB(S)	60	RC(A種) LGS	— GB-R9.5+12.5	EP EP	RC(A種)	—	EP	—	直天		
		EPS	FL-15	FL+0	RC	—		G	VB	60	A	RC(A種) LGS	— GB-R12.5	素地のまま	G	RC(A種)	—	—	直天	G			EPS		FL+0	RC	—		—	—	RC(A種) LGS	— GB-R12.5	素地のまま	RC(A種)	—	—	—	直天	
		PS	FL-15	FL+0	RC	—		G	—	—	G	RC(A種)	—	素地のまま	G	RC(A種)	—	—	直天	G			PS		FL+0	RC	—		—	—	RC(A種)	—	素地のまま	RC(A種)	—	—	—	直天	
年 度		設計年月		設計業務名						工事名称						図面名称						縮尺		建築士法第20条第1項に基づく表示						図面番号									
令和5年		令和6年5月		鹿児島工業高専 第六志学寮改修(建築)(設備)設計業務						鹿児島工業高専第六志学寮改修工事						仕上表-2						A1 NON A3 NON		株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明						A-03									

凡例(既存)				
	LGS壁を示す		撤去建具を示す	
	RC壁を示す		改修建具を示す 改修内容は建具表参照	
	壁撤去範囲		既存残置建具を示す 清掃等の適用は建具表参照	
	避難ハッチ		雨水排水を示す 既存のまま高圧水洗浄	
	床下点検口		サインを示す 全て撤去 ◆1: 館名板 ◆2: 室名札 ◆3: 室名札(名前入札付) ◆4: ビクトサイン ◆5: VE文字書 ◆6: 階段室 ◆7: 室名案内札	
	塩ビ製壁紙 全て撤去			
洗	洗濯機置場を示す W100xH100 防水土手 既存のまま塗膜防水(X-2)	内壁補修数量表(各階合計)		
		補修工法	摘要	数量 単位
上桎	上桎 SUS t2.0 HL 35xH150 既存のまま清掃	ひび割れ部シール工法	ひび割れ幅0.2mm未満	100 m
		ひび割れ部樹脂注入工法	ひび割れ幅0.2mm~1.0mm未満	30 m
		リカットシール材充填工法	ひび割れ幅1.0mm以上	10 m
手	手洗カウンターを示す 全て撤去 手1: L2950xO685 手2: L1400xO685	ポリマーセメントモルタル充填工法	切片状欠損部	20 m ²
		欠損部は樹脂充填工法	爆裂等欠損部	4 m ²
造	造作家具を示す 全て撤去 造1: ロッカー W860xD700xH2300 造2: 本棚 W860xD200xH950 造3: ロッカー W1480xD350xH2300 造4: コンベクタカバー W3340xD400xH860 造5: 電話台 W1650xD375xH30	床補修数量表(各階合計)		
		補修工法	摘要	数量 単位
		リカットシール材充填工法	ひび割れ幅1.0mm以上	20 m ²
		ポリマーセメントモルタル充填工法	切片状欠損部	200 m ²
流	流し台、吊戸棚、換気フードを示す 全て撤去 流1: L4100xO600 流2: L2700xO600	(特記事項) 1) (撤)撤去を示す (既)既存のままを示す 2) 改修後に位置の変わらないLGS壁の下のLGSは再利用とする 3) 特記なき限り家具・設備・機器等は全て移設済みとする(別途工事) 4) 床レベルは特記なき限りFL±0(7/15) 5) 特記なき限り躯体の外部かつt=20、内部かつ無しとする 6) RC壁で特記無き場合、壁種別R1とする 7) LGS壁で特記無き場合、壁種別W1とする 8) 壁種別R3は当該壁面のみとし、柱型は壁種別R1とする		
ラ	ライニングを示す 全て撤去 ラ1: L4100xD150xH1100 ラ4: L1060xD120xH1100 ラ2: L2950xD150xH1100 ラ5: L2980xD120xH1400 ラ3: L4410xD100xH1100 ラ6: L2700xD150xH1100			
R1 R2 R3 LW1 LW2 LW3 LW4 FW1	RC+仕上 RC+M+タイル仕上 RC+PF-B仕上 LGS+GB-R9.5+12.5仕上(両面) LGS+GB-R12.5仕上(両面) LGS+GB-R9.5+12.5仕上(片面)、GB-R12.5仕上(※表記側) LGS+FRB仕上(片面)、ボード無し(※表記側) LGS+FK12x2(両面)			











1階平面図(改修)					凡例(改修)				
						RC壁を示す		新設建具を示す	
						LGS壁を示す		改修建具を示す 改修内容は建具表参照	
						避難ハッチ		雨水排水を示す 既存のまま高圧水洗浄	
						床下点検口		サインを示す 全て新設 ◇1: 館名板 ◇2: 室名札 ◇3: 1人用寮室室名札(名前入札付) ◇4: 2人用寮室室名札(名前入札付) ◇5: バックヤードサイン ◇6: 避難口誘導標識ステッカー ◇7: 避難口標識ステッカー	
						塩ビ製壁紙 全て新設			
					手	手洗カウンターを示す 全て新設 手1: L2950xO685 手2: L1400xO685	設備工事新設躯体開口(各階合計) ※位置は各工事と調整すること		
							新設開口寸法	貫通部	数量 備考
							300×1250	天井	44
					造	造作家具を示す 全て新設 造2: 本棚 W860xD200xH950 造3: ロッカー W1480xD720xH2300 造4: コンベクタカバー W3340xD400xH860	190×1250	天井	90
							350×350	天井	5
							Φ150	天井	152
					流	流し台、吊戸棚、換気フードを示す 全て新設 流1: L4100xO600 流2: L2400xO600 流3: L2700xO600	Φ150	天井	23
							450×450	天井	71
							600×600	天井	8
					ラ	ライニングを示す 全て新設 ラ1: L4100xD150xH1100 ラ5: L800xD150xH1100 ラ2: L2400xD150xH1100 ラ6: L870xD150xH1100 ラ3: L2950xD150xH1100 ラ7: L2700xD150xH1100 ラ4: L4410xD100xH1100			
					R1 R2 R4 ALC LW1 LW2 LW3 LW5 LW6 nLW1 FW2 nLW2 nLW3 nLW4	RC(既)+仕上(新) RC(既)+M+タイル仕上(新) RC(PU)(新)+GB-R12.5(GL工法)+仕上(新) ALC(PU)(新)+GB-R12.5(GL工法)+仕上(新) LGS(既)+GB-R9.5+12.5仕上(両面)(新) LGS(既)+GB-R12.5仕上(両面)(新) LGS(既)+GB-R9.5+12.5仕上(片面)(新)、 GB-R12(既)+仕上(断)(※表記側) LGS(新)+GB-S9.5+12.5仕上(両面)(断) LGS(既)+GB-S9.5仕上(両面)(断) LGS(新)+GB-R9.5+12.5仕上(両面)(断) LGS(既)+GB-F12.5x2仕上(両面)(断) LGS(新)+GB-F12.5x2仕上(両面)(断) LGS(新)+GB-S9.5+MDB3(両面)(断) LGS(新)+GB-S9.5+MDB3(片面)(断)、 GB-S9.5+12.5+V6(断)(※表記側)	(特記事項) 1) (新)新設を示す (既)既存のままを示す 2) 床レベルは特記なき限りFL±0(7/15) 3) 特記なき限り躯体の外部かつt=20、内部かつ無しとする 4) RC壁で特記無き場合、壁種別R1とする 5) LGS壁で特記無き場合、壁種別L1とする 6) 壁種別R4は当該壁面のみとし、柱型は壁種別R1とする 7) AD-1、AD-1F、AD-2、AD-2FはALC腰壁新設(H950)とする		

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修(建築)(設備)設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	1階平面図(既存・改修)	A1 1/100 A3 1/200	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	A-04

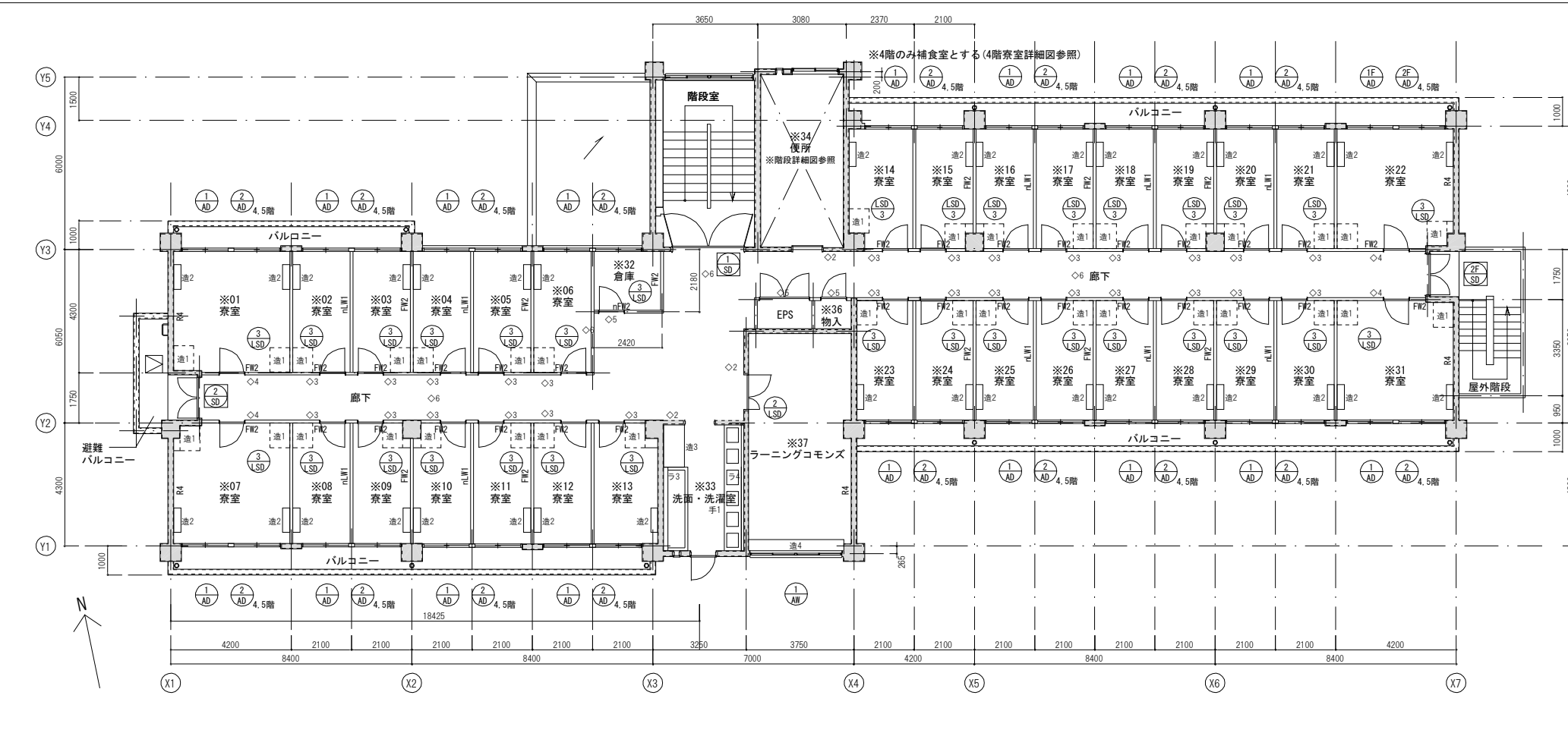
2～5階平面図 (既存)



凡例 (既存)

	LGS壁を示す		撤去建具を示す		
	RC壁を示す		改修建具を示す 改修内容は建具表参照		
	壁撤去範囲		既存残置建具を示す 清掃等の適用は建具表参照		
	避難ハッチ		雨水排水を示す 既存のまま高圧水洗浄		
	床下点検口		サインを示す 全て撤去 ◆1: 館名板 ◆2: 室名札 ◆3: 室名札(名前入札付) ◆4: ピクトサイン ◆5: VE文字書 ◆6: 階段室 ◆7: 室名案内札		
	塩ビ製壁紙 全て撤去				
洗	洗濯機置場を示す W100xH100 防水土手 既存のまま遮断防水(X-2)	内壁補修数量表 (各階合計)			
上板	上板 SUS t2.0 HL 35xH150 既存のまま清掃	補修工法	摘要	数量	単位
		ひび割れ部シール工法	ひび割れ幅0.2mm未満	100	m
		ひび割れ部樹脂注入工法	ひび割れ幅0.2mm~1.0mm未満	30	m
手	手洗カウンターを示す 全て撤去 手1: L2950xO685 手2: L4400xO685	Uカットシール材充填工法	ひび割れ幅1.0mm以上	10	m
		ポリマーセメントモルタル充填工法	切片状欠損部	20	m2
		欠損部は① 樹脂系モルタル充填工法	爆裂等欠損部	4	m2
造	造作家具を示す 全て撤去 造1: ロッカー W860xO700xH2300 造2: 本棚 W860xO200xH950 造3: ロッカー W1480xO350xH2300 造4: コンベクタカバー W3340xO400xH660 造5: 電話台 W1050xO375xH130	床補修数量表 (各階合計)			
流	流し台、吊戸棚、換気フードを示す 全て撤去 流1: L4100xO600 流2: L2700xO600	補修工法	摘要	数量	単位
		Uカットシール材充填工法	ひび割れ幅1.0mm以上	20	m2
		ポリマーセメントモルタル充填工法	切片状欠損部	200	m2
ラ	ライニングを示す 全て撤去 ラ1: L4100xO150xH1100 ラ4: L1060xO120xH1100 ラ2: L2950xO150xH1100 ラ5: L2980xO120xH400 ラ3: L4410xO100xH1100 ラ6: L2700xO150xH1100	(特記事項) 1) (撤)撤去を示す (既)既存のままを示す 2) 改修後に位置の変わらないLGS壁の下地LGSは再利用とする 3) 特記なき限り家具備品、設備機器類は全て移設済みとする(別途工事) 4) 床いへは特記なき限りFL±0(7か1=15) 5) 特記なき限り躯体の外部7か1=20、内部7か1無しとする 6) RC壁で特記無き場合、壁種別R1とする 7) LGS壁で特記無き場合、壁種別W1とする 8) 壁種別R3は当該壁面のみとし、柱型は壁種別R1とする			
R1	RC+仕上				
R2	RC+M+タイル仕上				
R3	RC+PF-B+仕上				
LW1	LGS+GB-R9.5+12.5+仕上(両面)				
LW2	LGS+GB-R12.5+仕上(両面)				
LW3	LGS+GB-R9.5+12.5+仕上(片面)	GB-R12.5+仕上(※表記別)			
LW4	LGS+FKB+仕上(片面)	ボード無し(※表記別)			
FW1	LGS+FK12x2(両面)				

2～5階平面図 (改修)

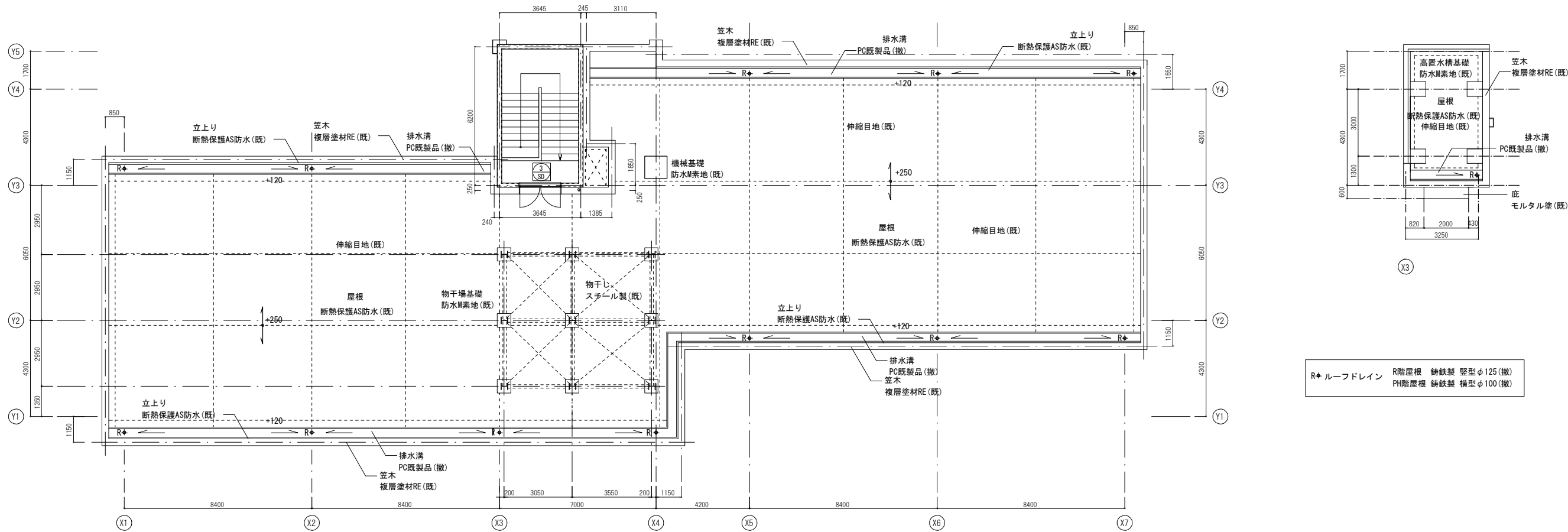


凡例 (改修)

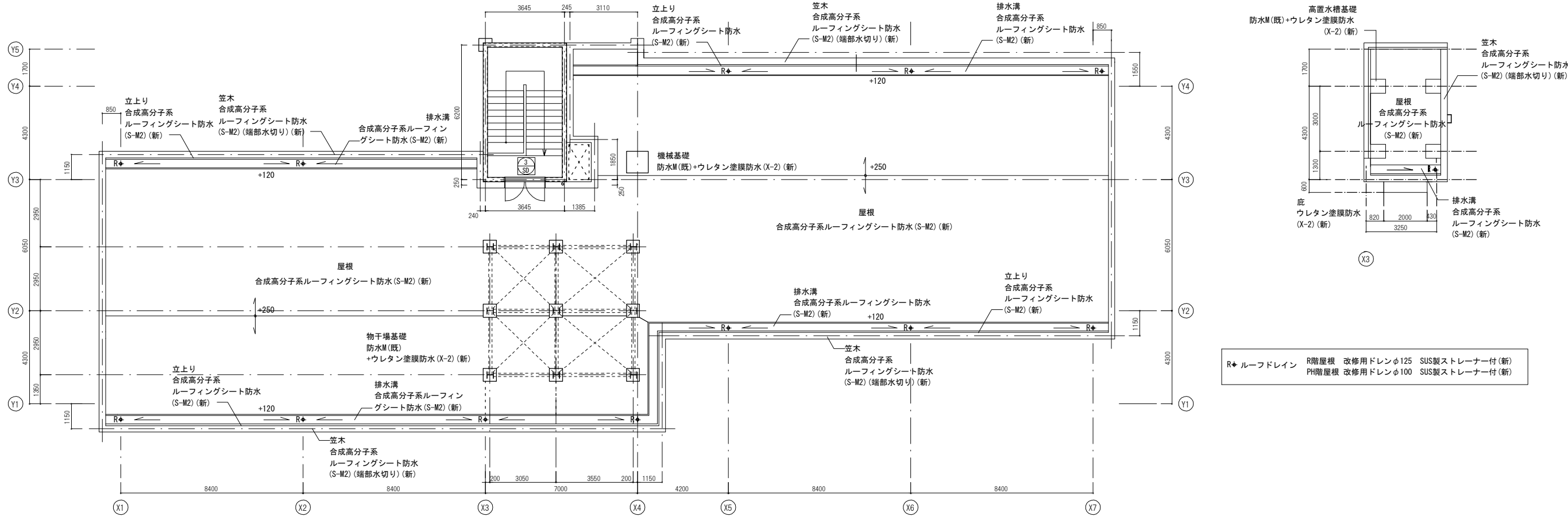
	RC壁を示す		新設建具を示す		
	LGS壁を示す		改修建具を示す 改修内容は建具表参照		
	避難ハッチ		雨水排水を示す 既存のまま高圧水洗浄		
	床下点検口		サインを示す 全て新設 ◇1: 館名板 ◇2: 室名札 ◇3: 1人用寮室室名札(名前入札付) ◇4: 2人用寮室室名札(名前入札付) ◇5: バックヤードサイン ◇6: 避難口誘導標識ステッカー ◇7: 避難口標識ステッカー		
	塩ビ製壁紙 全て新設				
手	手洗カウンターを示す 全て新設 手1: L2950xO685 手2: L4400xO685	設備工事新設躯体開口 (各階合計) ※位置は各工事と調整すること			
造	造作家具を示す 全て新設 造2: 本棚 W860xO200xH950 造3: ロッカー W1480xO720xH2300 造4: コンベクタカバー W3340xO400xH660	新設開口寸法	貫通部	数量	備考
		300×1250	天井	44	
		190×1250	天井	90	
流	流し台、吊戸棚、換気フードを示す 全て新設 流1: L4100xO600 流2: L2400xO600 流3: L2700xO600	350×350	天井	5	
		Φ150	天井	152	
		Φ150	天井	23	
ラ	ライニングを示す 全て新設 ラ1: L4100xO150xH1100 ラ2: L2400xO150xH1100 ラ3: L2950xO150xH1100 ラ4: L4410xO100xH1100	450×450	天井	71	
		600×600	天井	8	
R1	RC(既)+仕上(新)				
R2	RC(既)+M+タイル仕上(新)				
R4	RC(PU)(新)+GB-R12.5(GL工法)+仕上(新)				
ALC	ALC(PU)(新)+GB-R12.5(GL工法)+仕上(新)				
LW1	LGS(既)+GB-R9.5+12.5+仕上(両面)(新)				
LW2	LGS(既)+GB-R12+仕上(両面)(新)				
LW3	LGS(既)+GB-R9.5+12.5+仕上(片面)(新)、 GB-R12(既)+仕上(新)(※表記別)				
LW5	LGS(新)+GB-S9.5+12.5+仕上(両面)(新)				
LW6	LGS(既)+GB-R9.5+12.5+仕上(両面)(新)				
nLW1	LGS(既)+GB-F12.5x2+仕上(両面)(新)				
FW2	LGS(既)+GB-F12.5x2+仕上(両面)(新)				
nLW2	LGS(新)+GB-F12.5x2+仕上(両面)(新)				
nLW3	LGS(新)+GB-S9.5+MD83(両面)(新)				
nLW4	LGS(新)+GB-S9.5+MD83(片面)(新)、 GB-S9.5+12.5+VC(新)(※表記別)				
		(特記事項) 1) (新)新設を示す (既)既存のままを示す 2) 床いへは特記なき限りFL±0(7か1=15) 3) 特記なき限り躯体の外部分かた=20、内部部分無しとする 4) RC壁で特記無き場合、壁種別R1とする 5) LGS壁で特記無き場合、壁種別W1とする 6) 壁種別R4は当該壁面のみとし、柱型は壁種別R1とする 7) AD-1、AD-1F、AD-2、AD-2FはALC壁新設(H950)とする			

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修(建築)(設備)設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	2～5階平面図(既存・改修)	A1 1/100 A3 1/200	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	A-05

屋上平面図(既存)



屋上平面図(改修)



年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	屋上平面図(既存・改修)	A1 1/100 A3 1/200	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	A-06



凡例		部位	仕上(既存)	措置	仕上(改修)
配管立上	①	外壁	RC(A)+複層仕上塗材RE	E	劣化部補修 +可とう形改修塗材E(新)
	②	屋根	塩ビ製φ125	A	カラーVP管 φ100(新)
壁樋	③	PH屋根 バルコニー 庇	塩ビ製φ100	A	カラーVP管 φ100(新)
	④	一般部、柱型	RC(A)+複層仕上塗材RE	E	劣化部補修 +可とう形改修塗材E(新)
外壁	⑤	床下換気孔	塩ビパイプ150φ (ステンレス製防虫網付)	G	高圧水洗浄
ポーチ	⑥	階段	100角タイル、段鼻タイル	G	高圧水洗浄
	⑦	壁、柱	RC(A)+複層仕上塗材RE	E	劣化部補修 +可とう形改修塗材E(新)
屋外階段	⑧	RC手摺壁	RC(A)+複層仕上塗材E	E	劣化部補修 +可とう形改修塗材E(新)
	⑨	段裏	RC(A)+外装薄塗材E	E	劣化部補修 +外装薄塗材E(新)
バルコニー	⑩	RC手摺壁	RC(A)+複層仕上塗材E	E	劣化部補修 +可とう形改修塗材E(新)
	⑪	RC手摺笠木	アルミ製 H=200	G	高圧水洗浄
	⑫	手摺	アルミ製 H=1100	G	高圧水洗浄
避難バルコニー	⑬	RC手摺壁	RC(A)+複層仕上塗材E	E	劣化部補修 +可とう形改修塗材E(新)
	⑭	RC手摺笠木	アルミ製 H=200	G	高圧水洗浄
	⑮	タラップ	SUS製タラップ	G	高圧水洗浄

外壁塗材仕上ひび割れ補修数量(全体数量)			
工法	適用	参考数量	単位
ひび割れ部シール工法	ひび割れ幅0.2mm未満	100.0	m
ひび割れ部樹脂計入工法	ひび割れ幅0.2mm～1.0mm未満	50.0	m
Uカットシール材充填工法	ひび割れ幅1.0mm以上	5.0	m
ポリマーセメントモルタル充填工法	切片状欠損部	20.0	m2

特記事項

1) 外部足場設置後に外壁面の目視及び打診による事前調査を実施し、劣化箇所をマーキングの上施工数量を監督職員に報告し承諾を得ること

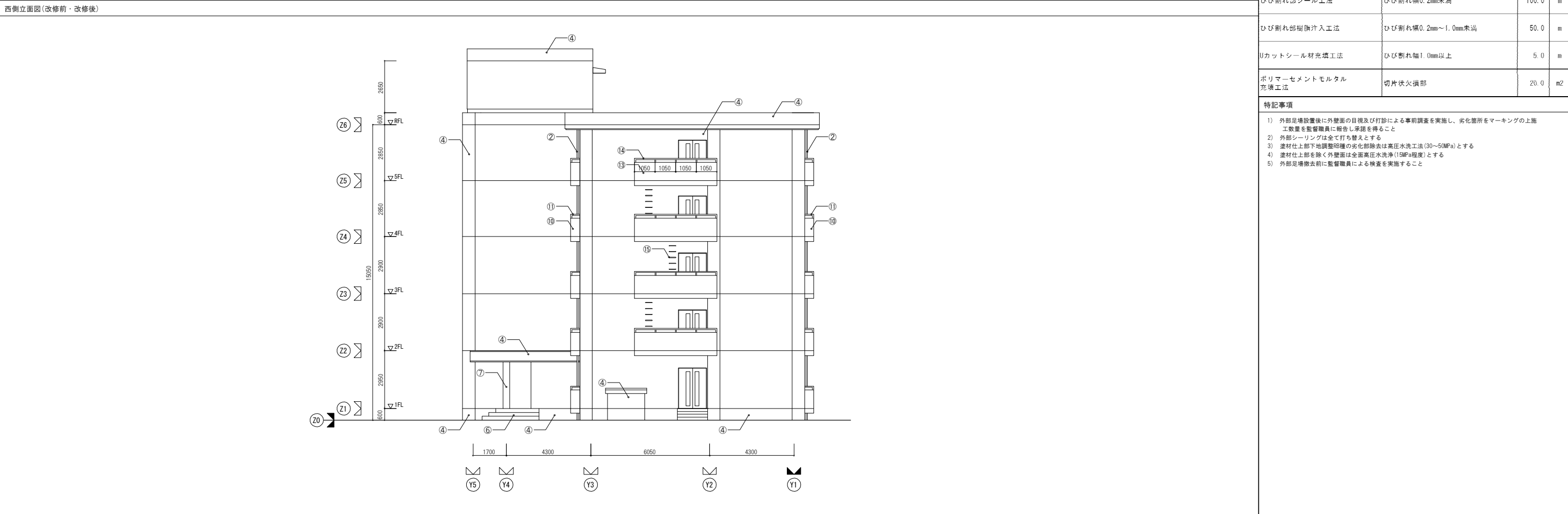
2) 外部シーリングは全て打ち替えとする

3) 塗材仕上部下地調整6種の劣化部除去は高圧水施工法(30～50MPa)とする

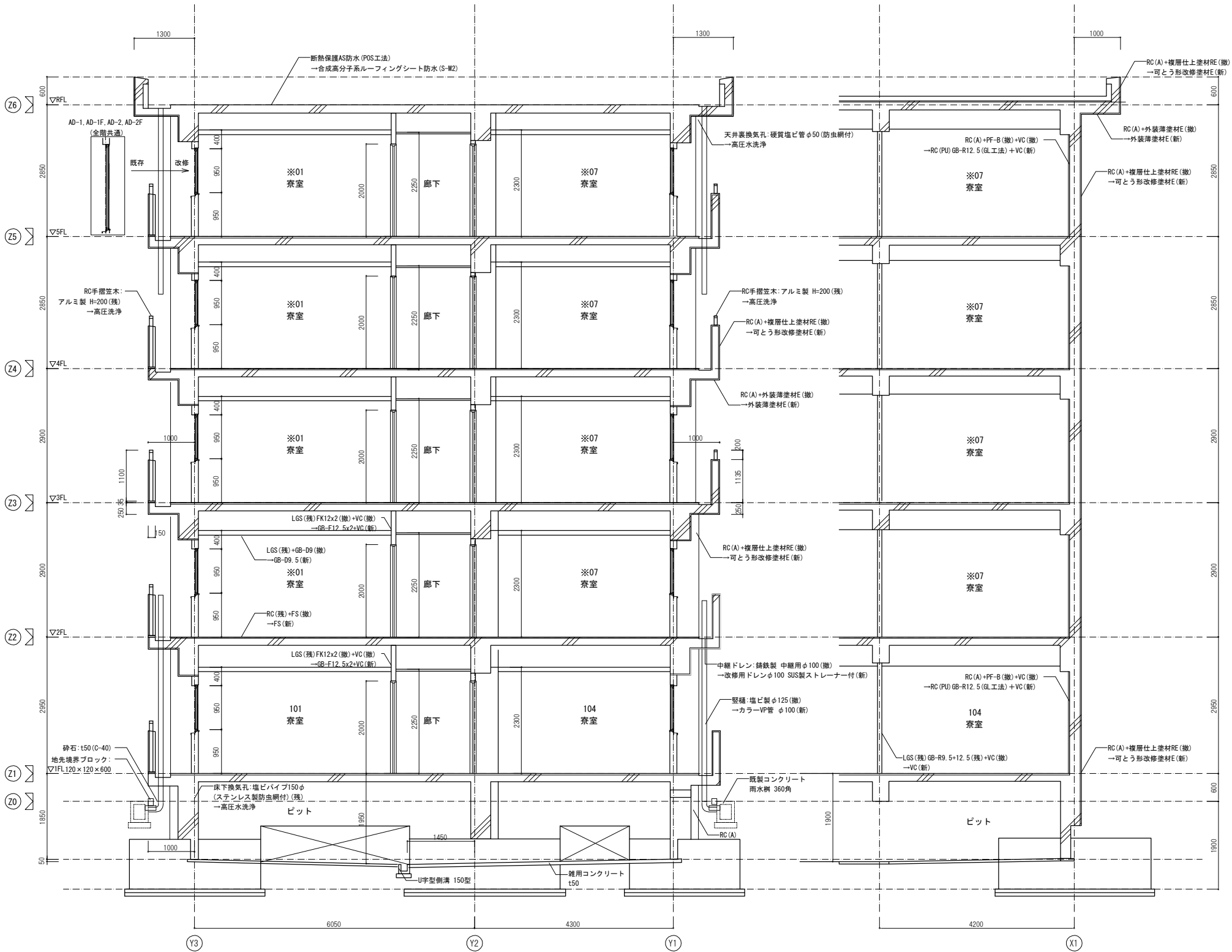
4) 塗材仕上部を除く外壁面は全面高圧水洗浄(15MPa程度)とする

5) 外部足場撤去前に監督職員による検査を実施すること

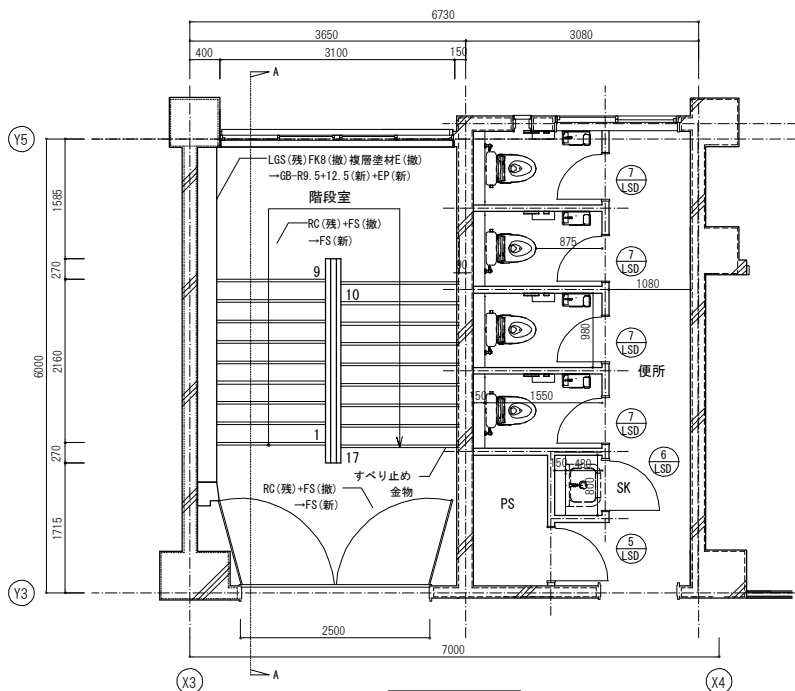
年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修(建築)(設備)設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	立面図-1(既存・改修)	A1 1/100 A3 1/200	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	A-07



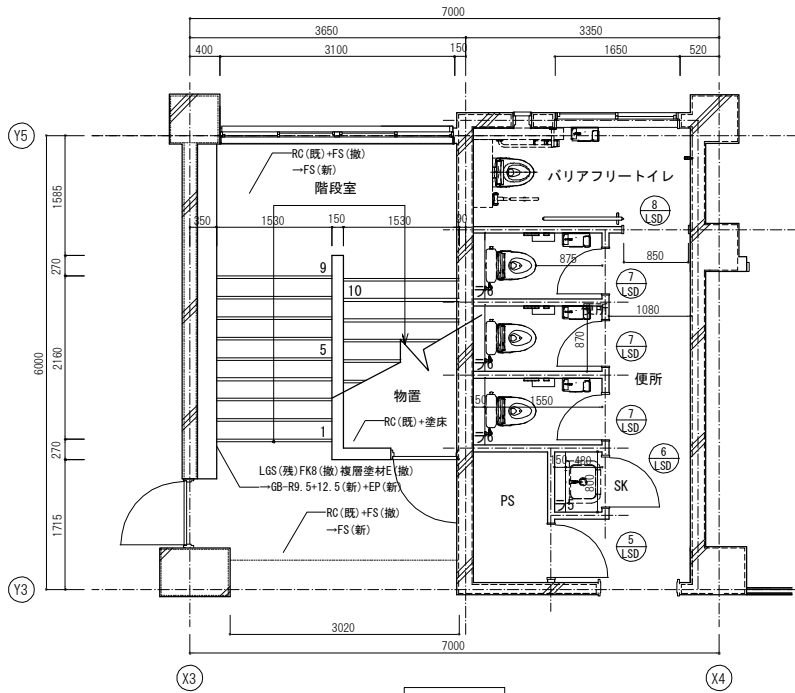
年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修(建築)(設備)設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	立面図-2(既存・改修)	A1 1/100 A3 1/200	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	A-08



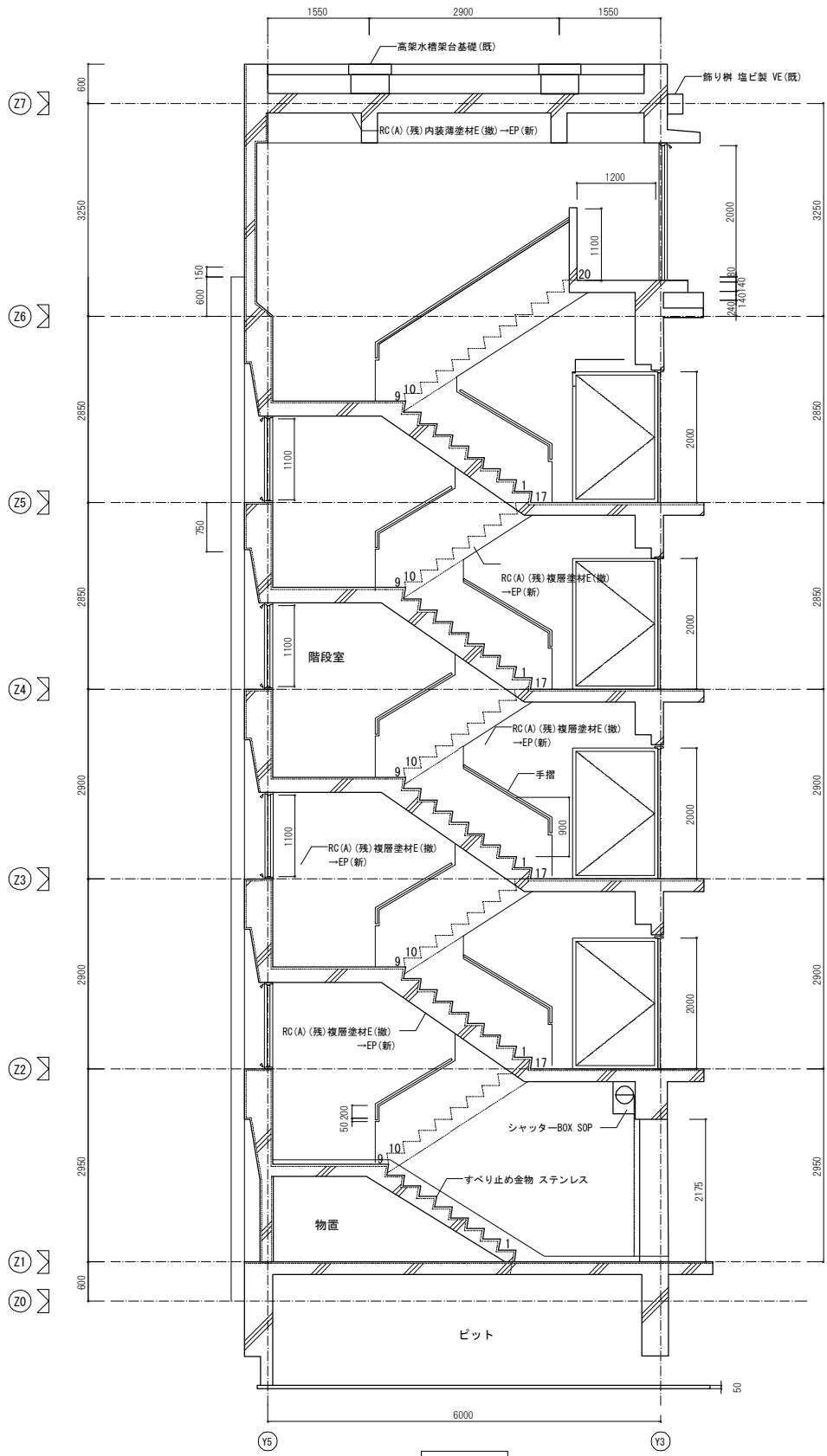
年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	矩計図（改修）	A1 1/50 A3 1/100	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	A-09



Z2～Z5 平面図
※凡例は平面図参照

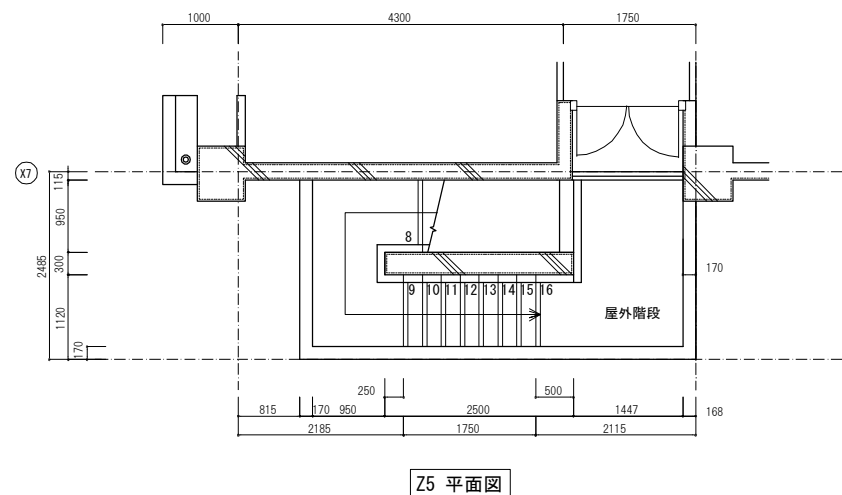


Z1 平面図
※凡例は平面図参照

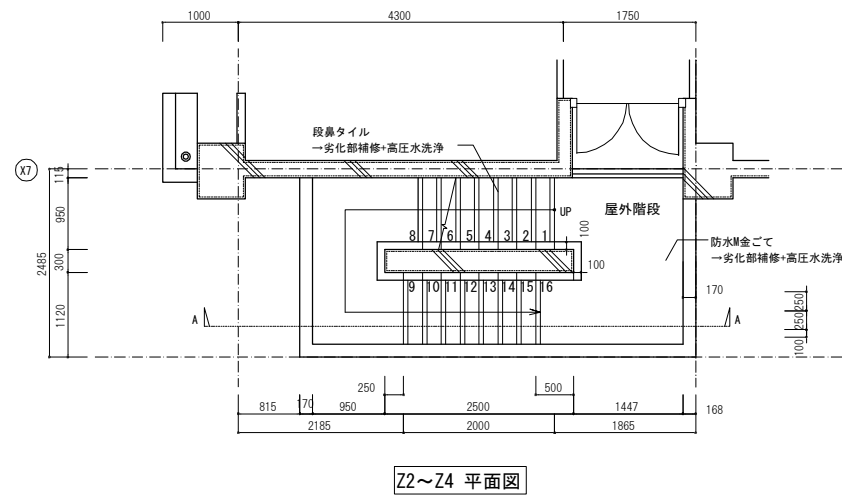


A-A 断面図

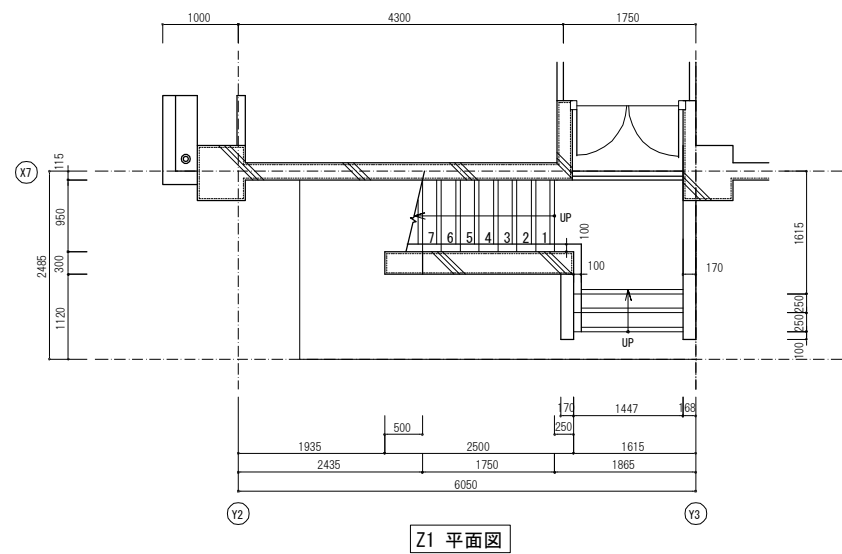
年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	階段詳細図-1（改修）	A1 1/50 A2 1/100	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	A-10



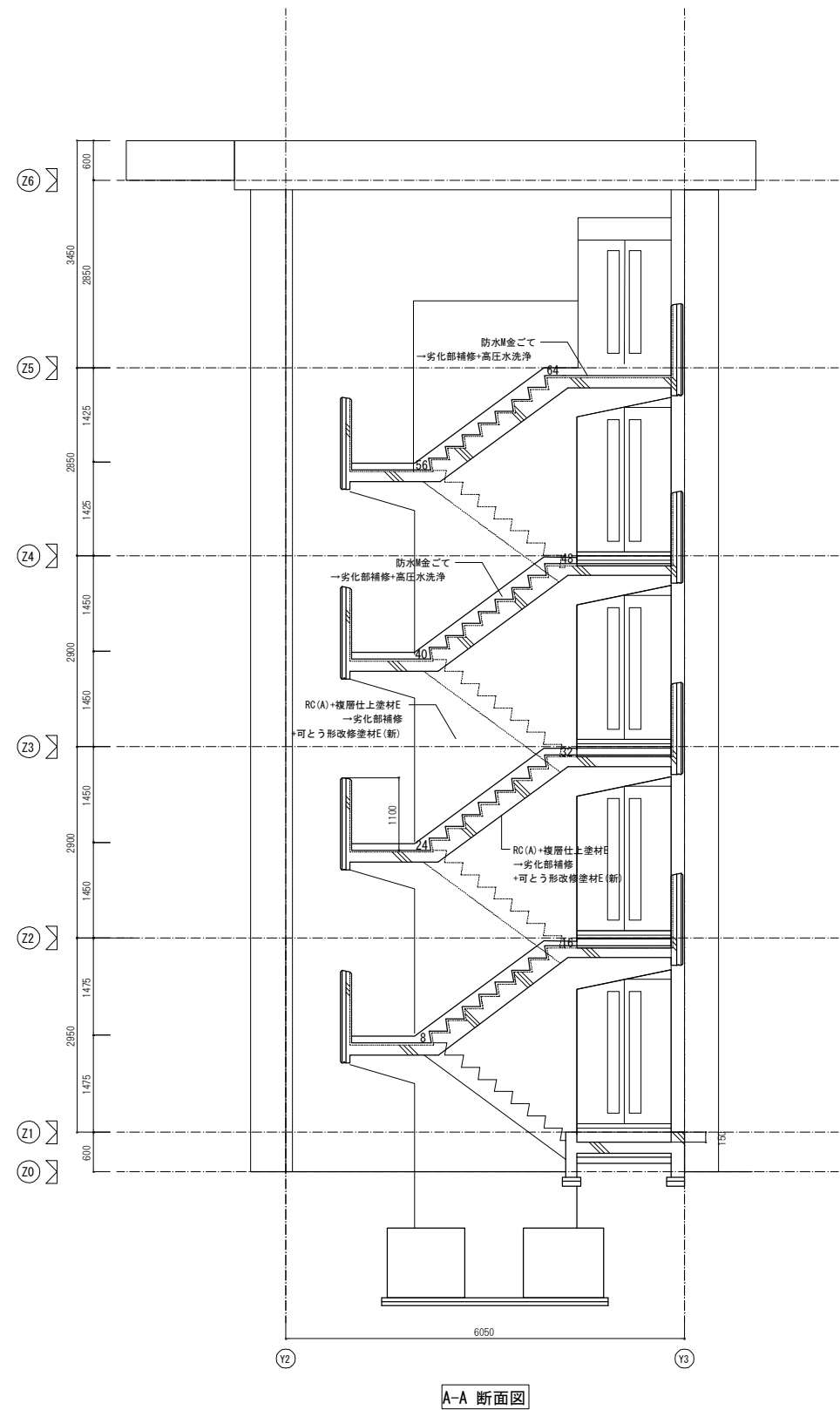
Z5 平面図



Z2~Z4 平面図

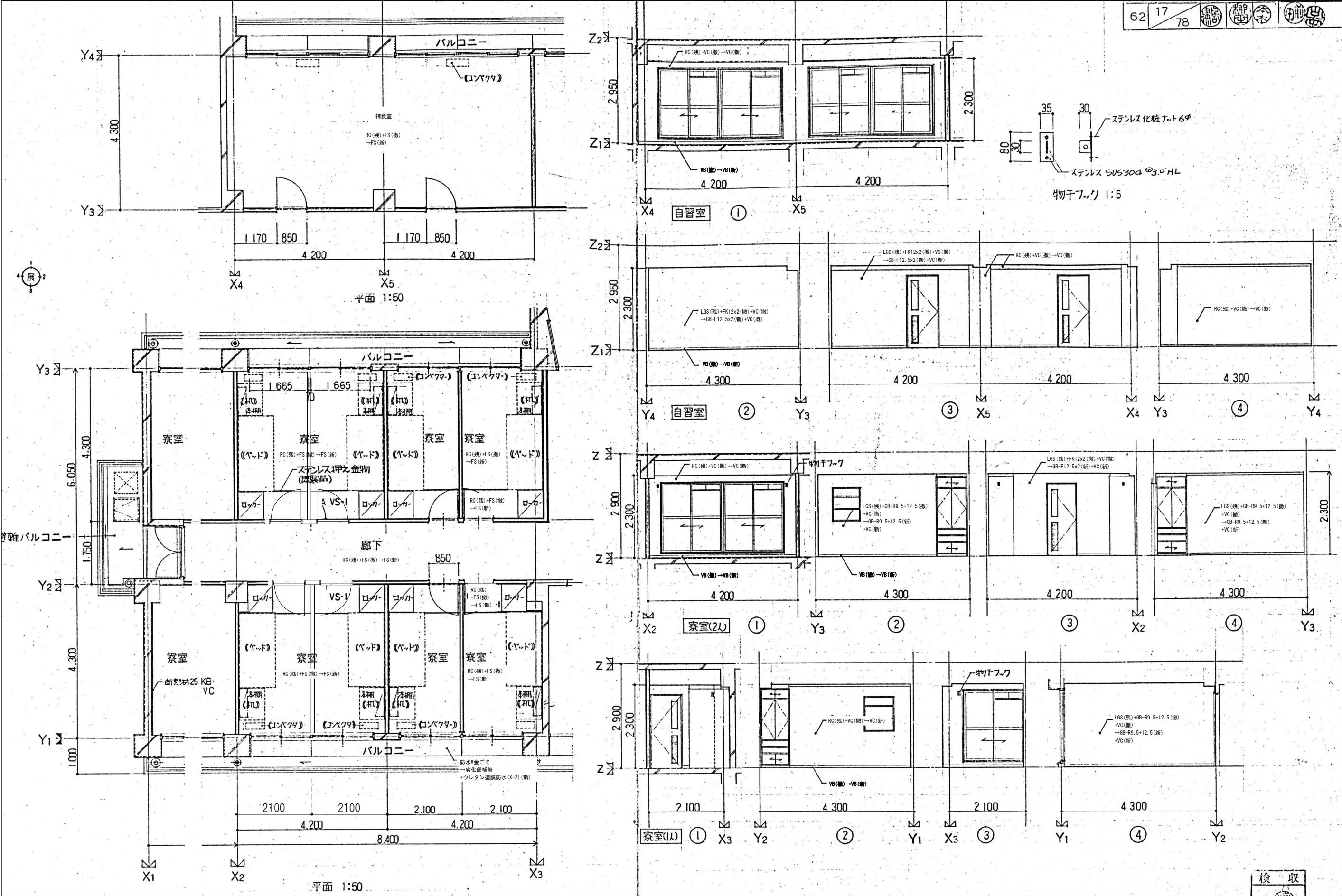


Z1 平面図

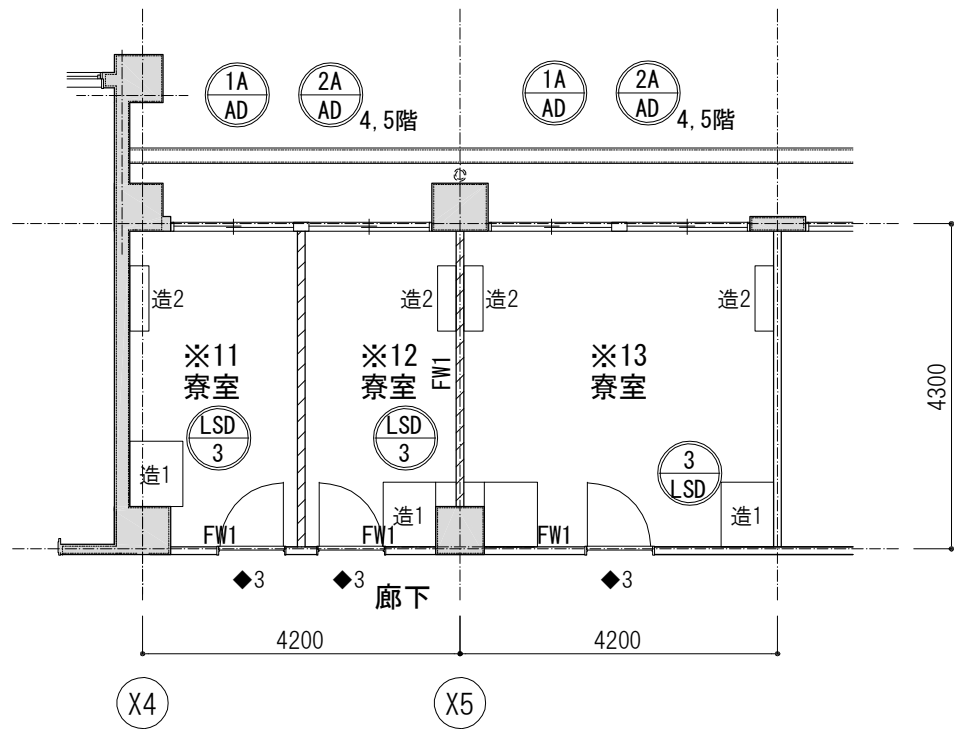


A-A 断面図

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	階段詳細図-2(改修)	A1 1/50 A2 1/100	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	A-11

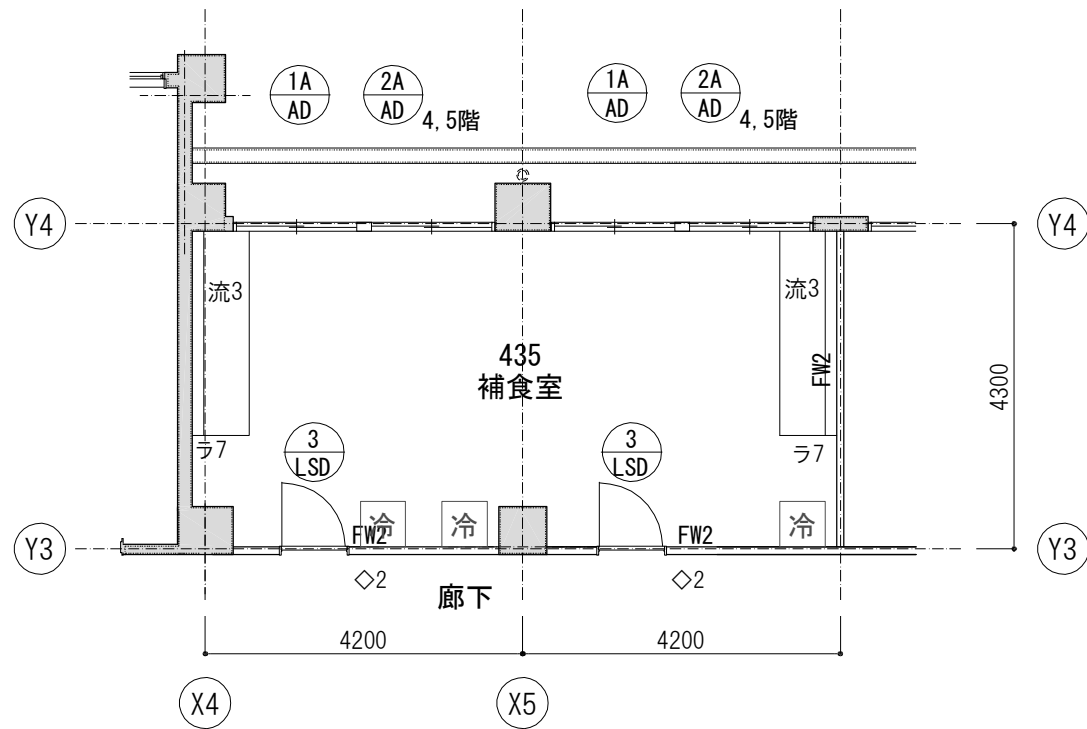


年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	寮室・自習室詳細図（改修）	A1 1/50 A3 1/100	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	A-14



4階寮室詳細図(改修)

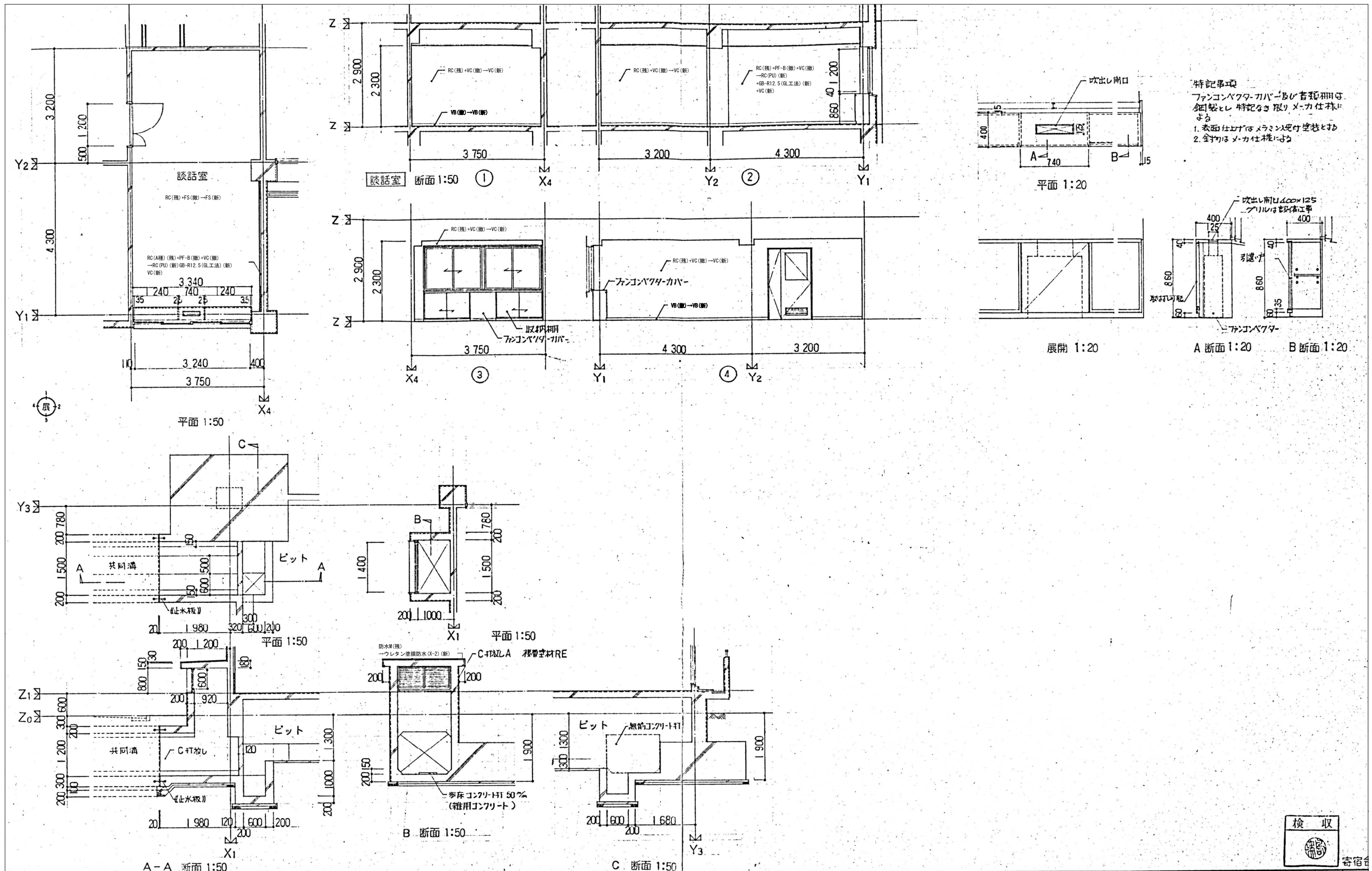
※凡例は平面図参照



4階寮室詳細図(改修)

※凡例は平面図参照

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	4階寮室詳細図(既存・改修)	A1 1/50 A3 1/100	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	A-15



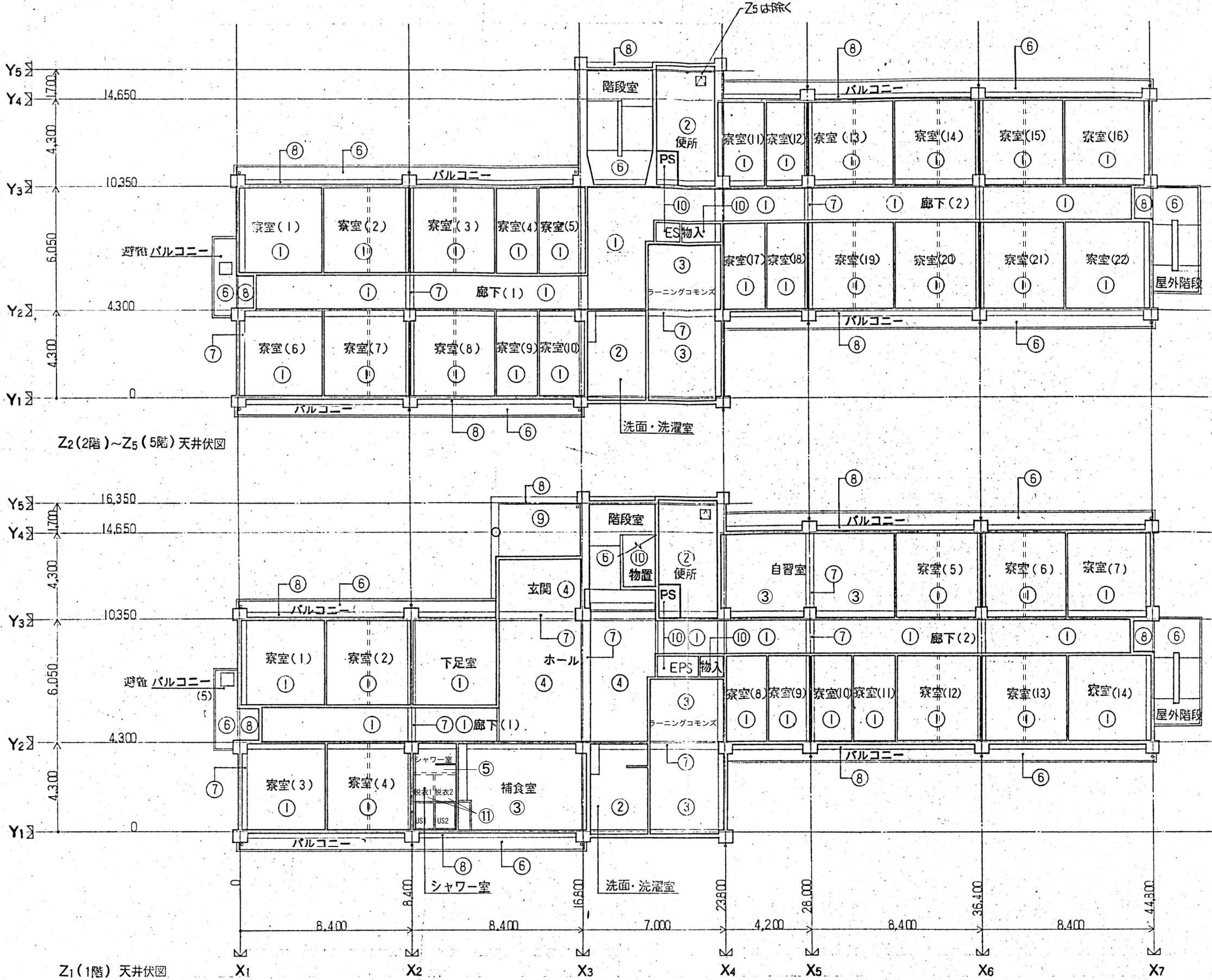
特記事項
ファンコンベクターカバー及び音類相付は
鉋製とし 特記なき限りメカ仕様に
よる
1. 表面仕上げはメラミン受付塗料とする
2. 金物はメカ仕様とする






































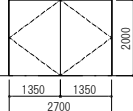

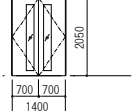

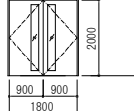

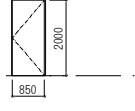

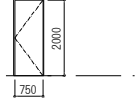

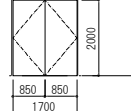

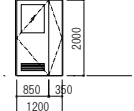

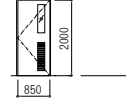

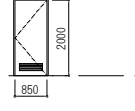

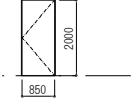











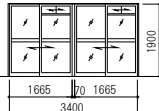

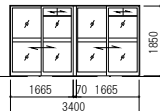

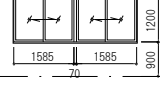
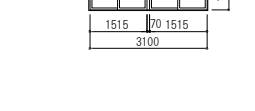
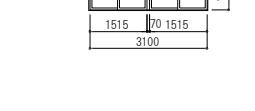

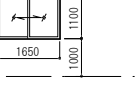

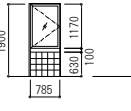

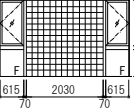











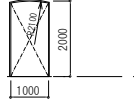

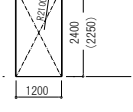

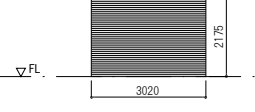

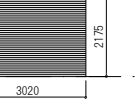

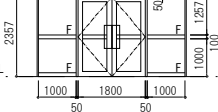
検 収
寄 宿 舎

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	談話室・共同溝取合詳細図(改修)	A1 1/50 A3 1/100	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	A-16

記号	仕上
①	LGS(残)GB-D9(撤) →GB-D9.5(新)
②	LGS(残)FK-D5(撤) →GB-R9.5(新)
③	GB-R9+DR12(撤) →GB-R9+DR9(新)
④	LGS(残)GB-R9(撤) →GB-R9.5(新)
⑤	LGS(残)FK-D5 →GB-D9.5(新)
⑥	RC(A)+外装薄塗材E(撤) →劣化部補修+外装薄塗材E(新)
⑦	RC(A)+ビニルクロス(撤) →ビニルクロス(新)
⑧	RC(A)+複層仕上塗材RE(撤) →劣化部補修+可とう形改修塗材E(新)
⑨	LGS(残)+FK6(撤)+外装薄塗材E(撤) →FK6(新)+外装薄塗材E(新)
⑩	RC(A)(既)
⑪	LGS(残)FK-D5 →GB-S9.5(新)




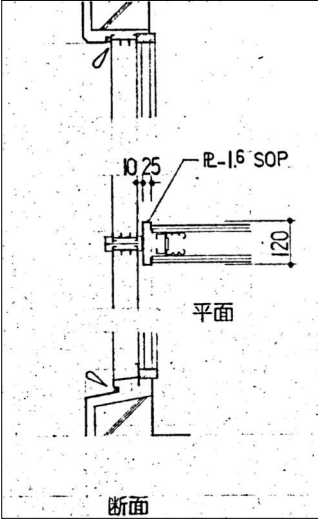
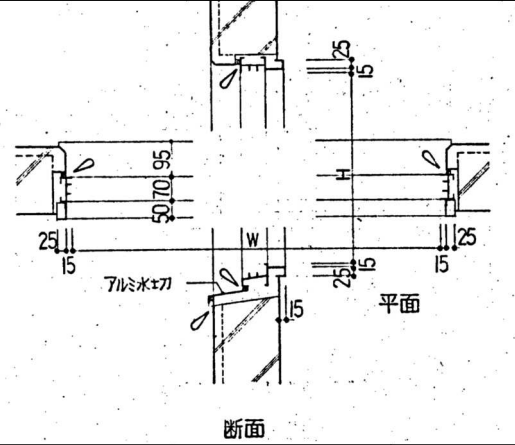
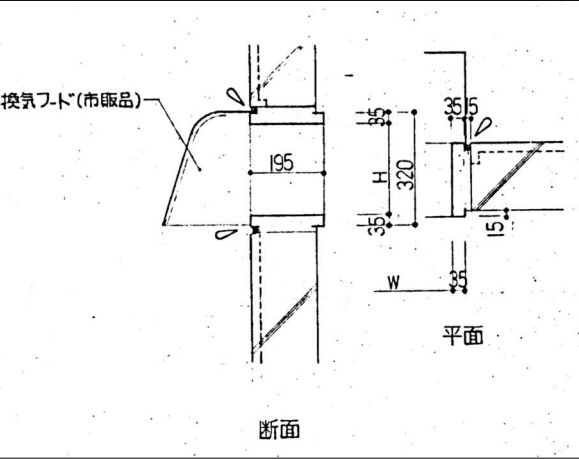
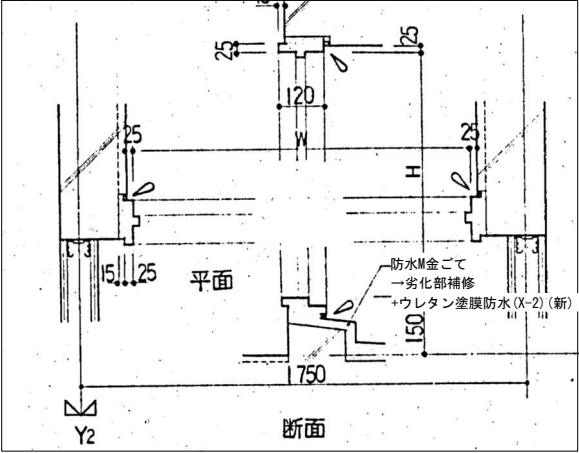
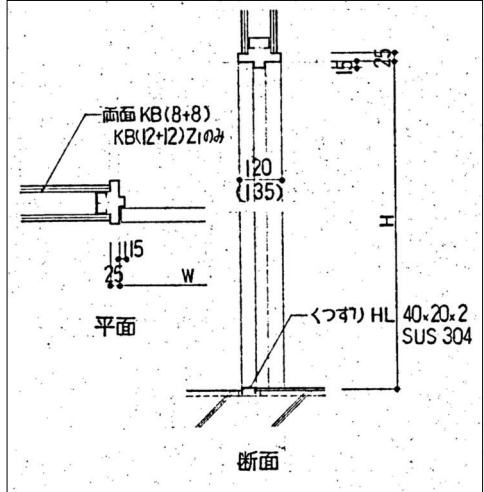
天井開口	名称
<input checked="" type="checkbox"/>	天井点検口 450×450 4ヶ所
==	新設LGS間仕切壁


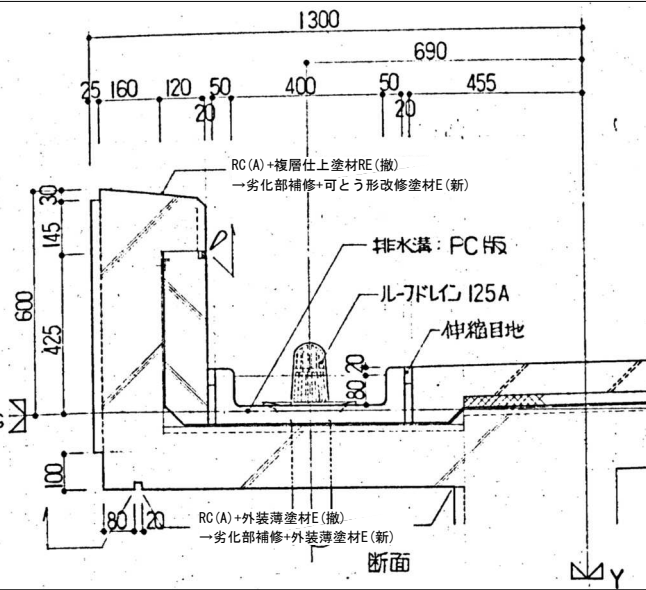
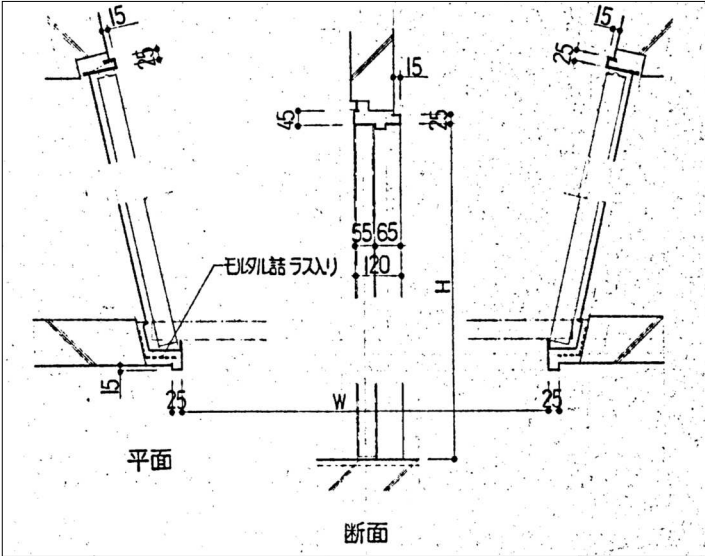
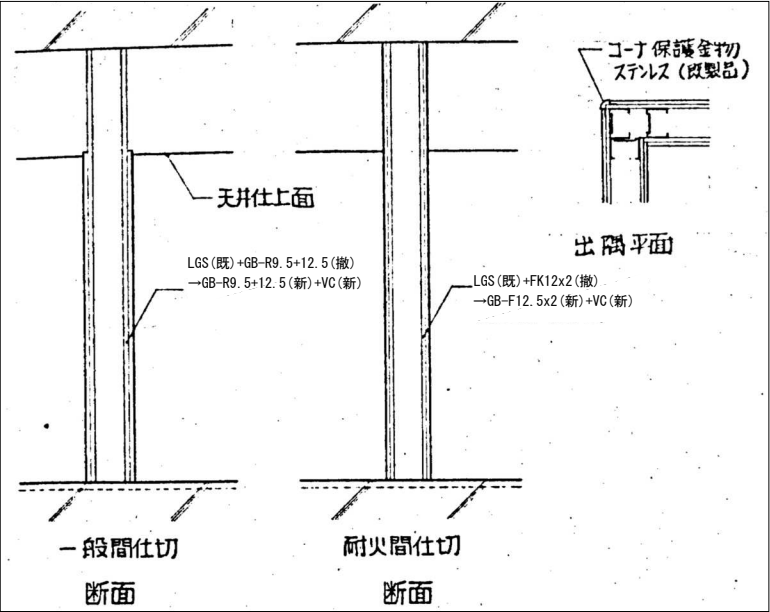






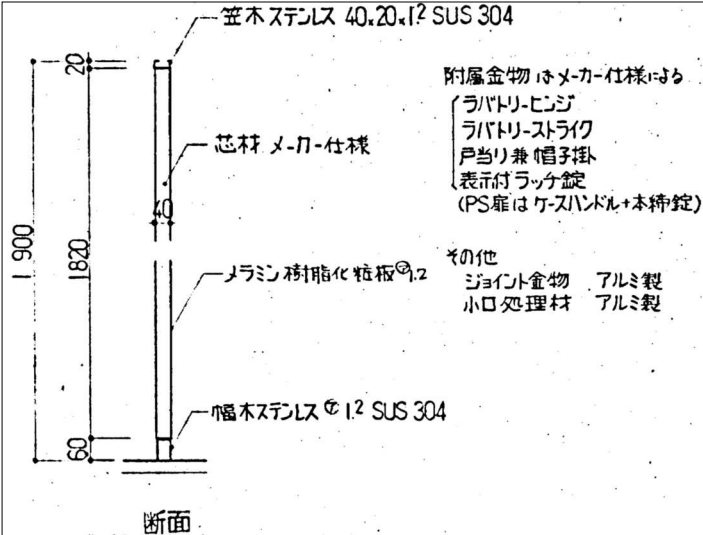
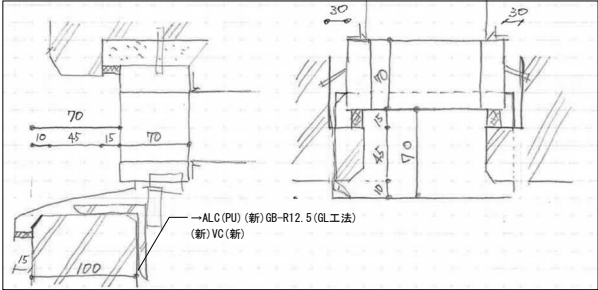
既存建具表																																				
符号	改修区分	建具分類 ()内は欄間を示す	防火種別	数量	寸法		建具枠			ガラス				備考	符号	改修区分	建具分類 ()内は欄間を示す	防火種別	数量	寸法		建具枠			ガラス				備考							
					W	H	枠見込	枠形状	番据	種類	厚さ	W	H							W	H	枠見込	枠形状	番据	種類	厚さ	W	H								
	枠以外撤去	両開き戸		4	2700	2000	120	4-21-3	4-31-3	—	—	—	—	・シーリング打替え		撤去	2連引込み窓		34	3400	1850	70	4-51-1 4-52-1	—	FG	4	3400	1850								
	枠以外撤去	両開き框戸		4 6	1400	2050	120	4-42-3	4-31-3	FW FG	6.8 4	200×2	1750×2	・シーリング打替え		撤去	2連引込み窓		2	3400	1850	70	4-51-1 4-52-1	—	FW	6.8	3400	1850								
	枠以外撤去	両開き框戸		1	1800	2000	120	4-42-3	4-31-3	FW	6.8	200×2	1750×2	・シーリング打替え		撤去	引違い窓		5	3240	1200	70	4-51-1 4-52-1	—	FL	3	3240	1200								
	残置	片開き戸		1	850	2000	120	4-21-3	4-31-3	—	—	—	—	・清掃 ・調整 ・塗装部RB枠の上SOP		残置	引違い窓		4	3100	1100	70	4-51-1 4-52-1	—	FL	3	3100	1100	・清掃 ・調整 ・シーリング打替え							
	残置	片開き戸		1	750	2000	120	4-21-3	4-31-3	—	—	—	—	・清掃 ・調整 ・塗装部RB枠の上SOP		残置	引違い窓		5	1650	1100	70	4-51-1 4-52-1	—	FG	4	1650	1100	・清掃 ・調整 ・シーリング打替え							
	残置	両開き戸		1	3900	2375	120	4-46-3	4-31-3	PW	6.8	3900	2375	・清掃 ・調整 ・シーリング打替え		残置	片開き窓+ガラスブロック		6	785	1900	100	4-51-1 4-52-1	—	FL	3	785	1900	・清掃 ・調整 ・シーリング打替え							
	残置	両開き戸		3	1700	2000	110	4-46-3	4-31-3	—	—	—	—	・清掃 ・調整 ・塗装部RB枠の上SOP		残置	FIX窓+片開き窓+ガラスブロック		1	3400	2000	100	4-51-1 4-52-1	—	FL	3	3400	2000	・清掃 ・調整 ・シーリング打替え							
	撤去	親子戸		6	1200	2000	140	4-46-3	4-31-3	FG	4	500	750	・ガラリ200x500		残置	がらり		1	1400	600	70	4-51-1	—	—	—	—	—	・清掃 ・調整 ・シーリング打替え							
	撤去	片開き戸		105	850	2000	135	4-46-3	4-31-3	FG	4	200	750	・ガラリ200x700		残置	三方枠		10	1000	2000	140	三方枠	—	—	—	—	—	・清掃							
	残置	片開き戸		5	850	2000	110	4-46-3	4-31-3	—	—	—	—	・清掃 ・調整 ・塗装部RB枠の上SOP		残置	三方枠		1	1200	2400	140	三方枠	—	—	—	—	—	・清掃							
	残置	片開き戸		2	850	2000	110	4-51-1 4-52-1	4-31-3	—	—	—	—	・清掃 ・調整 ・塗装部RB枠の上SOP		残置	三方枠		1	1200	2250	140	三方枠	—	—	—	—	—	・清掃							
	撤去	2連引込み窓		49	3400	1900	70	4-51-1 4-52-1	—	FG	4	3400	1900			撤去	シャッター		1	3020	2175	—	—	—	—	—	—	—								
	撤去	2連引込み窓	防火	2	3400	1900	70	4-51-1 4-52-1	—	FG	4	3400	1900			残置	四方枠		11	250	250	195	四方枠	—	—	—	—	—	・清掃							
	4箇所 階段室			10箇所 廊下			1箇所 階段室			1箇所 階段室			1箇所 物置			3箇所 EPS			6箇所 談話室、補食室			105箇所 寮室、シャワー室、自習室			5箇所 物入			2箇所 EPS								
																																				
	49箇所		2箇所(網入ガラス)		34箇所		2箇所(網入ガラス)		5箇所 談話室		4箇所 階段室		5箇所 便所		6箇所 洗面、洗濯室		1箇所 下足室		1箇所 共同溝																	
																																				
	10箇所			1箇所		1箇所 ()内寸法		11箇所			1箇所 階段室			1箇所 玄関																						
																																				
年 度	設計年月	設計業務名					工事名称					図面名称					縮尺		建築士法第20条第1項に基づく表示					図面番号												
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務					鹿児島工業高専第六志学寮改修工事					建具表(既存)					A1 1/100 A3 1/200		株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明					A-19												

[illegible]

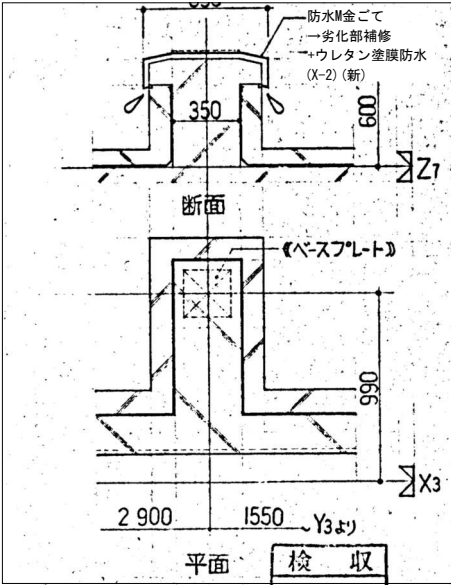
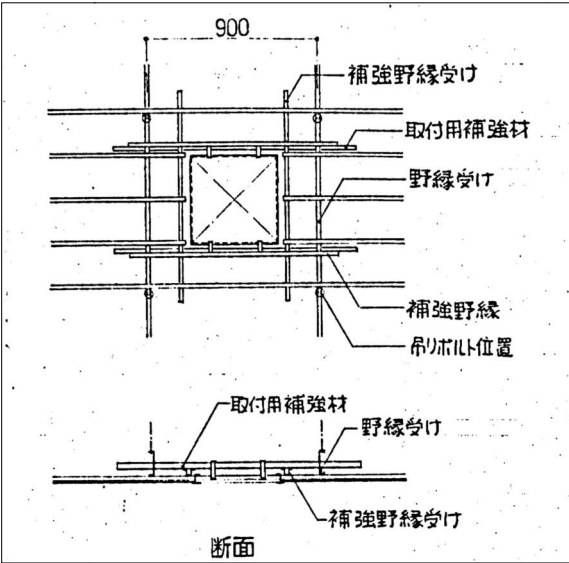
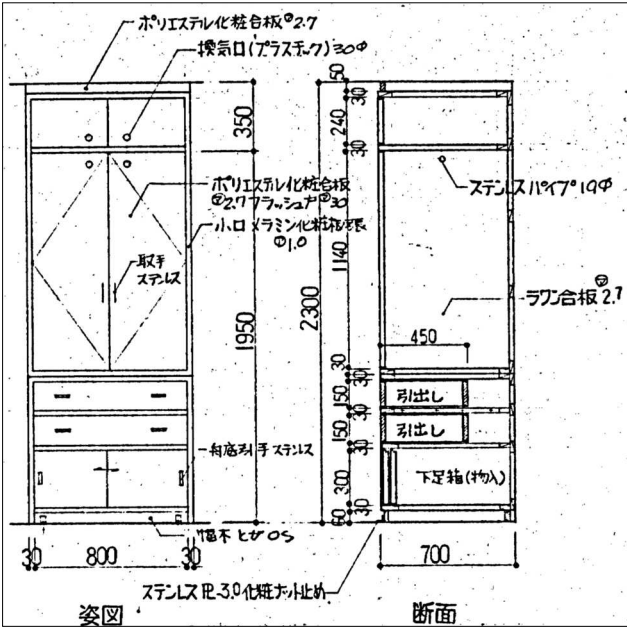
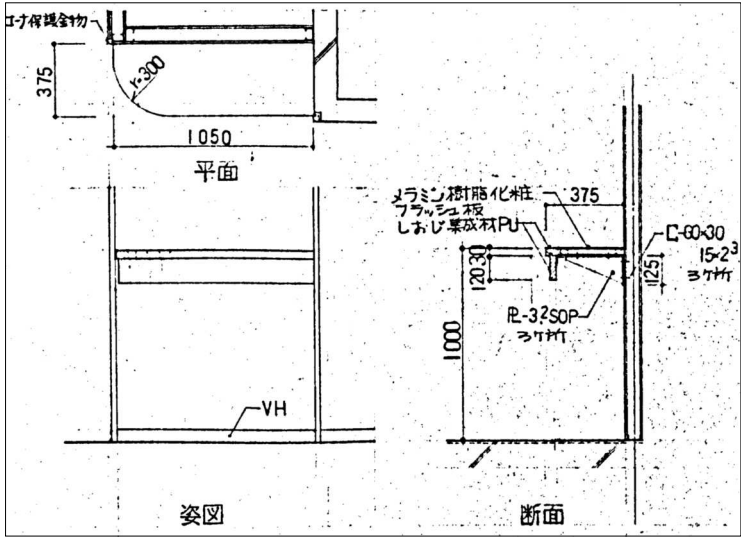
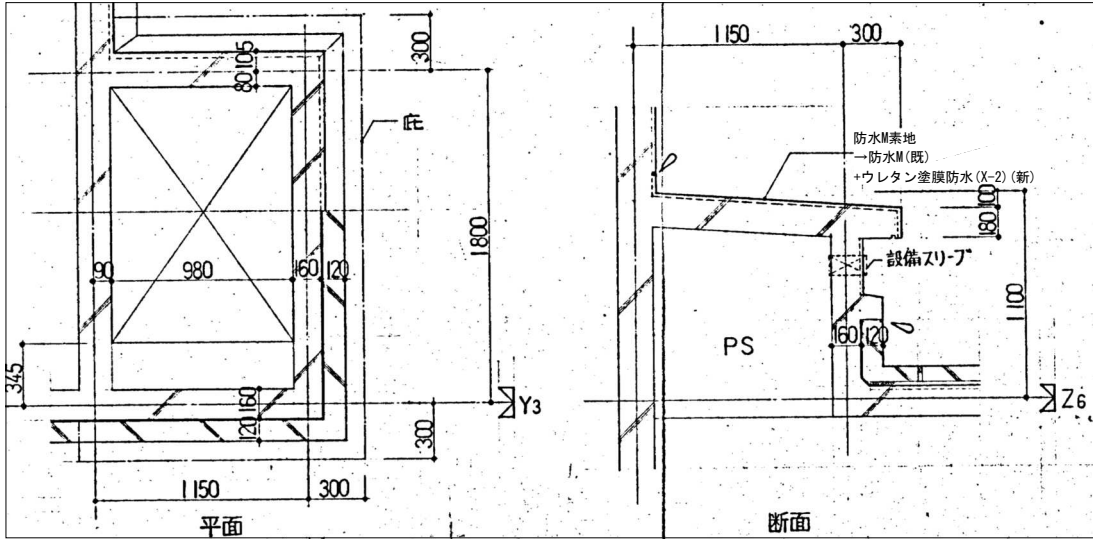
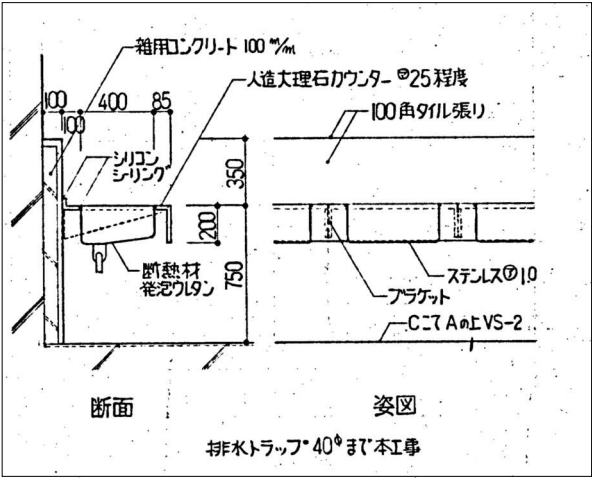
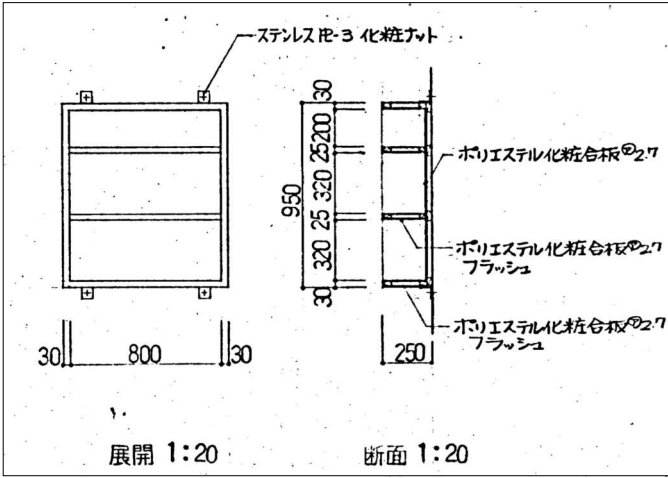
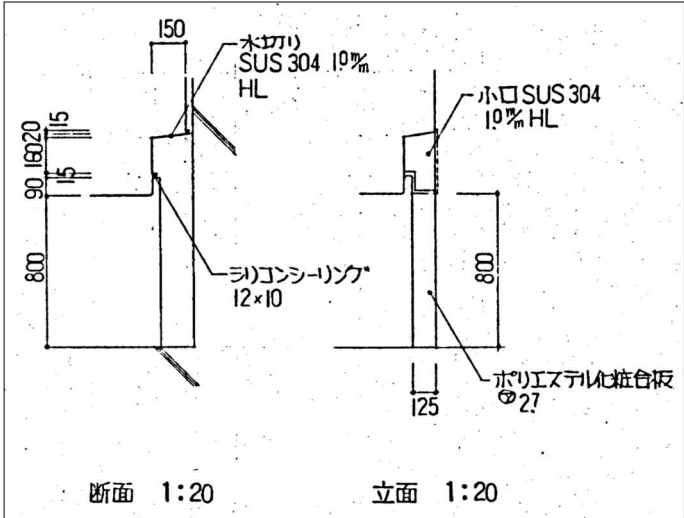
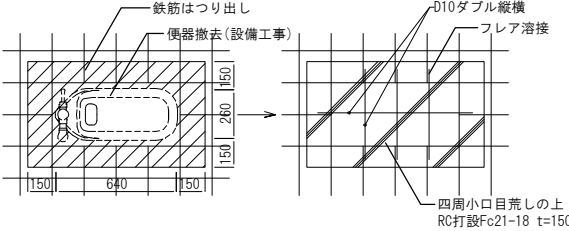
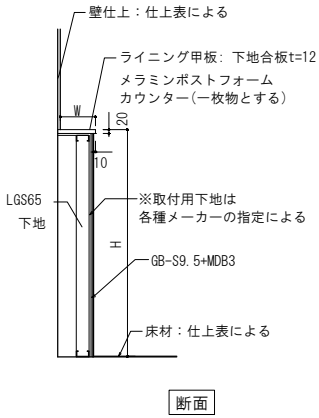
改修建具表																																																	
符号	改修区分	建具分類 ()内は欄間を示す	防火種別	数量	寸法		建具枠			ガラス				備考	符号	改修区分	建具分類 ()内は欄間を示す	防火種別	数量	寸法		建具枠			ガラス				備考																				
					W	H	枠見込	枠形状	奇据	建類	厚さ	W	H							W	H	枠見込	枠形状	奇据	建類	厚さ	W	H																					
<div>1SD</div>	カバー工法	随時閉鎖式防火戸	特定防火遮煙	4	2700	2000	120	4-21-3	4-31-3	—	—	—	—	・既存枠利用 ・HC-1 ・レリーズ ・煙感知器連動	<div>1AW</div>	新設	引違い窓		5	3240	1200	70	4-51-1 4-52-1	—	FL	3	3240	1200	・クレセント ・網戸 ・付属金物一式																				
<div>2SD</div>	カバー工法	両開き戸		6	1400	2050	120	4-42-3	4-31-3	FW	6.8	200×2	1750×2	・既存枠利用 ・PH ・DC-1 ・シリンダー錠 ・付属金物一式	<div>1SS</div>	新設	随時閉鎖式防火シャッター	特定防火遮煙	1	3020	2175	—	—	—	—	—	—	—	・煙感知器連動 ・付属金物一式																				
<div>2FSD</div>	カバー工法	両開き戸	防火	4	1400	2050	120	4-42-3	4-31-3	FW	6.8	200×2	1750×2	・既存枠利用 ・SAT ・PH ・DC-1 ・シリンダー錠 ・付属金物一式																																			
<div>3SD</div>	カバー工法	常時閉鎖式防火戸	特定防火遮煙	1	1800	2000	120	4-42-3	4-31-3	FW	6.8	200×2	1750×2	・既存枠利用 ・HC-1																																			
<div>2LSD</div>	新設	親子戸		6	1200	2000	140	4-46-3	4-31-3	FG	4	500	750	・丁番 ・DC-1 ・シリンダー錠 ・付属金物一式																																			
<div>3LSD</div>	新設	片開き戸		151	850	2000	135	4-46-3	4-31-3	—	—	—	—	・丁番 ・DC-1 ・シリンダー錠 ・付属金物一式																																			
<div>4LSD</div>	新設	片開き戸		2	650	1850	135	4-46-3	4-31-3	—	—	—	—	・丁番 ・DC-1 ・シリンダー錠 ・付属金物一式																																			
<div>5LSD</div>	新設	片開き戸		5	710	2000	135	4-46-3	4-31-3	—	—	—	—	・丁番 ・DC-1 ・シリンダー錠 ・付属金物一式																																			
<div>6LSD</div>	新設	片開き戸		5	660	2000	135	4-46-3	4-31-3	—	—	—	—	・丁番 ・DC-1 ・シリンダー錠 ・付属金物一式																																			
<div>7LSD</div>	新設	片開き戸		19	600	2000	135	4-46-3	4-31-3	—	—	—	—	・丁番 ・DC-1 ・シリンダー錠 ・付属金物一式																																			
<div>8LSD</div>	新設	片引き戸		1	1795	2000	135	4-46-3	4-31-3	—	—	—	—	・丁番 ・DC-1 ・シリンダー錠 ・付属金物一式																																			
<div>1AD</div>	新設	2連引込み窓		49	3400	950	70	4-51-1 4-52-1	—	FG	4	3400	1900	・クレセント ・網戸 ・付属金物一式																																			
<div>1FAD</div>	新設	2連引込み窓	防火	2	3400	950	70	4-51-1 4-52-1	—	FW	6.8	3400	1900	・クレセント ・網戸 ・付属金物一式																																			
<div>2AD</div>	新設	2連引込み窓		34	3400	900	70	4-51-1 4-52-1	—	FG	4	3400	1850	・クレセント ・網戸 ・付属金物一式																																			
<div>2FAD</div>	新設	2連引込み窓	防火	2	3400	900	70	4-51-1 4-52-1	—	FW	6.8	3400	1850	・クレセント ・網戸 ・付属金物一式																																			
<div>1SD</div>	4箇所 階段室			<div>2SD</div>	10箇所 廊下			<div>3SD</div>	1箇所 階段室			<div>2LSD</div>	6箇所 談話室、補食室			<div>3LSD</div>	105箇所 寮室、シャワー室、自習室			<div>4LSD</div>	2箇所 脱衣			<div>5LSD</div>	5箇所 便所PS			<div>6LSD</div>	5箇所 SK			<div>7LSD</div>	19箇所 便所			<div>8LSD</div>	1箇所 バリアフリートイレ												
<div>1AD</div>	49箇所	<div>1FAD</div>	2箇所(網入ガラス)	<div>2AD</div>	34箇所	<div>2FAD</div>	2箇所(網入ガラス)	<div>1AW</div>	5箇所 談話室																																								
<div>1SS</div>	1箇所 階段室																																																
年 度	設計年月	設計業務名						工事名称						図面名称						縮尺		建築士法第20条第1項に基づく表示						図面番号																					
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務						鹿児島工業高専第六志学寮改修工事						建具表(改修)-2						A1 1/100 A3 1/200		株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明						A-21																					

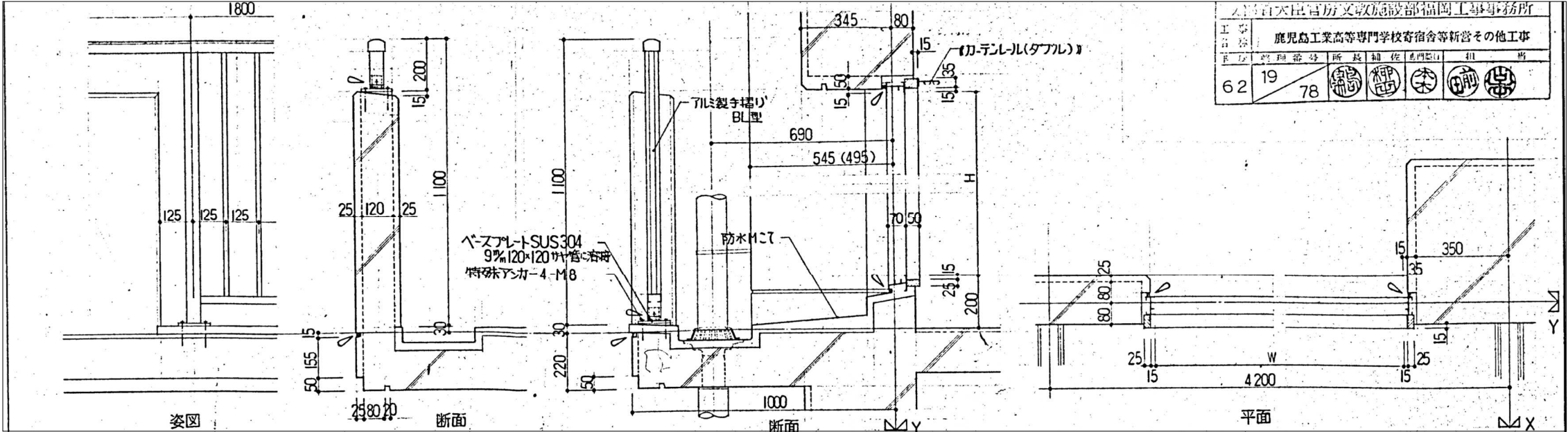
間仕切取合い金物	1/10	 1/10	換気フード回り	1/10	 1/10	 1/10
						

屋上パラペット詳細図	1/10	 1/10	間仕切	1/10	
					

便所隔て (撤去)	1/10	    1/3	
			

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	部分詳細図-1	A1 図示 A3 図示	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	A-22

高置水槽基礎		1/20	天井開口補強要領図		1/20	ロッカー(撤去・新設)		1/20	公衆電話台(撤去)		1/20
											
PS立上り詳細		1/20	洗面流し(撤去・新設)		1/20	木棚(撤去・新設)		1/20			1/20
											
流し回り水切り(撤去・新設)		1/20	和式大便器開口閉塞詳細図		1/20	ライニング(新設)		1/20	ALC腰壁(新設)		1/20
											
年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示		図面番号			
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修(建築)(設備)設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	部分詳細図-2	A1 図示 A3 図示	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明		A-23			

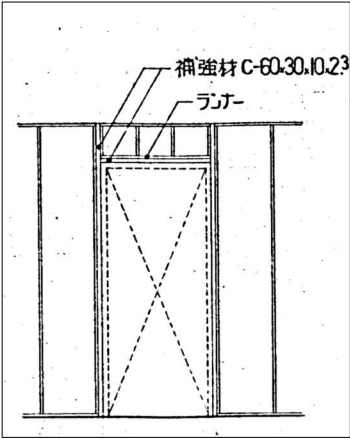
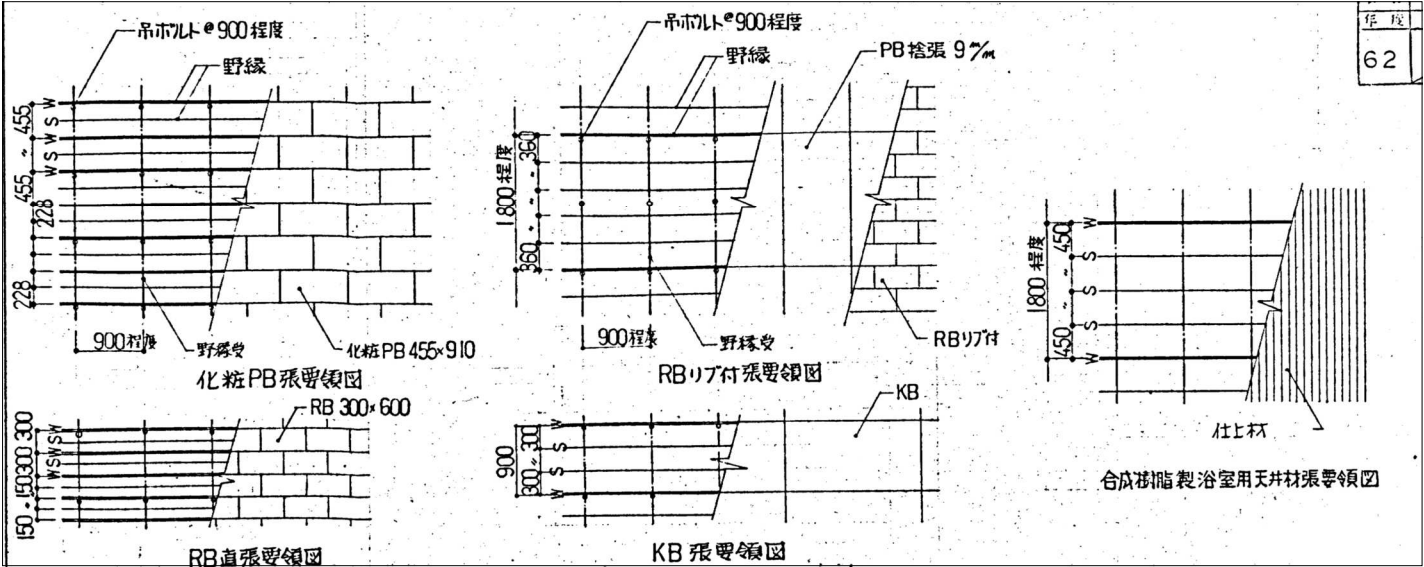


軽鉄天井下地要領図

1/50

扉開口補強要領図

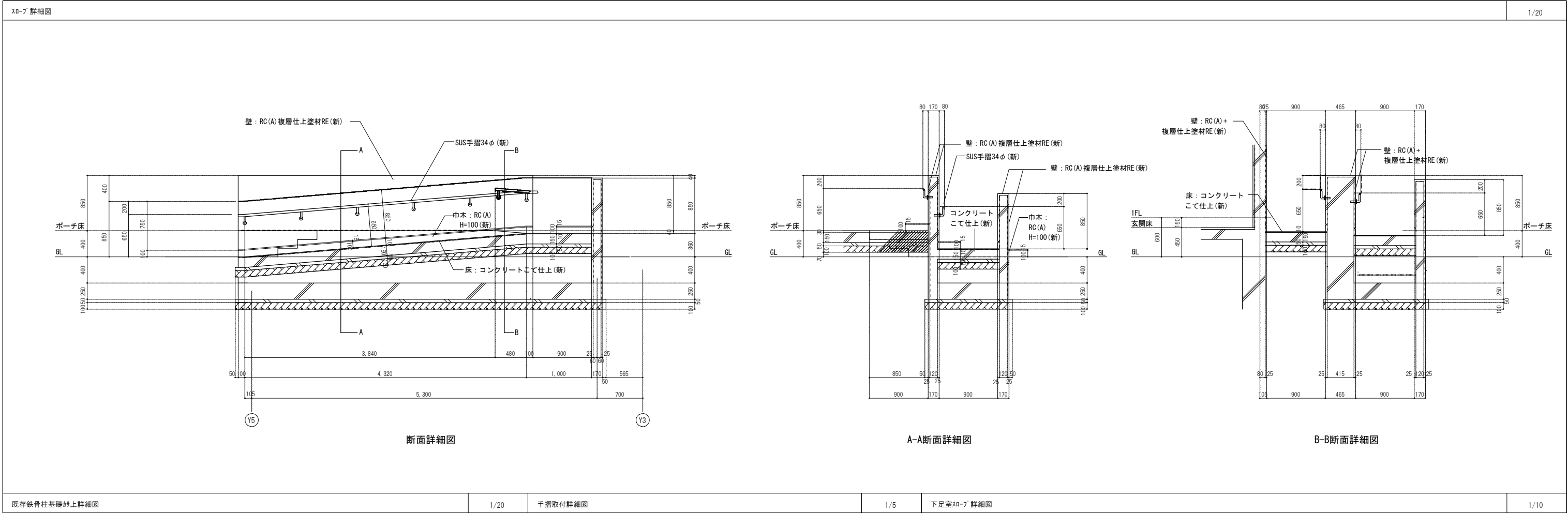
1/30



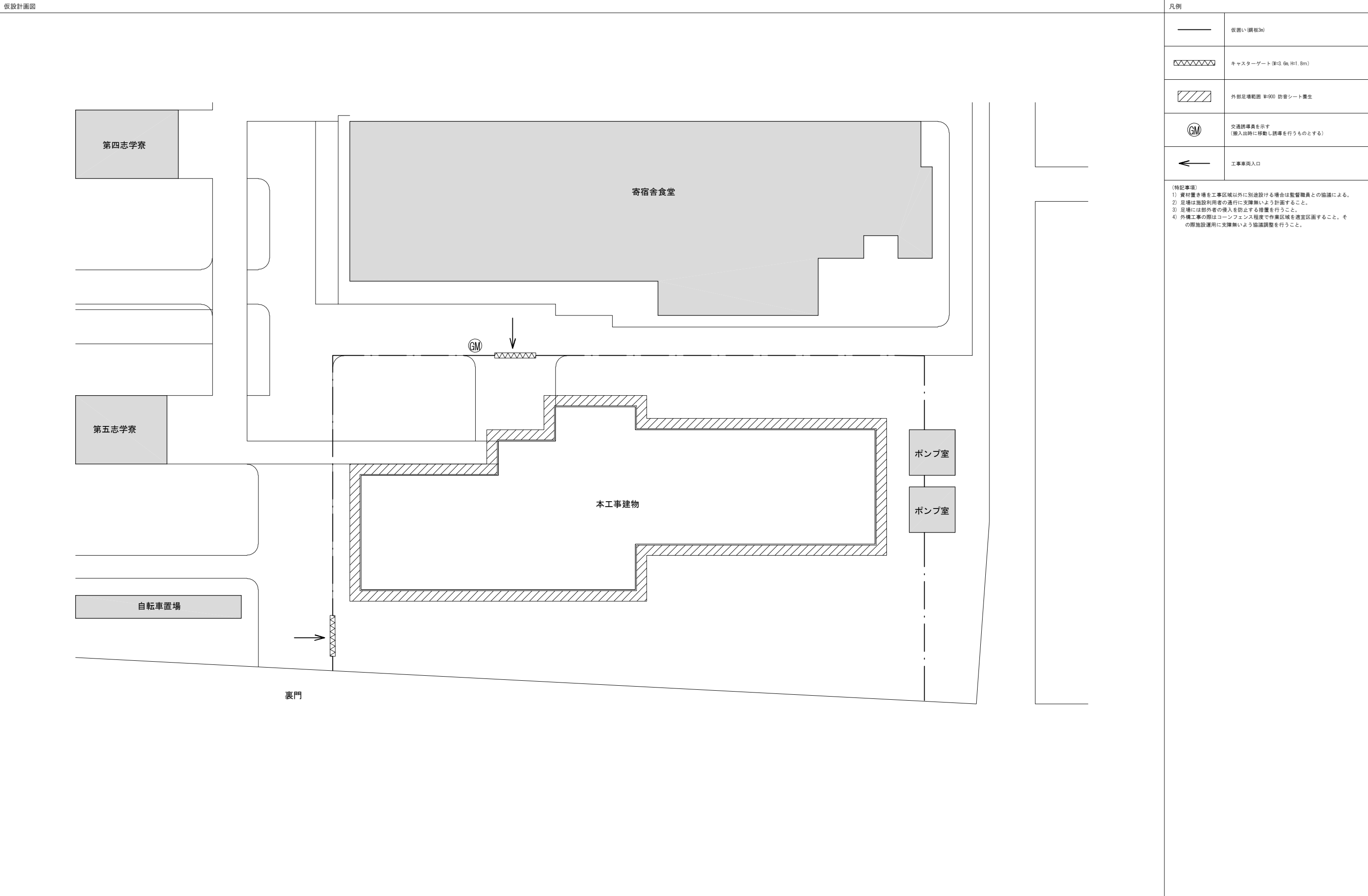
室名札(21か所)	1/3	2人用寮室室名札(名前入札付)(20か所)	1/3	1人用寮室室名札(名前入札付)(120か所)	1/3
<div><p>表示基板：アクリルマット板 UV印刷</p><p>ベース：スライドロック機構 (着脱式)</p><p>※スライドロック機構 (ABS樹脂成形) 脱着式</p><p>ピクトサイン</p><p>表示基板：アクリルマット板 UV印刷</p><p>英語表記</p><p>表示基板：アクリルマット板 t3 加工 t6UV印刷</p><p>ベース：スライドロック機構 (着脱式)</p><p>ワード</p><p>補食室 Dining Room 5箇所</p><p>ラーニング commons Learning Commons 5箇所</p><p>洗面・洗濯室 Wash Room・Laundry Room 5箇所</p><p>トイレ TOILET 5箇所</p><p>シャワー室 Shower Room 1箇所</p></div>	<div><p>表示基板：アクリルマット板 t6 UV印刷</p><p>ベース：スライドロック機構 (着脱式)</p><p>※スライドロック機構 (ABS樹脂成形) 脱着式</p><p>表示基板：アクリルマット板 t6 UV印刷</p><p>スライド式名前プレート</p></div>	<div><p>表示基板：アクリルマット板 t6 UV印刷</p><p>ベース：スライドロック機構 (着脱式)</p><p>※スライドロック機構 (ABS樹脂成形) 脱着式</p><p>表示基板：アクリルマット板 t6 UV印刷</p><p>スライド式名前プレート</p></div>			

バックヤードサイン(15か所)		1/2	館名板(1か所)		1/30	■サイン特記仕様 〔 1 〕 使用材料 a. 木材 : VOC商品 (ホルムアルデヒド基準F☆☆☆☆対応) とする。 b. アルミ : J I S - H 4 1 0 0 A - 6 0 6 3 S - T 5 (アルミ押出型材) c. アクリル : J I S - K - 6 7 1 8 d. ステンレス : J I S - G 4 3 0 5 SUS 3 0 4、H L 仕上 2〕 フォント a. 書体については、丸ゴシックは「スーラDB」、角ゴシックは「新ゴM」を基準とする。 ※ただし、係員より特定の書体の指示があった場合にはこの限りではない。 3〕 ピクトグラム a. 図柄については、原稿を作成し係員の承認を受けること。 4〕 カラーユニバーサル a. C U Dカラー認証取得業者での製作とする。 5〕 取付位置・方法 a. 取付位置については、視認性を考慮し係員と協議の上決定する。 b. 取付方法については、取付位置の地下などを考慮し適切な方法で取り付けを行うこと。 c. 障害者用サインについては、自治体福祉要綱に基づき、係員と協議の上決定する。 6〕 その他 a. 室名札については、部屋の移動・名称変更に対応できるよう脱着式を基本とする。 又、室名札脱着の際には スライドロック機構、専用吸盤などを利用し 商品の損傷等がなくスムーズに脱着できる仕様とすること。 b. サイン計画については、当施設他工事と充分に調整協議をすること。
<div><div><div>40</div><div>倉</div><div>ワード</div></div><div><div>カッティングシート</div><div>庫</div><div>倉庫 5箇所 S K 5箇所 P S 5箇所</div></div></div>		1/2	<div><div>SUS切文字 フッ素焼付仕上</div><div>第二志学寮 The Shigaku dormitory 2</div><div>※W寸法は現場にて打合せ</div></div>		1/30	
避難口誘導標識ステッカー(15か所)		1/2	避難口標識ステッカー(1か所)		1/2	
<div><div><div>67</div><div><div>←</div><div><div>非常口 EXIT</div></div><div>→</div></div><div>200</div></div><div>PET製 裏側粘着加工付 (消防用設備等認定品)</div></div>		1/2	<div><div><div>100</div><div><div>非常口 EXIT</div></div><div>150</div></div><div>PET製 裏側粘着加工付 (消防用設備等認定品)</div><div>完成図</div></div>		1/2	

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第 1 項に基づく表示	図面番号
令和 5 年	令和 6 年 5 月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	部分詳細図-4	A1 図示 A3 図示	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	A-25



既存鉄骨柱基礎加工詳細図		1/20	手摺取付詳細図		1/5	下足室スロープ 詳細図		1/10
年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	図面番号	
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	外構詳細図	A1 図示 A3 図示	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	A-27	



年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第 1 項に基づく表示	図面番号
令和 5 年	令和 6 年 5 月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	仮設計画図(参考)	A1 1/100 A3 1/200	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	A-28

鹿兒島工業高専第六志学寮改修工事

(電気設備工事)

工 事 概 要

1 工事場所 鹿兒島県霧島市隼人町真孝1460-1 鹿兒島工業高専構内

2 完成期限 令和 年 月 日(曜日)

3 指定部分 無 有 対象部分(指定部分工期 年 月 日)

4 概成工期 ○無 有 令和 年 月 日(曜日)

(第1編1.1.2)、[第1編1.1.2]

5 建物概要

建 物 名 称	第六志学寮			
工 種	改修			
構 造	R C造			
階 数	5階建て			
建築基準法による	建築面積(㎡)	518㎡		
	延べ面積(㎡)	2,563㎡		
消防法施行令別表第一の区分				
改 修 面 積 (㎡)		2,563㎡		
備 考				

6 工事種目(印の付いたものが対象工事種目)

工 事 種 目	建物別及び屋外			
	第六志学寮			屋外
電灯設備	一式			
動力設備	一式			
電気自動車用充電設備				
電熱設備				
雷保護設備				
受変電設備	一式			
電力貯蔵設備				
発電設備				
構内情報通信網設備	一式			
構内交換設備	一式			
情報表示設備				
映像・音響設備				
拡声設備	一式			
誘導支援設備				
テレビ共同受信設備	一式			
監視カメラ設備	一式			
駐車場管制設備				一式
構内配電線路				一式
構内通信線路				
○発生材処理				

工 事 仕 様

1 共通仕様

(1) 独立行政法人国立高等専門学校機構が定める工事請負契約基準、現場説明書、図面 2 8 枚及び本特記仕様書 2 枚によるほか、 印の付いたものを適用する。

公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下「標準仕様書」という。)

公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下「改修標準仕様書」という。)

公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和4年版)(以下「標準図」という。)

文部科学省電気設備工事標準仕様書(特記基準)(令和4年版)(以下「文科仕様書」という。)

文部科学省電気設備工事標準図(特記基準)(令和4年版)(以下「文科標準図」という。)

工事写真撮影要領(令和5年9月)

(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。

なお、機械設備工事の特記仕様書は()図、建築工事の特記仕様書は()図による。

2 特記仕様

(1) 本特記仕様書の表記

1) 項目及び特記事項は、 印の付いたものを適用する。

2) 項目に記載の(第 編 . . .)内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

3) 項目に記載の[第 編 . . .]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

4) 項目に記載の<第 編 . . . >内表示番号は、文科仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

項 目

特 記 事 項

適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。

風圧力

風速(Va= 36 m/s)

地表面相区分()

積雪荷重

建設省告示第1455号における区域 別表()

電気保安技術者

(第1編1.3.2)

[第1編1.3.2]

この工事現場に下記のいずれかの電気保安技術者を選任する。

項 目 名

電気保安技術者

1. 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者

2. 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者

3. 第1種電気工事士の資格を有する者

4. 高等学校又はこれと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者

5. 旧電気工事技術者検定規則による高压電気工事技術者の検定に合格した者

6. 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高压試験に合格した者

7. 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者

8. 第2種電気工事士の資格を有する者

9. 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学(実験を含む)に関する科目を修めて卒業した者

工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。

施工条件

(第1編1.3.3)

[第1編1.3.3]

・原則として作業時間は平日の8:30~17:00とし、それ以外の時間帯の作業については事前に監督職員と協議の上施工すること。

・騒音、振動等授業や教育研究活動に影響を及ぼす恐れのある作業は、事前に監督職員と協議の上実施する事。

・通行止め、停電、断水を伴う作業は、事前に作業計画書を提出し、監督職員の承諾を得た上で実施すること。なお、停電を伴う作業は原則休日(土・日・祝日)とし、日程は監督職員との協議により決定する。

・ 部屋について、令和 年 月 日から使用する。

電源周波数

5 0 H z 6 0 H z

発生材の処理等

(第1編1.3.9)

[第1編1.9.1]

(1) 引渡しを要するもの

1)品 名

2)引渡し先

3)集積場所

4)集積方法

(2) 特別管理産業廃棄物

1)品 名

2)処理方法

(3) 現場において再利用するもの

1)品 名

2)使用場所

(4) 再生資源化するもの

1)品 名

(5) その他の発生材

1)品 名

2)処理方法

環境への配慮

(第1編1.4.1)

[第1編1.4.1]

(1) 本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(令和4年2月閣議決定)」に定める特定調達品目「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。

(2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の から を満たすものとする。

合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

項 目

特 記 事 項

機材の品質等

(第1編1.4.2)

[第1編1.4.2]

(1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

(2) 下表に機材名が記載された製造業者等は、次の事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、次の事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は、証明となる資料等の提出を省略することができる。

○ 品質及び性能に関する試験データを整備していること。

○ 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。

○ 安定的な供給が可能であること。

○ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。

○ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

○ 販売、保守等の営業体制を整えていること。

機 材 名

機材の検査等

機材の検査に伴う試験

(第1編1.4.4~5)

[第1編1.4.5~6]

機 材 名

検 査

試 験

摘 要

照 明 器 具

搬入時外観検査

分 電 盤

搬入時外観検査

キュービクル

搬入時外観検査

施工調査

[第1編1.5.1~3]

事前調査(本工事 別途)

調査項目(既存資料調査)

調査範囲(図示)

調査方法(図示)

施工の検査等

施工の検査に伴う試験

施工の立会及び施工検査に伴う試験を受けるものとする。

施 工 部 分

検 査 立 会 試 験

摘 要

受変電設備改修

工事完成後提出する完成図等の種類及び提出部数は下記による。

名 称

体 裁 等

完 成 図

CADデータ(電子納品)及び電子データ

"

原図 ○A1版(部) ○A3版(部)

"

複写図 製本(A4版厚紙表紙金文字入り)(部)

"

複写図 仮製本 ○A1版(部) A3版(部)

保全に関する資料

紙媒体(1部) 電子データ

工 事 写 真

紙媒体(1部) 電子データ

負荷設備台帳

紙媒体(部) 電子データ

官公署等届出書類(写)

紙媒体(部) 電子データ

紙媒体はA4版ファイル綴じ、電子データはPDF形式とする。

電子納品は次による。

(1) 貸与する設計図CADデータの著作権者名: 高専 ファイル形式: JWW

貸与条件: 貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図作成のため以外に使用しないこと。

(2) 電子納品の対象は上記によるほか、監督職員と受注者で協議を行う。

(3) 電子成果品は、提出前にウイルス対策を実施したうえで監督職員に提出する。

(4) 提出方法及びファイル形式は以下による。

CADデータ: JWW、DXF及びPDF 提出方法: CD又はDVDに保存し、1部提出する。

石綿含有材料の事前調査

[第1編1.8.2~3]

足場その他

(第1編2.1.1)

[第1編2.2.2]

発生残土の処理

(第1編2.2.1)

[第1編2.3.1]

○金属管の塗装及び仕上げ

(第1編2.7.1)

[第1編2.8.1]

次の露出配管は、塗装を行う。

○屋内()

○屋外()

屋外に敷設する露出配管で溶融亜鉛メッキ仕上げを使用する場合は付着量300g/㎡以上とする。

項 目

特 記 事 項

耐震措置

設備機器の固定は、次によるほか、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。

(1) 設備機器の固定は、施設の分類並びに機器の種別、重要度及び設置階に応じて、次の設計用水平地震力及び設計用鉛直地震力に対し、移動、転倒、破損などが生じないようにする。

設計用水平地震力

機器の重量[kN]に設計用水平震度を乗じたものとする。

なお、特記なき場合は、設計用水平震度は、次による。

設計用標準水平震度

機 器 種 別	○特定の施設		一般の施設		
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	
上層階 屋上 及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。

・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの

・水槽類には燃料小出タンクを含む。

・重要機器は次のものを示す。

配電盤

発電装置(防災用)

直流電源装置

交流無停電電源装置

交換機

○自動火災報知受信機

中央監視装置

設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

(2) 横引き配管等の耐震指示は、施設の分類に応じたものとする。

既存躯体への穿孔

[第1編2.11.1~5]

電気工事士

最大電力500[kW]以上の場合においても、電気工事士法(昭和35年法律第139号)に基づく有資格者により施工を行う。

フラッシュプレート

フラッシュプレートは、図面に特記なき場合、(金属製(ステンレス、新金属を含む) 樹脂製)とする。

電線の色別

(第2編2.1.3)

(第3編1.1.4)

[第2編2.1.4]

配線及び主回路の導体の色別は、次による。

標準仕様書による。

○ 既存合わせによる。

配線及び主回路の導体の色別は、下記による。

電気方式	第1相	第2相	第3相	中性相
高 圧	三相3線式	赤	白	青
	三相3線式	赤	接地側 白	黒
	三相4線式	赤	青	黒
低 圧	単相2線式	赤(青)	接地側 白	
	単相3線式	赤	青	白
	直流2線式	青	白	

(1) 分岐回路の色別

分岐前の色別による。

(2) 発電回路の第2相

接地側の電線の色は黄色とする(無停電回路含む)

(3) 切替回路の2次側

規定しない。

(4) 漏電遮断器回路の接地

専用接地極とした時の接地線は、監督職員と協議し、一般接地線と色別を区別する。

共通事項

配線(1)~(4)による。

分電盤類

左右・上下及び遠近の別は、正面から見た状態

ア)左右の別は、左からとする。

イ)上下の別は、上からとし、直流2線式は、下からとする。

ウ)遠近の別は、近いほうからとし、直流2線式は、遠いほうからとする。

備考

(a) 配電盤類については、次による。

(1) 左右、遠近の別は、各回路部分における主となる開閉器の操作側又はこれに準ずる側から見た状態とし、分電盤類による。

(2) 三相回路又は単相3線式回路より分岐する回路は、分岐前の色別による。

(3) 三相交流の相は、第1相、第2相、第3相の順に相回転するものとする。

(b) 屋外架空配線の色別は、本表によらなくてよい。

(c) 接地線の色別は、監督職員の承諾を受けること。

他工事又は他工種との取り合い

図面に特記なき場合は、工事区分表による。

特殊場所

<第2編2.1.1~9>

特殊場所は下記による。

特 殊 場 所 の 内 容	適用する場所	危険場所の種別	危険物の種類
湿気の多い場所	地下ビット		
気密性を要する場所			
ガス蒸気危険場所			
粉じん危険場所			
○危険物等貯蔵場所			
腐食性ガスのある場所			
爆発を受けるおそれのある場所			
爆害を受けるおそれのある場所			

年 度

設計年月

設計業務名

鹿兒島工業高専
第六志学寮改修(建築)(設備)設計業務

工事名称

鹿兒島工業高専第六志学寮改修工事

図面名称

特記仕様書(1)

縮尺

A1:N.S
(A3:N.S)

建築士法第20条第1項に基づく表示

株式会社唯設計

一級建築士登録 第295054号 日野 秀明

独立行政法人国立高等専門学校機構
鹿兒島工業高専専門学校

事務部長

総務課長

課長補佐

係長

担当

図面番号

特 E - 0 1

工事区分表(参考)

1. 印の付いたものを適用する。
2. が重複する項目は、それぞれの区分が必要とする工事を自ら行う。

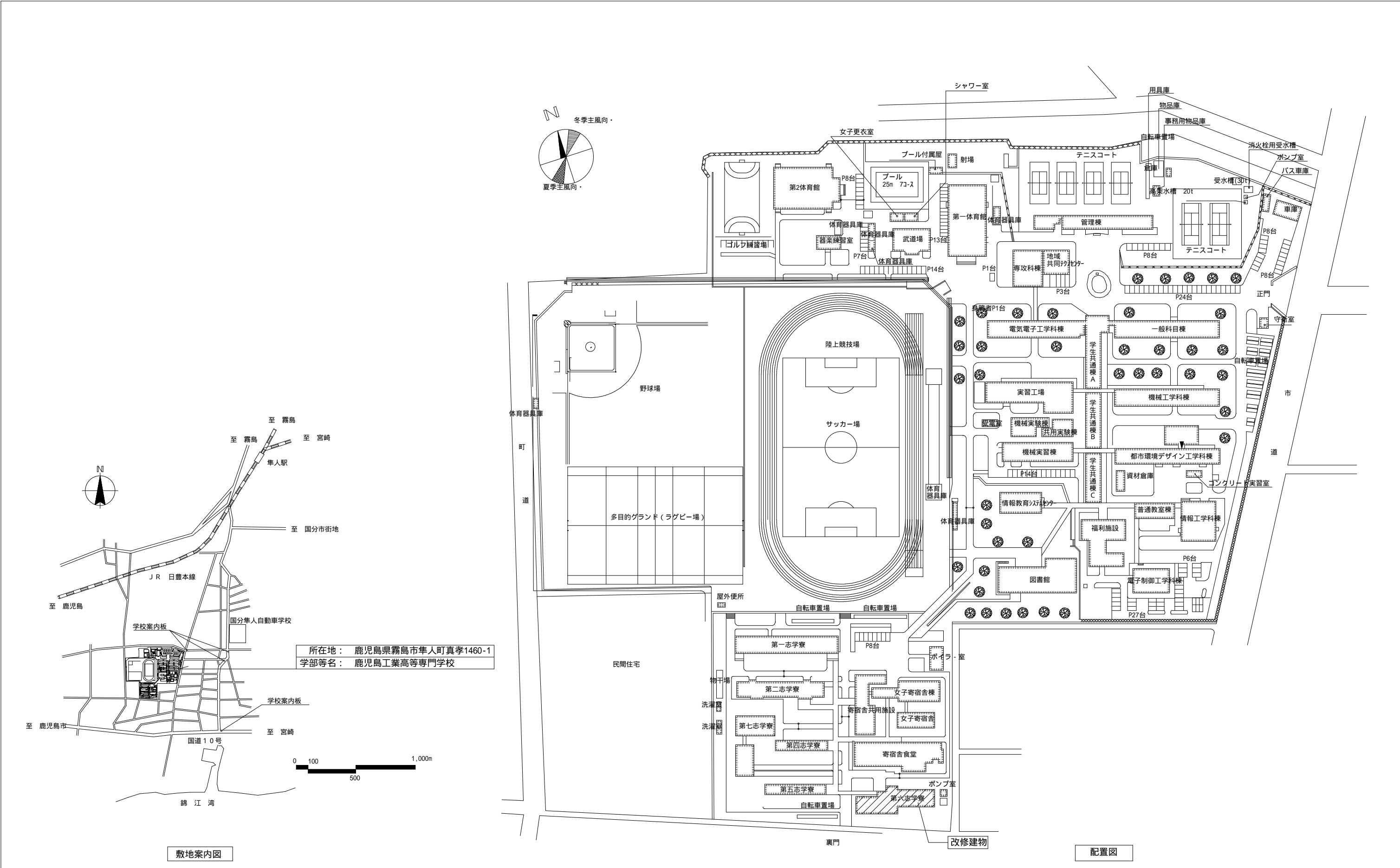
区 分		建 電 機	備 考
項 目	名 称	築 気 械	
コンクリ - ト穴あけ	梁、壁木製型枠入		墨出し、補修共
"	壁スリ - ブ入れ		ボイド等
"	床スラブ木製型枠入		墨出し、補修除く
"	床スラブスリ - ブ入れ		ボイド等
同上開口部補強	鉄筋切断及び補強筋入れ		
配管ダクト類の防水			
貫通部補修			
A L Cパネルの穴あけ、補修	ダクト等の貫通部		
P C版の穴あけ	スリ - ブ入れ		
同上補修			モルタル充てん等
インサート	P C版		
インサート	コンクリート床		
天井点検口	点検口取付及び、開口部補強		ボード切込、墨出し共
軽量鉄骨下地開口部墨出し	電気設備関係開口部		照明器具等
"	機械設備関係開口部		空調吹出口
軽量鉄骨下地開口部補強	天井及び壁、ボ - ド切開		照明器具、空調吹出口、給排気、ガラリ等
開口補強を必要としないボ - ド等の切開			ボード切込、墨出し共
特殊仕上材の天井、壁、床に取付ける器具等の穴あけ加工			石、金属パネル等
盛等重量物の下地補強	露出形器具取付用		
床点検口	点検口取付及び、開口部補強		墨出し共
防火区画貫通部補修			モルタル充てん等
機器・配管取付後の壁、床等の補修			
流し台、ミニキッチン本体、水切	ステンレス製（排水金具含む）		水切り板、同穴あけ共
同上用配管接続	給排水用		
流し台	陶器製		
洗面器等取付化粧板			
ルーフドレン			
立どい	防露工事共		第 1 樹までの配管
雨水排水管	第 1 樹から排水幹線までの配管		第 1 樹を含む
"	幹線の配管		
生活排水、実験排水管	建物及び第 1 樹までの配管		第 1 樹までの配管
"	第 1 樹から排水幹線までの配管		第 1 樹を含む
"	幹線の配管		
道路側溝排水	L 型・U 型と管敷設		
大型機械基礎			
同上基礎上鉄骨架台			
機器用アンカーボルト	ボイラ、冷凍機等機械設備関係機器		墨出し、型枠入れ共
"	自家発電機等その他電気設備関係機器		墨出し、型枠入れ共
一般機器類の基礎	仕上げ共		図示による
屋外自立盤の基礎	仕上げ共		図示による
屋外貯油槽	地下式		
共同溝	歩床コンクリート共		
建物、共同溝接続トレンチ			
同上接続止水板			図示による
各種種類	コンクリート製		
"	S U S、F R P、鋼製		
"	屋外大型のものの基礎		
"	屋上設置のものの基礎		
空調機用スイッチ			配管除く
同上配管及びボックス	スイッチ用配管及びボックス		
換気扇取付	ダクトのあるもの		天井扇等
"	壁、サッシ等への取付（材共）		フード取付共
同上用スイッチ			ボックス共
同上用電源配線			
同上用枠、取付板等	木製、アルミ製、鉄製		
全熱交換器			付属SⅡは電気工事へ支給
同上用スイッチ			RⅡが付 SⅡの配線・取付は機械工事
外壁取付ガラリ	給排気用		
内壁取付ガラリ			遮光ガラリ共
ガラリへの給排気ダクト接続			
煙感知器連動防火戸			
同上用リレーズ	配管配線、ボックス共		
同上用煙感知器	リレ - 及びリレ - までの配管配線共		
排煙防火ダンパ -	リレ - 取付まで		
煙感知器連動シャッター	リレ - 取付まで		
煙感知器連動防煙垂れ壁	リレ - 取付まで		
上記 ~ 用煙感知器	リレ - までの配管配線共		
制御盤	制御盤以降の配管、配線共		
同上用電源配線	1 次側接続まで		接地共

区 分		建 電 機	備 考
項 目		築 気 械	
屋内消火栓	消火ポンプ、制御盤		
屋内消火栓起動リレ			
同上表示灯及び起動装置			
自動火災報知器			
連結送水口	座板共		
防火水槽			
防火水槽用給排水管			
独立煙突			
同上煙道	鋼板製		
同上雷保護設備	コンクリート製		
配管配線用ビット	ステンレス鋼板製		
盤、配管、ダクト、	フリーアクセスフロア等		
配線用の二重床開口			
コンクリートシャフト			
点検口			
天井フック			
機械室、電気室の			
防音遮音処理			
特殊サイズ鏡			
化粧用洗面器、鏡	洗面カウンターは除く		
雷保護設備			
保守管理用タラップ、			トレンチ、床下部、屋上
はしご			
室内テレビ用吊金物			プロジェクター用吊金物含む
テレビアンテナ	取付共		
同上用基礎			
グリストラップ及び	コンクリート製		
ガソリトラップ	ステンレス鋼板製		
電動シャッターの配管配線	二次側。操作盤、押ボタン取付共		
同上用電源配線	一次側接続まで (相 V)		
自動扉の配管配線	二次側		
同上用電源配線	一次側接続まで		
電気錠操作盤	読取装置共		
同上配管配線			
電気錠	配管配線、接続ボックスまで		建具表参照
同上配管配線	操作盤～接続ボックスまで		
中央監視装置本体	関係機器、関係機器間配線を含む		
同上用電源配線	一次側接続まで		
同上用信号線	各メーターから装置まで		
ユニット・ス・ユニットワー	本体、換気扇据付共		
同上用電源配線	一次側接続まで。S W の取付配線共		
同上用配管	給排水換気、接続まで		
冷蔵、冷凍、恒温恒湿、	現場製作		
シールド、防音、			
無響室等の内装			
同上用電源配線	一次側接続まで		
同上用照明・コンセント	電源配管配線、接続ボックス共		
同上用配管	接続まで		
冷蔵、冷凍、恒温恒湿、	プレハブ型		
シールド、防音、			
無響室等の内装			
同上用電源配線	一次側接続まで		
同上用照明・コンセント	電源配管配線、接続ボックス共		
同上用配管	接続まで		
PC穴あけ	梁スリーブ入れ		墨出し共
コンクリート穴あけ	鉄骨工事鉄管スリーブ入れ		墨出し共
軽鉄下地開口部墨出し	電気関係開口部		
＃	機械関係開口部		
デッキプレートの開口切断			
コンクリート穴あけ	既設コンクリート床、壁		補修共
コンクリート穴埋め	既設コンクリート床、壁		配管共
＃	既設コンクリート床、壁		和風大便器・壁埋込み分電盤等
RI排水管	建物及び貯水槽までの配管		
身障者用手すり			
スクリーンボックス			スクリーン本体は除く
電動スクリーン用配管	電源供給までの配管		操作SWと操作線は除く
カーテンボックス	カーテンレール共		カーテン本体は除く
電動カーテン用配管	電源供給までの配管		操作SWと操作線は除く
ブラインドボックス	レール共		ブラインド本体除く
電動ブラインド用配管	電源供給までの配管		操作SWと操作線は除く
スクリーン等本体	カーテン・ブラインド		別途備品工事
アルミパネルの穴あけ			墨出し、防水を除く
建具アルミパネルの穴あけ			
衛生機器類	水栓等		新設ステンレス製流し等を除く
同上地下補強			
配管ダクト類の防水貫通部補修			
既存ルーフトレン撤去			
既存立どい撤去			
既存照明器具撤去			

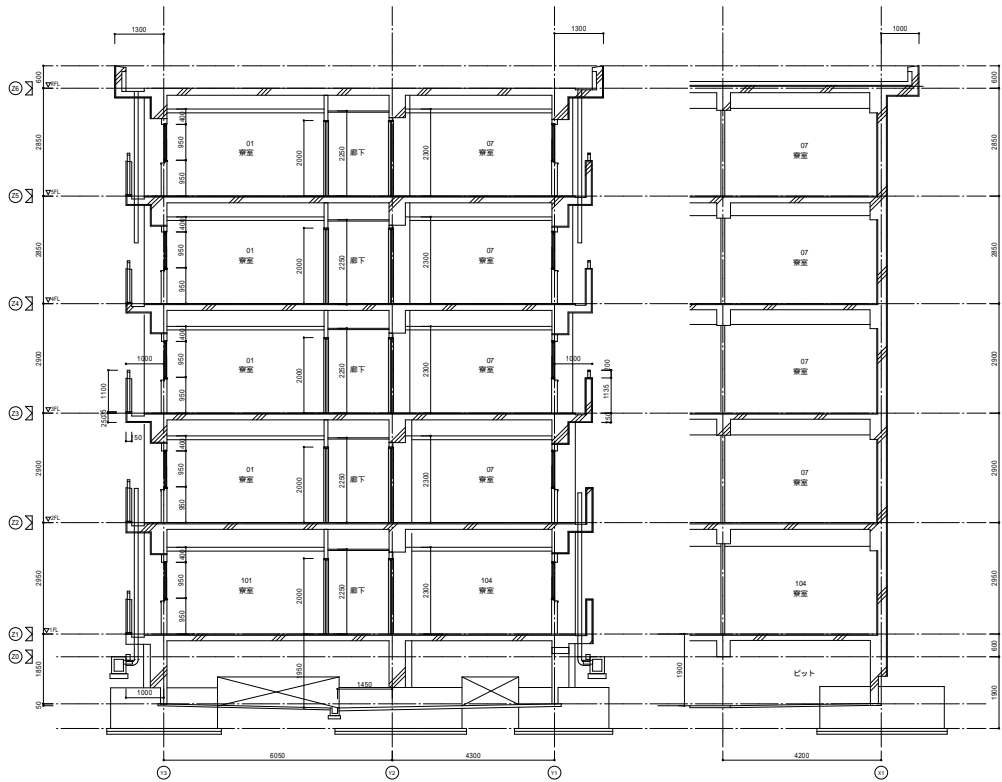
区 分		建	電	機	備 考
項 目		築	気	械	
舗装復旧					
芝生、種子吹付け					
法枠、モルタル吹付け					
コンクリート擁壁					
植栽					

区 分		建	電	機	備 考
項 目		築	気	械	
昇降機設備本体	三方枠、同取付けの壁補修まで (ト口詰め)				
同上用機械室	天井フック、床シンダーコンクリート、防塵塗料、搬入用等開口、換気ガラリ共				
同上用監視盤					
同上換気扇取付					
機械室換気扇取付	サーモスイッチ共				
各種信号用制御線	停電用、火災用等				
三方枠周囲の壁仕上					
各階出入口用開口	敷居取付持出し共				
昇降路内中間ビーム設置					
ビット内防水					
動力、照明要電源、接地引き込み					
シャフト内等セント設置	ビット内、機械室内				
インターホン配線	シャフト外、イカサ設置場所 - 制御盤				
"	シャフト内、制御盤内接続共				
非常放送用スピーカー					
同上用配線	シャフト外、AMP - 制御盤				
"	シャフト内、制御盤内接続共				
監視カメラ					
同上用配線	シャフト外、監視制御装置 - 制御盤				
"	シャフト内、制御盤内接続共				
シャフト点検用クラブ	ビット内				
シャフト内火災管制配線	シャフト外				
"	シャフト内				
出入口敷居取付用額はつり	シャフト内				
シャフト用火災報知器	シャフト内				シャフト外より点検可能な事
同上点検口	シャフト内				1時間耐火
シャフトビット床の増打	ビット内				

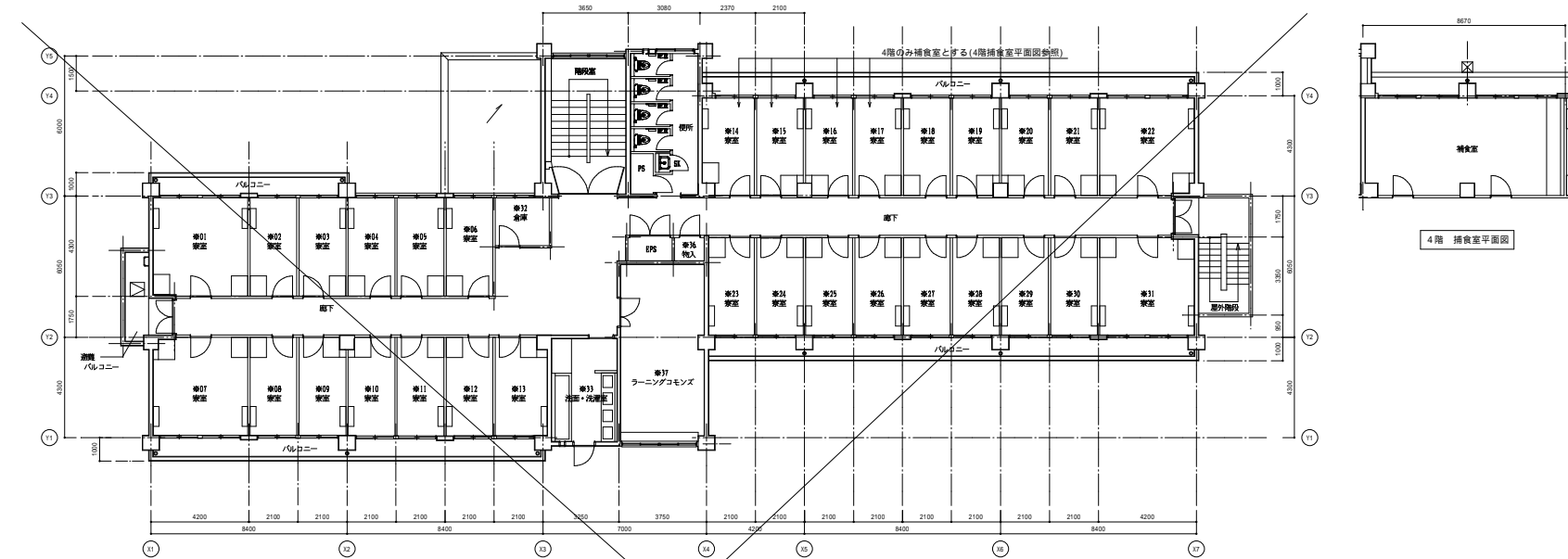
年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第 1 項に基づく表示	独立行政法人国立高等専門学校機構 鹿児島工業高等専門学校				図面番号	
							事務部長	総務課長	課長補佐	係長		担当
令和 5 年	令和 6 年 5 月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	特記仕様書（2）	A1:N.S (A3:N.S)	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明						特 E - 0 2



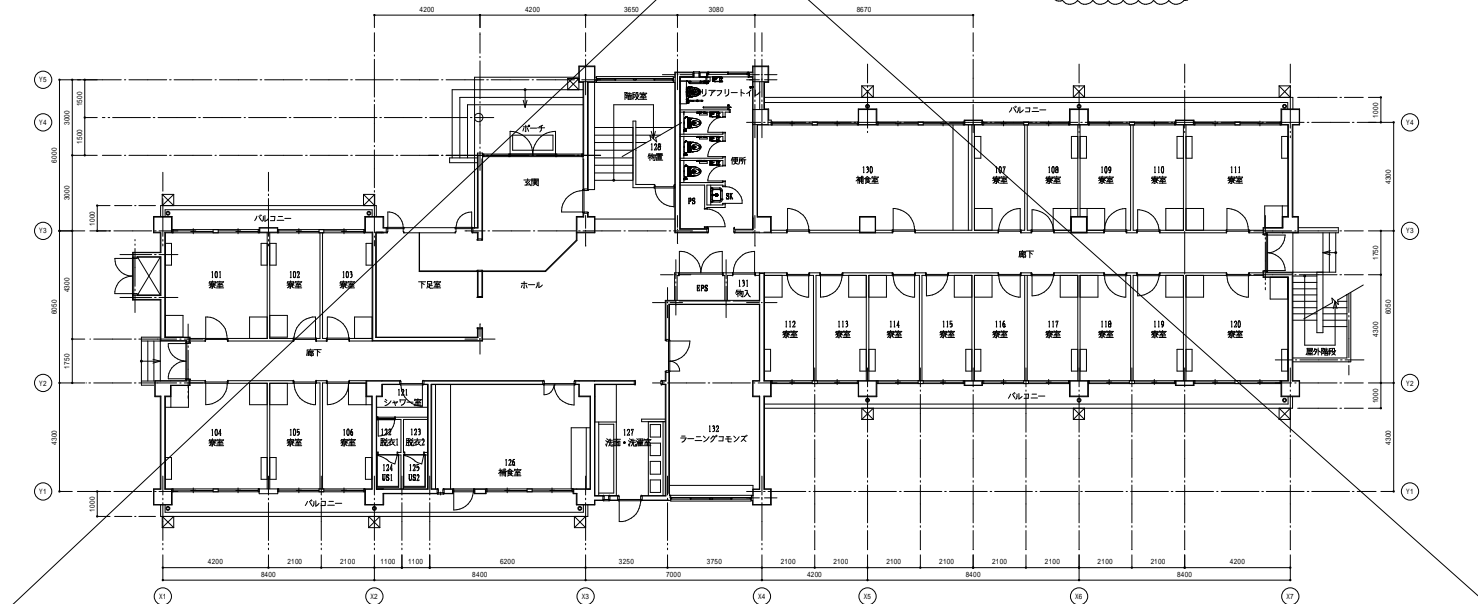
年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第 1 項に基づく表示	独立行政法人国立高等専門学校機構 鹿児島工業高等専門学校					図面番号
令和 5 年	令和 6 年 5 月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	案内図・配置図	A1:1/1000 (A3:1/2000)	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当	E - 0 1



建物断面図 S=1/100



2～5階平面図 S=1/150

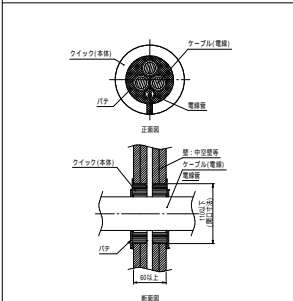


1階平面図 S=1/150

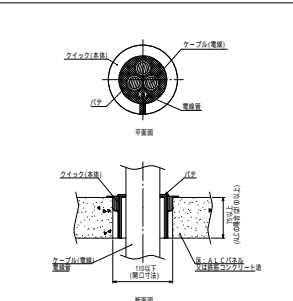
確認中

防火部材 標準施工図 (参考図)

ケーブル・電線管貫通 (壁・中空壁)
国土交通大臣認定 PS060WL-0917



ケーブル・電線管貫通 (床)
国土交通大臣認定 PS060FL-0913

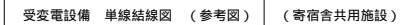


防火区画 (壁穴区画・114条区画) を示す
防火区画を貫通する配管・ケーブルは国土交通大臣認定工法による適切な処理を施すこと。

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人国立高等専門学校機構 鹿児島工業高等専門学校				図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高等 第六志学寮改修(建築)(設備)設計業務	鹿児島工業高等第六志学寮改修工事	建物断面図・防火区画図	A1:1/100,150 (A3:1/200,300)	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当
											E-02



年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第 1 項に基づく表示	独立行政法人国立高等専門学校機構 鹿児島工業高等専門学校				図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係長	
令和 5 年	令和 6 年 5 月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	改修前後 構内配電線路・構内通信線路図	A1:1/300 (A3:1/600)	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明					E - 0 3



The drawings include the following components:

- 電気室平面図 (Electrical Room Plan View):** A top-down view of the room (6,000 x 5,000 mm) showing the layout of equipment. Labels include: 積算電力量計盤 (Accumulated electricity meter panel), 低圧動力盤 (Low voltage power panel), 低圧電灯盤 (Low voltage lighting panel), 空調動力盤 (HVAC power panel), 高圧受電盤 (High voltage receiving panel), 接地端子盤 (Grounding terminal panel), 高圧ケーブル立上げ位置 (High voltage cable rising position), and a north arrow. Scale: S = 1 : 50.
- 電気室断面詳細図 (側面) (Electrical Room Cross-section Detailed View (Side)):** A side cross-section (6,000 x 3,600 mm) showing the vertical arrangement of equipment. Labels include: 変圧器 (Transformer), 低圧動力 (三組150KVA) (Low voltage power (3 sets 150KVA)), 低圧動力 (三組200KVA) (Low voltage power (3 sets 200KVA)), 低圧電灯 (単組150KVA) (Low voltage lighting (single set 150KVA)), and 高圧受電盤 (High voltage receiving panel). Scale: S = 1 : 50.
- 電気室断面詳細図 (正面) (Electrical Room Cross-section Detailed View (Front)):** A front cross-section (6,000 x 3,600 mm) showing the vertical arrangement of equipment. Labels include: 高圧受電盤 (High voltage receiving panel), 空調動力盤 (HVAC power panel), 低圧電灯盤 (Low voltage lighting panel), and 低圧動力盤 (Low voltage power panel). Scale: S = 1 : 50.

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第 1 項に基づく表示	独立行政法人国立高等専門学校機構 鹿児島工業高等学校					図面番号
令和 5 年	令和 6 年 5 月	鹿児島工業専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業専第六志学寮改修工事	高圧単線結線図・電気室平面図	A1:1/50 (A3:1/100)	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当	E - 0 4

盤 名 称		L-2	
電気方式	種 別	AC	
	相 線	1 3W	
	電 圧	100/200V	
函体	構 造	屋内銅板製 自立型	
	備 考	標準盤可	

L-1より
EM-CET60 *

L-3(共用系統)へ
10,989 VA

MCCB3P
225AF175AT
30,032 VA

回路 番号	遮断器 M E P AF/AT	室名/負荷名称	容量 VA		備 考
			100V	200V	
(001)	○	2P 50/20 3F非常照明			
(002)	○	2P 50/20 4F非常照明			
(101)	○	2P 50/20 3F廊下	207		
(102)	○	2P 50/20 3Fラウンジ コモン照明・全熱交換器	300		
(103)	○	2P 50/20 3F便所	92		
(104)	○	2P 50/20 4F廊下	207		
(105)	○	2P 50/20 4Fラウンジ コモン照明・全熱交換器	300		
(106)	○	2P 50/20 4F便所	92		
(107)	○	2P 50/20 4F補食室照明・全熱交換器	384		
(108)	○	2P 50/20 予備			
(301)	○	2P 50/20 3F廊下	#	300	
(302)	○	2P 50/20 3Fラウンジ コモン	#	700	
(303)	○	2P 50/20 3F洗面洗濯室洗濯乾燥機	#	740	
(304)	○	2P 50/20 3F洗面洗濯室洗濯乾燥機	#	740	
(305)	○	2P 50/20 3F洗面洗濯室洗濯乾燥機	#	740	
(306)	○	2P 50/20 3F洗面洗濯室ドライヤー	#	1,000	
(307)	○	2P 50/20 3F洗面洗濯室ドライヤー	#	1,000	
(308)	○	2P 50/20 3F便所温水洗浄便座	#	350	
(309)	○	2P 50/20 3F便所温水洗浄便座	#	350	
(310)	○	2P 50/20 3F便所温水洗浄便座	#	350	
(311)	○	2P 50/20 3F便所温水洗浄便座	#	350	
(312)	○	2P 50/20 4F廊下	#	300	
(313)	○	2P 50/20 4Fラウンジ コモン	#	700	
(314)	○	2P 50/20 4F洗面洗濯室洗濯乾燥機	#	740	
(315)	○	2P 50/20 4F洗面洗濯室洗濯乾燥機	#	740	
(316)	○	2P 50/20 4F洗面洗濯室洗濯乾燥機	#	740	
(317)	○	2P 50/20 4F洗面洗濯室ドライヤー	#	1,000	
(318)	○	2P 50/20 4F洗面洗濯室ドライヤー	#	1,000	
(319)	○	2P 50/20 4F便所温水洗浄便座	#	350	
(320)	○	2P 50/20 4F便所温水洗浄便座	#	350	
(321)	○	2P 50/20 4F便所温水洗浄便座	#	350	
(322)	○	2P 50/20 4F便所温水洗浄便座	#	350	
(323)	○	2P 50/20 4F補食室北	#	400	
(324)	○	2P 50/20 4F補食室北冷蔵庫	#	400	
(325)	○	2P 50/20 4F補食室北冷蔵庫	#	400	
(326)	○	2P 50/20 4F補食室北冷蔵庫	#	400	
(327)	○	2P 50/20 情報機器ラック			
(328)	○	2P 50/20 予備			
(329)	○	2P 50/20 予備			
(330)	○	2P 50/20 予備			
(401)	○	2P 50/20 3F洗面洗濯室電気温水器		1,200	
(402)	○	2P 50/20 3F洗面洗濯室電気温水器		1,200	
(403)	○	2P 50/20 5Fラウンジ コモン空調機		1,370	
(404)	○	2P 50/20 4F洗面洗濯室電気温水器		1,200	
(405)	○	2P 50/20 4F洗面洗濯室電気温水器		1,200	
(406)	○	2P 50/20 4Fラウンジ コモン空調機		1,370	
(407)	○	2P 50/20 4F補食室北電気温水器		2,000	
(408)	○	2P 50/20 4F補食室北ヒーター		2,000	
(409)	○	2P 50/20 4F補食室北空調機		2,070	

● ET
● ET(ELB)

盤 名 称		L-3	
電気方式	種 別	AC	
	相 線	1 3W	
	電 圧	100/200V	
函体	構 造	屋内銅板製 自立型	
	備 考	標準盤可	

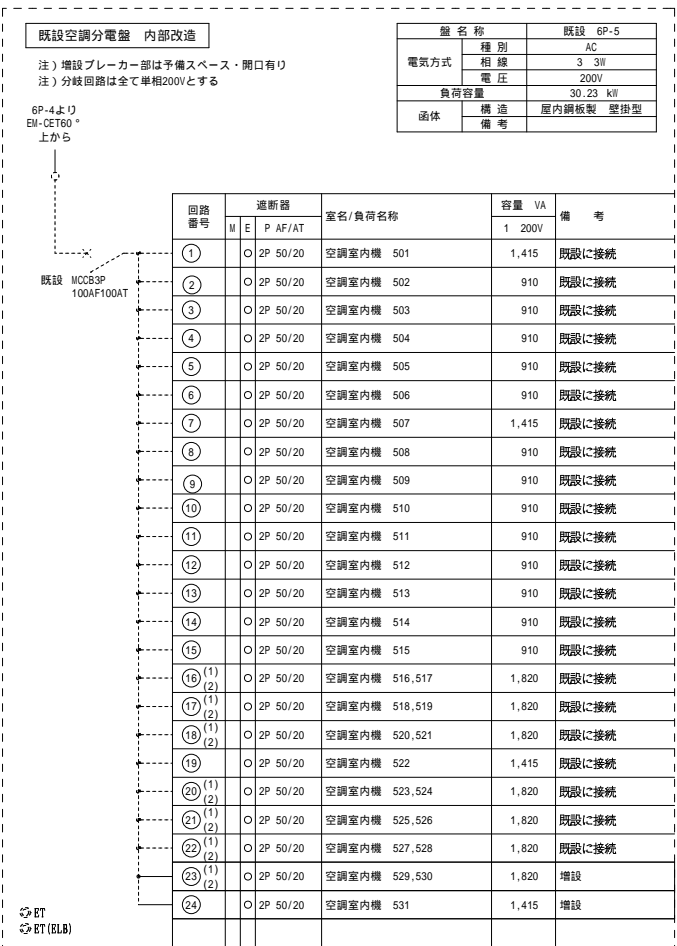
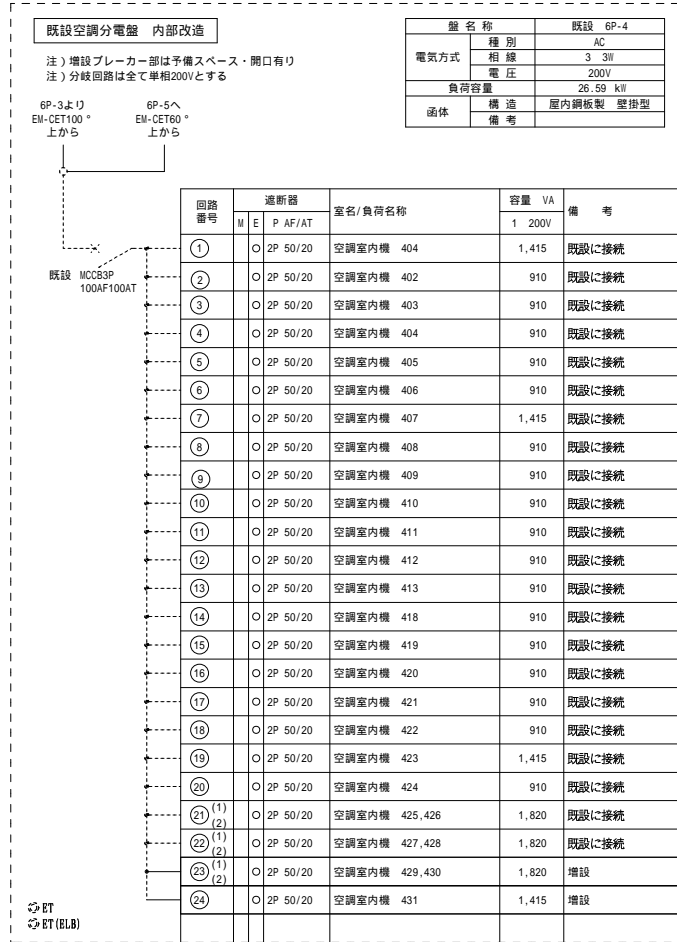
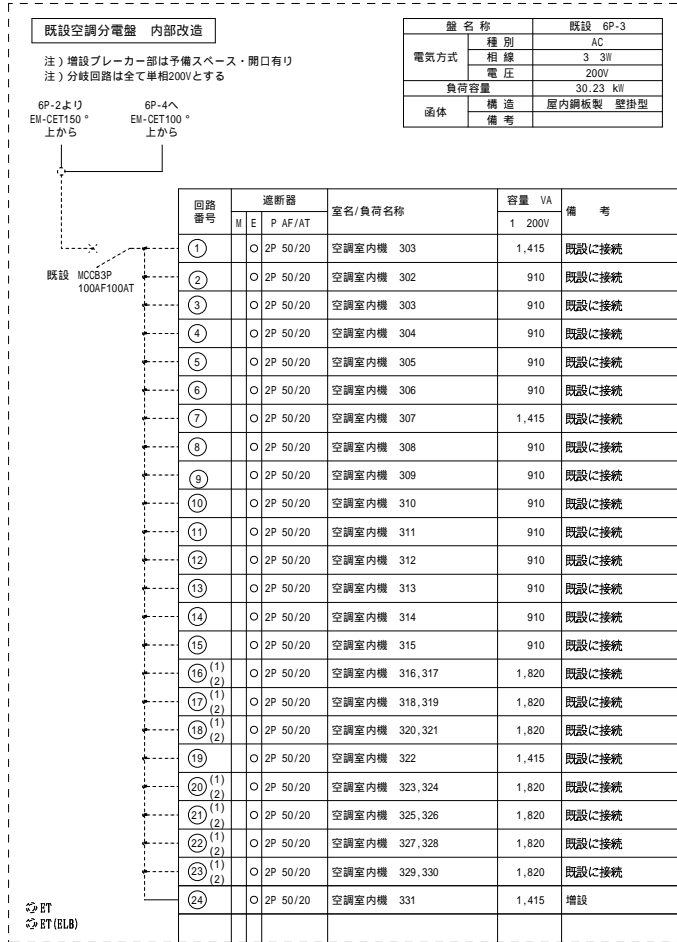
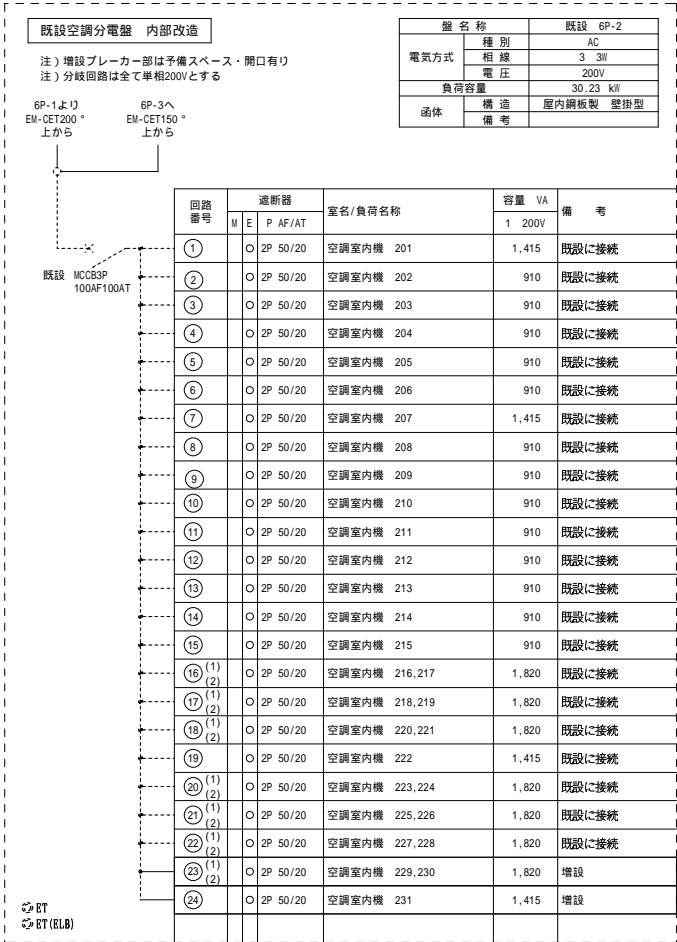
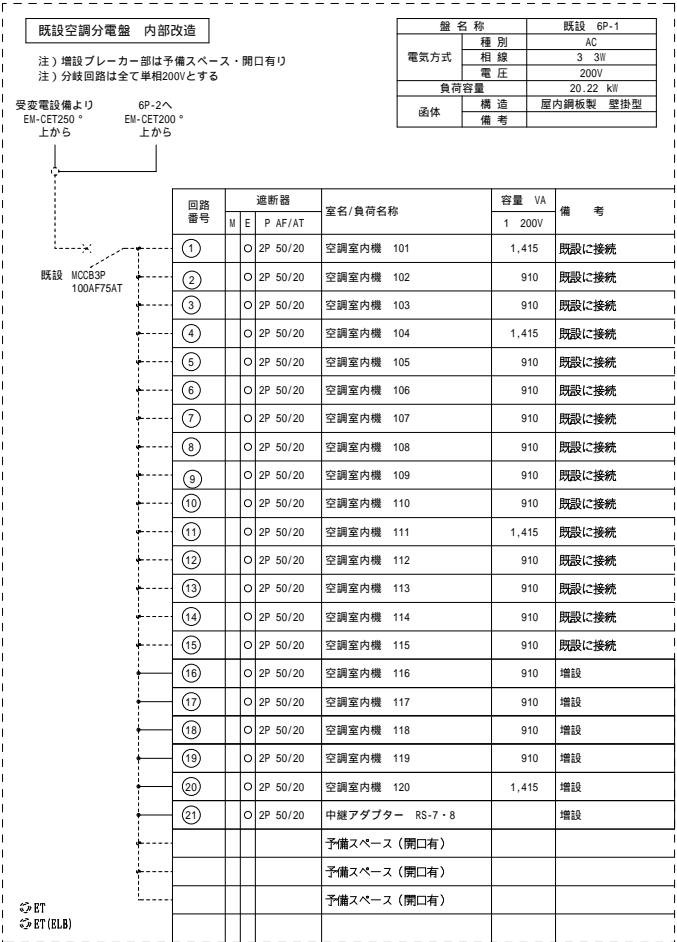
L-2より
EM-CET60 *

MCCB3P
100AF75AT
10,989 VA

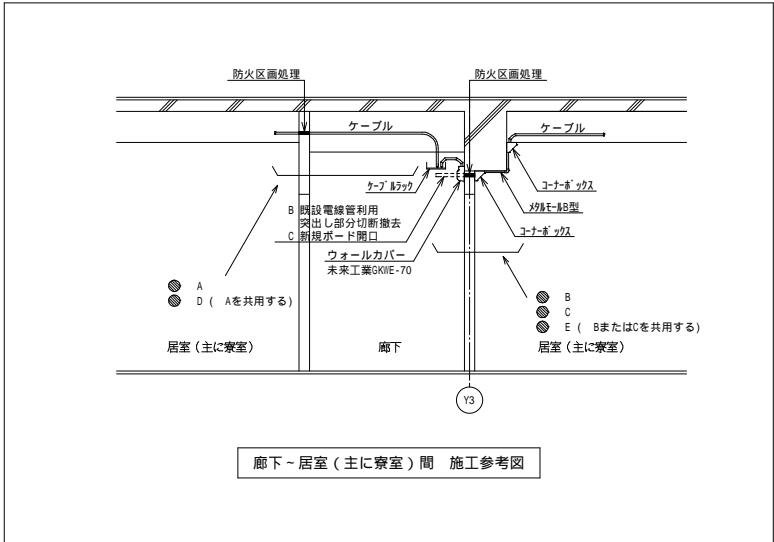
回路 番号	遮断器 M E P AF/AT	室名/負荷名称	容量 VA		備 考
			100V	200V	
(001)	○	2P 50/20 5F非常照明			
(101)	○	2P 50/20 5F廊下	207		
(102)	○	2P 50/20 5Fラウンジ コモン照明・全熱交換器	300		
(103)	○	2P 50/20 5F便所	92		
(104)	○	2P 50/20 予備			
(301)	○	2P 50/20 5F廊下	#	300	
(302)	○	2P 50/20 5Fラウンジ コモン	#	700	
(303)	○	2P 50/20 5F洗面洗濯室洗濯乾燥機	#	740	
(304)	○	2P 50/20 5F洗面洗濯室洗濯乾燥機	#	740	
(305)	○	2P 50/20 5F洗面洗濯室洗濯乾燥機	#	740	
(306)	○	2P 50/20 5F洗面洗濯室ドライヤー	#	1,000	
(307)	○	2P 50/20 5F洗面洗濯室ドライヤー	#	1,000	
(308)	○	2P 50/20 5F便所温水洗浄便座	#	350	
(309)	○	2P 50/20 5F便所温水洗浄便座	#	350	
(310)	○	2P 50/20 5F便所温水洗浄便座	#	350	
(311)	○	2P 50/20 5F便所温水洗浄便座	#	350	
(312)	○	2P 50/20 T V機器			
(313)	○	2P 50/20 予備			
(314)	○	2P 50/20 予備			
(315)	○	2P 50/20 予備			
(316)	○	2P 50/20 予備			
(401)	○	2P 50/20 5F洗面洗濯室電気温水器		1,200	
(402)	○	2P 50/20 5F洗面洗濯室電気温水器		1,200	
(403)	○	2P 50/20 5Fラウンジ コモン空調機		1,370	
(501)	○	2P 50/20 5F寮室501 照明・コンセント	464		
(502)	○	2P 50/20 5F寮室502 照明・コンセント	216		
(503)	○	2P 50/20 5F寮室503 照明・コンセント	216		
(504)	○	2P 50/20 5F寮室504 照明・コンセント	216		
(505)	○	2P 50/20 5F寮室505 照明・コンセント	216		
(506)	○	2P 50/20 5F寮室506 照明・コンセント	216		
(507)	○	2P 50/20 5F寮室507 照明・コンセント	464		
(508)	○	2P 50/20 5F寮室508 照明・コンセント	216		
(509)	○	2P 50/20 5F寮室509 照明・コンセント	216		
(510)	○	2P 50/20 5F寮室510 照明・コンセント	216		
(511)	○	2P 50/20 5F寮室511 照明・コンセント	216		
(512)	○	2P 50/20 5F寮室512 照明・コンセント	216		
(513)	○	2P 50/20 5F寮室513 照明・コンセント	216		
(514)	○	2P 50/20 5F寮室514 照明・コンセント	216		
(515)	○	2P 50/20 5F寮室515 照明・コンセント	216		
(516)	○	2P 50/20 5F寮室516 照明・コンセント	216		
(517)	○	2P 50/20 5F寮室517 照明・コンセント	216		
(518)	○	2P 50/20 5F寮室518 照明・コンセント	216		
(519)	○	2P 50/20 5F寮室519 照明・コンセント	216		
(520)	○	2P 50/20 5F寮室520 照明・コンセント	216		
(521)	○	2P 50/20 5F寮室521 照明・コンセント	216		
(522)	○	2P 50/20 5F寮室522 照明・コンセント	464		
(523)	○	2P 50/20 5F寮室523 照明・コンセント	216		
(524)	○	2P 50/20 5F寮室524 照明・コンセント	216		
(525)	○	2P 50/20 5F寮室525 照明・コンセント	216		
(526)	○	2P 50/20 5F寮室526 照明・コンセント	216		
(527)	○	2P 50/20 5F寮室527 照明・コンセント	216		
(528)	○	2P 50/20 5F寮室528 照明・コンセント	216		
(529)	○	2P 50/20 5F寮室529 照明・コンセント	216		
(530)	○	2P 50/20 5F寮室530 照明・コンセント	216		
(531)	○	2P 50/20 5F寮室531 照明・コンセント	464		
(532)	○	2P 50/20 予備			
(533)	○	2P 50/20 予備			
(534)	○	2P 50/20 予備			

● ET
● ET(ELB)

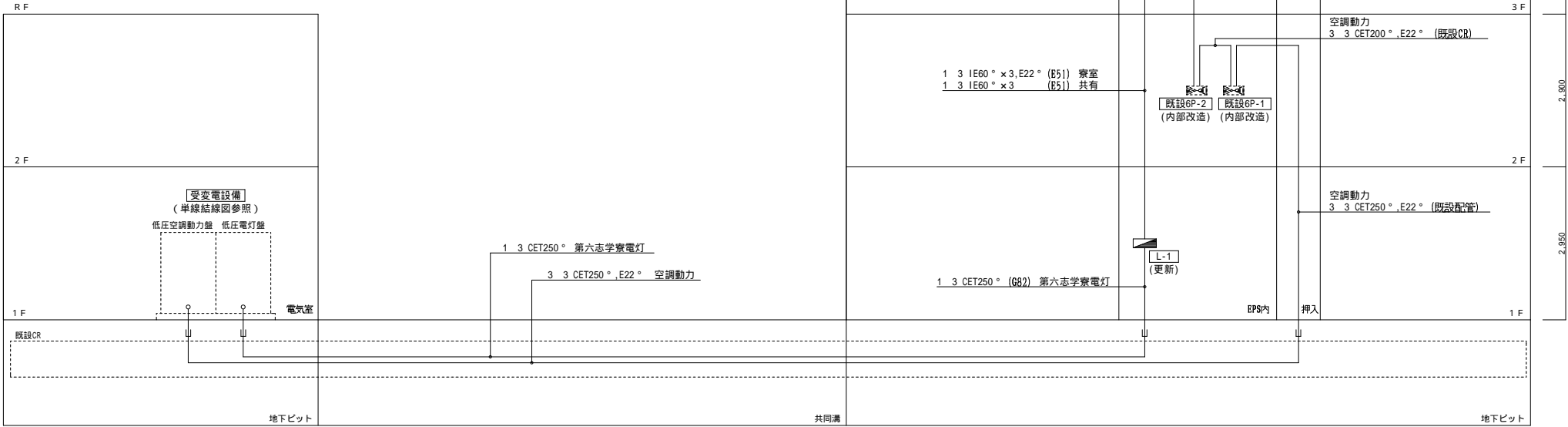
年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第 1 項に基づく表示	独立行政法人国立高等専門学校機構 鹿児島工業高等専門学校					図面番号
令和 5 年	令和 6 年 5 月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	改修後 分電盤結線図（ 2 ）	A1:NON (A3:NON)	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当	E - 0 6



年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人国立高等専門学校機構 鹿児島工業高等専門学校				図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	改修後 分電盤結線図（3）	A1:NON (A3:NON)	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当
											E - 07



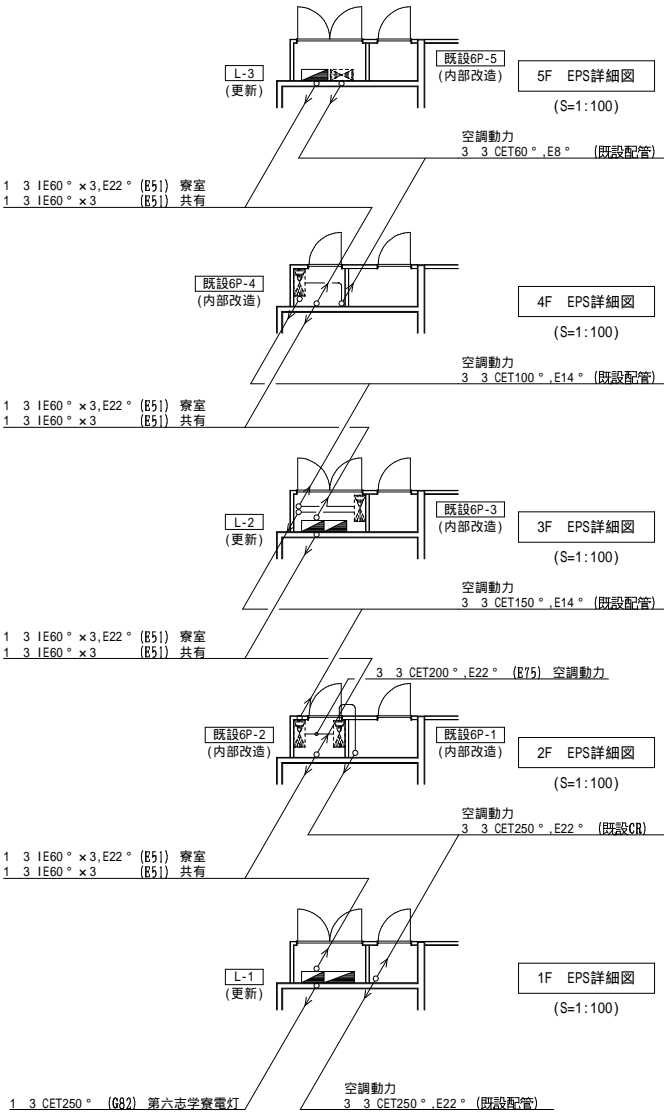
廊下～居室（主に寮室）間 施工参考図



共用施設

幹線設備系統図

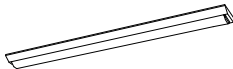
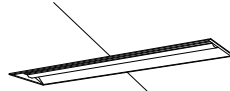
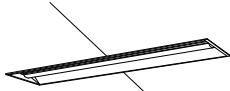
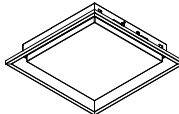
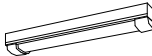

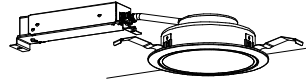

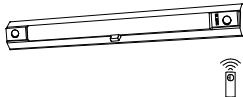

寄宿舎

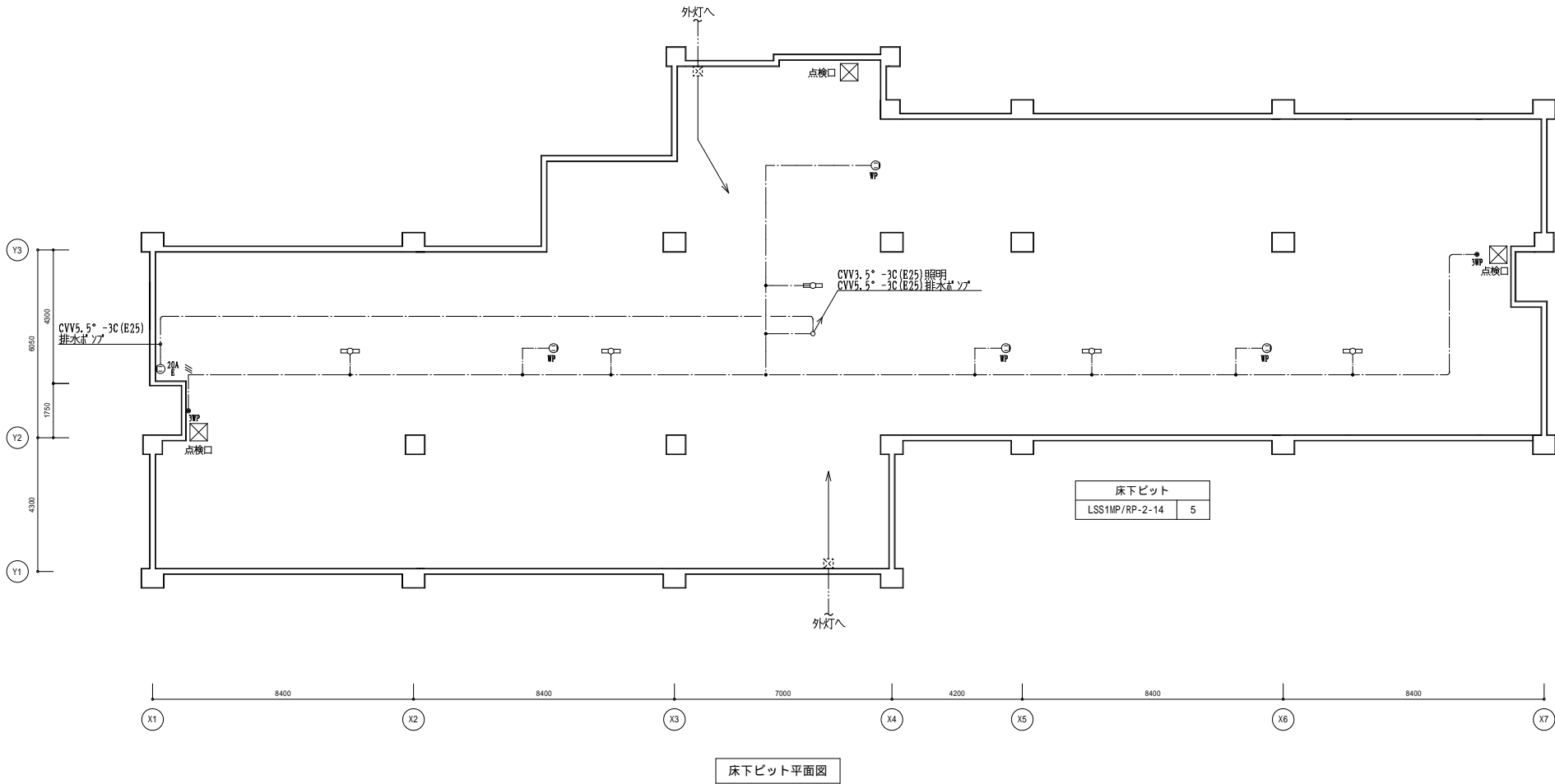




















年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮 尺	建築士法第20条第 1 項に基づく表示	独立行政法人国立高等専門学校機構 鹿児島工業高等専門学校					図面番号
令和 5 年	令和 6 年 5 月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	改修後 幹線系統図・EPS詳細図	A1:1/100 (A3:1/200)	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当	E - 0 8

照明器具姿図

- ・消費電力・機器光束は参考数値とし、同等品以上とする。
- ・消費電力は、JIS C 8105-3の試験方法による。

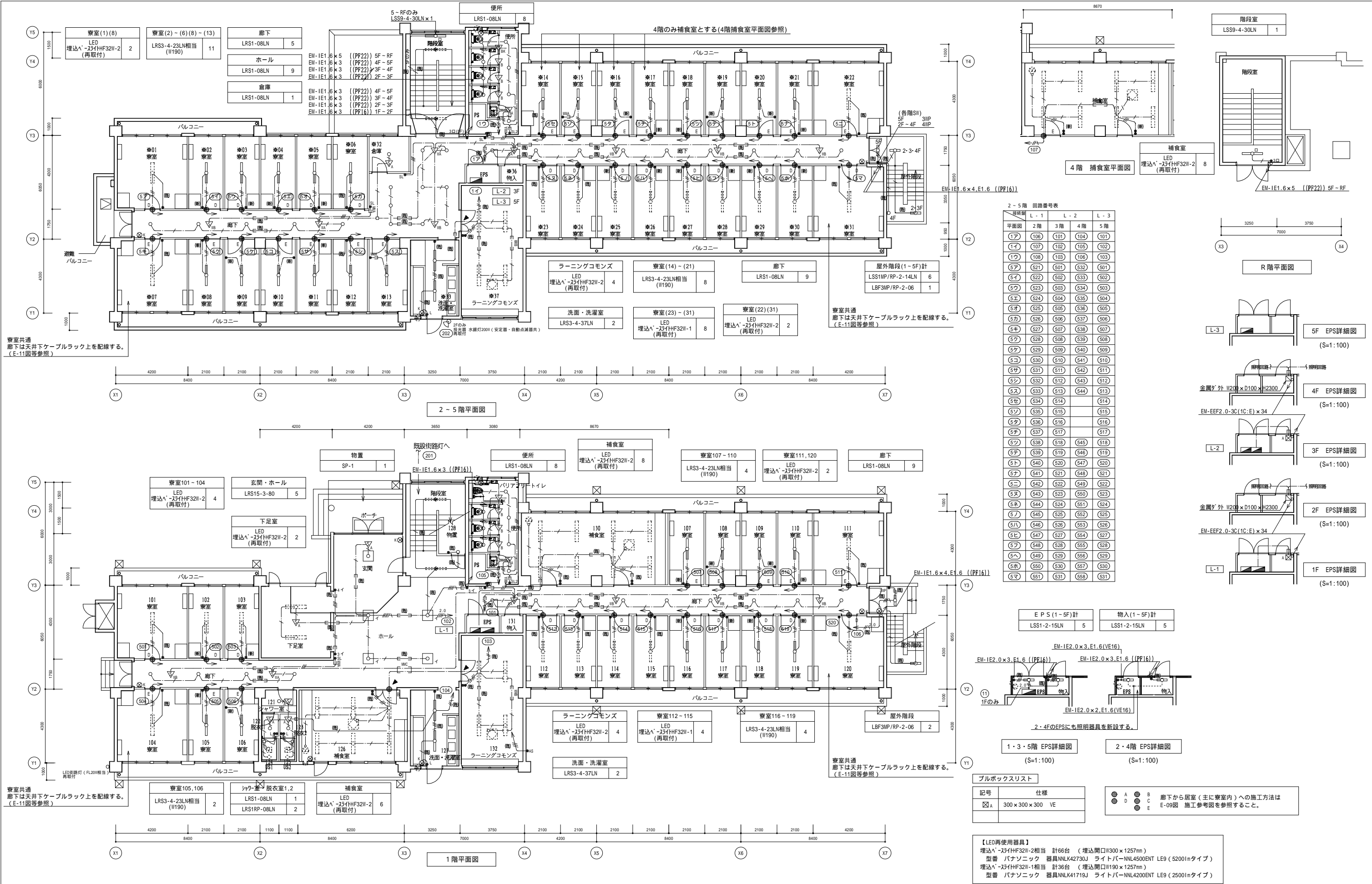
LSS9-4-30LN	LED 直付型ベースライト V型	LRS3-4-37LN相当	LED 埋込型ベースライト	LRS3-4-23LN相当	LED 埋込型ベースライト	LRS15-3-80LN	LED 埋込型スクエアベースライト	LSS1MP/RP-2-14LN	LED 直付型ベースライト トラフ型																								
 器具光束 3000 lm以上 光源色 5000K 消費電力 22W以下		 器具光束 2300 lm以上 光源色 5000K 消費電力 18W以下		 器具光束 3700 lm以上 光源色 5000K 消費電力 27W以下		 器具光束 8000 lm以上 光源色 5000K 消費電力 52W以下		 器具光束 1400 lm以上 光源色 5000K 消費電力 13W以下																									
LBF3MP/RP-2-06	LED ウォールライト	LRS1-08LN	LED 埋込型ダウンライト 100形	SP-1	LED ブラケットライト	LDS1-K1-LBF11	LED 階段非常照明	a9 (K1-LRS11-1)	LED 埋込型非常照明 低天井 ハロゲン電球9形相当																								
 器具光束 600 lm以上 光源色 5000K 消費電力 12W以下		 器具光束 800 lm 光源色 5000K 消費電力 9W		 器具光束 450 lm程度 光源色 5000K 消費電力 6W程度		 電池内蔵 ひとセンサーON/OFF リモコン自己点検機能付 非常灯評定番号 LALE-015 器具光束 3800 lm以上 光源色 5000K 消費電力 30W以下		 開口 100 ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 <table><caption>a9 保守率0.92 評定番号 LALE-004</caption><tr><th>取付の高さ</th><th>2.3m</th><th>2.4m</th><th>2.5m</th><th>2.6m</th><th>2.7m</th></tr><tr><td>単体配置 (A1)</td><td>3.9</td><td>4.0</td><td>4.0</td><td>4.0</td><td>3.6</td></tr><tr><td>直線配置 (A2)</td><td>9.2</td><td>9.4</td><td>9.6</td><td>9.9</td><td>10.1</td></tr><tr><td>四角配置 (A4)</td><td>7.4</td><td>7.6</td><td>7.8</td><td>8.1</td><td>8.3</td></tr></table>		取付の高さ	2.3m	2.4m	2.5m	2.6m	2.7m	単体配置 (A1)	3.9	4.0	4.0	4.0	3.6	直線配置 (A2)	9.2	9.4	9.6	9.9	10.1	四角配置 (A4)	7.4	7.6	7.8	8.1	8.3
取付の高さ	2.3m	2.4m	2.5m	2.6m	2.7m																												
単体配置 (A1)	3.9	4.0	4.0	4.0	3.6																												
直線配置 (A2)	9.2	9.4	9.6	9.9	10.1																												
四角配置 (A4)	7.4	7.6	7.8	8.1	8.3																												



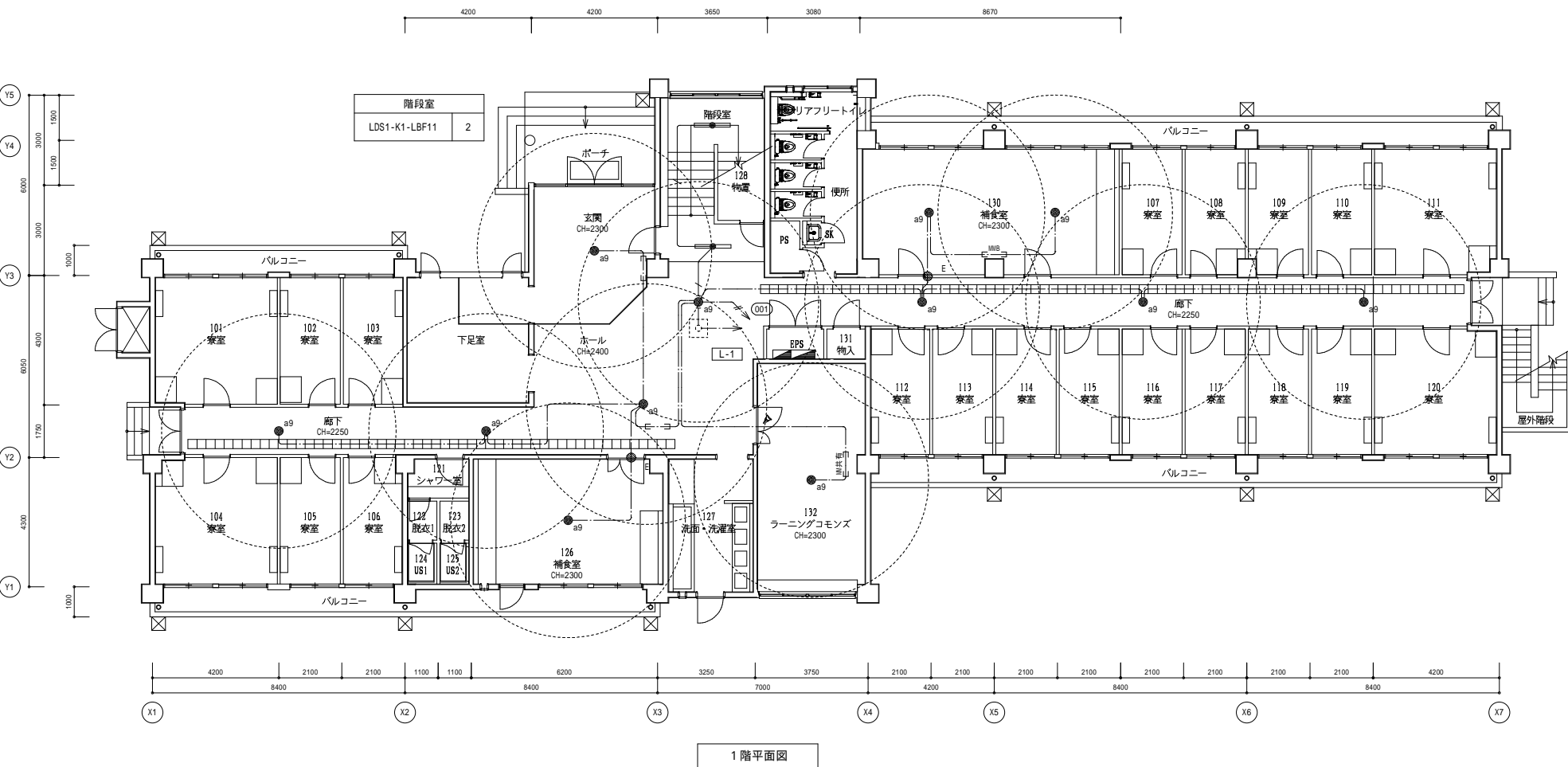
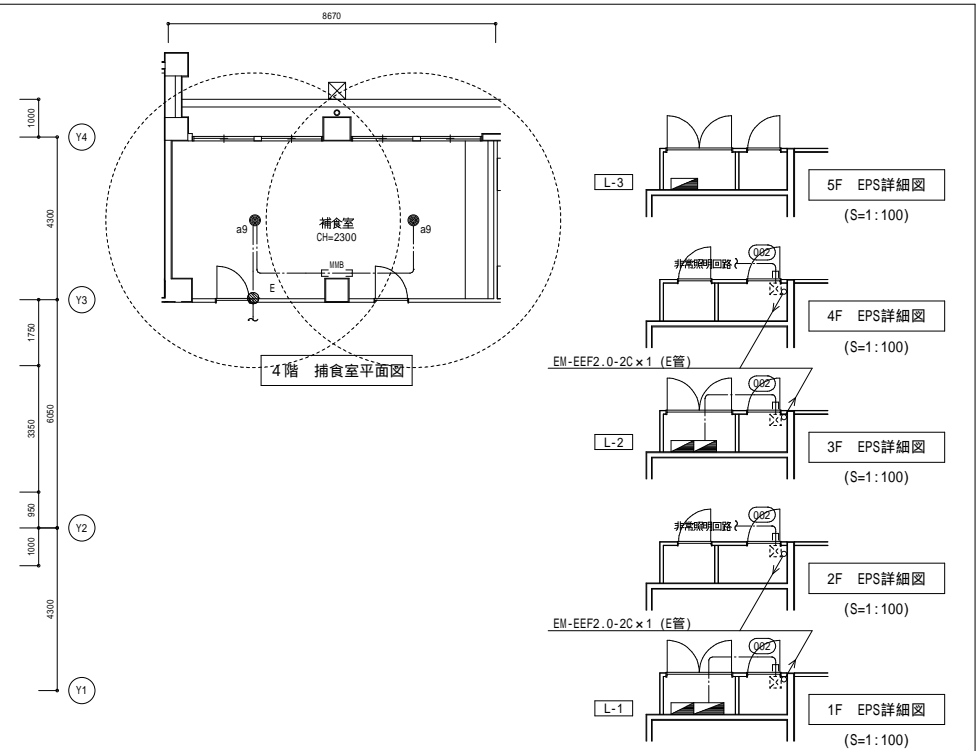
凡例				
記号	名称・仕様	記号	名称・仕様	
	電灯分電盤	—#—	EM-EEF1.6-2C	
	照明器具	—#—	EM-EEF1.6-3C(1C:E)	
	#	—#—	EM-EEF1.6-3C	
	#	—#—	EM-EEF1.6-2C × 2	
	#	—#—	EM-EEF1.6-2C × 2(1C:E)	
	既設照明器具再取付	—#—	EM-EEF1.6-2C × 2(1C:E)	
	#	—#—	EM-EEF1.6-3C × 2(1C:E)	
	照明器具（非常照明兼用型）	—#—	EM-EEF2.0-3C(1C:E)	
●	埋込スイッチ 1P15A × 1	—#—	EM-EEF2.0-2C+3C(1C:E)	
●3	埋込スイッチ 3W15A × 1			
●4	埋込スイッチ 4W15A × 1		EM-IE2.0 × 2	(既設配管)
●L	埋込スイッチ 1P4A × 1 ON表示灯付		EM-IE1.6 × 2, E1.6	(既設配管)
●3IP	埋込防水スイッチ 3W15A × 1		EM-IE1.6 × 3, E1.6	(既設配管)
●4IP	埋込防水スイッチ 4W15A × 1		EM-IE2.0 × 2, E2.0	(既設配管)
	熱線センサー付自動スイッチ 親機	—#—	天井ころがし配線	
	熱線センサー付自動スイッチ 子機	—#—	天井ころがし配線 立上りは新設パイ配管	
	熱線センサー付自動スイッチ 親機 広角検知	—#—	メタルモール保護	
	熱線センサー付自動スイッチ 子機 広角検知	—#—	立上りはメタルモール保護	
●SL1	センサー切替スイッチ 自動-連続入-切 1回路	—#—	既設パイ配管を利用	
●SL2	センサー切替スイッチ 自動-連続入-切 2回路	—#—	立上りは既設パイ配管を利用	
●AS	自動点滅器 100V3A	—#—	既設土間配管を利用	
□	アウトレットボックス	—#—	貫通部は既設打込配管を利用	
⊗K	カバープレート			
	換気扇 機械設備工事			
	全熱交換器 #			





- 【その他注記】
- 二重天井内はころがし配線とする。
 - インベイ部分はP F 管にて保護すること。
 - 露出部分はメタルモールにて保護すること。
 - 防火区画を貫通する配管・ケーブルは国土交通大臣認定工法による適切な処理を施すこと。
 - 駆体室に残置される未使用ボックスにはカバープレートを取付ること。



年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第 1 項に基づく表示	独立行政法人国立高等専門学校機構 鹿児島工業高等専門学校				図面番号
令和 5 年	令和 6 年 5 月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	電灯分岐設備 床下ビット平面図（撤去）	A1:1/100 (A3:1/200)	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当
											E - 0 9



年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人国立高等専門学校機構 鹿児島工業高等専門学校	図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	改修後 電灯岐設備 1～5階平面図	A1:1/100 (A3:1/200)	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	事務部長 総務課長 課長補佐 係長 担当	E - 10



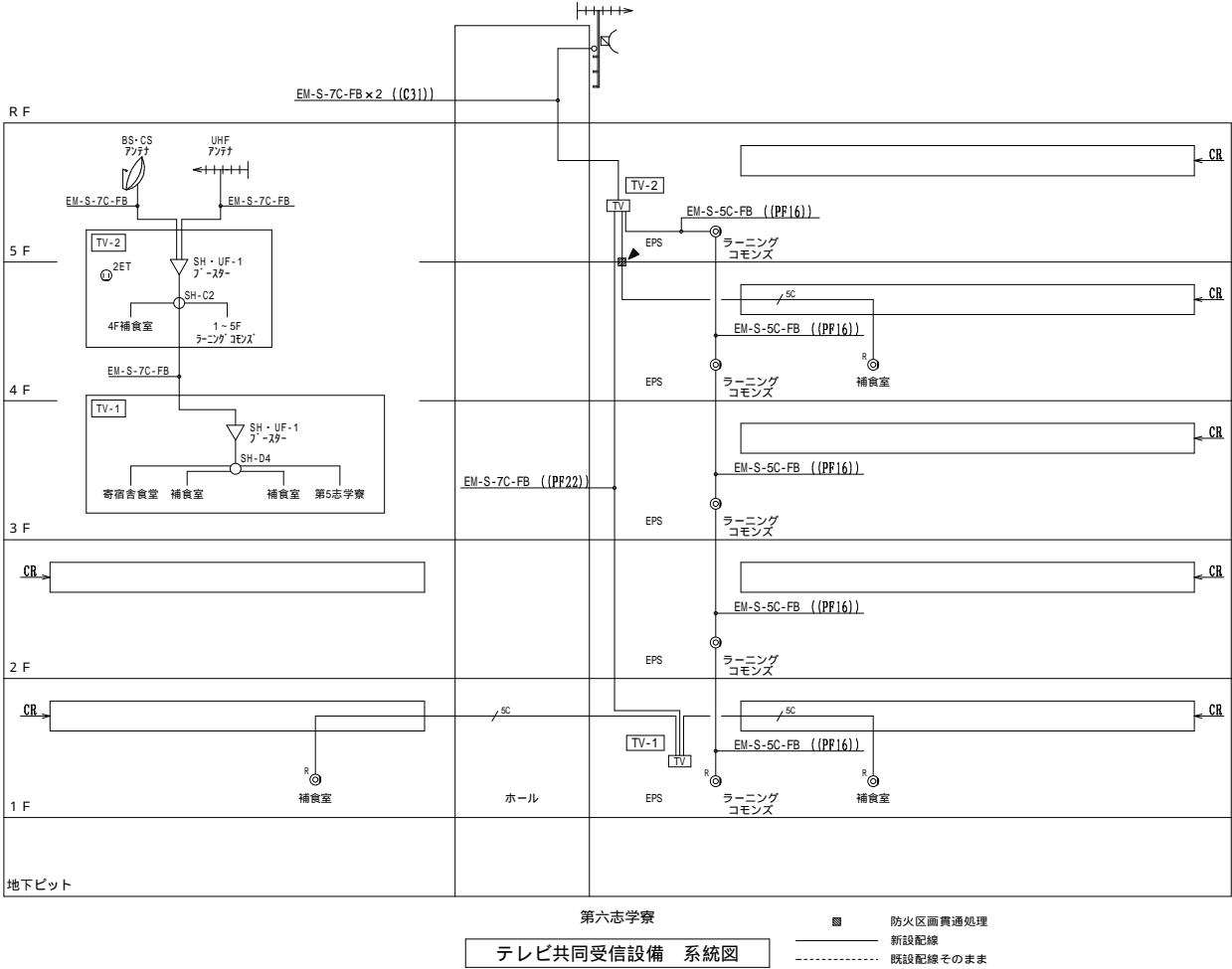
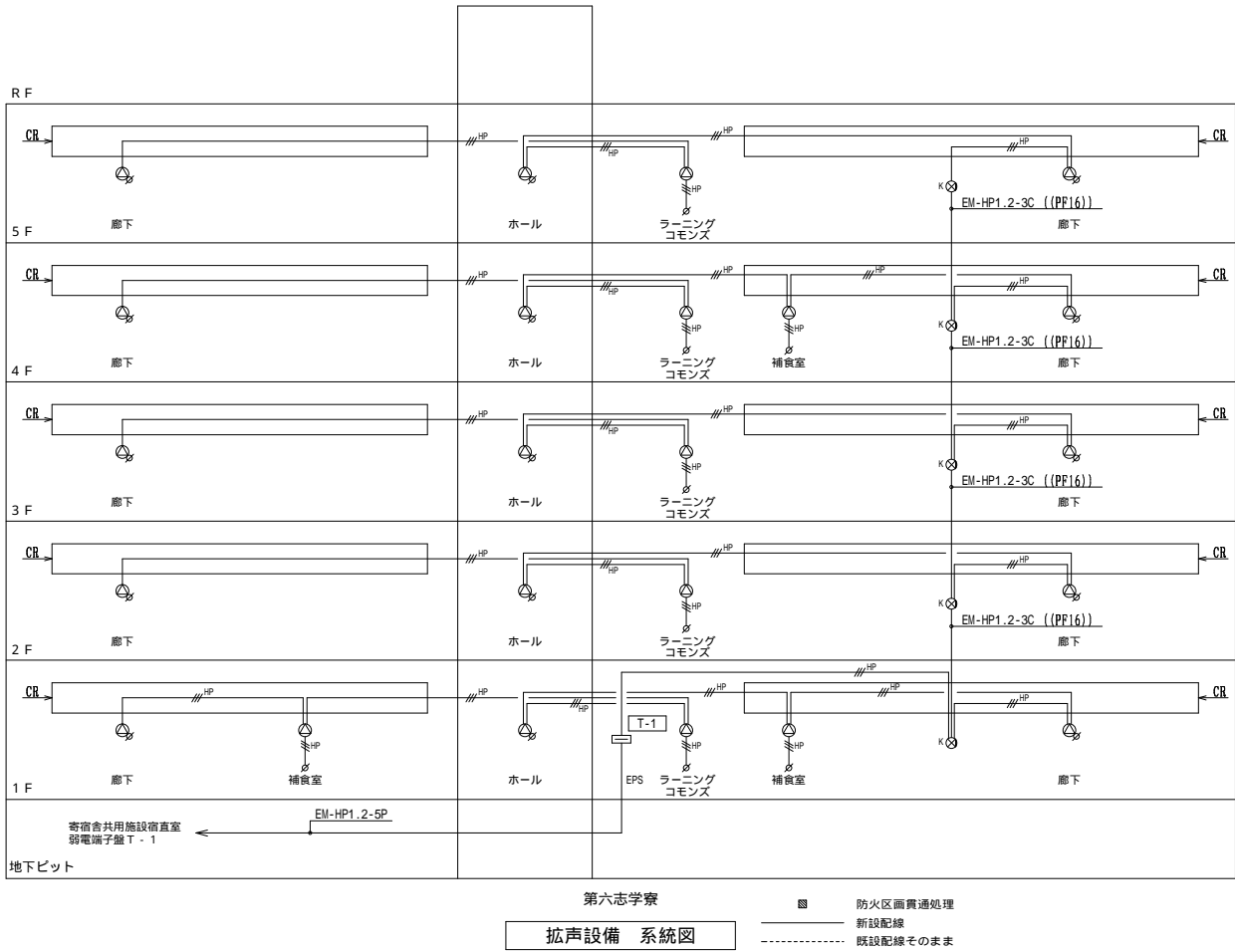
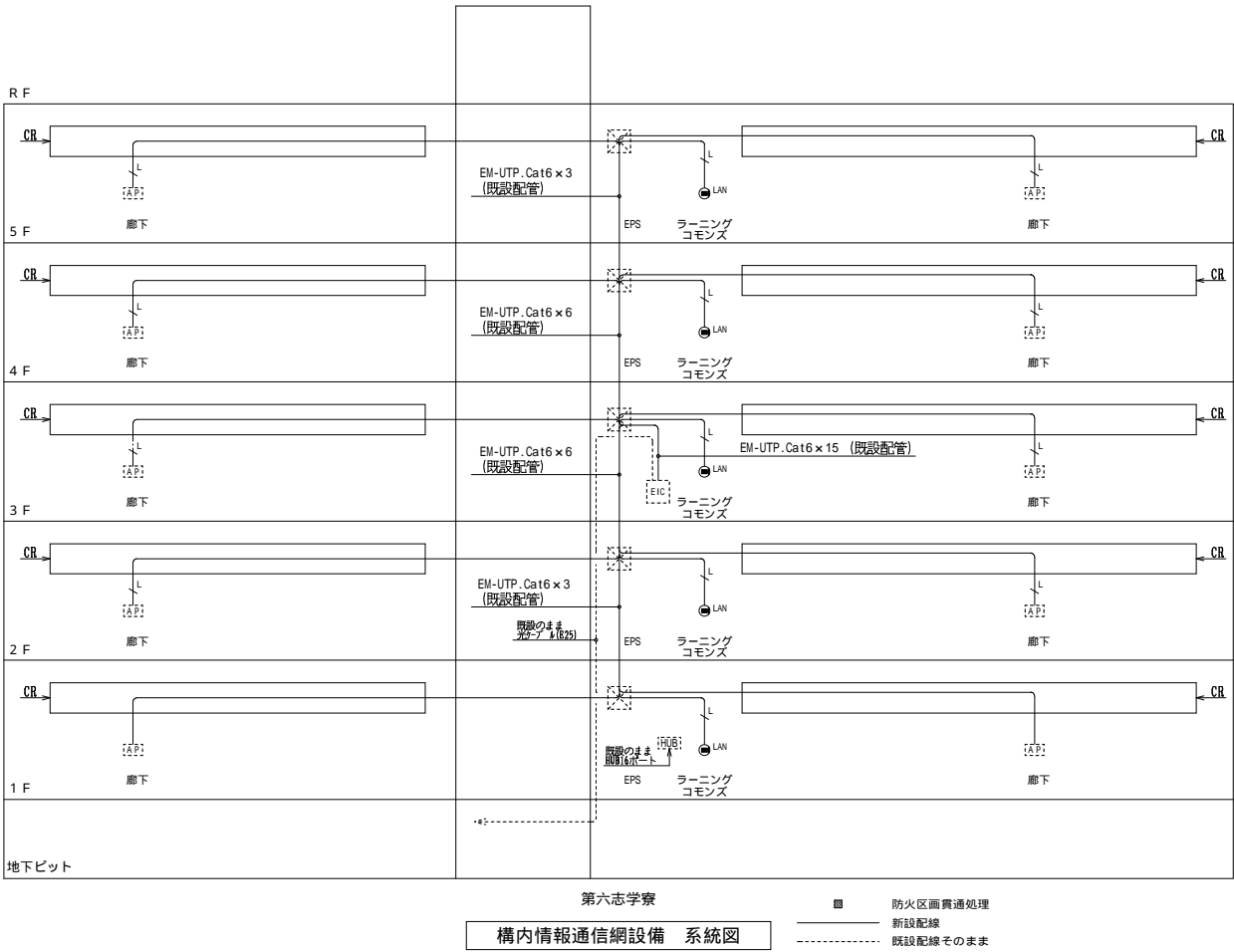
 A
  B
 廊下から居室（主に寮室内）への施工方法は
 D
 C
 E-09図 施工参考図を参照すること。

 E

凡例	
記号	名称・仕様
	電灯分電盤
	非常照明器具
—・—	EM-EEF1.6-2C
—/#	EM-EEF2.0-2C
—・—	天井照明配線
—	バレー配線・配管

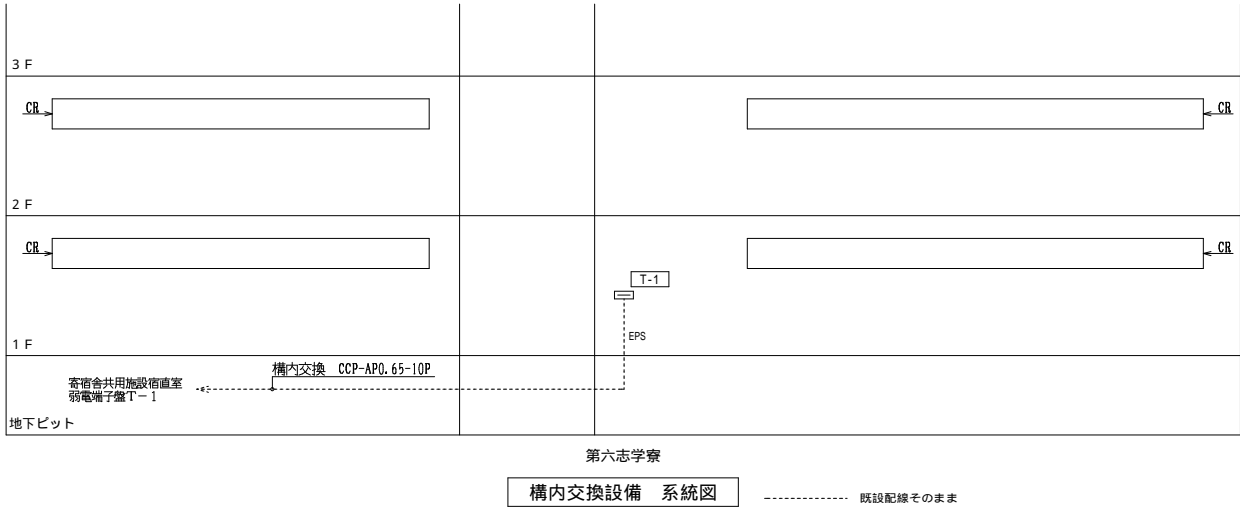
【その他注記】

1. 二重天井内はこがし配線とする。
2. インベイ部分は P F 管にて保護すること。
3. 露出部分はメタルモールにて保護すること。
4. 防火区画を貫通する配管・ケーブルは国土交通大臣認定工法による適切な処理を施すこと。
5. 躯体壁に設置される未使用ボックスにはカバープレートを取付ること。

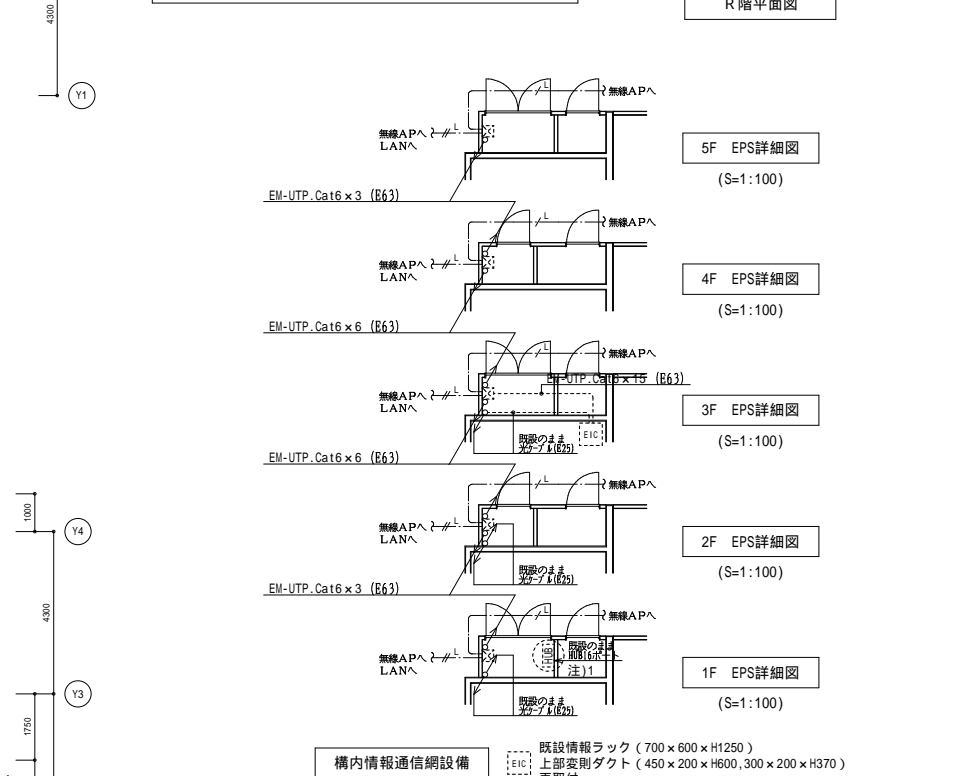
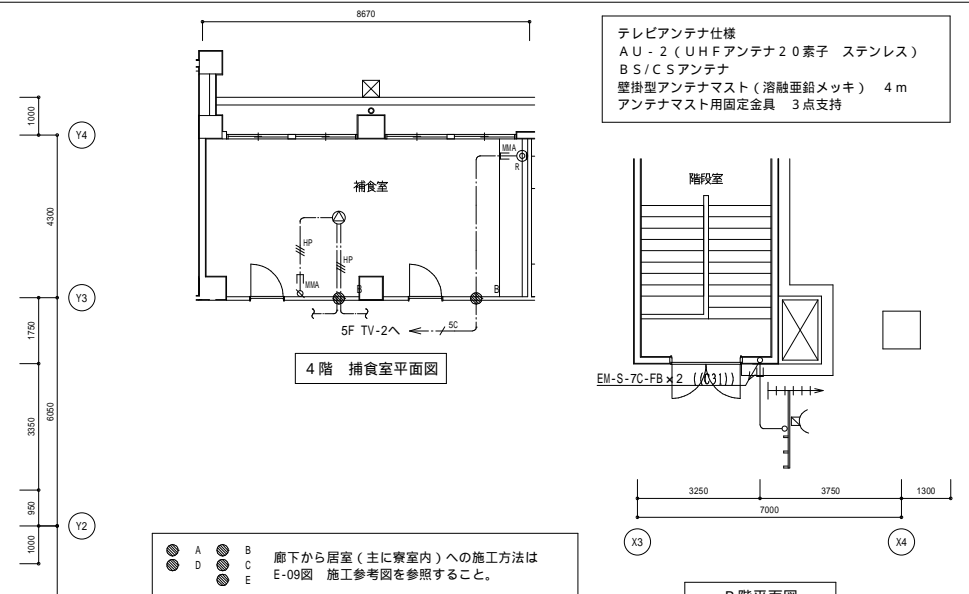
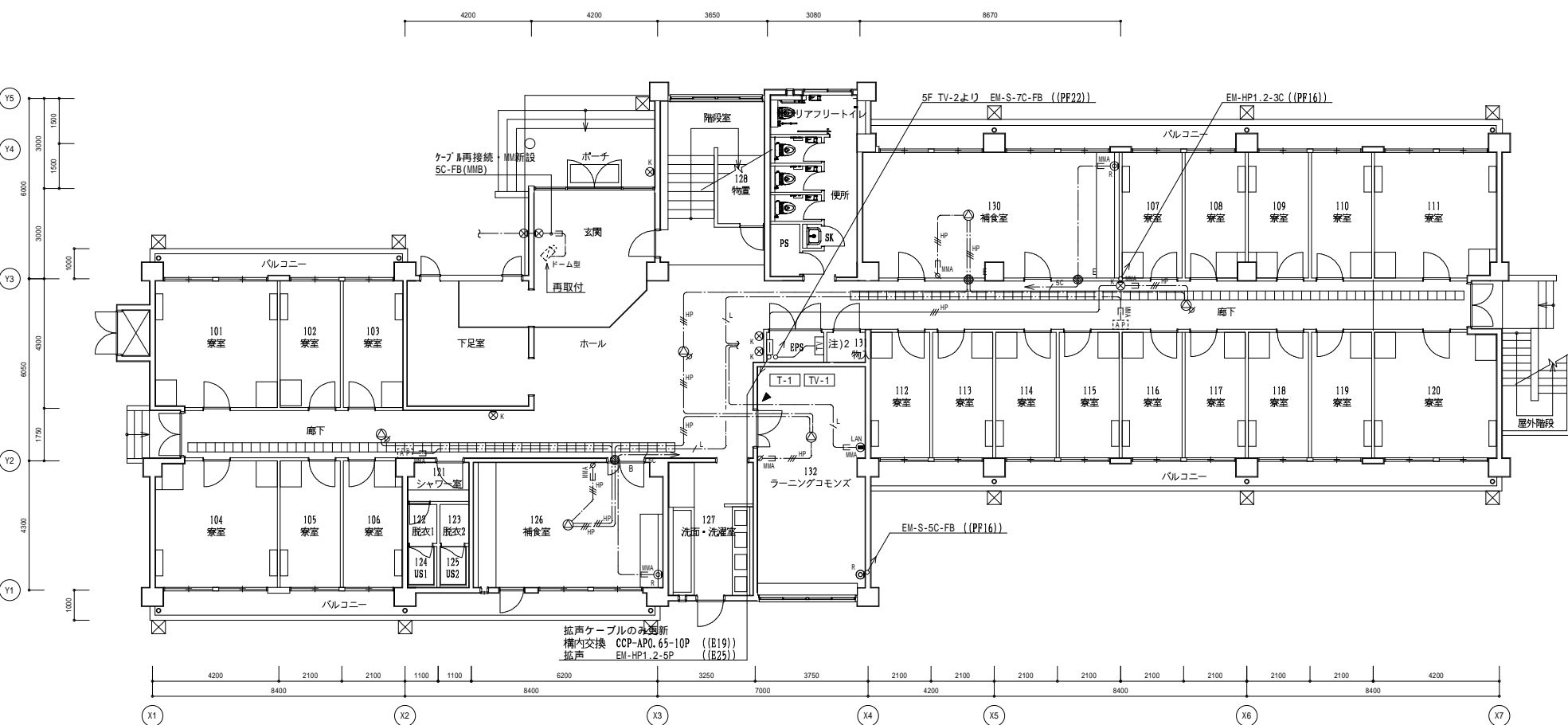
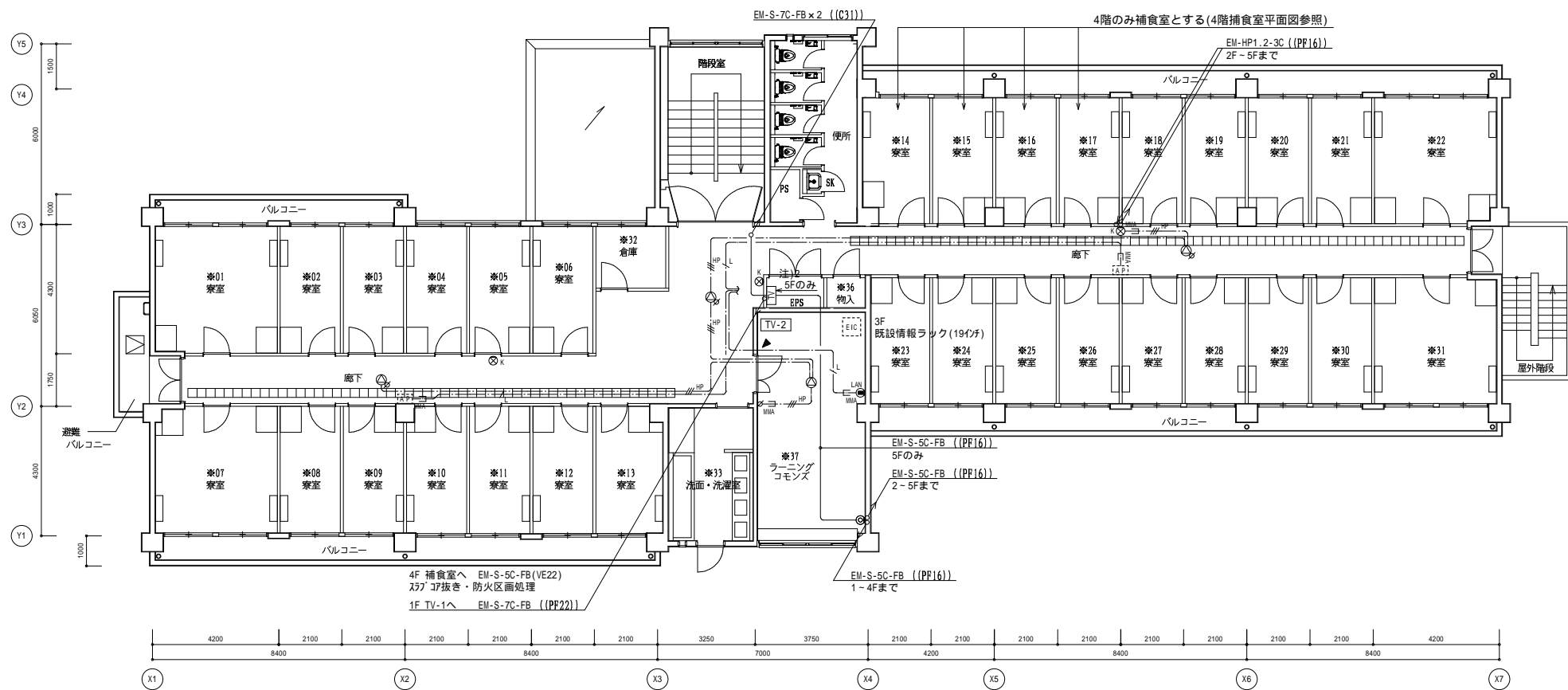
年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第 1 項に基づく表示	独立行政法人国立高等専門学校機構 鹿児島工業高等専門学校				図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係長	
令和 5 年	令和 6 年 5 月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	改修後 電灯分岐（非常照明）設備 1～5 階平面図	A1:1/100 (A3:1/200)	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明					E - 1 1



端子盤表 端子台実装		構内交換	拡声	テレビ	火災報知	コネク	仕 様
T-1		10P	10P		30P		屋内銅板製 壁掛型
TV-1				SH・UF-1増幅器×1 2分岐器×1		露出コネク (2P15A×2 ET付)×1個	屋内銅板製 壁掛型
TV-2				SH・UF-1増幅器×1 4分配器×1		露出コネク (2P15A×2 ET付)×1個	屋内銅板製 壁掛型



年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮 尺	建築士法第20条第 1 項に基づく表示	独立行政法人国立高等専門学校機構 鹿児島工業高等専門学校					図面番号
令和 5 年	令和 6 年 5 月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	改修後 弱電設備 系統図・弱電端子盤表	A1:1/100 (A3:1/200)	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当	E - 1 4



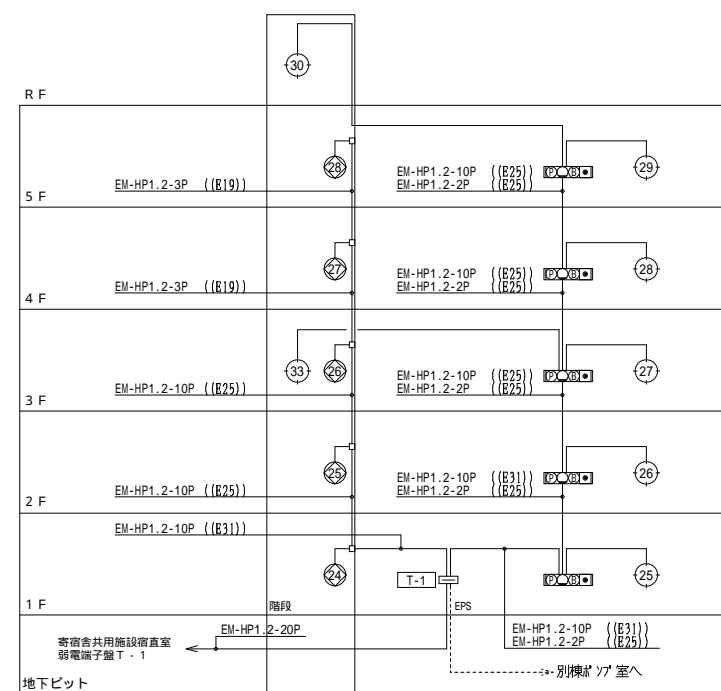
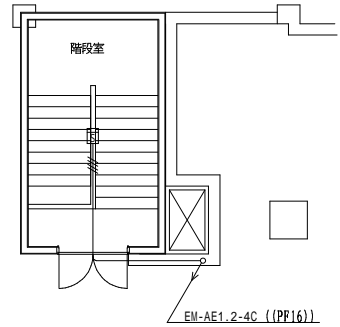
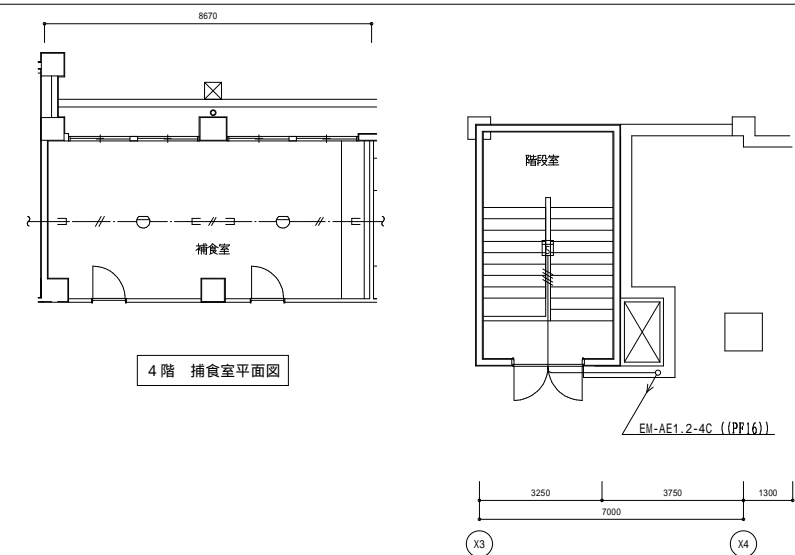
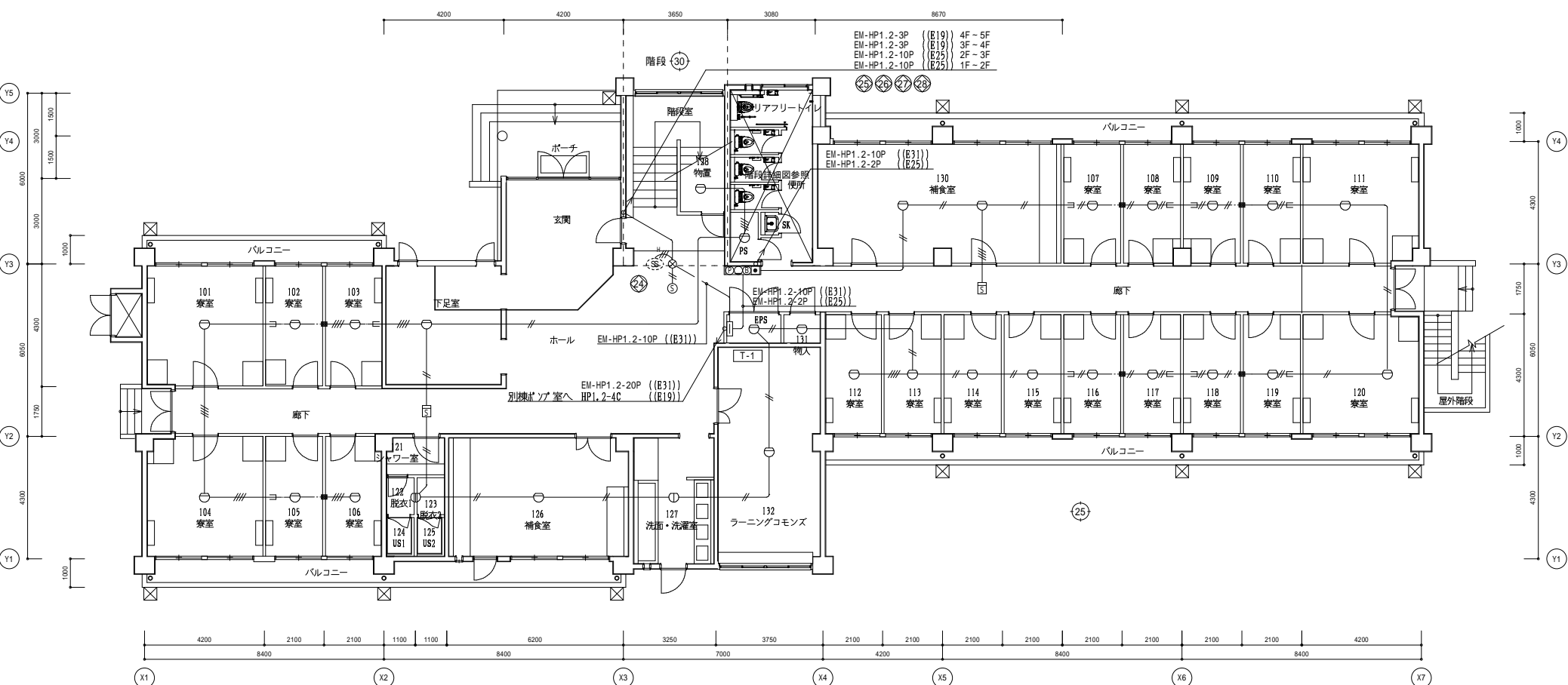
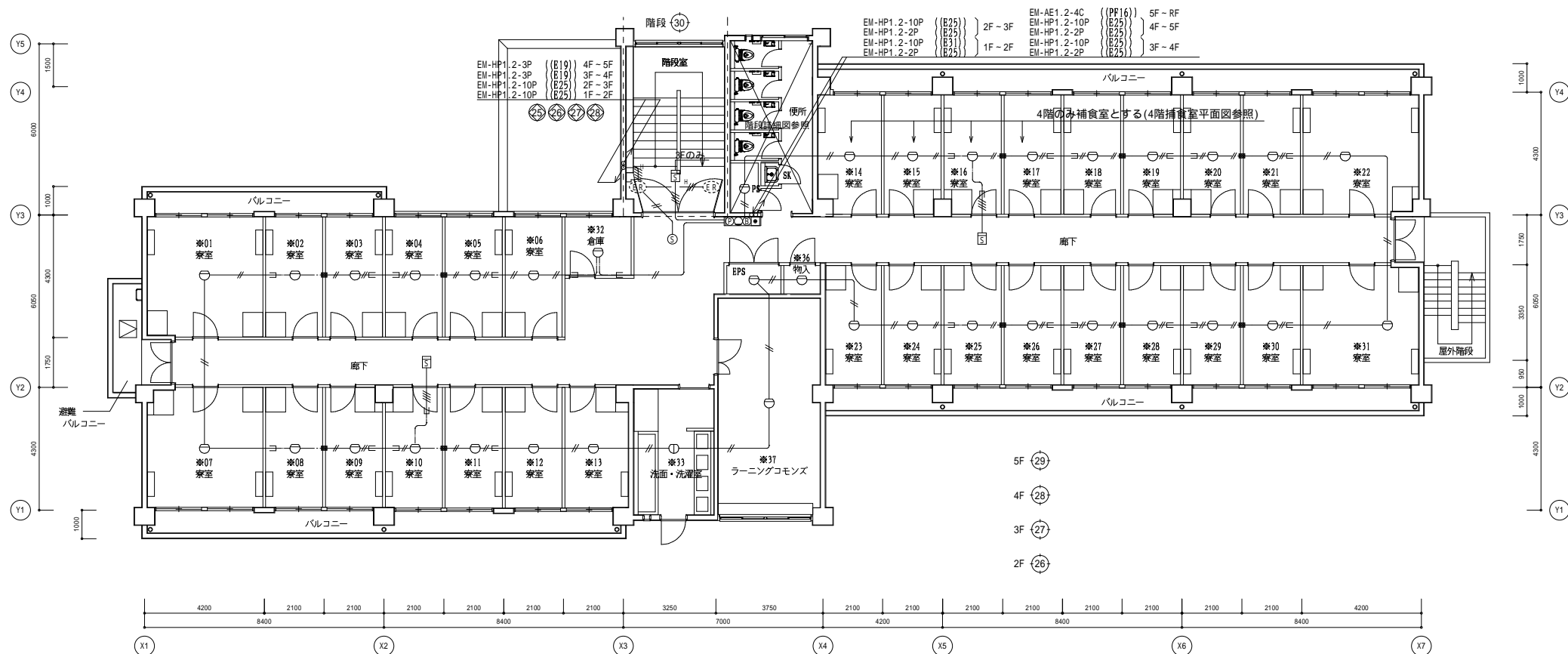
凡例				
	記号	名称・仕様	記号	名称・仕様
Y2		弱電端子盤		EM-UTP、Cat6A
		情報ラック	再取付	EM-HP1.2-3C
		無線アクセスポイント	別途工事	EM-S-5C-FB
		スイッチングHUB	別途工事	天井ころろし配線
		天井埋込レール	SC4Hi-1V0-M	メタルモール保護
Y1		天井埋込レール	アダプタ付	SC4Hi-1V3-M
		アッテネータ	V-1S	上立りはメタルモール保護
		TV機器収容箱		既設ケーブル配管を利用
		直列ユニット	中間用	
		直列ユニット	端末用	
		監視カメラ	再取付	

注1 (LAN) 第5志学寮系統を含むため監督員と協議の上、利用できない期間を最小限に留めること。
注2 (TV) 第5志学寮・寄宿舎食堂系統を含むため監督員と協議の上、利用できない期間を最小限に留めること。

【その他注記】

1. 二重天井内はごろしが配線とする。
2. インベイ部分はP F 管にて保護すること。
3. 露出部分はメタルモールにて保護すること。
4. 防火区画を貫通する配管・ケーブルは国土交通大臣認定工法による適切な処理を施すこと。
5. 躯体壁に残置される未使用ボックスにはカバープレートを取付ること。

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第 1 項に基づく表示	独立行政法人国立高等専門学校機構 鹿児島工業高等学校					図面番号
令和 5 年	令和 6 年 5 月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	改修後 弱電設備 1 ～ 5 階平面図	A1:1/100 (A3:1/200)	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当	E - 1 5



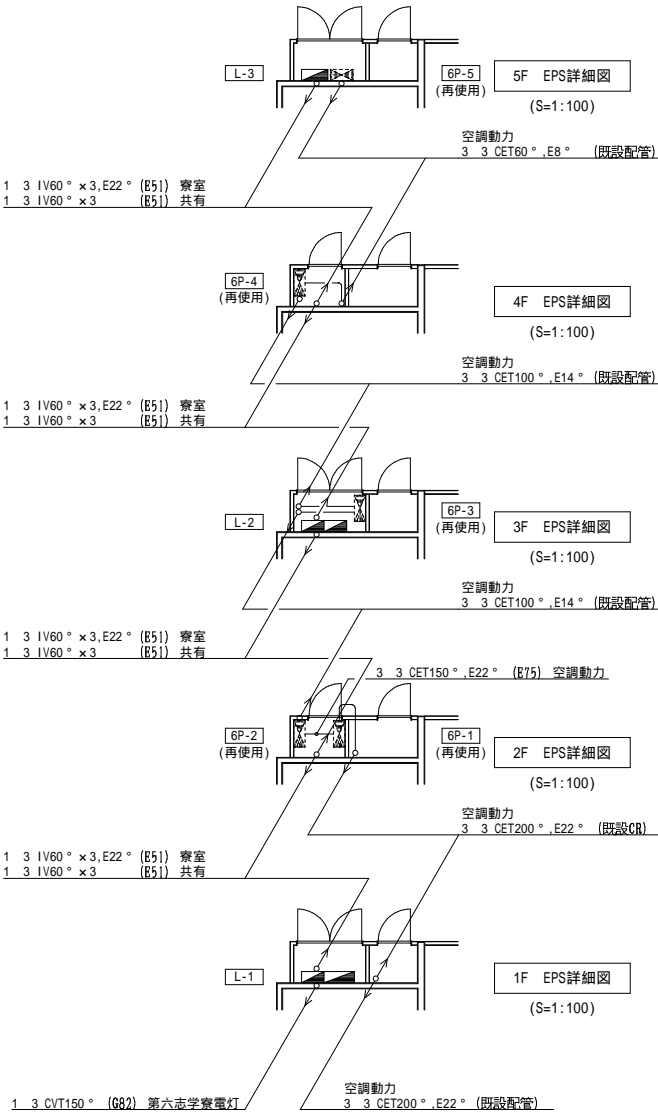
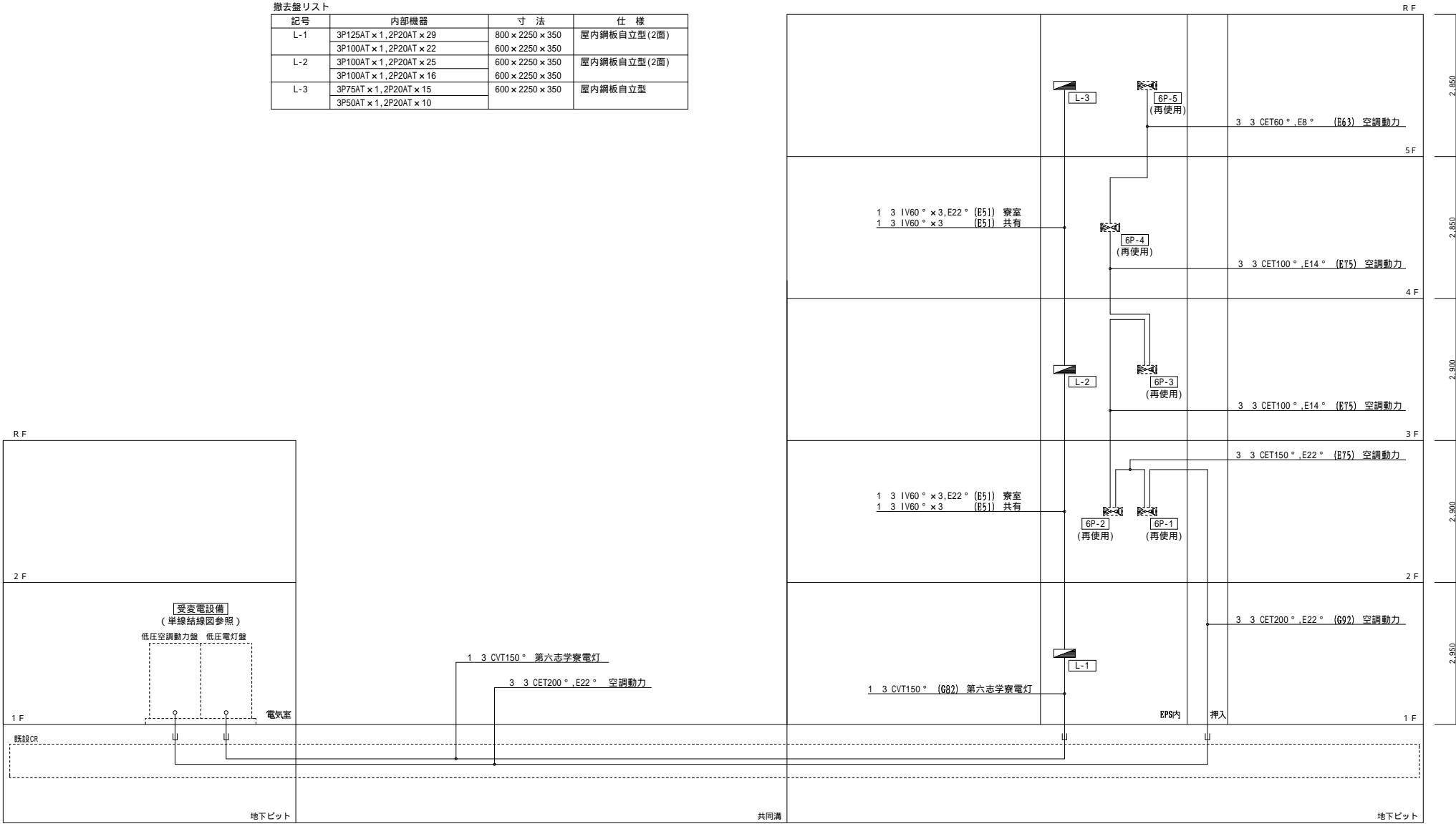
凡例			
記号	名称・仕様	記号	名称・仕様
	機器収納箱 屋内消火栓組込型		防火戸用 ラッチ式
	発信機・ベル・表示灯・消火栓連動押扣		シャッター用レリーズ装置
	スポット型感知器 差動式 2種		警戒区域(自火報) n = 区域番号
	スポット型感知器 定温式 1種		警戒区域(防火戸) n = 区域番号
	スポット型感知器 定温式 1種 防水		防火区画処理部
	煙感知器 光電式2種 露出型		EM-AE0.9-2C(C19) EM-AE0.9-4C(C19)
	煙感知器 光電式3種 露出型		EM-HP0.9-2C(C19)
			天井ころがし配線
			既設パイプ配管を利用

【その他注記】

1. 二重天井内はこしがし配線とする。
2. インベント部分はP F管にて保護すること。
3. 露出部分はメタルケーブルにて保護すること。
4. 防火区画を貫通する配管・ケーブルは国土交通大臣認定工法による適切な処理を施すこと。
5. 駆動部に残置される未使用ボックスにはカバープレートを取付ること。

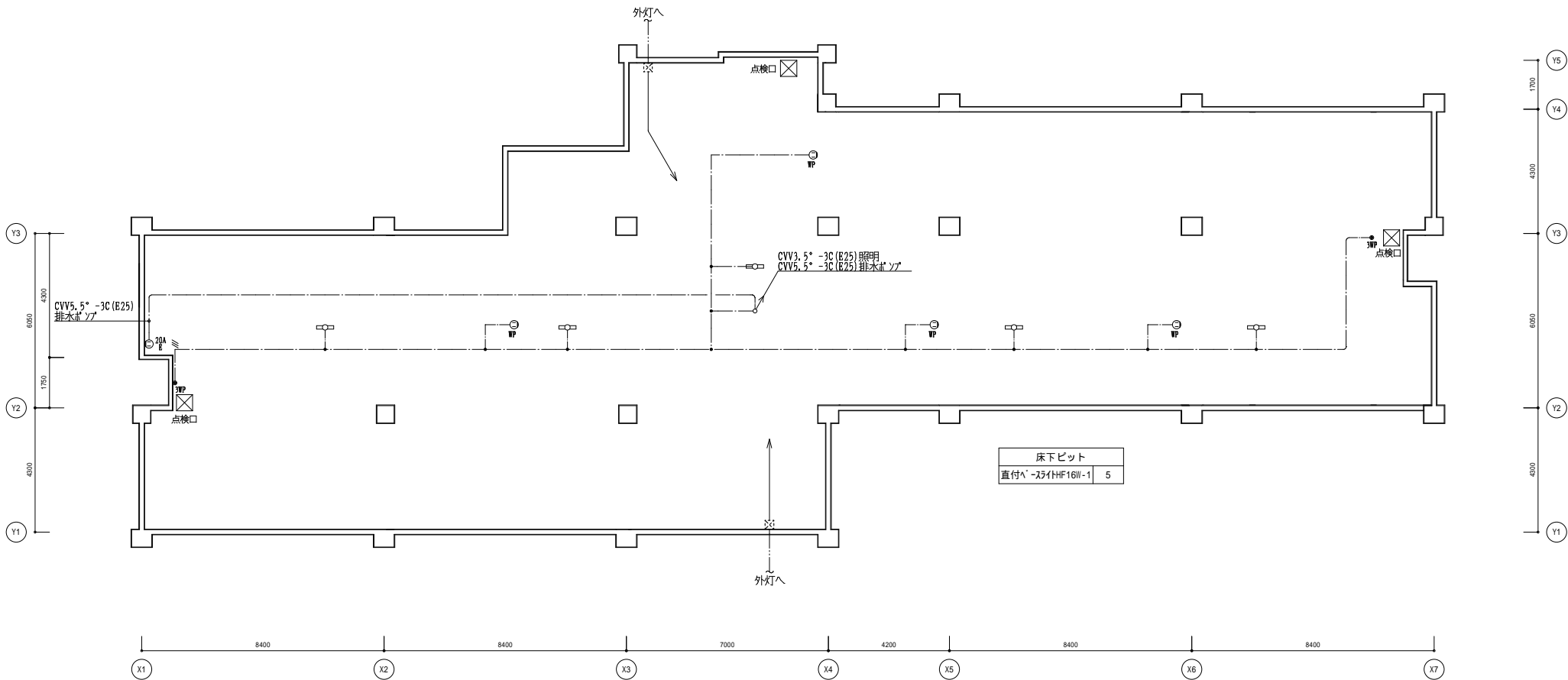
年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人国立高等専門学校機構 鹿児島工業高等専門学校					図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	改修後 火災報知設備 系統図・1～5階平面図	A1:1/100 (A3:1/200)	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当	E - 16

撤去盤リスト			
記号	内部機器	寸 法	仕 様
L-1	3P125AT×1,2P20AT×29	800×2250×350	屋内鋼板自立型(2面)
	3P100AT×1,2P20AT×22	600×2250×350	
L-2	3P100AT×1,2P20AT×25	600×2250×350	屋内鋼板自立型(2面)
	3P100AT×1,2P20AT×16	600×2250×350	
L-3	3P75AT×1,2P20AT×15	600×2250×350	屋内鋼板自立型
	3P50AT×1,2P20AT×10		



【特記事項】
・ 図中、太線の配線、配管、配線器具、機器等を撤去すること。
・ 図面に記載がないものについても不要と思われるものについては監督員と協議し撤去すること。
・ 工事着手前に既存部分を十分調査し、既存設備に支障を及ぼさないよう注意して施工を行うこと。
・ 改修後に再利用する配管や駆体打込みまたは撤去できないインベイ配管はそのまま残置とする。
・ 既設取外し、再取付機器については、取外し前に正常に動作しているか確認し記録として残し、取外し後は損傷しないよう適切に保管すること。

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人国立高等専門学校機構 鹿児島工業高等専門学校					図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	改修前 幹線系統図 電灯幹線・動力幹線EPS詳細図	A1:1/100 (A3:1/200)	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当	
												E - 17

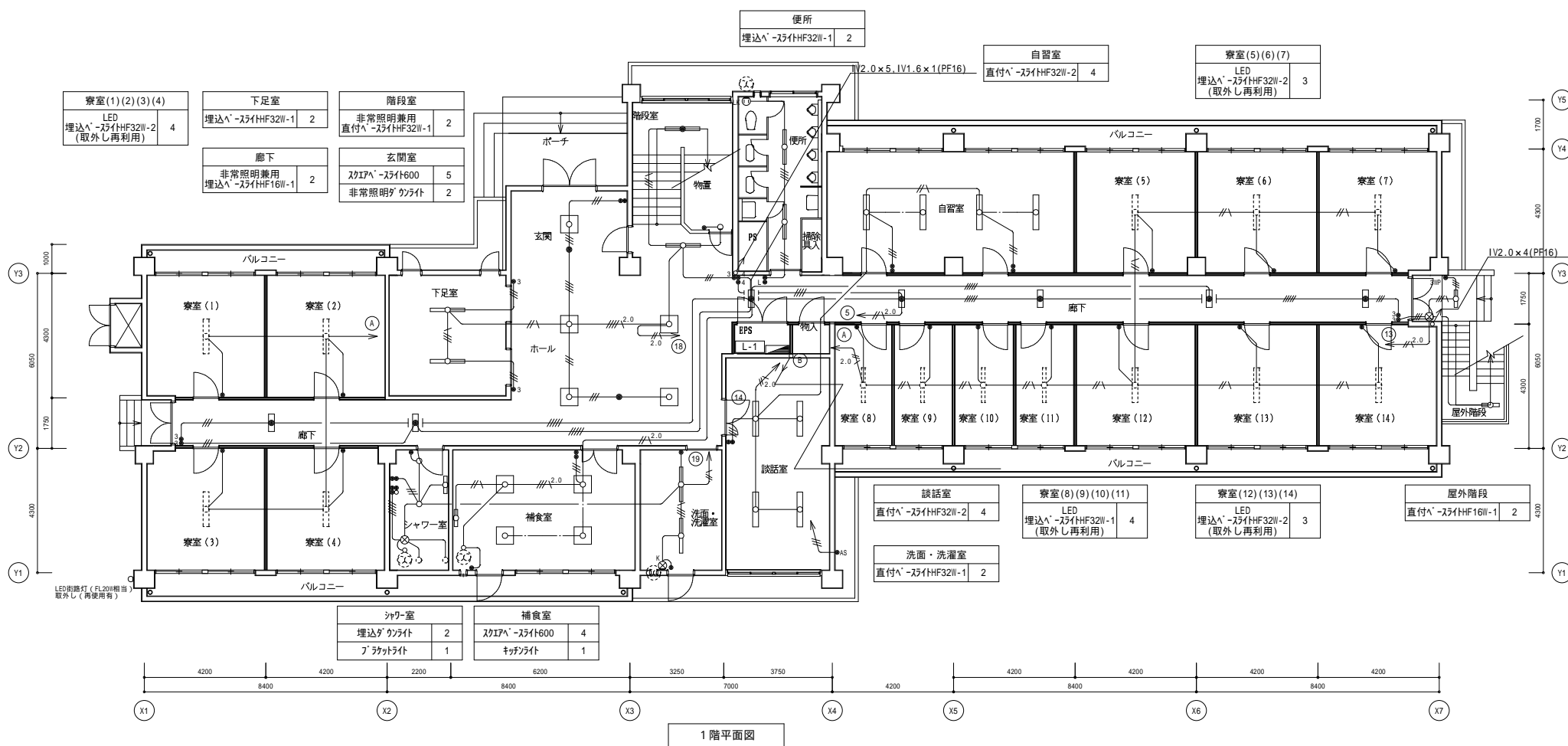
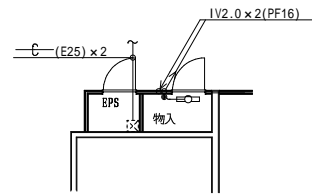
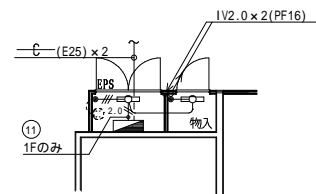
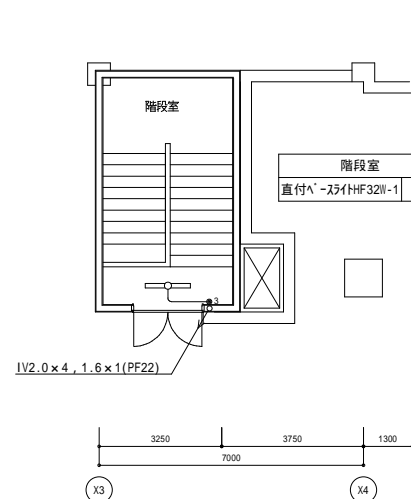
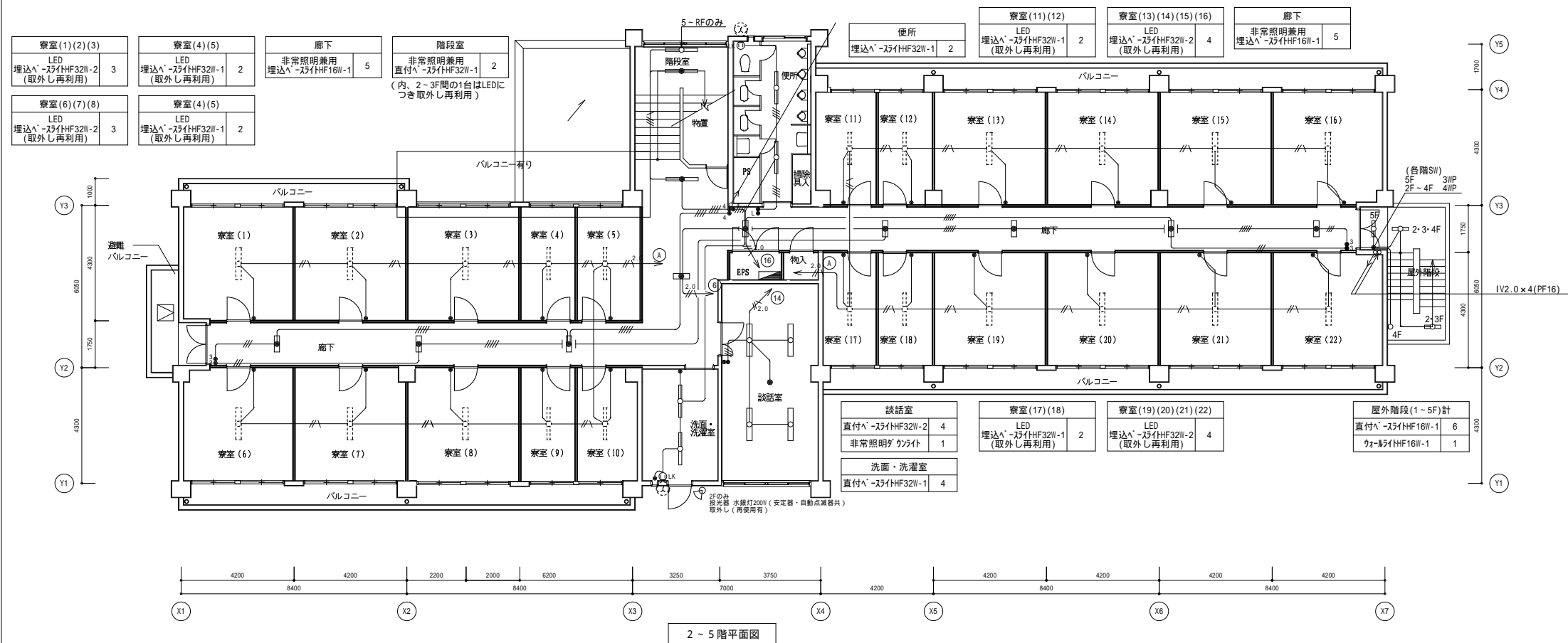


床下ビット平面図

【特記事項】

- ・図中、太線の配線、配管、配線器具、機器等を撤去すること。
- ・図面に記載がないものについても不要と思われるものについては監督員と協議し撤去すること。
- ・工事着手前に既存部分を十分調査し、既存設備に支障を及ぼさないよう注意して施工を行うこと。
- ・改修後に再利用する配管や駆体打込みまたは撤去できないインペイ配管はそのまま残置とする。
- ・既設取外し、再取付機器については、取外し前に正常に動作しているか確認し記録として残し、取外し後は損傷しないよう適切に保管すること。

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第 1 項に基づく表示	独立行政法人国立高等専門学校機構 鹿児島工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当	
令和 5 年	令和 6 年 5 月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	改修前 電灯分岐設備 地下ビット平面図	A1:1/100 (A3:1/200)	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明						E - 1 8

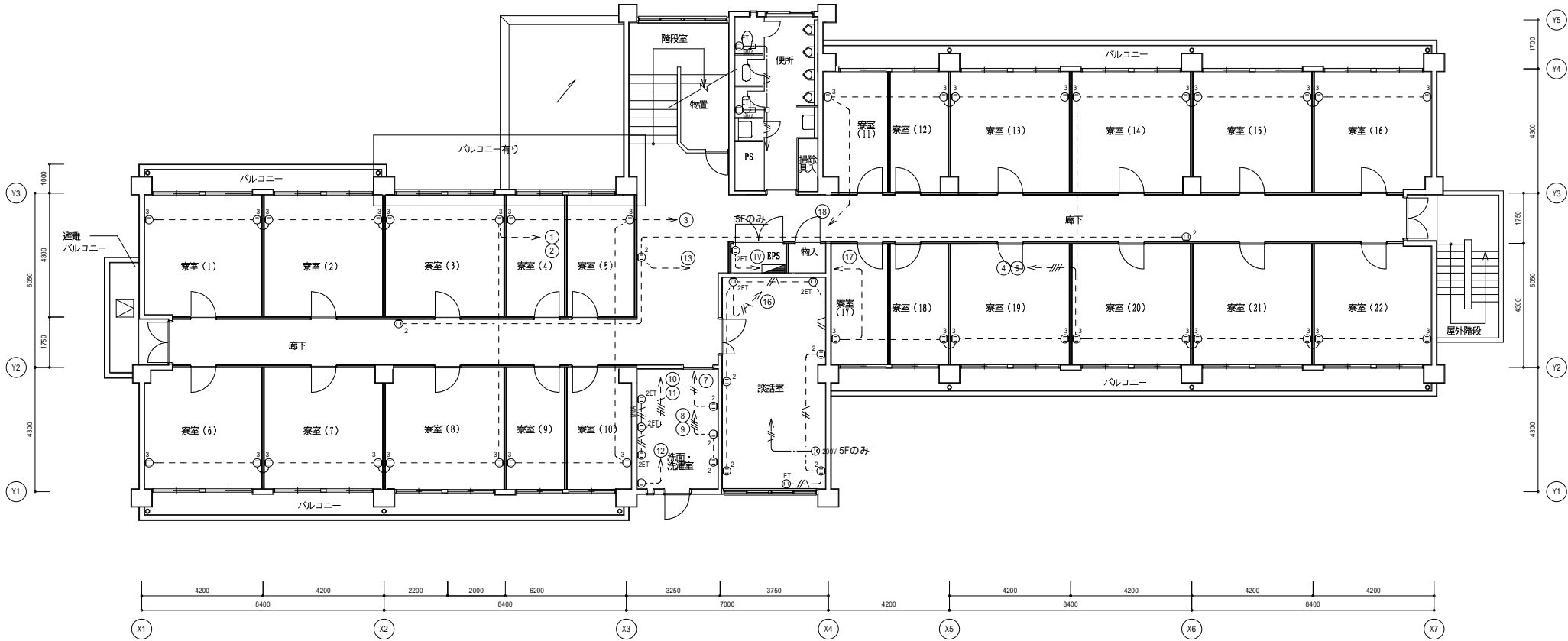


撤去例	
記号	名称・仕様
	電灯分電盤
	照明器具
	■
	■
	■
●	埋込スイッチ 1P15A×1
●3	埋込スイッチ 3W15A×1
●4	埋込スイッチ 4W15A×1
○	埋込スイッチ 1PL4A×1
⊗	アウトボックス
⊗LK	埋込コンセント 2P15A×1 抜止付 換気扇用
	換気扇(機械設備工事)
——	IV1.6×2(PF16) $\frac{2.0}{\text{---}}$ IV2.0×2(PF16)
——	IV1.6×3(PF16) $\frac{2.0}{\text{---}}$ IV2.0×2,E1.6(PF16)
——	IV1.6×4(PF16) $\frac{2.0}{\text{---}}$ IV2.0×3,E1.6(PF16)
——	IV1.6×5(PF16) $\frac{2.0}{\text{---}}$ IV2.0×4,E1.6(PF16)
——	IV1.6×2,E1.6(PF16) ——— VVF1.6-3C
——	IV1.6×3,E1.6(PF16)
——	天井用シ配線 ——— いへい配線・配管
① 100V回路	② 200V回路

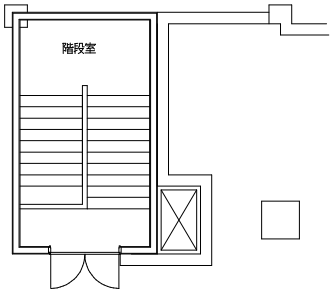
【特記事項】

- ・ 図中、太線の配線、配管、配線器具、機器等を撤去すること。
- ・ 図面に記載がないものについても不要と思われるものについては監督員と協議し撤去すること。
- ・ 工事着手前に既存部分を確認し、既設設備に支障を及ぼさないよう注意して施工を行うこと。
- ・ 改修後に再利用する配管や配材打込みまたは撤去できないインペイ配管はそのまま残置すること。
- ・ 既設取外し、再取得機器については、取外し前に正常に動作しているか確認し記録として残し、取外し後は損傷しないよう適切に保管すること。

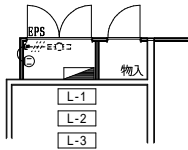
年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人国立高等専門学校機構 鹿児島工業高等専門学校					図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	改修前 電灯分岐設備 1～5階平面図	A1:1/100 (A3:1/200)	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当	E - 19



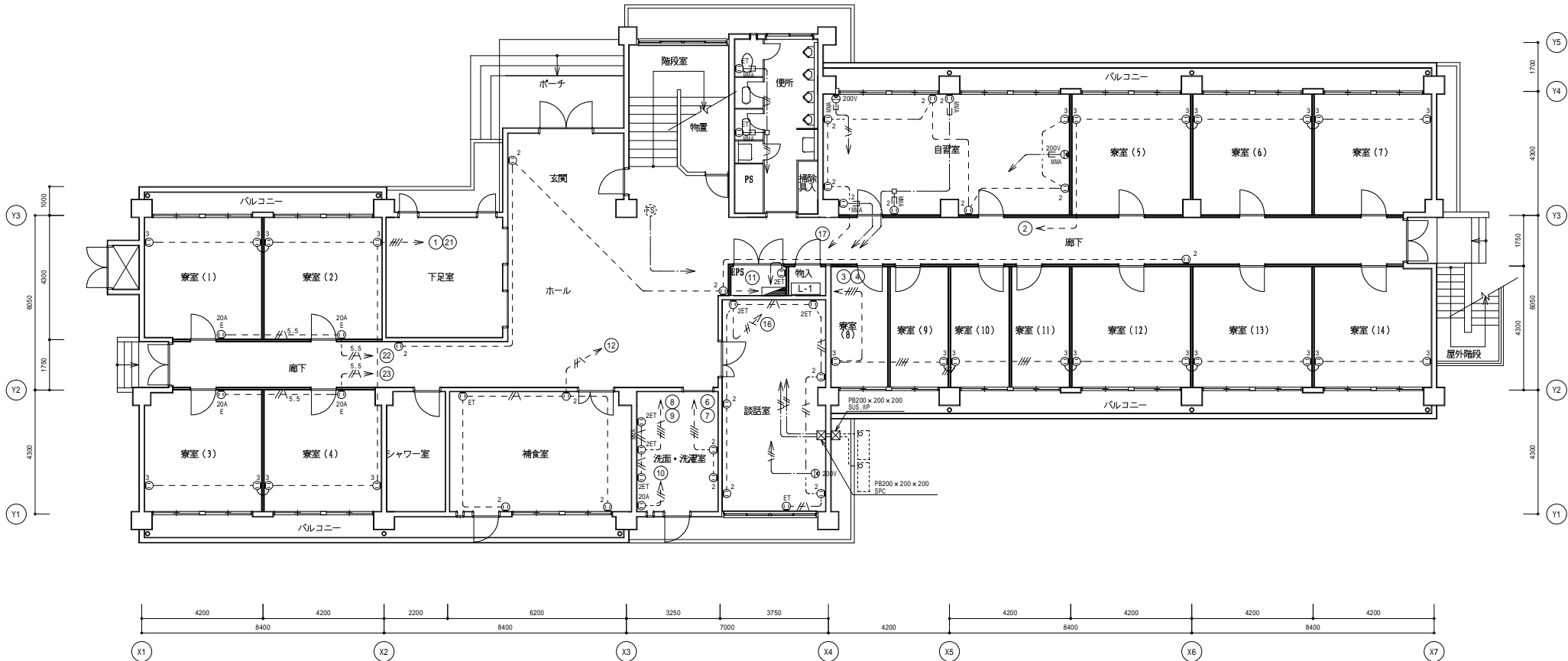
2～5階平面図



R階平面図



1・3・5階 EPS詳細図
(S=1:100)

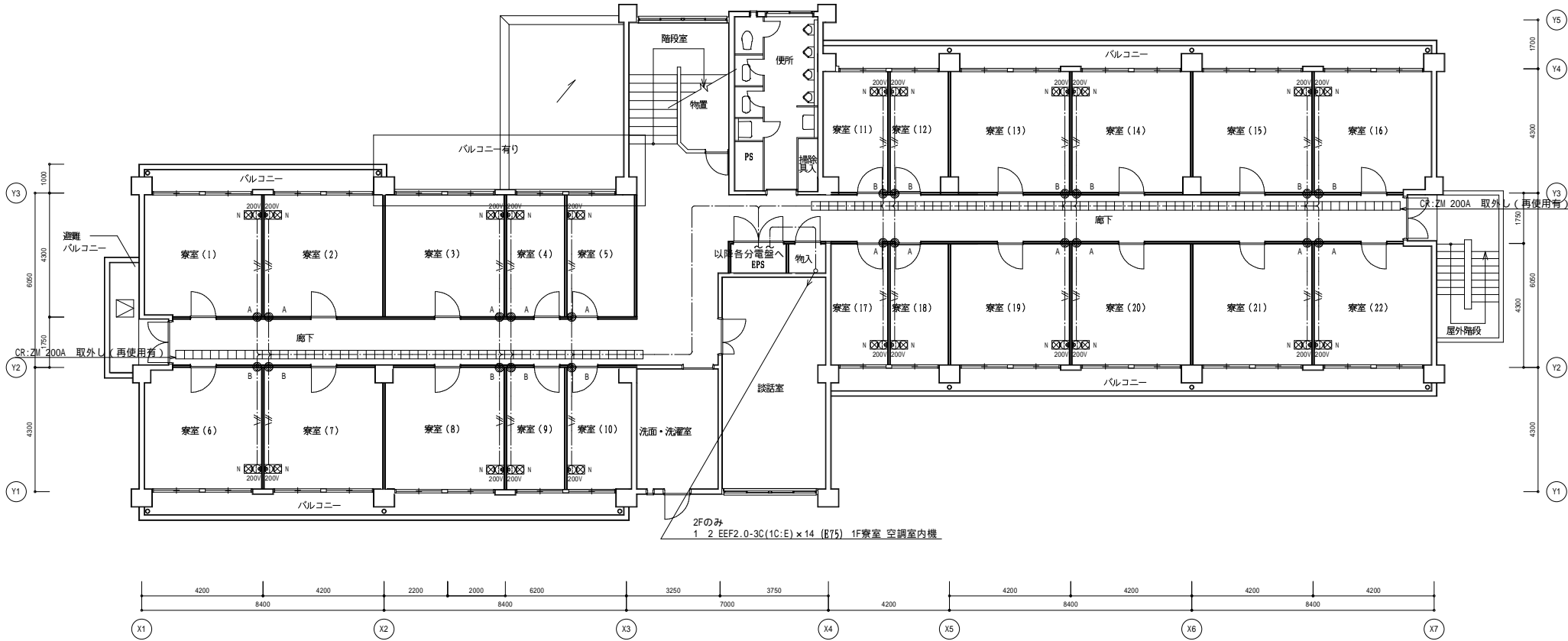


1階平面図

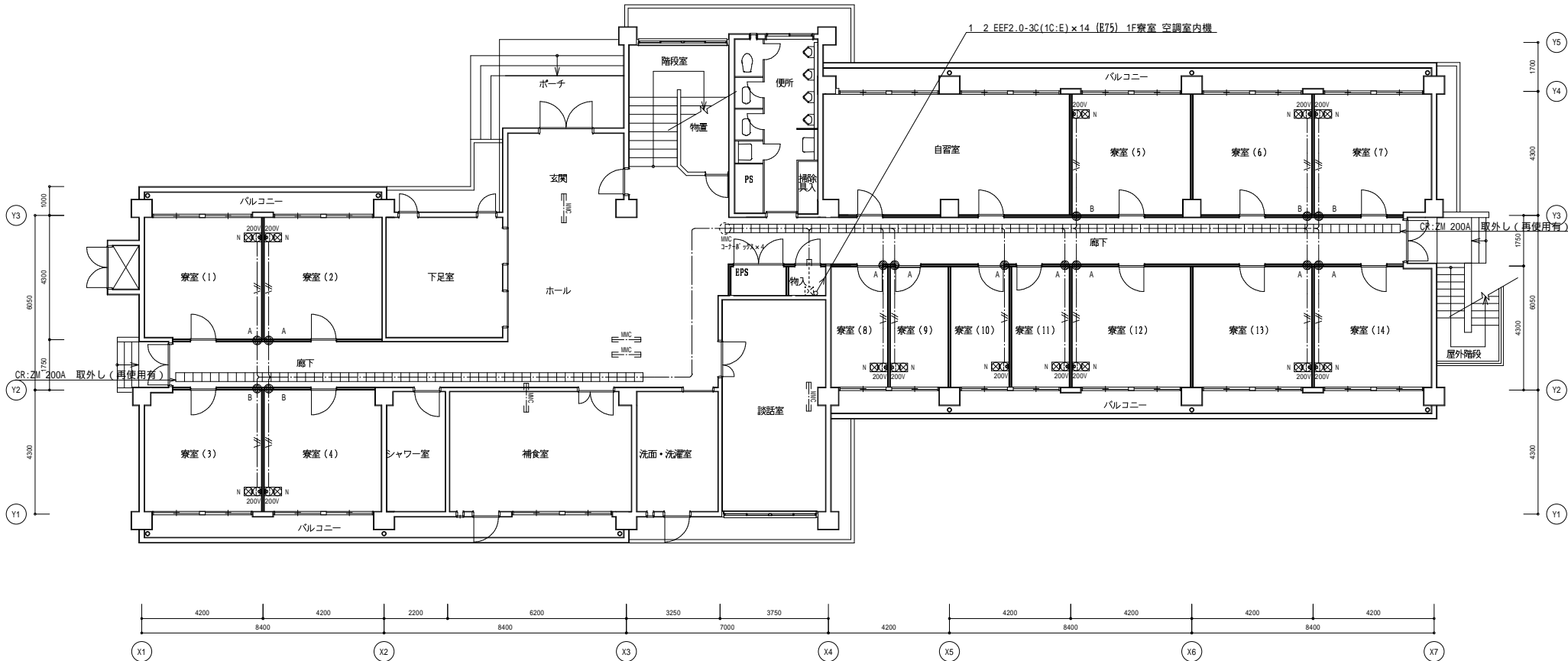
撤去凡例	
	名称・仕様
	電灯分電盤
	埋込コンセント 2P15A x 1
	埋込コンセント 2P15A x 2
	埋込コンセント 2P15A x 1 ET付
	埋込コンセント 2P15A x 2 ET付
	埋込コンセント 2P15A x 1 LK付
	埋込コンセント 2P15/20A x 1 E付
	IV2.0 x 2 (PF16)
	IV2.0 x 4 (PF16)
	IV2.0 x 2, E1.6 (PF16)
	IV5.5 x 2, E2.0 (PF16)
	床埋込配線・配管
	n = 回路番号を示す

【特記事項】
・ 図中、太線の配線、配管、配線器具、機器等を撤去すること。
・ 図面に記載がないものについても不要と思われるものについては監督員と協議し撤去すること。
・ 工事着手前に既存部分を十分調査し、既存設備に支障を及ぼさないよう注意して施工を行うこと。
・ 改修後に再利用する配管や躯体打込みまたは撤去できないインペイ配管はそのまま残量とする。
・ 既設取外し、再取付機器については、取外し前に正常に動作しているか確認し記録として残し、取外し後は損傷しないよう適切に保管すること。

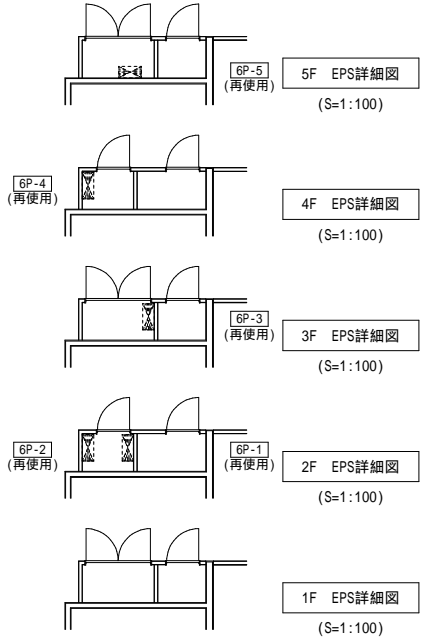
年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人国立高等専門学校機構 鹿児島工業高等学校					図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	改修前 コンセント分岐設備 1～5階平面図	A1:1/100 (A3:1/200)	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当	E - 20



2 ～ 5 階平面図



1 階平面図

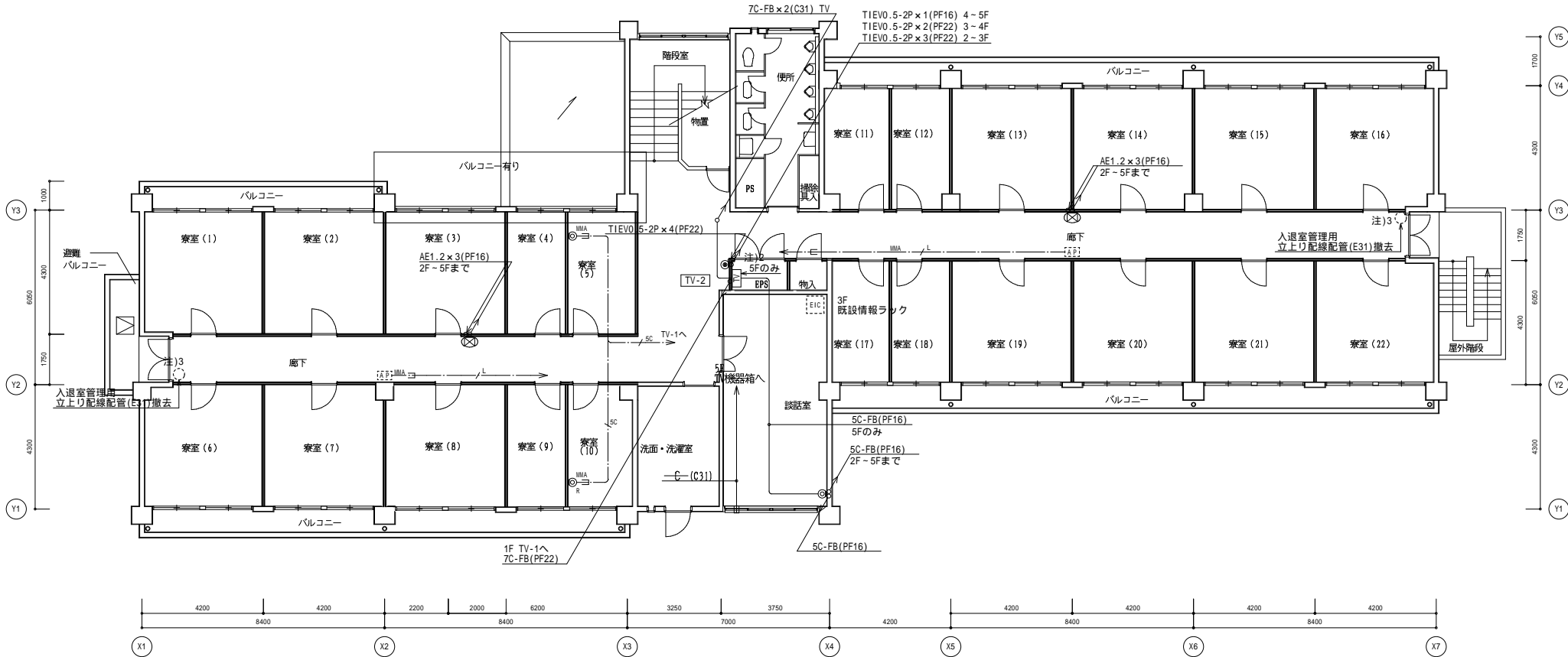


- A 天井内ボード開口部を通線
- B 天井下（梁下）の電線管を通線（寮室内側はMM立上げ）
- ≡ MMR ≡ メタルモール保護（天井面梁かわし用）

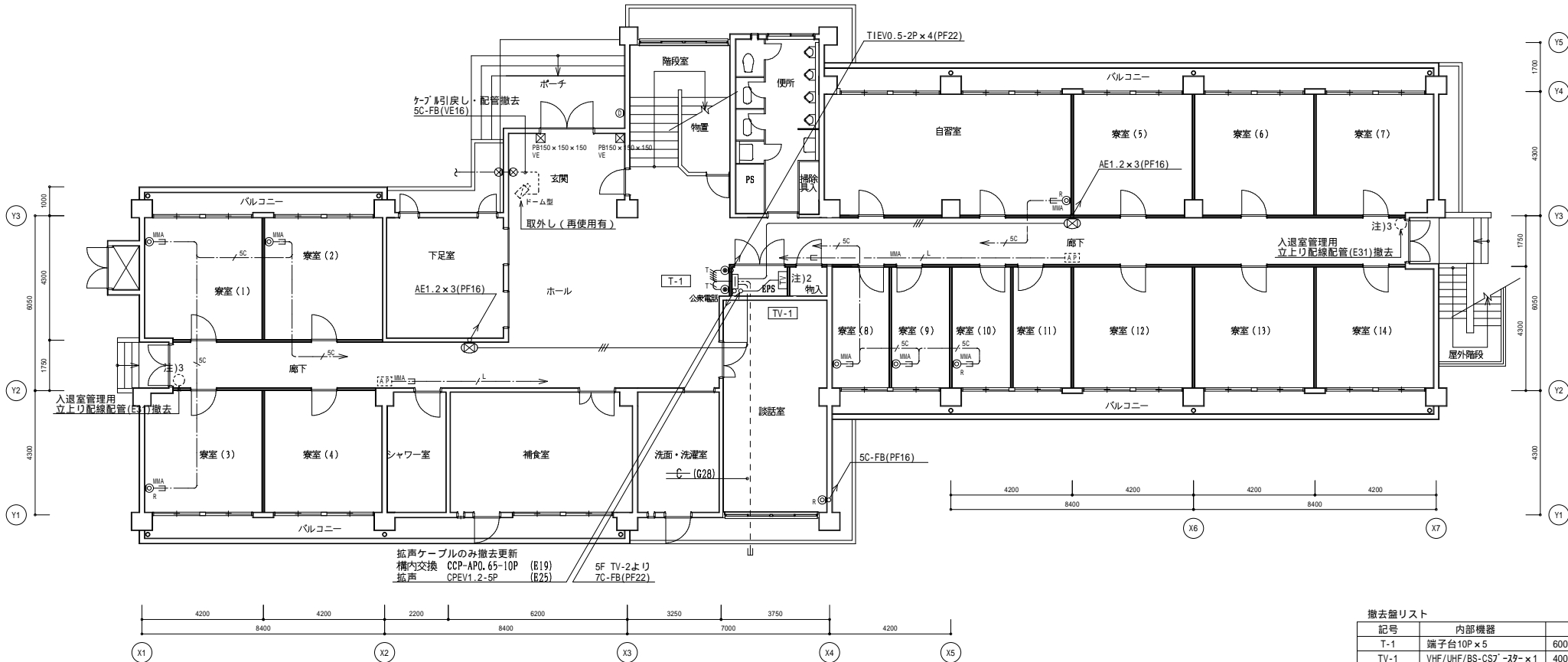
撤去凡例	
記号	名称・仕様
	動力分電盤（空調）
	複合コンセント
	埋込コンセント 200V 2P20A×1 E付
	ノズルチップ×2
	EEF2.0-3C(1C:E)
	天井加工配線

【特記事項】
・図中、太線の配線、配管、配線器具、機器等を撤去すること。
・図面に記載がないものについても不要と思われるものについては監督員と協議し撤去すること。
・工事着手前に既存部分を十分調査し、既存設備に支障を及ぼさないよう注意して施工を行うこと。
・改修後に再利用する配管や躯体打込みまたは撤去できないインペイ配管はそのまま残置とする。
・既設取外し、再取付機器については、取外し前に正常に動作しているか確認し記録として残し、取外し後は損傷しないよう適切に保管すること。

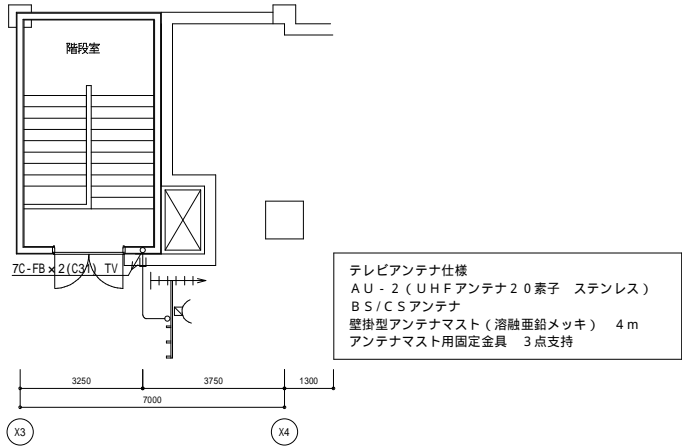
年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人国立高等専門学校機構 鹿児島工業高等専門学校					図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	改修前 寮室空調電源設備 1 ～ 5 階平面図	A1:1/100 (A3:1/200)	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当	E - 2 1



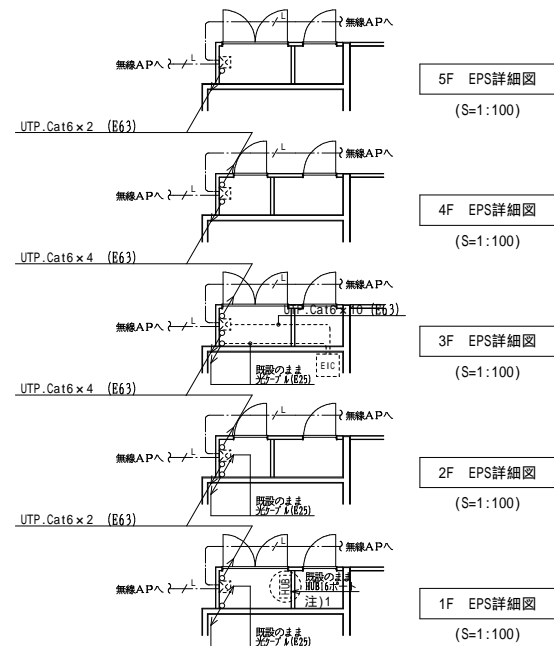
2 ~ 5階平面図



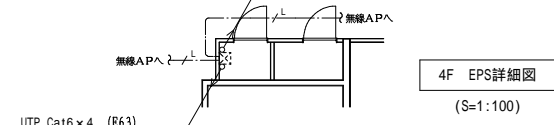
1階平面図



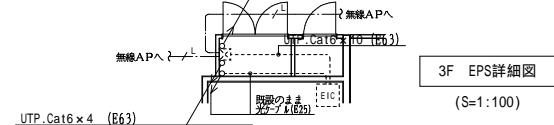
R階平面図



5F EPS詳細図
(S=1:100)



4F EPS詳細図
(S=1:100)



3F EPS詳細図
(S=1:100)



2F EPS詳細図
(S=1:100)



1F EPS詳細図
(S=1:100)

構内情報通信網設備
既設情報ラック (700×600×H1250)
EIC: 上部変則ダクト (450×200×H600, 300×200×H370)
取外し (再使用有)

撤去凡例

記号	名称・仕様	記号	名称・仕様
□	弱電端子盤	TV	TV機器収容箱
EIC	情報ラック	◎	直列ユニット 中間用
EIC	無線アクセスポイント	◎R	直列ユニット 端末用
スイッチングHUB	別途工事	◎	インターホン機
TEL用モジュージャック	6極4芯	監視カメラ	監視カメラ
壁掛型スピーカー3W	両面型 ATT付	ブルボックス	ブルボックス
UTP, Cat6		AE1.2-3C(PF16)	
TIEV0.5-2P(PF16)		5C-FB	
TIEV0.5-2P×4(PF16)		天井30分シ配線	天井30分シ配線
		イペイ配線・配管	イペイ配線・配管

注)1 (LAN) 第5志学寮システムを含むため監督員と協議の上、利用できない期間を最小限に留めること。
注)2 (TV) 第5志学寮・寄宿舎食堂システムを含むため監督員と協議の上、利用できない期間を最小限に留めること。
注)3 撤去前に事前調査を行い、監督員と協議すること。

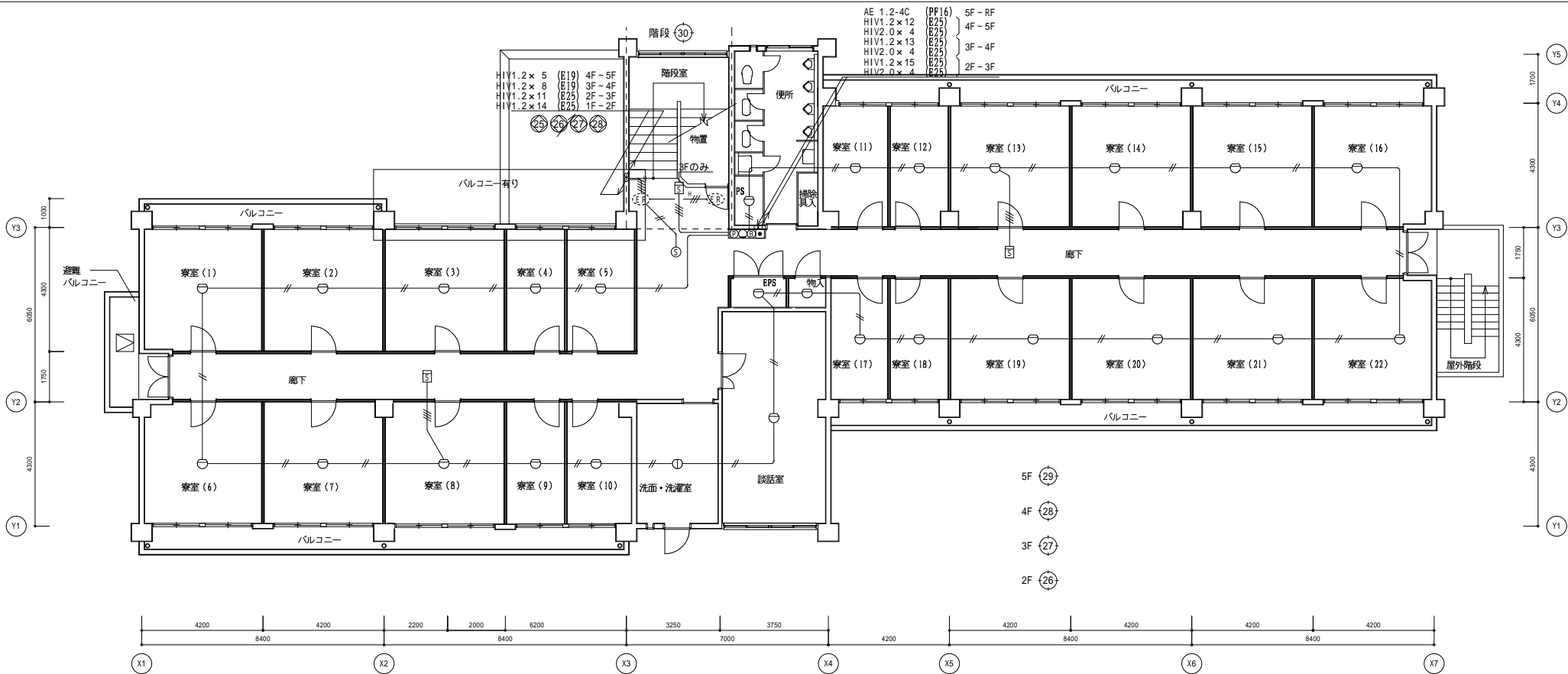
撤去盤リスト

記号	内部機器	寸法	仕様
T-1	端子台10P×5	600×850×180	屋内銅板壁掛型
TV-1	VHF/UHF/BS-CS7-2P×1 2分岐器×1, 2分配器×1 4分配器×1	400×600×120	屋内銅板壁掛型
TV-2	VHF/UHF/BS-CS7-2P×1 4分配器×1	400×1000×160	屋内銅板壁掛型

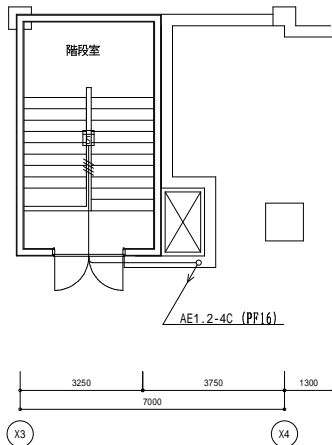
【特記事項】

- ・図中、太線の配線、配管、配線器具、機器等を撤去すること。
- ・図面に記載がないものについても不要と思われるものについては監督員と協議し撤去すること。
- ・工事着手前に既存部分を十分調査し、既存設備に支障を及ぼさないよう注意して施工を行うこと。
- ・改修後に再利用する配管や躯体打込みまたは撤去できないインペイ配管はそのまま残置とする。
- ・既設取外し、再取付機器については、取外し前に正常に動作しているか確認し記録として残し、取外し後は損傷しないよう適切に保管すること。

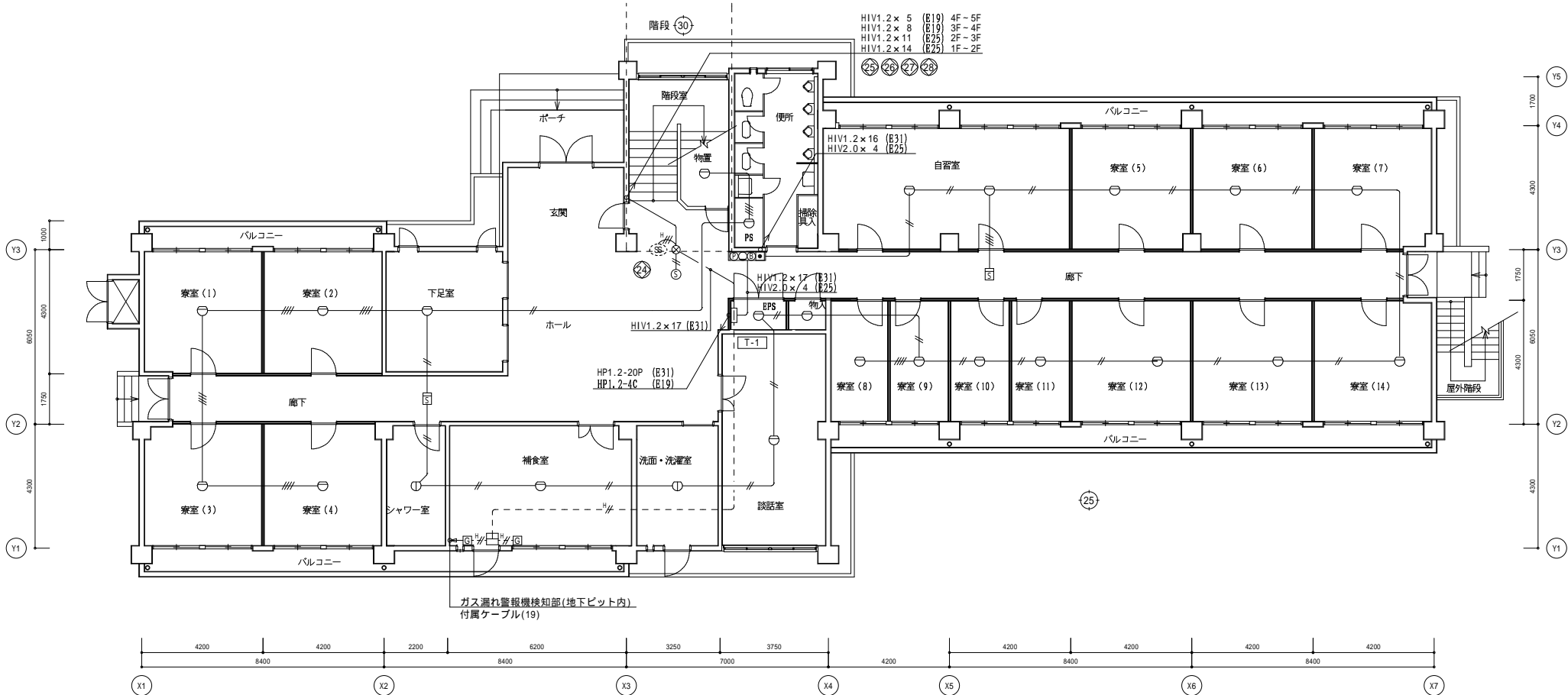
年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人国立高等専門学校機構 鹿児島工業高等専門学校	図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修(建築)(設備)設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	改修前 弱電設備 1～5階平面図	A1:1/100 (A3:1/200)	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	事務部長 総務課長 課長補佐 係長 担当	E - 2 2



2 ~ 5階平面図



R階平面図



1階平面図

撤去凡例	
記号	名称・仕様
	機器収納箱 屋内消火栓組込型
	発信機・ベル・表示灯・消火栓連動押釦
	スポット型感知器 差動式 2種
	スポット型感知器 定温式 1種
	スポット型感知器 定温式 1種 防水
	煙感知器 光電式2種 露出型
	煙感知器 光電式3種 露出型
	ガス漏れ警報用中継器
	ガス漏れ警報器 LPガス用 AC100Vランプ点灯
	防火戸用 ラッチ式
	シャッター用リリース装置
	警戒区域(自火報) n = 区域番号
	警戒区域(防火戸) n = 区域番号
	AE0.9-2C(C19) AE0.9-4C(C19)
	HP0.9-2C(C19)
	ビット内配管・配線 イバイ配線・配管

【特記事項】

- ・図中、太線の配線、配管、配線器具、機器等を撤去すること。
- ・図面に記載がないものについても不要と思われるものについては監督員と協議し撤去すること。
- ・工事着手前に既存部分を十分調査し、既存設備に支障を及ぼさないよう注意して施工を行うこと。
- ・改修後に再利用する配管や躯体打込みまたは撤去できないインペイ配管はそのまま残置とする。
- ・既設取外し、再取付機器については、取外し前に正常に動作しているか確認し記録として残し、取外し後は損傷しないよう適切に保管すること。

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人国立高等専門学校機構 鹿児島工業高等専門学校					図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	改修前 火災報知設備 1～5階平面図	A1:1/100 (A3:1/200)	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	事務部長	総務課長	課長補佐	係長	担当	E - 23

凡 例

[illegible]

機器表(撤去)

記 号	機 器 名 称	台 数	仕 様	電 気 負 担 (60 H Z)			使用市電	冷暖 充 満 量 (k g)	設 置 場 所	備 考
				Φ	V	k W				
ACR-1-5-1 (各機室1人部屋)	空冷ヒートポンプ式ルームエアコン	1	型 式 : ルームエアコン(雙機) 冷房能力 : 2.8 k W 暖房能力 : 3.2 k W 付 属 品 : 室外機用ブラロック、集中管理アダプター共	1	200	0.92	R410	各機室(1人部屋)	参考型番:RAS-2028D (東芝キャリア)	
ACR-1-5-2 (各機室2人部屋)	空冷ヒートポンプ式ルームエアコン	1	型 式 : ルームエアコン(雙機) 冷房能力 : 4.0 k W 暖房能力 : 5.0 k W 付 属 品 : 室外機用ブラロック、集中管理アダプター共	1	200	1.43	R410	各機室(2人部屋)	参考型番:RAS-4028D (東芝キャリア)	
ACR-1-3 (1階 談話室)	空冷ヒートポンプ式ルームエアコン	1	型 式 : ルームエアコン(雙機) 冷房能力 : 5.6 k W 暖房能力 : 6.7 k W 付 属 品 : 室外機用ブラロック、集中管理アダプター共	1	200	1.90	R32	1階 談話室	参考型番:F56UTEF-W (ダイキン)	
ACR-1-4 (1階 自習室)	空冷ヒートポンプ式ルームエアコン	1	型 式 : ルームエアコン(雙機) 冷房能力 : 5.0 k W 暖房能力 : 6.0 k W 付 属 品 : 室外機用ブラロック、集中管理アダプター共	1	200	1.60	R32	1階 自習室	参考型番:F56LTEF-W (ダイキン)	
ACR-2-3-3 (2,3階 談話室)	空冷ヒートポンプ式ルームエアコン	1	型 式 : ルームエアコン(雙機) 冷房能力 : 4.0 k W 暖房能力 : 5.0 k W 付 属 品 : 室外機用ブラロック、集中管理アダプター共	1	200	1.64	R32	2階 談話室 3階 談話室	参考型番:F40RTEV (ダイキン)	
ACR-4-3 (4階 談話室)	空冷ヒートポンプ式ルームエアコン	1	型 式 : ルームエアコン(雙機) 冷房能力 : 3.6 k W 暖房能力 : 4.5 k W 付 属 品 : 室外機用ブラロック、集中管理アダプター共	1	200	1.47	R410	4階 談話室	参考型番:F38CTDV (ダイキン)	
ACR-5-3 (5階 談話室)	空冷ヒートポンプ式ルームエアコン	1	型 式 : ルームエアコン(雙機) 冷房能力 : 5.6 k W 暖房能力 : 6.7 k W 付 属 品 : 室外機用ブラロック、集中管理アダプター共	1	200	1.90	R32	5階 談話室	参考型番:F56UTEF-W (ダイキン)	

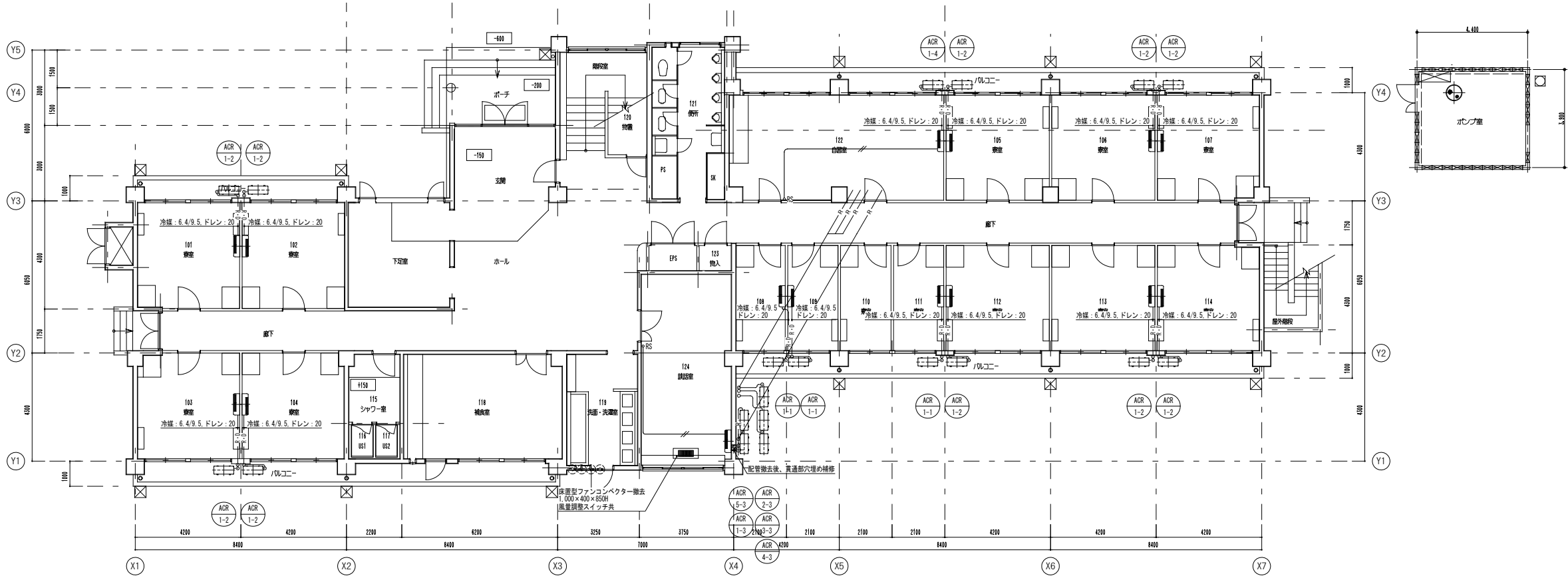
機器表(新設)

記 号	機 器 名 称	台 数	仕 様	電 気 容 量 (60 H Z)			電 源	非 常 電 源	設 置 場 所	備 考
				Φ	V	k W				
ACR-1-1 (1F 補食室(北側))	空冷ヒートポンプ式ルームエアコン	1	型 式 : ルームエアコン(壁掛) 冷房能力 : 5.6 kW 暖房能力 : 6.7 kW 付 属 品 : 室外機用ブラロック、防振ゴム COM ワイヤードリモコン、ロングライフフィルター FAN(室内機/室外機) 他付属品一式	1	200	2.07 1.88 1.70 0.047/0.035	室内機		1F 補食室(北側)	
ACR-1-2 (1F 補食室(南側))	空冷ヒートポンプ式ルームエアコン	1	型 式 : ルームエアコン(壁掛) 冷房能力 : 4.0 kW 暖房能力 : 5.0 kW 付 属 品 : 室外機用ブラロック、防振ゴム COM ワイヤードリモコン、ロングライフフィルター FAN(室内機/室外機) 他付属品一式	1	200	1.37 1.41 1.10 0.029/0.035	室内機		1F 補食室(南側)	
ACR-1-3 (1F ラーニングモンゴ)	空冷ヒートポンプ式ルームエアコン	1	型 式 : ルームエアコン(壁掛) 冷房能力 : 4.0 kW 暖房能力 : 5.0 kW 付 属 品 : 室外機用ブラロック、防振ゴム COM ワイヤードリモコン、ロングライフフィルター FAN(室内機/室外機) 他付属品一式	1	200	1.37 1.41 1.10 0.029/0.035	室内機		1F ラーニングモンゴ	
ACR-2-4-1 (2-4F 談話室)	空冷ヒートポンプ式ルームエアコン	3	型 式 : ルームエアコン(壁掛) 冷房能力 : 4.0 kW 暖房能力 : 5.0 kW 付 属 品 : 室外機用ブラロック、防振ゴム COM ワイヤードリモコン、ロングライフフィルター FAN(室内機/室外機) 他付属品一式	1	200	1.37 1.41 1.10 0.029/0.035	室内機		2F~4F 談話室	
ACR-1-1 (5F 談話室)	空冷ヒートポンプ式ルームエアコン	1	型 式 : ルームエアコン(壁掛) 冷房能力 : 5.6 kW 暖房能力 : 6.7 kW 付 属 品 : 室外機用ブラロック、防振ゴム COM ワイヤードリモコン、ロングライフフィルター FAN(室内機/室外機) 他付属品一式	1	200	2.07 1.88 1.70 0.047/0.035	室内機		5F 談話室	
【別館工事設備】 (名譽室 2人設備)	空冷ヒートポンプ式ルームエアコン	(20)	型 式 : ルームエアコン(壁掛) 冷房能力 : 3.6 kW 暖房能力 : 4.2 kW 付 属 品 : 室外機用ブラロック、防振ゴム COM ワイヤードリモコン、ロングライフフィルター FAN(室内機/室外機) 他付属品一式	1	100	1.18 1.19 0.95 0.027/0.025	室内機		1F~5F 寮室(2人設備)	
【別館工事設備】 (名譽室 1人設備)	空冷ヒートポンプ式ルームエアコン	(128)	型 式 : ルームエアコン(壁掛) 冷房能力 : 2.2 kW 暖房能力 : 2.2 kW 付 属 品 : 室外機用ブラロック、防振ゴム COM ワイヤードリモコン、ロングライフフィルター FAN(室内機/室外機) 他付属品一式	1	100	0.58 0.47 0.60 0.024/0.016	室内機		1F~5F 寮室(1人設備)	

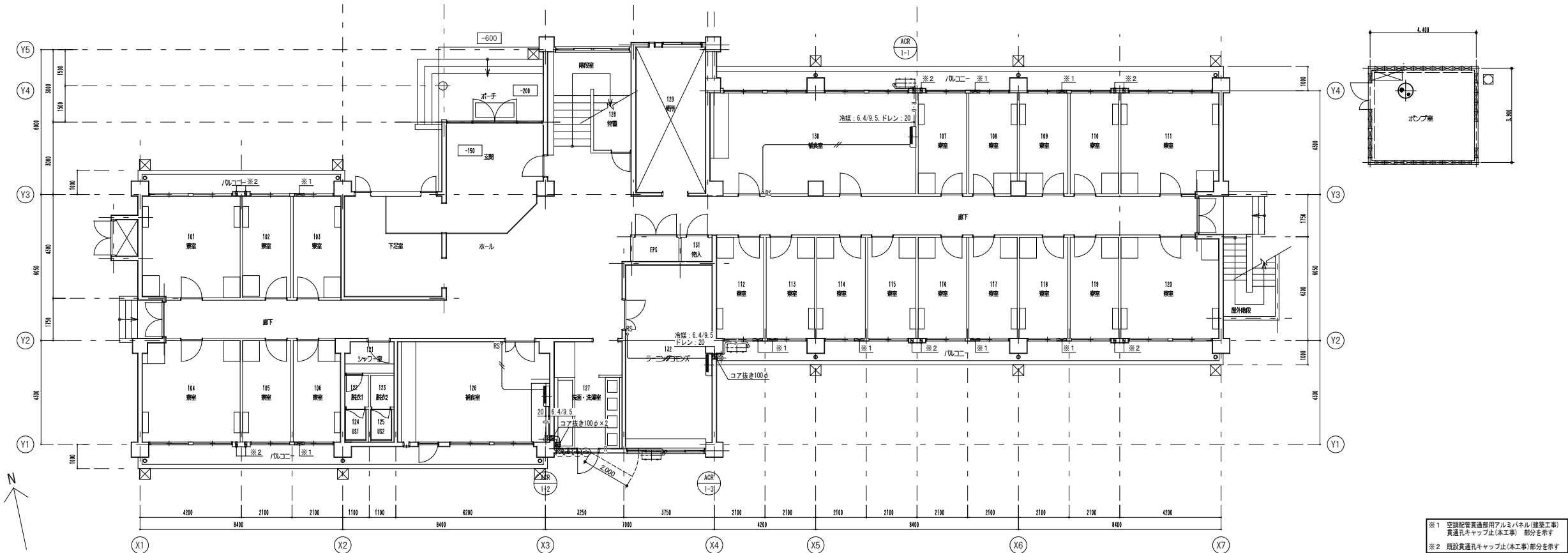
注記 1、パッケージエアコンエアコンの冷暖房能力・消費電力は、JIS C 9612で規定された定格条件による。
2、冷暖はR32とする。

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	空調調和設備 機器表(撤去・改修)	A1:N.S A3:N.S	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	M-02

空調と設備 1階配管平面図(撤去)



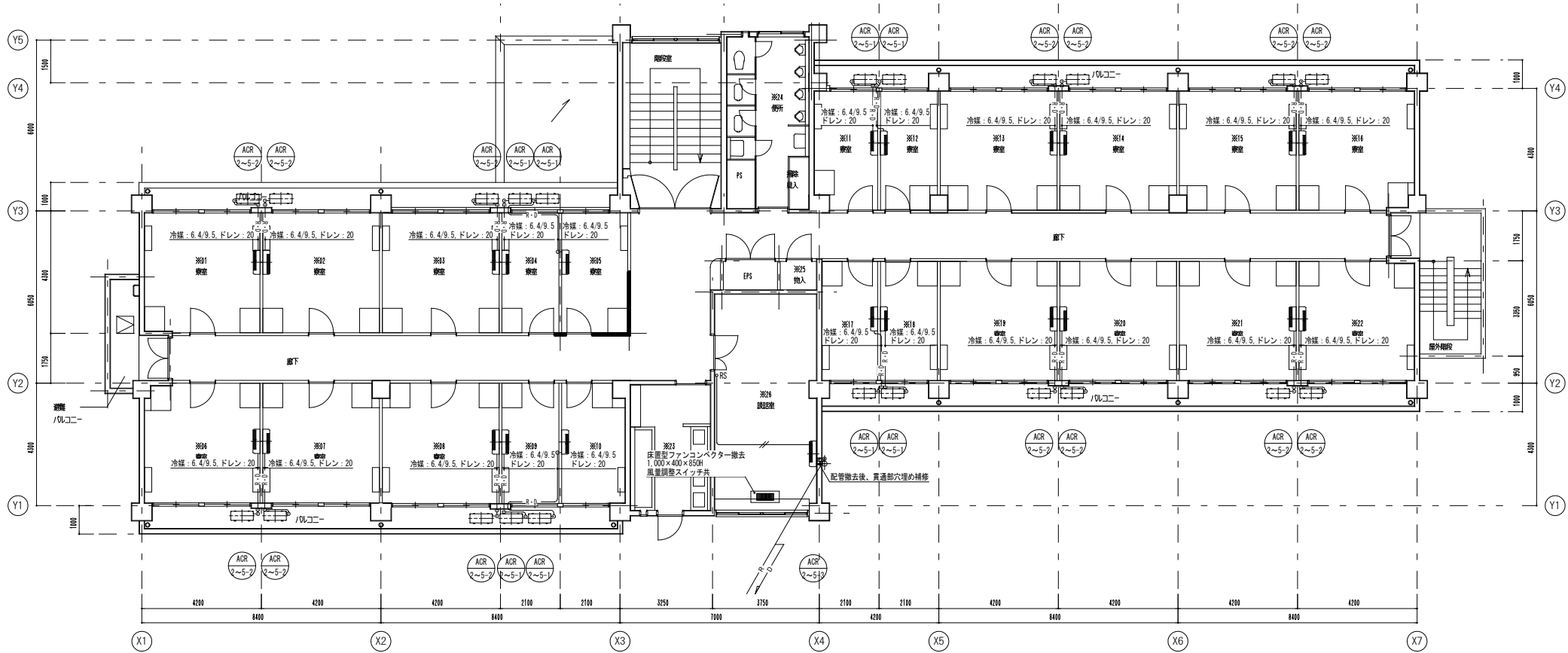
空調と設備 1階配管平面図(改修)



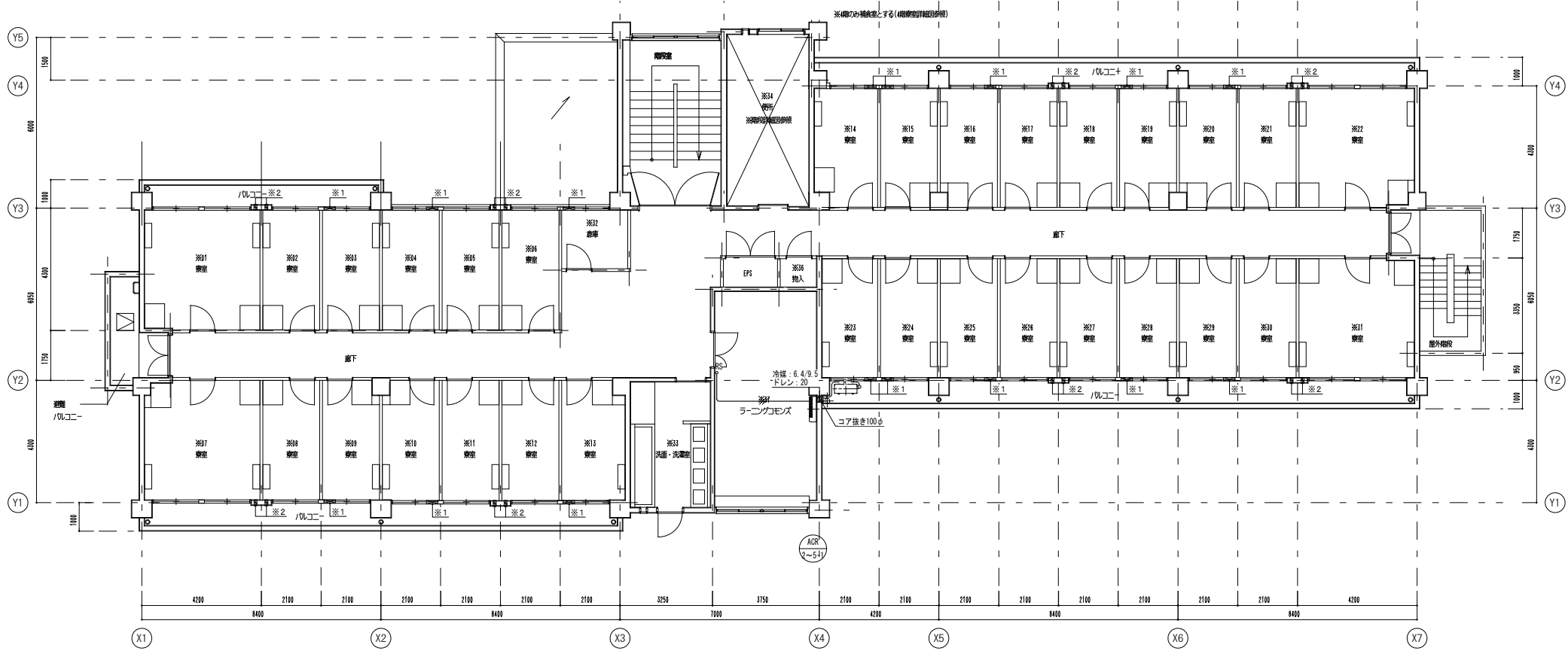
※ 1 空調配管貫通部用アルミパネル(建築工事)
貫通孔キャップ止(本工事) 部分を示す
※ 2 既設貫通孔キャップ止(本工事)部分を示す

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第 1 項に基づく表示	図面番号
令和 5 年	令和 6 年 5 月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	空調と設備 1階配管平面図(撤去・改修)	A1 : 1/100 A3 : 1/200	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	M-03

空調と設備 2～5階配管平面図(撤去)















空調と設備 2～5階配管平面図(改修)



※ 1 空調配管貫通部用アルミパネル(建築工事)
貫通孔キャップ止(本工事) 部分を示す
※ 2 既設貫通孔キャップ止(本工事)部分を示す

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第 1 項に基づく表示	図面番号
令和 5 年	令和 6 年 5 月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	空調と設備 2～5階配管平面図(撤去・改修)	A1 : 1/100 A3 : 1/200	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	M-04

凡 例

記 号	名 称	備 考
	全熱交換型換気扇	
	有圧換気扇	
	天井埋込型換気扇	
	中間取付ダクトファン	
	排気ダクト	スバイルダクト(亜鉛鉄板) ※外壁より1mはGW25 t巻、レンジフード接続のダクトはRW25 t巻
	外気ダクト	スバイルダクト(亜鉛鉄板) ※GW25 t巻
	逆流防止ダンパー	
	壁付自然ガス口	フィルター、風量調整機構付
	パイプフード	S U S 製、防虫網付、指定色塗装
	給気ガラリ	(建築工事)
	全熱交換器リモコン	機 器 付 属 品
	全熱交換器リモコン配線	EM-C E E S1.25-2 C (P F 2 2)

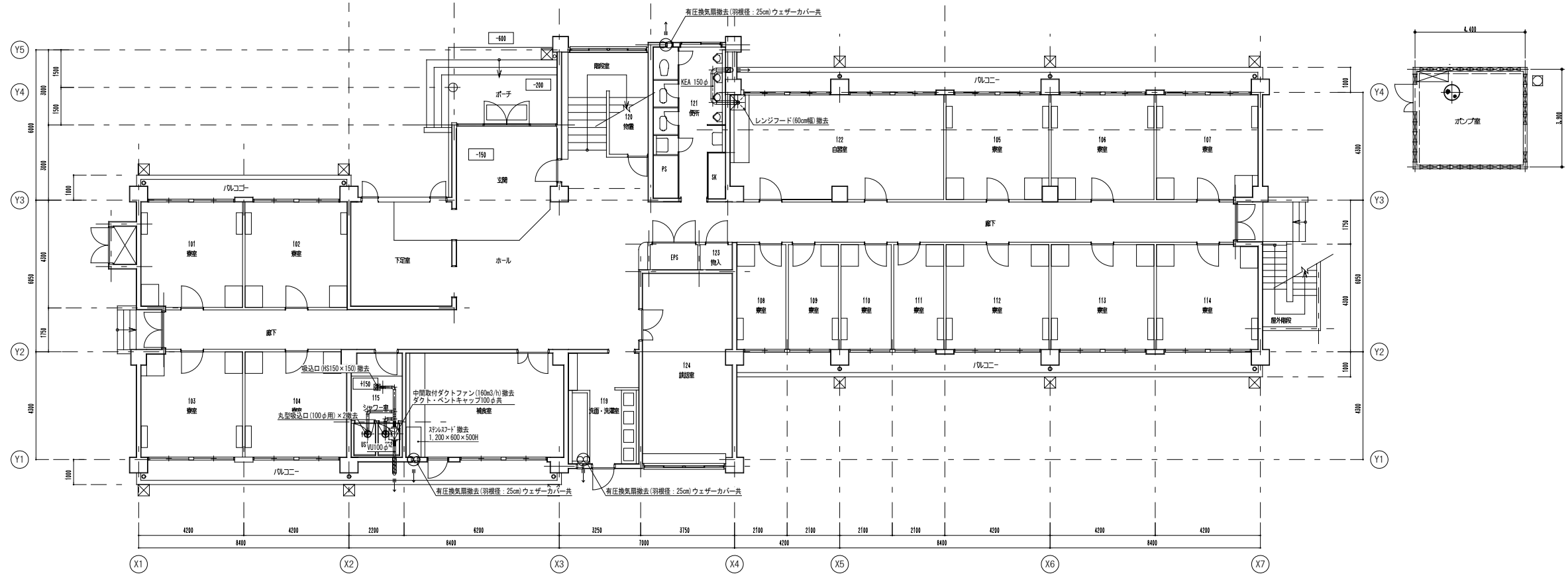
機器表(改修)

記 号	機 器 名 称	台 数	仕 様	電 気 容 量 (6 0 H Z)			起 動 方 式	非 常 電 源	設 置 場 所	備 考
				Φ	V	k W				
H E X - 1 - 1	全熱交換器	1	型 式	： 天井カセット型			L - S		1F 捕食室(北側)	24時間換気
			能 力	： 250 m³/h X 80 Pa						
				50 m³/h X 30 Pa (暖運転：24h運転)						
			全熱交換効率	： 60%(冷房時) 60%(暖房時)						
			制御方式	： 全熱交換器用リモコン(24時間換気)						
			付 属 品	： 防振吊金物、丸込防鼠板(タイプフード150φ(防虫網付・指定色塗装) X 2						
H E X - 1 - 2	全熱交換器	1	型 式	： 天井カセット型			L - S		1F 捕食室(南側)	24時間換気
			能 力	： 200 m³/h X 80 Pa						
				50 m³/h X 30 Pa (暖運転：24h運転)						
			全熱交換効率	： 60%(冷房時) 60%(暖房時)						
			制御方式	： 全熱交換器用リモコン(24時間換気)						
			付 属 品	： 防振吊金物、丸込防鼠板(タイプフード150φ(防虫網付・指定色塗装) X 2						
H E X - 1 - 3	全熱交換器	1	型 式	： 天井カセット型			L - S		1F ラーニングコモンズ	24時間換気
			能 力	： 200 m³/h X 80 Pa						
				50 m³/h X 30 Pa (暖運転：24h運転)						
			全熱交換効率	： 60%(冷房時) 60%(暖房時)						
			制御方式	： 全熱交換器用リモコン(24時間換気)						
			付 属 品	： 防振吊金物、丸込防鼠板(タイプフード150φ(防虫網付・指定色塗装) X 2						
H E X - 2 - 5 - 1	全熱交換器	4	型 式	： 天井カセット型			L - S		2～5F 談話室	24時間換気
			能 力	： 200 m³/h X 80 Pa						
				50 m³/h X 30 Pa (暖運転：24h運転)						
			全熱交換効率	： 60%(冷房時) 60%(暖房時)						
			制御方式	： 全熱交換器用リモコン(24時間換気)						
			付 属 品	： 防振吊金物、丸込防鼠板(タイプフード150φ(防虫網付・指定色塗装) X 2						
E F - 1 - 5 - 1	排気ファン	5	型 式	： 有圧換気扇(格子形・電動シャッター付・羽根径：25cm)			L - S		1～5F 便所	24時間換気
			能 力	： 450 m³/h X 30 Pa						
			制御方式	： 手元スイッチ(24時間換気)						
			付 属 品	： 取付枠、ステンレス製フェザーカバー(防虫網付・指定色塗装)						
E F - 1 - 5 - 2	排気ファン	5	型 式	： 有圧換気扇(格子形・電動シャッター付・羽根径：25cm)			L - S		1F 洗面・洗濯室	24時間換気
			能 力	： 300 m³/h X 30 Pa						
			制御方式	： 手元スイッチ(24時間換気)						
			付 属 品	： 取付枠、ステンレス製フェザーカバー(防虫網付・指定色塗装)						
V F - 1 - 1	排気ファン	2	型 式	： 天井埋込型換気扇(サニタリー用)			L - S		1F シャワー室	
			能 力	： 125 m³/h X 60 Pa						
			制御方式	： 手元スイッチ						
			付 属 品	： 丸込防鼠板(タイプフード100φ(SUS製・防虫網付・指定色塗装)						
R F - 1 - 1	レンジフードファン	1	型 式	： レンジフードファン(標準形・60cm幅)			L - S		1F 捕食室(北側)	
			能 力	： 300 m³/h X 60 Pa						
			制御方式	： 本体スイッチ						
			付 属 品	： 丸込防鼠板(タイプフード150φ(SUS製・防虫網付・指定色塗装)						
R F - 1 - 2	レンジフードファン	1	型 式	： レンジフードファン(標準形・60cm幅)			L - S		1F 捕食室(南側)	
			能 力	： 300 m³/h X 60 Pa						
			制御方式	： 本体スイッチ						
			付 属 品	： 丸込防鼠板(タイプフード150φ(SUS製・防虫網付・指定色塗装)						

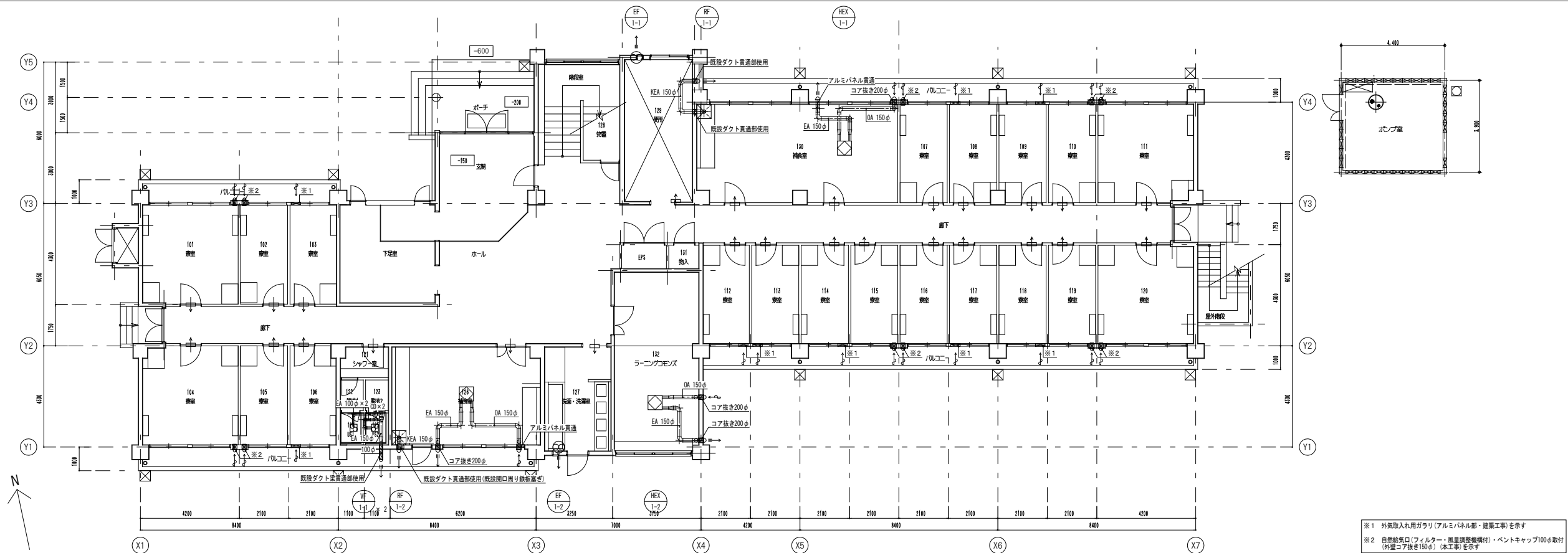
注記 1、ファンの手元スイッチは電気依頼工事とする。
2、排気ファンの消費電力は、JIS C 9603で規定されに定格条件による。
3、全熱交換器の消費電力は、JIS B 8628で規定されに定格条件による。

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	空調調和設備 凡例・換気機器表(改修)	A1 : N S A3 : N S	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	M-05

空気調和設備 1階ダクト平面図(撤去)

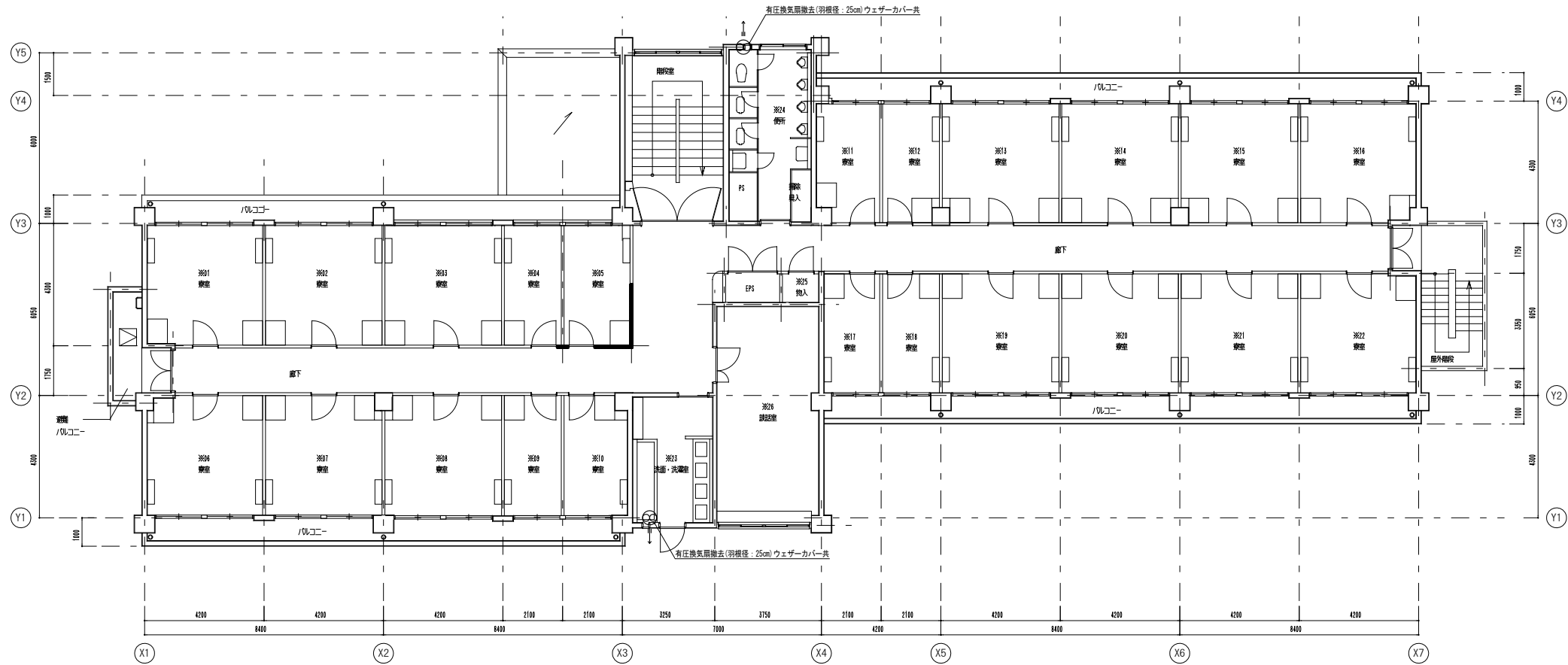


空気調和設備 1階ダクト平面図(改修)

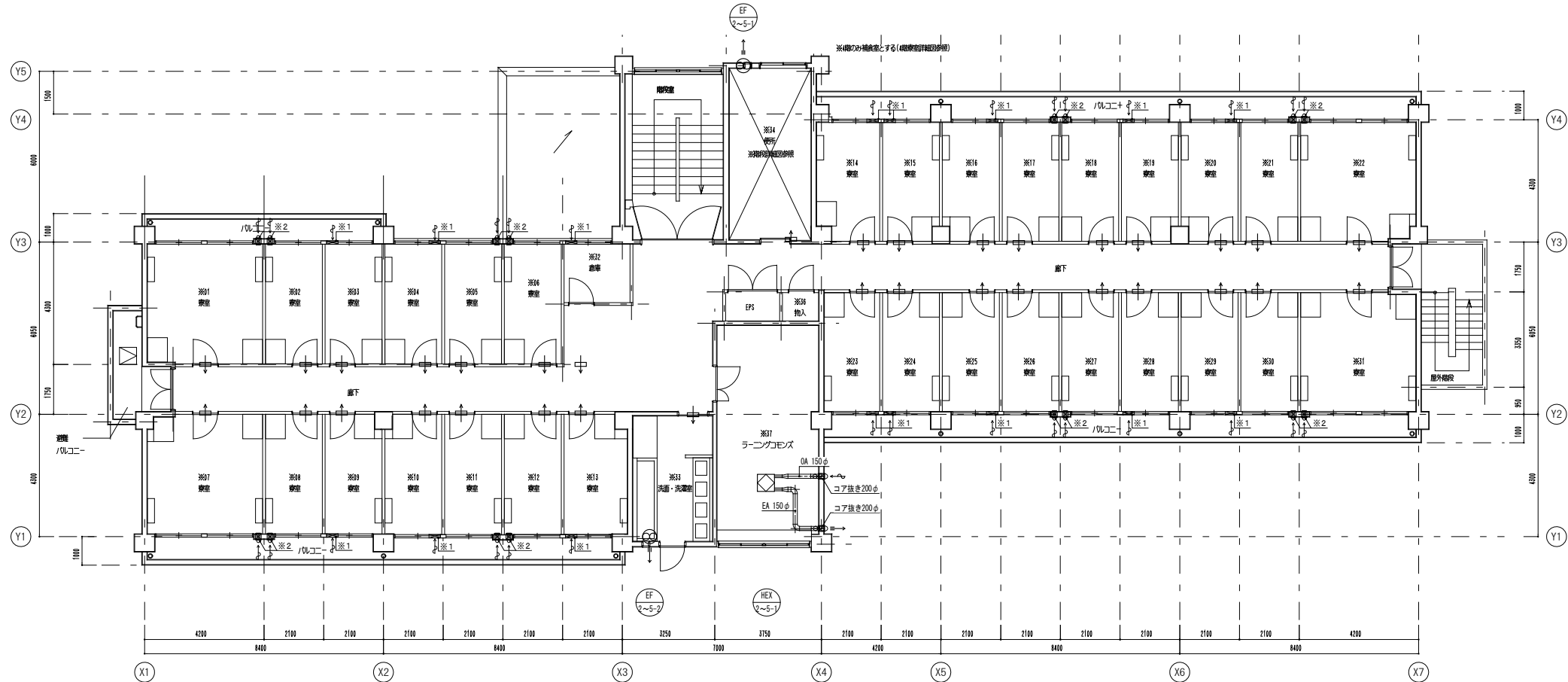


年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	空調調和設備 1階ダクト平面図	A1：1/100 A3：1/200	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	M-07

空気調和設備 2～5階ダクト平面図(撤去)



空気調和設備 2～5階ダクト平面図(改修)



※1 外気取入れ用ガラリ(アルミパネル部・建築工事)を示す
 ※2 自然給気口(フィルター・風量調整機構付)・ベントキャップ100φ取付
 (外壁コア抜き150φ)(本工事)を示す

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	空気調和設備 2～5階ダクト平面図(撤去・改修)	A1：1/100 A3：1/200	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	M-08

器 具 表

器 具 名	参 考 型 番 (TOTO/LIXIL)		主 要 付 属 品	1 F				2F		3F		4F			5F		屋 上	外 構	合 計	備 考
				捕 食 室 (北 側)	捕 食 室 (南 側)	シ ャ ワ ー 室	洗 面 ・ 洗 濯 室	便 所	洗 面 ・ 洗 濯 室	便 所	洗 面 ・ 洗 濯 室	便 所	洗 面 ・ 洗 濯 室	便 所	捕 食 室	洗 面 ・ 洗 濯 室	便 所			
洋風大便器	CFS498BCK + TCF5534AU + YH702	BC-P110SMA + CW-PA21LQE-NE-R1 + CF-63HS	掃除口付床置床排水大便器(タンク式)、温水洗浄便座、棚付2連紙巻器					3		4		4		4		4			19	1φ×100V 350W
			洗浄水井戸水仕様																	
コンパクト多機能トイレバック	UADCZ01R2C1BNN1W		床置床排水大便器(タンク式)、温水洗浄便座、2連紙巻器、L型手すり、跳ね上げ手すり					1											1	1φ×100V 350W(温水洗浄便座)
			しびん洗浄水栓付背もたれ、手洗器(自動単水栓共)、専用ライニング(側板共)																	1φ×100V(手洗器自動水栓)
			洗浄水井戸水仕様																	
壁掛手洗器	LSA50AP		壁掛洗面器、台付自動単水栓、アングル止水栓、Pトラップ					4		4		4		4		4			20	1φ×100V
化粧鏡	YM4560A		450×600					4		4		4		4		4			20	
掃除流し	SK22A+T23AEQ20	S-202A+LF-7E-19-U	横水栓(T23AEQ20C)、床排水金具(T37SGEP)					1		1		1		1		1			5	
			アングル形止水栓(TN114)、バックハンガー(T9R)、リムカバー(TK22)																	
洗濯機付	PWP640N2W+PJ002	PF-6464AC+TP-53	640×640、縦3きトラップ				3		3		3		3			3			15	
洗濯用水栓	TW11R	LF-WJ50KQA	洗濯用水栓(緊急止水付)				3		3		3		3			3			15	
混合水栓	TKS05301J	SF-WM420SYX	台付シングルレバー混合水栓	1	1										1				3	
洗面カウンター			建築工事 配管接続は本工事			(1)			(1)		(1)		(1)			(1)			(5)	
流し台			建築工事 配管接続は本工事	(1)	(1)										(1)				(3)	
ユニットシャワー			建築工事 配管接続は本工事			(2)													(2)	

機 器 表

記 号	機 器 名 称	台 数	仕 様	電 気 容 量 (60 HZ)			設 置 場 所	備 考
				Φ	V	k W		
WHG-1	ガス瞬間湯沸器	1	型 式 : 瞬間式ガス湯沸器(屋外壁掛・耐塩害仕様)	1	100	0.15	1F 屋外	
	(1F シャワー)		加 熱 能 力 : 32号					
			付 属 品 : リモコン、逆止弁付ボール止水栓20、接続パイプ20(水・湯用)、ネジガス栓20、強化ガスホース20					
			配管カバー、他付属品一式					
WHE-1	電気温水器	3	型 式 : 貯湯式床置型(25L)飲用	1	200	2.0	1F 捕食室(北)(南)	
	(1F 捕食室流し台)		先止め式、ウィークリータイマー				4F 捕食室	
			付 属 品 : 熱湯水栓、耐震用脚、排水ホッパー、アングル型止水栓					
WHE-2	電気温水器	20	型 式 : 壁掛型(3L)洗面・手洗い用	1	200	0.6	1～5F 洗面・洗濯室	
	(各階 洗面手洗い)		先止め式、ウィークリータイマー					
			付 属 品 : 台付混合水栓(手動スイッチ)、アングル型止水栓					
PU-1	排水ポンプ	1×2	型 式 : 雑排水用水中ポンプ(自動交互運転)	1	100	0.4	ピット	
	(ピット排水)		能 力 : 50φ×200L/min×5m					
			付 属 品 : フロート、制御盤、ケーブル					
HB-1A	屋内消火栓箱	5	型 式 : 易操作性1号型(総合盤型) 縦型埋込タイプ	1	100	0.4	1階～5階 廊下	
			能 力 : 格納箱、バルブ、噴霧ノズル、保形ホース、操作シール、テスト弁40、その他一式					

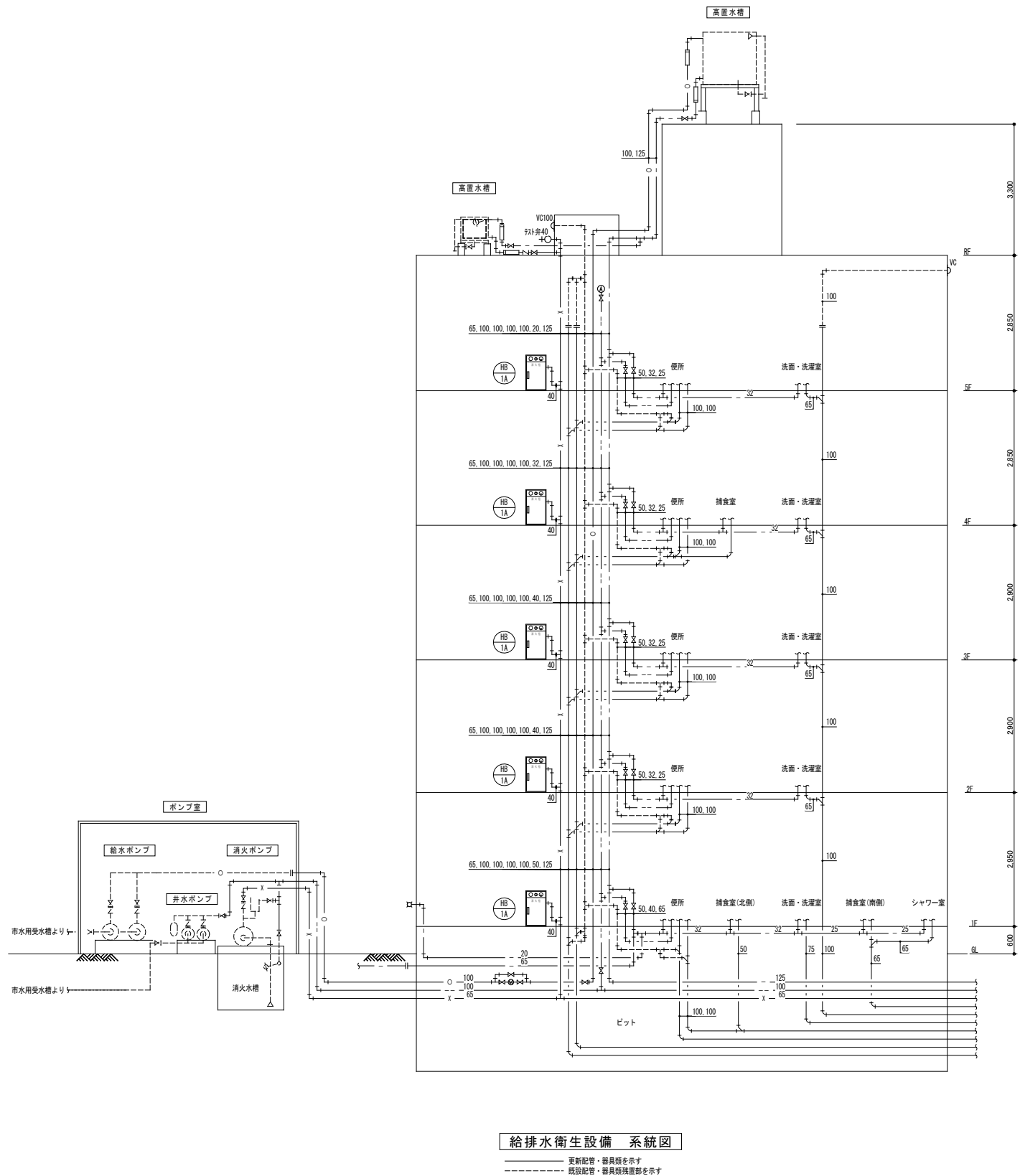
※1. ガス給湯器の加熱能力、消費電力、燃料消費量は、JIS S 2109 で規定されたものとする。
※2. 給湯設備の固定は平成24年国土交通省告示1447号第5に規定する構造方法によること。

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	給排水衛生設備 衛生器具表・機器表	A1：N.S A3：N.S	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	M-11

凡 例		
記 号	名 称	使用管材料・備考
—— —	給水管（上水管）	屋外埋設部：耐衝撃性ポリ塩化ビニル管（HIVP）
—— ○ ——	揚水管（上水管）	一般部・ピット・埋設部：耐衝撃性ポリ塩化ビニル管（HIVP）
—— -- ——	給水管（井水管）	屋外露出・機械室：水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VB）
————	排水管	一般部・ピット・埋設部：硬質ポリ塩化ビニル管（VP） 屋外埋設部：リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管（REP-VU）
-----	通気管	一般部：硬質ポリ塩化ビニル管（VP）
—— ——	給湯管	一般部・ピット：耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管（HTLP）
└─●─┐	防火区画貫通処理	
—— × ——	仕切弁	
■	地中埋設標	
□	給水栓	
■	混合水栓	
Φ	自動エア抜き弁	
└─┐	床掃除口	
└─┐ ^{VG}	ベントキャップ	

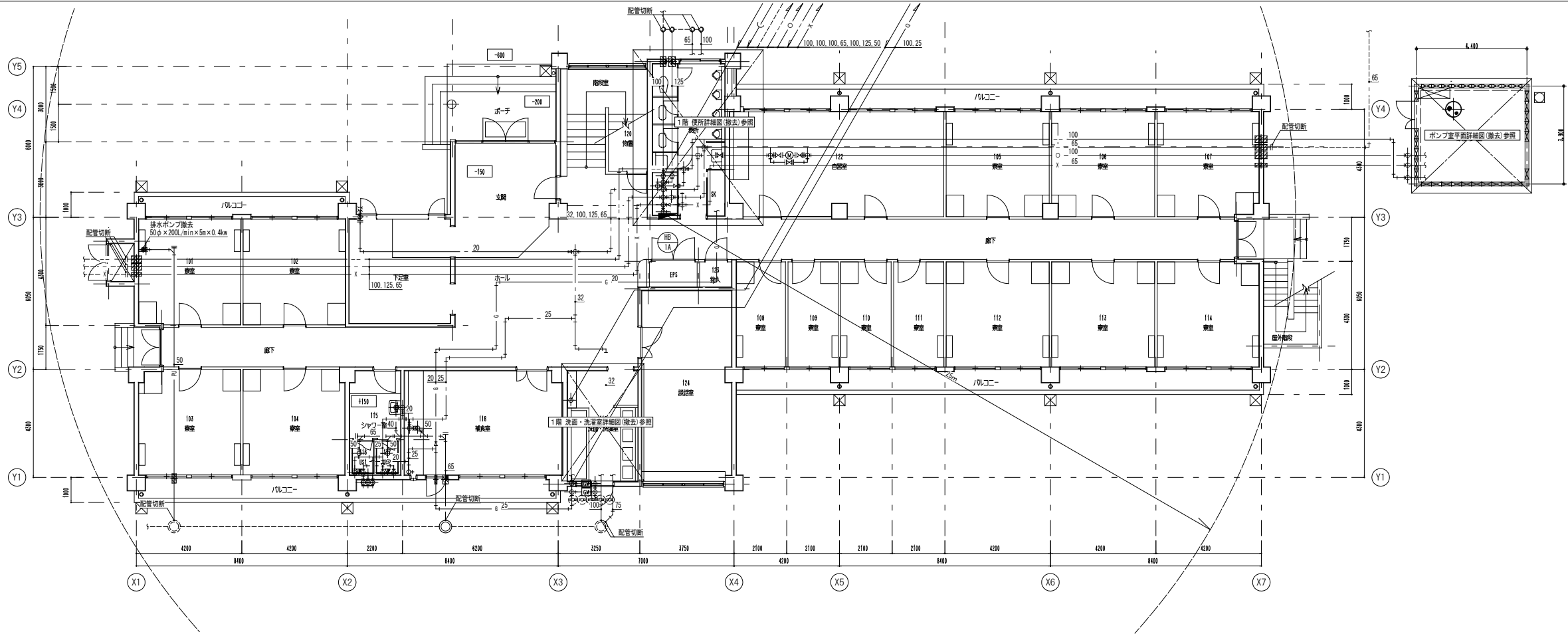
排水のための配管設備の容量及びその算定方法並びに勾配			
※ 排水横主管および屋外排水管のサイズ・配管勾配は排水負荷単位を基準とし、下記表により決定する。			
1）建物全体の排水負荷の算定			
器 具 名	器具別排水 負荷単位	小 計 全個数 負荷単位	
洗面器	1	20	20
手洗器	0.5	20	10
洗濯機	2	15	30
流し台	3	3	9
掃除流し	2.5	5	12.5
シャワー	3	2	6
雑排水小計		87.5	
洋風大便器(タンク)	4	20	80
汚水小計		80	
合 計		167.5	
2）排水横主管の許容負荷			
管径 (mm)	勾 配	許容最大 負荷単位	
100	1/100	180	
125	1/100	390	
150	1/100	700	

（建設設備設計基準 令和3年版 第4章 排水・通気設備より）

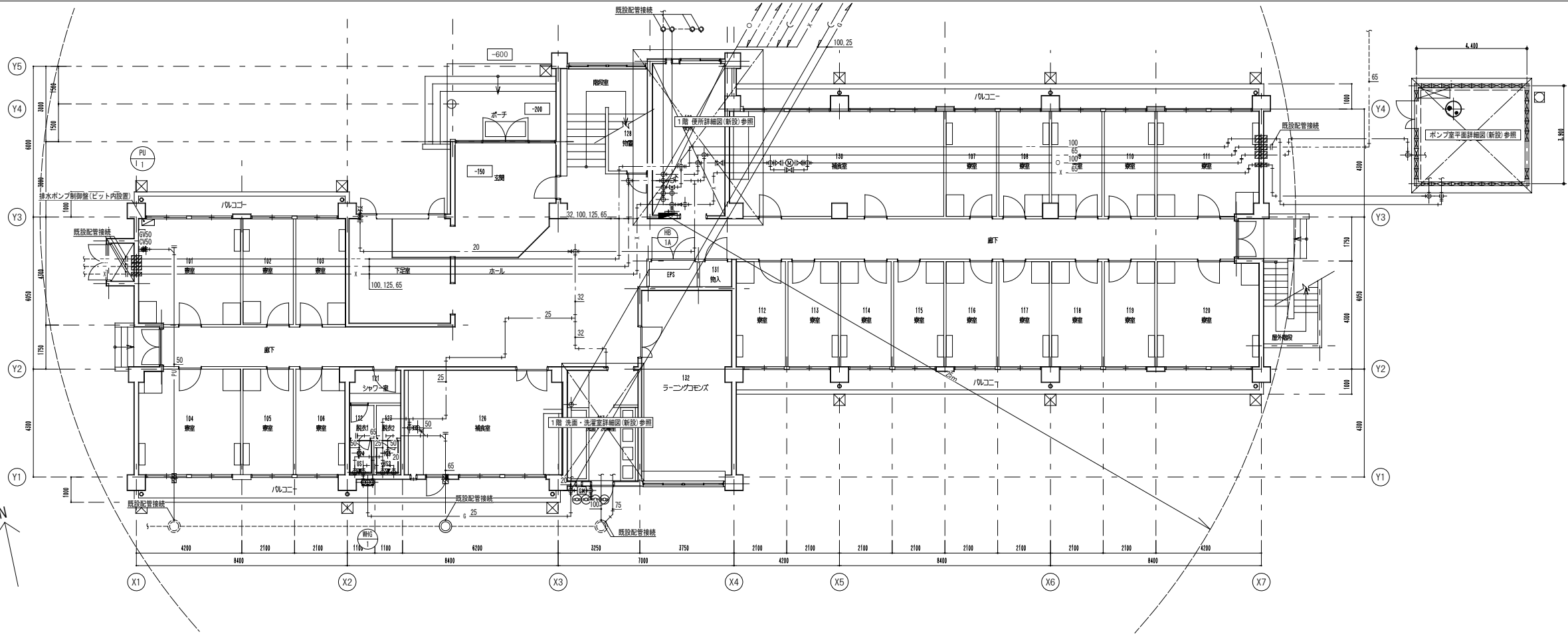


年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	給排水衛生設備 凡例・系統図	A1：N.S A3：N.S	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	M-12

給排水衛生設備 1階平面図(撤去)

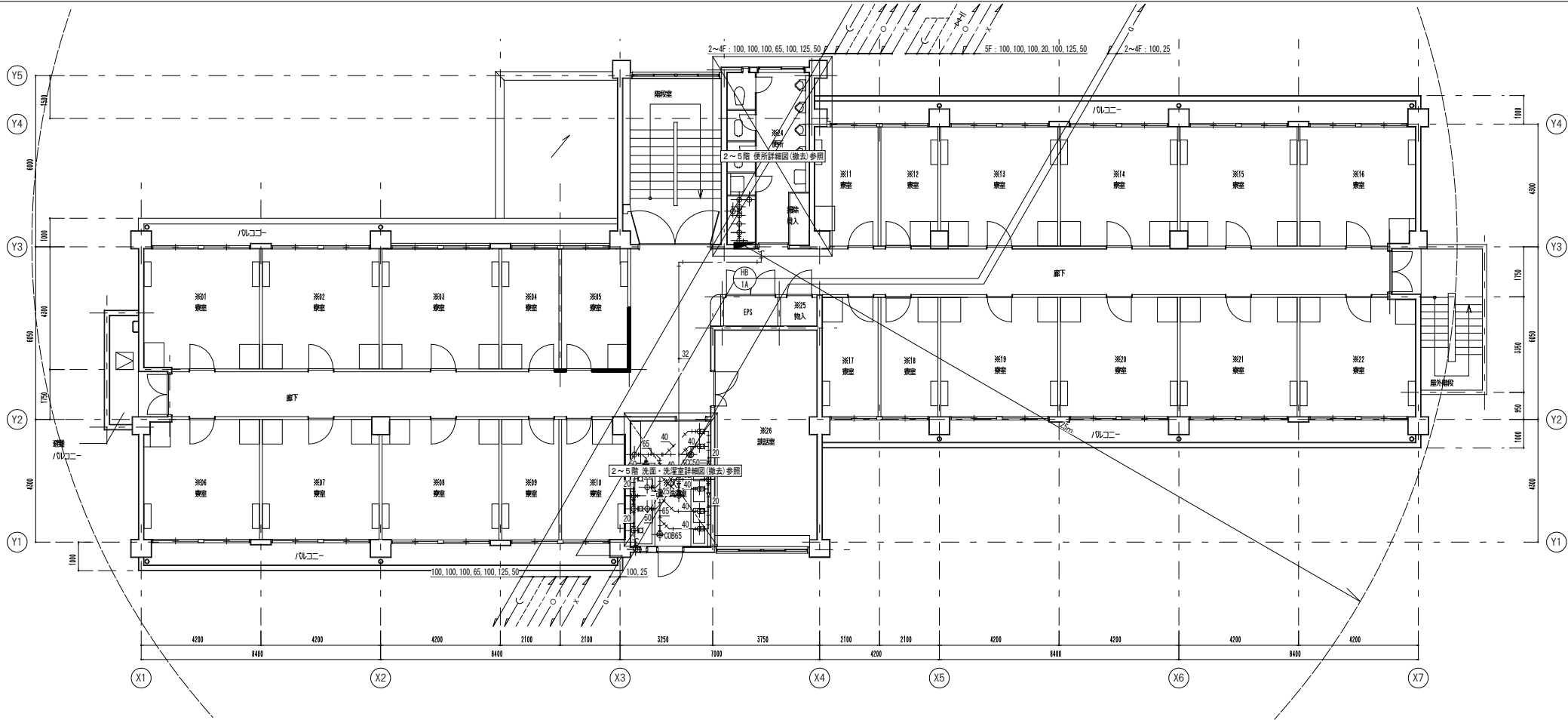


給排水衛生設備 1階平面図(改修)

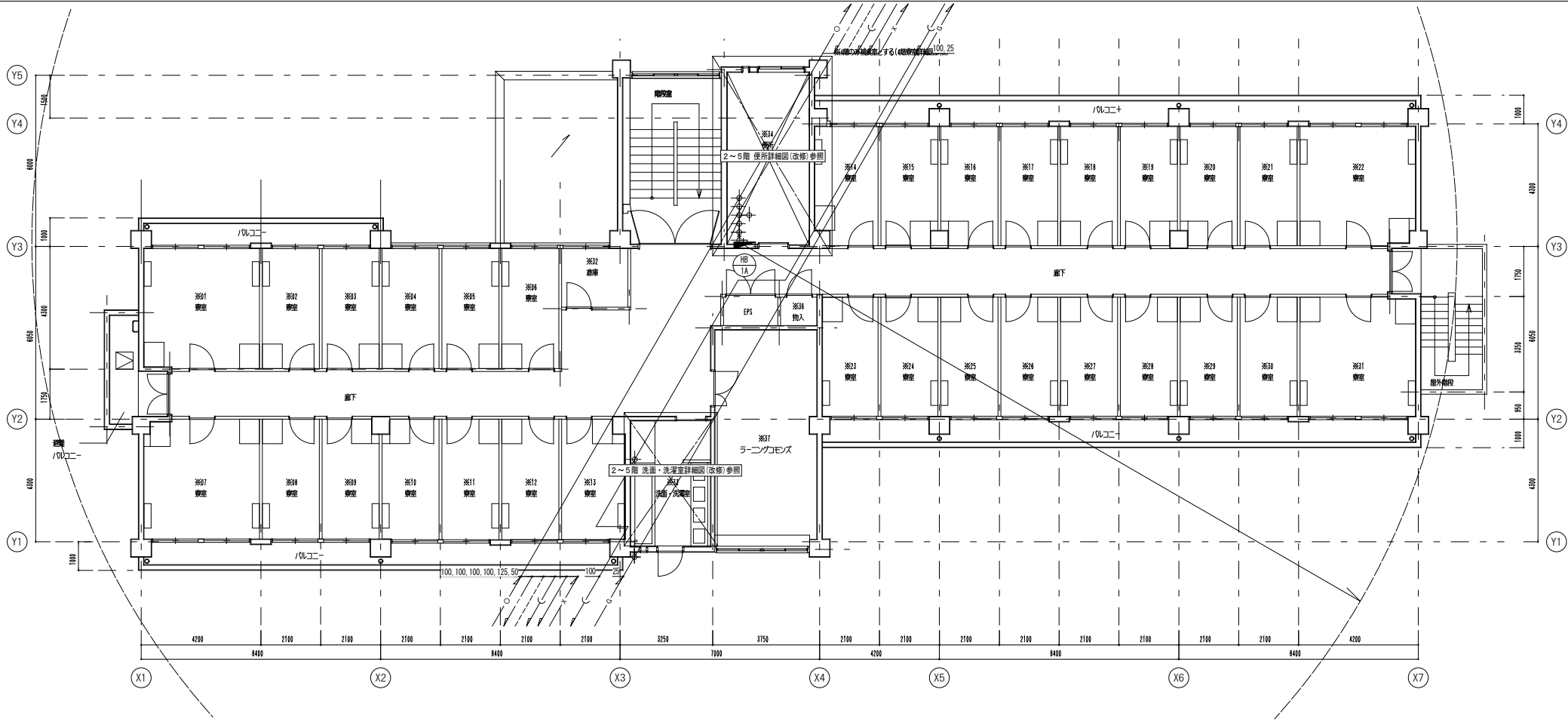


年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第 1 項に基づく表示	図面番号
令和 5 年	令和 6 年 5 月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	給排水衛生設備 1階平面図(撤去・改修)	A1：1/100 A3：1/200	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	M-13

給排水衛生設備 2～5階平面図(撤去)

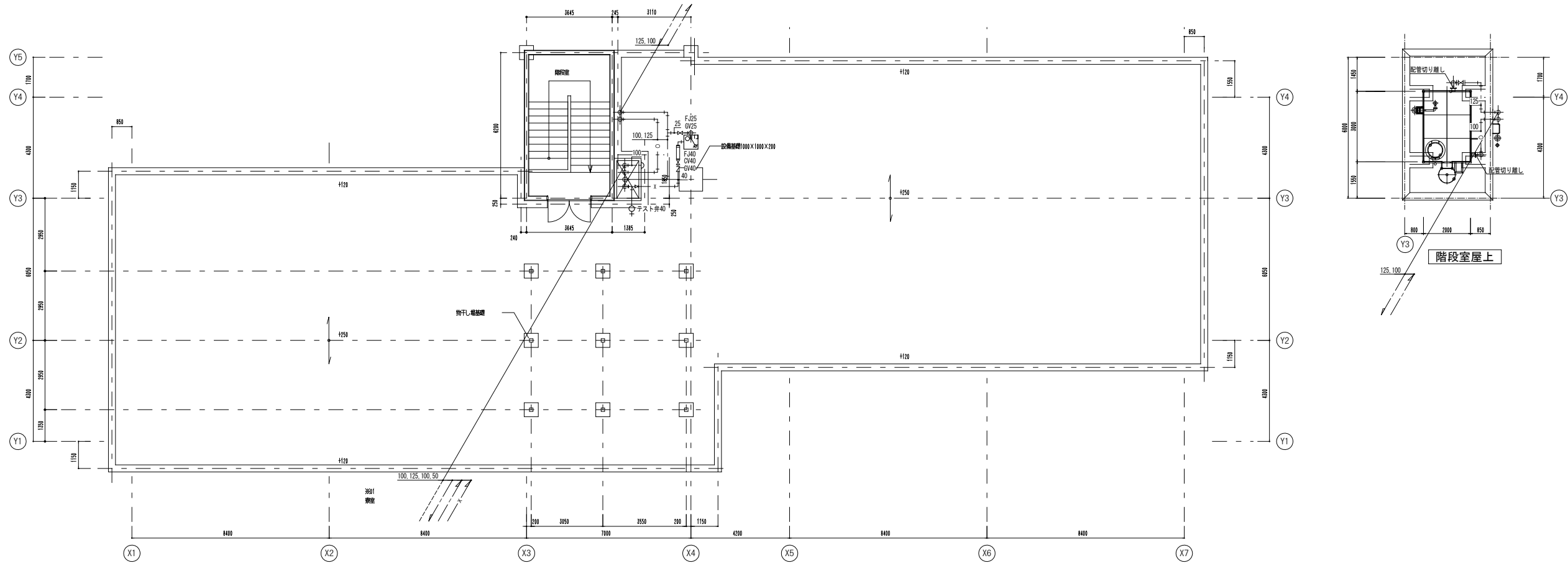


給排水衛生設備 2～5階平面図(改修)

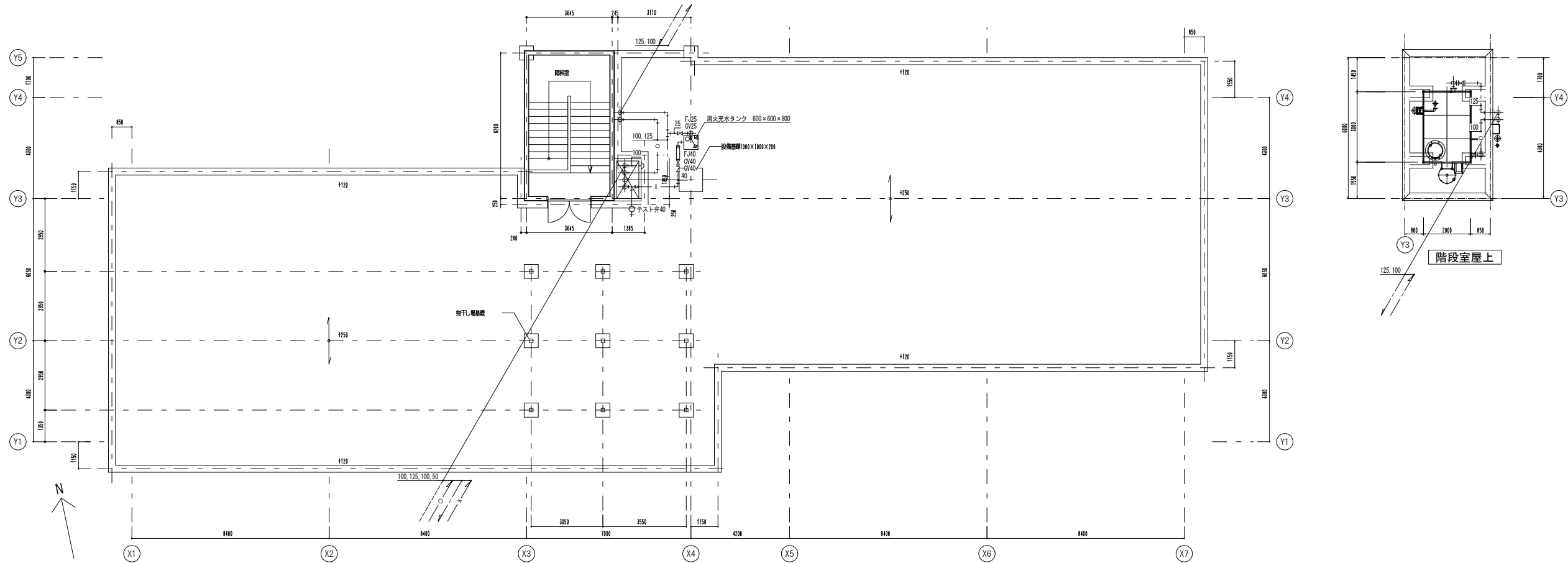


年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第 1 項に基づく表示	図面番号
令和 5 年	令和 6 年 5 月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	給排水衛生設備 2～5階平面図(撤去・改修)	A1 : 1/100 A3 : 1/200	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	M-14

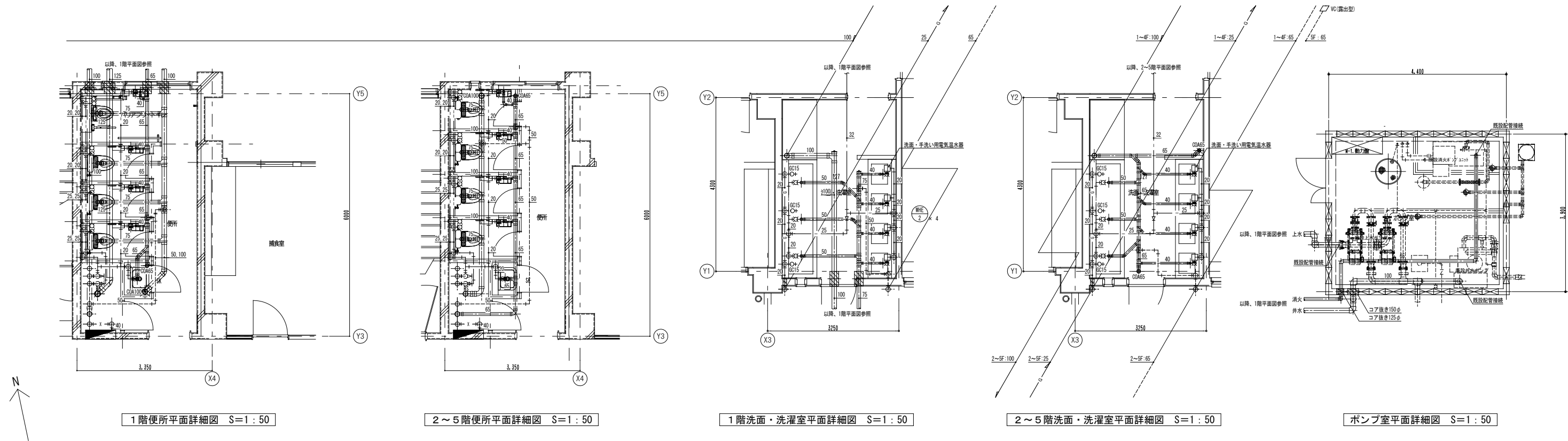
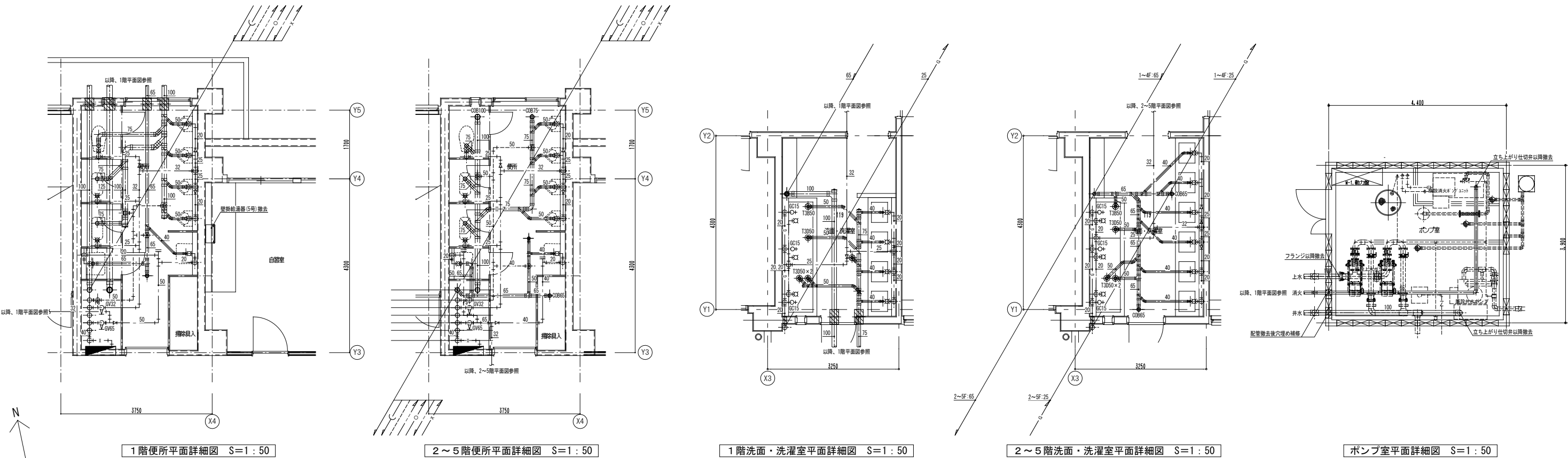
給排水衛生設備 R階平面図(撤去)



給排水衛生設備 R階平面図(改修)



年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第 1 項に基づく表示	図面番号
令和 5 年	令和 6 年 5 月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修（建築）（設備）設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	給排水衛生設備 R階平面図(撤去・改修)	A1 : 1/100 A3 : 1/200	株 式 会 社 唯 設 計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	M-15



年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	図面番号
令和5年	令和6年5月	鹿児島工業高専 第六志学寮改修(建築)(設備)設計業務	鹿児島工業高専第六志学寮改修工事	給排水衛生設備 平面詳細図(撤去・改修)	A1:1/50 A3:1/100	株式会社唯設計 一級建築士登録 第295054号 日野 秀明	M-16